

maxell

取扱説明書

iVDR スロット搭載ブルーレイディスクレコーダー

BIV-TW1000

形名 **BIV-WS1000**

BIV-WS500



iVDR

DOLBY
TRUEHD

dts
2.0+Digital Out

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Blu-ray Disc

Blu-ray
3D™

BDXL™

BD-LIVE™

BONUS VIEW™

AVCREC™

AVCHD™
3D / Progressive

DVD
VIDEO/RW/R

RW
COMPATIBLE

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

x.v.Color



DLNA
CERTIFIED

WiFi
CERTIFIED

(BIV-TW1000のみ)

G-GUIDE

スカパー！
プレミアムサービス
Link
録画 クラウド

Java™
POWERED

このたびは iVDR スロット搭載ブルーレイディスクレコーダーをお買い求めいただき、ありがとうございます。

HDD (ハードディスク) は一時的な保管場所です。万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDD の内容 (録画済の番組データなど) の補償や損失、直接・間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

最初に

この取扱説明書に記載の「安全上のご注意」(p.8 ~ 14) をお読みください。

本体の取扱いは、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。この取扱説明書で全機種共通の機能や操作を説明するときは、BIV-TW1000 のイラストを使用しています。

取扱説明書と保証書は大切に保管してください。



この取扱説明書について

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 本書で全機種共通の機能や操作を説明するときは、BIV-TW1000 のイラストを使用しています。
- 「本機」、「本体」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 本機や本機の操作画面などで「ブルーレイディスク」を「BD」と表現していることがあります。
- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 本書では専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については「用語説明」(p.197)をご覧ください。
- 本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージが表示される場合があります。本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

説明で使用するマークの意味



ご注意 本機を使う際に、気をつけていただきたい情報です。



メモ 本機を使う際の、補足説明やお知らせです。

■ 本機で使えるメディアとファイル形式

マーク	メディア／ファイル（コンテンツ）に関する詳細
HDD	内蔵 HDD ハードディスク
HDD(iVDR)	カセット HDD (iVDR)
BD-RE	BDAV 形式の動画が記録された BD-RE ディスク
BD-R	BDAV 形式の動画が記録された BD-R ディスク
BD-Video	映画ソフトなど、市販の BD-Video ディスク
-RW (VR)	VR 方式の動画が記録された DVD-RW ディスク
-R (VR)	VR 方式の動画が記録された DVD-R ディスク
-RW (Video)	Video 方式の動画が記録された DVD-RW ディスク
-R (Video)	Video 方式の動画が記録された DVD-R ディスク
-RW (AVC)	AVCREC™ 形式の動画が記録された DVD-RW ディスク
-R (AVC)	AVCREC™ 形式の動画が記録された DVD-R ディスク
DVD-Video	映画ソフトなど、市販の DVD-Video ディスク
AVCHD (DVD)	AVCHD 形式の動画が記録された DVD-RW / DVD-R ディスク
AVCHD (SD)	AVCHD 形式の動画が記録された SD カード*
AVCHD (USB)	AVCHD 形式の動画が記録された USB 機器*
JPEG (BD)	JPEG 形式の静止画が記録された BD-RE / BD-R ディスク
JPEG (DVD)	JPEG 形式の静止画が記録された DVD-RW / DVD-R ディスク
JPEG (CD)	JPEG 形式の静止画が記録された CD-RW / CD-R ディスク
JPEG (SD)	JPEG 形式の静止画が記録された SD カード
JPEG (USB)	JPEG 形式の静止画が記録された USB メモリ
音楽用 CD	音楽用 CD

※ SD カードや USB 機器に記録された AVCHD 形式の動画は、本機の HDD に取り込む（ダビングする）まで再生することはできません。（詳しくは、「複数のタイトルをまとめてダビングする」(p.147)をご覧ください。）

付属品を確認する

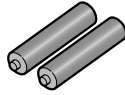
の中に、チェックマーク(✓)を付けてご確認ください。

欠品などお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン / 1 個



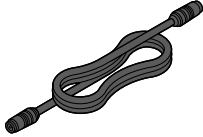
単四形乾電池 / 2 本
※リモコン動作確認用



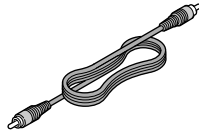
miniB-CAS カード / 1 枚
(台紙に貼り付けてあります)



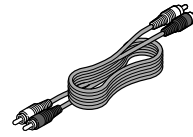
アンテナケーブル / 1 本



コンポジット映像接続ケーブル / 1 本



ステレオ音声接続ケーブル / 1 本



本書(取扱説明書) / 1冊

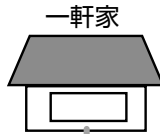
かんたん準備ガイド / 1枚

保証書 / 1 枚

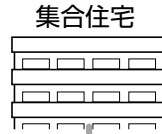
梱包箱に貼付された保証書は、内容をご確認の上、大切に保管してください。製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

お使いのアンテナを確認する

お住まいは一軒家ですか？ マンションなどの集合住宅ですか？



または



地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送をお楽しみいただくには、対応のアンテナが設置されている必要があります。

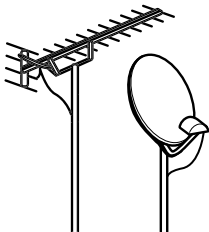
管理会社などに、建物が「地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送に対応」しているかどうかをご確認ください。対応していない場合、個人で対応のアンテナを設置する必要があります。

お住まいの地域が「難視聴地域」の場合、CATV会社とのお契約が必要になることがあります。お住まいの地域の役所などに、難視聴地域であるかどうかをご確認ください。

地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送対応アンテナの設置などについては、販売店や設置業者にご相談ください。

地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送をお楽しみいただくために

安定したデジタル映像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。



- 地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送に対応しているかご確認ください。対応している場合はご使用中のアンテナで受信できますが、アンテナの劣化などで受信できない場合には、新しいアンテナへの交換や、ブースターの設置などが必要です。地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送に対応していない場合は、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナやBS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナが必要です。
- 本機のアンテナ入力端子への接続は、必ず付属のアンテナケーブルか、地上デジタルやBS・110度CSデジタル対応のアンテナケーブル(市販品)をお使いください。
- アンテナ線はほかの電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 設置および接続が正しく行われていた場合でも、周辺に電波障害の原因となる高層建造物がある場合や送信所が遠距離のため電波が弱い場合などは、受信ができなかったり特定の放送局しか受信できなかったりなどの障害が発生することがあります。

もくじ


1 はじめに

この取扱説明書について	2
説明で使用するマークの意味	2
付属品を確認する	3
お使いのアンテナを確認する	3
安全上のご注意	8
使用上のお願い	15
HDD / カセットHDD (iVDR) について	20
各部の紹介	22
リモコン	22
本体前面	23
本体表示部	24
本体背面	25

2 接続

接続の進めかた	26
据え付けについて	26
据え付けるときのご注意	26
アンテナ線を本機につなぐ	27
地上デジタル放送とBS・110度CS デジタル放送のアンテナ線が別々に 部屋まで来ている場合	27
集合住宅などで地上デジタル放送と BS・110度CSデジタル放送のアンテナ線が 1つになって部屋まで来ている場合	28
本機をテレビにつなぐ	29
HDMI入力端子付きテレビとつなぐ	29
映像・音声接続ケーブルだけでつなぐ	29
CATV(ケーブルテレビ)で受信している場合 ..	30
CATVのホームターミナル/セットトップ ボックスで接続している場合	31
スカパー！専用チューナーをつなぐ	32
本機をネットワークにつなぐ	33
ブロードバンド環境がある場合	34
本機にスカパー！プレミアムサービス対応 チューナーをつなぐ	35
ブロードバンド環境がある場合	35
ブロードバンド環境がない場合	35
本機をオーディオ機器につなぐ	36
本機にお持ちの機器をつなぐ	37
すべてつなぎ終えたら	38
miniB-CASカードを入れる	38
電源コードをつないで電源を入れる	38

3 基本設定

リモコンの準備	39
リモコンに乾電池を入れる	39
リモコンの使用範囲について	39
本機の設定	40
“かんたん設定”を使って設定する	40
“かんたん設定”をやり直す	43
リモコンの設定	44
リモコンでテレビを操作できるようにする ..	44
リモコンでテレビを操作する	44
リモコンコードを変更する	44
放送関連の設定を変える	45
“放送受信設定”メニューを使う	45
“放送受信設定”メニューでできること	45
“地域の設定”を変更する	48
地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを 映りやすくする	48
BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い チャンネルを映りやすくする	49
リモコンの数字ボタンに地上 / BS・110度 CSデジタル放送チャンネルを割り当てる	50
 で選局できるチャンネルを設定する	50
デジタル放送の視聴可能年齢を設定する	51
番組表(Gガイド)の地域設定を確認する	51
番組表(Gガイド)の番組データを 取得できるかどうか確認する	51
ネットワークの設定をする	52
本機をネットワークに接続する	52
有線LANを自動で設定する	52
有線LANを手動で設定する	53
無線LANを設定する	55
ネットワーク機能設定	56
CECリンク機能を使う	57
ソフトウェア更新について	58
デジタル放送の電波を利用して更新する	58
サーバーを利用して更新する	58
番組表(Gガイド)を受信する	59

4 操作をする前に

画面表示の見かた	60
ホームメニュー / カンタンメニューについて ...	62

5 視聴する

本機で受信できる放送の種類	63
本機の映像をテレビで見られるようにする	64
放送中の番組を楽しむ	65
チャンネルを選ぶ	65
選局ガイドからチャンネルを選ぶ	66
番組表(Gガイド)からチャンネルを選ぶ	66
テレビ放送に連動したデータ放送を見る	67
視聴中の番組の音声を切り換える	67
視聴中の番組の字幕を切り換える	67
視聴中の番組のアングルを切り換える	68
マルチビュー番組の映像、音声などを切り換える	68
視聴中の番組の画質を切り換える (超解像設定)	68
視聴中の放送のアンテナレベルを確認する	68
デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する	68
他の機器の映像を見る	69
外部入力映像に切り換える	69
ケーブルテレビチューナーで受信している 番組を見る	69

6 使えるメディア

本機で使えるメディアについて	70
本機で録画・再生ができるメディアについて	70
本機で再生だけが使えるメディアについて	71
HDDについて	72
カセットHDD(iVDR)について	72
ディスクについて	73
SDカードについて	74
USB機器について	74
HDDやディスクの構成区分について	74
カセットHDDの準備	75
カセットHDD(iVDR)を挿入口に入れる	75
カセットHDD(iVDR)を取り出す	75
新品のカセットHDD(iVDR)を初期化 (フォーマット)する	75
ディスクの準備	76
ディスクを入れる	76
ディスクを取り出す	76
新品のブルーレイディスクを初期化 (フォーマット)する	76
新品のDVDを初期化(フォーマット)する	77
DVDの録画方式(AVCREC™、VR、Video) について	77
SDカードの準備	78
SDカードを入れる	78
SDカードを取り出す	78
USB機器の準備	79
USB機器と接続する	79

7 録画する

録画の前に	80
録画するメディアを選ぶ	80
録画モード(画質)とおよその録画時間について	81
二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・ 音声、サラウンド音声、字幕の録画について	83
同時操作について	84
録画する	87
視聴中の番組を録画する	87
録画モード(画質)を変更するには	87
指定した時間で録画を終了するには (ワンタッチタイマー録画)	88
複数の番組を同時に録画する	88
他の機器の映像を録画する	90

8 録画予約する

録画を予約する前に	91
予約一覧の見かた	91
番組表(Gガイド)の見かた	92
録画予約する	94
ワンタッチで録画を予約する(一発予約)	94
番組を検索して予約する	94
注目番組一覧から予約する	96
好みの設定で予約する	97
ディスクの容量に合わせて録画する (ぴったり録画)	98
日時を指定して予約する(日時指定予約)	100
予約の確認・変更・削除や録画停止をする	101
設定済みの予約を確認する	101
一時的に毎週/毎日録画をやめる (予約スキップ)	101
予約一覧から予約の内容を変更する	102
番組表(Gガイド)から予約の内容を変更する	102
番組表(Gガイド)から予約を取り消す (一発キャンセル)	103
“予約一覧”画面から予約を取り消す	103
実行中の予約録画を停止する	103
自動で録画する(お好み録画)	104
“お好み録画設定”画面の見かた	104
お好み録画を登録する	104
登録したお好み録画を変更する	105
番組表(Gガイド)からお好み録画する	105
お好み録画で設定された予約を確認する	106
お好み録画を無効にする	106
お好み録画を削除する	106
自動削除する条件を設定する	106
スカパー!プレミアムサービスLink	107
録画予約についての補足説明	108

もくじ・つづき

9 再生する

再生の前に	111
録画した番組(タイトル)の一覧 ("見る"画面)について	111
再生開始位置について	112
再生する	113
録画した番組(タイトル)を再生する	113
市販のディスクを再生する	115
ブルーレイディスクやDVDを再生する	115
ブルーレイ3D™ディスクを再生する	115
音楽用CDを再生する	116
タイトル番号を指定して再生する	116
いろいろな再生	117
早く見る／聞く(早送り／早戻し)	117
音声付きで早く見る(早見再生)	117
再生を一時的に止める(再生一時停止)	117
ゆっくり見る(スロー／逆スロー再生)	117
コマを進める／戻す(コマ送り／コマ戻し)	117
見たい／聞きたいところまでとばす (スキップ)	117
可変スキップ／可変リプレイ	117
番号や時間を指定してとばす(サーチ)	118
繰り返し見る(リピート再生)	118
録画中の番組を最初から見る (追っかけ再生)	119
他の機器で作成した プレイリストを再生する	119
再生中の各種設定切り換え	120
音声(言語)を切り換える	120
字幕(言語)を切り換える	120
BD-Video特有の字幕などを切り換える	120
カメラアングル(見る角度)や映像を 切り換える	121
再生映像のノイズを低減する (ノイズリダクション)	121
再生映像の標準画質を鮮明な画質に補正する (超解像設定)	121
BD-Videoの子画面の切り換えをする	122
BD-Videoのバーチャル・パッケージを 利用する	122
PINコードの入力画面が表示されたときは	122
JPEG形式の写真を再生する	123
写真を連続して再生する(スライドショー)	123
本機で再生できるJPEGファイルについて	124
AVCHD形式のハイビジョン動画が記録された ディスクを再生する	125
4Kアップコンバート機能を使う	125
再生についての補足説明	126

10 編集する

編集の前に	127
本機でできる編集について	127
文字入力のしかた	127
入力可能な最大文字数について	128
漢字の変換について	128
同じ文字の入力について	128
記号の入力について	128
タイトルをフォルダで管理する	129
フォルダを作る	129
フォルダの名前を変更する	129
フォルダにタイトルを追加(登録)する	129
"すべて"フォルダからタイトルを削除する	130
作成したフォルダからタイトルを削除する	130
フォルダを削除する	131
フォルダの順番を変更する	131
フォルダに入っているタイトルについて	131
不要なタイトルを削除する	132
1タイトルだけ削除する	132
複数のタイトルを一括削除する	132
チャプターを手動で分割・結合する	133
チャプターを分割する	133
チャプターを結合する	134
チャプターを削除する	134
タイトル名を変更する・タイトルを保護する	135
タイトル名を変更する	135
タイトルを保護する／保護を解除する	135
タイトルを分割する	136
タイトルを結合する	137
録画モード(画質)を変換する	138

11 メディアを管理する

メディアを管理する	139
本機でできるメディア管理について	139
メディアの名前を変更する	139
メディアを保護する・保護を解除する	139
本機で記録したディスクを ファイナライズする	140
本機でファイナライズしたディスクの ファイナライズを解除する	140
HDDの録画内容をすべて消去する	140
持ち出し番組を消去する	141
持ち出し番組を確認する	141
カセットHDDの録画内容をすべて消去する (初期化する)	141
ディスクを再フォーマット(再初期化)する	141

12 ダビングする

ダビングの前に.....	142
本機でできるダビングの種類.....	142
“高速ダビング”と“等速ダビング”について... ..	142
「コピー」と「移動」について.....	142
二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、 サラウンド音声、字幕のダビングについて... ..	142
ダビング制限について.....	143
ダビングする.....	146
“見る”画面から簡単にダビングする (“かんたんダビング”).....	146
複数のタイトルをまとめてダビングする.....	147
ダビングリストについて.....	149
ビデオデッキやビデオカメラから本機に ダビングする.....	150
ダビングについての補足説明.....	151

13 ホームネットワークを使う

ホームネットワークを使って再生する.....	152
ネットワーク上の機器から本機に録画する.....	153
本機からネットワーク上の機器にダビングする..	154
タブレットやスマートフォンで視聴する.....	155
持ち出し番組について.....	155
本機で録画したタイトルを視聴する.....	155
現在放送中の番組を視聴する(ライブ配信)... ..	156
録画したタイトルを 持ち出し用に変換する.....	156
持ち出し用に録画予約する.....	157
持ち出し番組を確認する.....	157
持ち出し番組を持ち出す.....	157

14 便利な機能

カンタンメニューを使う.....	158
番組を録画予約する.....	158
録画したタイトルを見る.....	158
ダビングする.....	159
本機や放送局からのお知らせを確認する.....	160
いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)..	161
“本体設定”メニューを使う.....	161
“本体設定”メニューの項目と設定内容.....	161
BD / DVD-Videoの視聴制限を 設定するには.....	167
パスワードを変更するときは.....	167
“本体設定”メニューについての補足説明.....	168

15 ご注意と参考資料

参考資料.....	170
アスペクト比(画面比)について.....	170
本機で使われるソフトウェアの ライセンス情報.....	171

16 さまざまな情報

仕様.....	181
困ったときは.....	183
よくあるご質問.....	183
こんなメッセージが表示されたときは.....	186
おかしいな?と思ったときの調べかた.....	188
用語説明.....	197
さくいん.....	200

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14



15

16

安全上のご注意 必ずお読みください

商品本体および取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明




表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される内容および物的損害 ^{*3} のみの発生が想定される内容を示しています。

※ 1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさしています。

※ 2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさしています。

※ 3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさしています。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁 止	“○”は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	“●”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全上のご注意

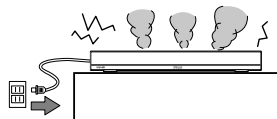
- イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

異常や故障のとき

警告

- 煙が出ている、異臭や音が出るときは、**すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く**

異常のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなる、異臭や音がしないことを確認して販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、**すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く**

ただちに販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

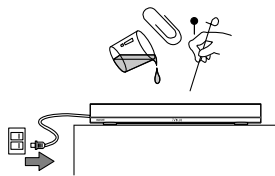


プラグを抜く

警告

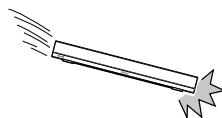
■ 内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

ただちに販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。



■ 本機を落としたり、破損した場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜く

ただちに販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



設置するとき

警告

対象機種：BIV-TW1000

■ 無線 LAN 機能は、医療用電気機器の近くなど、制限されている場所で使用しない

本体からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
病院では、医師、担当者の指示に従ってください。



禁止

対象機種：BIV-TW1000

■ 無線 LAN 機能は、自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない

本体からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



禁止

対象機種：BIV-TW1000

■ 無線 LAN 機能を使用する場合、心臓ペースメーカーを装着している人は、本体を装着部から 22 cm 以上離す

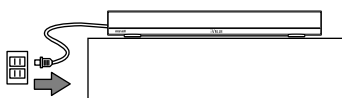
本体からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



指示

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、火災・感電の原因となることがあります。本機は電源が「切」の状態でも、微弱な電流が流れています。



指示

■ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

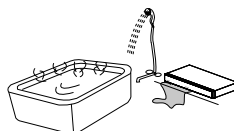
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

■ 水まわり（風呂、シャワー室）など水滴がかかる場所で使用しない

火災・感電の原因となります。



安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

警告

■ 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにした

コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重い物をのせてしまうことがあります。

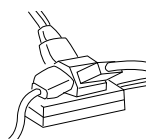


禁止

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V (50/60Hz) 以外では使用しない

たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

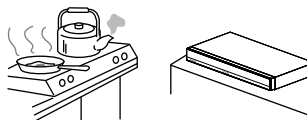


禁止

注意

■ 湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所やエアコンの下など、水滴が落ちる場合のある場所に置かない

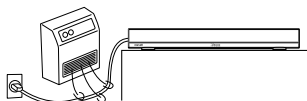
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

■ 電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

■ 移動させる場合は電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- アンテナ線、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してから行ってください。



プラグを抜く

■ 本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。特に次のような使い方はおやめください。故障の原因となります。

- － 本機を上向きや横倒し、下向きにする。
- － 押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- － じゅうたんや布団の上に置く。
- － テーブルクロスなどを掛ける。



禁止

■ 本機を医療機器の近く(同部屋)には設置しないでください

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



禁止

■ アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

- BS・110度CS デジタル放送受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付けてください。



指示

使用するとき

警告

- | | | |
|---|---|---|
| <p>■ 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品や薬品など液体の入った容器を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。</p> |  |  <p>水ぬれ禁止</p> |
| <p>■ 本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない
火災・感電の原因となります。
● 雨天、降雪中での使用は特にご注意ください。</p> |  |  <p>水ぬれ禁止</p> |
| <p>■ 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、乾いた布で拭いて取り除く
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
定期的(年に1回程度)に清掃してください。</p> |  |  <p>指示</p> |
| <p>■ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたり、加熱したりしない
コードが破損して、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。</p> |  |  <p>禁止</p> |
| <p>■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れない
感電の原因となります。</p> |  |  <p>接触禁止</p> |
| <p>■ 本機のトップカバーは開けない
本機を分解、改造しない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p> |  |  <p>分解禁止</p> |
| <p>■ カセット HDD 挿入口やディスクトレイ、ドアの隙間に指などを入れない
カセット HDD 挿入口や内部に指を入れて突起に触れたり、ドアの開閉時に隙間に指を挟んだりすると、けがの原因となることがあります。</p> |  |  <p>禁止</p> |
| <p>■ 乗り物の中で使用しない
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。</p> | |  <p>禁止</p> |
| <p>■ 屋外で使用しない
内部に水や異物が入る可能性があり、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p> | |  <p>禁止</p> |
| <p>■ SD カードは、乳幼児の手の届かない所に置いてください
● 誤って飲み込むと窒息などの原因となります。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、ただちに医師の治療を受けてください。</p> | |  <p>指示</p> |
| <p>■ 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください
● 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、ただちに医師の治療を受けてください。</p> | |  <p>指示</p> |

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

⚠ 注意

■ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



指示

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

■ 電源プラグはゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。



禁止

■ 本機の上に乗らない

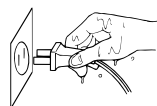
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

■ めれた手で電源プラグを抜き差ししない

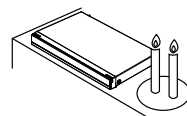
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

■ 機器の近くにローソクなどの裸火を置かない

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

■ 本機の上に重い物を置かない

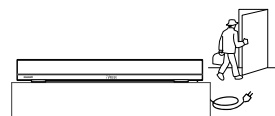
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

■ 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

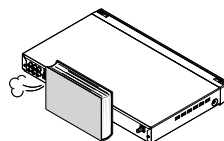
火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

■ 背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがない

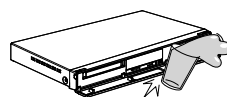
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
これら通風孔とラックとの間は 10cm 以上離してください。



禁止

■ ディスクトレイ開閉口やカセット HDD の挿入口の前にものを置かない

ディスクトレイが開いたときやカセット HDD を取り出した際に、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。



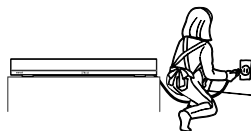
禁止

お手入れするとき

⚠️ 注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

■ 可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点、静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。



禁止

■ 年に一度程度は、内部の掃除を販売店などにご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除作業および費用については販売店などにご相談ください。



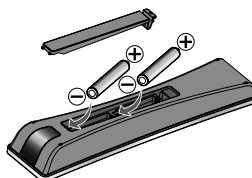
電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲によるけがや失明を避けるため、下記注意事項を必ずお守りください。

⚠️ 警告

■ 間違った電池の使い方をしない

極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、表示どおりに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

- 乾電池は充電しないでください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 火、水の中に入れてください。
- 分解、加熱しないでください。
- 日光、火などの過度の熱にさらさないでください。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。
- 液漏れした電池は使わないでください。
- 使いきった電池は取り外してください。長期間使用しないときも取り外してください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

⚠️ 注意

■ 電池が液漏れしたときは、素手で液をさわらないでください

- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがありますので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になることがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 皮膚に炎症やけがの症状が現われたときには、ただちに医師の治療を受けてください。



禁止

■ 乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。



指示

安全上のご注意 必ずお読みください・つづき

お守りください

- **高温になるところに置かないでください**
直射日光が当たる場所や熱器具の近くなどに設置されると、変形・変色など悪い影響を与えますのでご注意ください。
- **超音波式加湿器のそばに置かないでください**
超音波式加湿器をご使用の場合、水質によっては水道水に含まれるカルキやミネラル成分がそのまま霧化され、本機内部に白い粉状のものが入り込んで故障の原因になる恐れがありますのでご注意ください。
- **カセット HDD 挿入口に異物を挿入しないでください**
カセット HDD 以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- **SD カード挿入口に異物を挿入しないでください**
SD カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。microSD カードをご利用の場合は、SD カード変換アダプターに装着してご利用ください。
- **USB 端子に異物を挿入しないでください**
USB 機器以外のものを接続しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- **miniB-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください**
miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- **輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください**
 - 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。
 - 立てたままの輸送はおやめください。
- **お手入れの際、アルコール、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください**
 - 本機をアルコール、ベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
 - 操作パネル部分の汚れは、柔らかいきれいな布（生地の表面が起毛された綿素材など）で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水で 100 倍以上に薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
 - 酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど
- **洗剤を直接本機にかけないでください**
水滴が内部に入ると、故障の原因になります。



3D 映像を見るときは

本機で3D 映像を楽しむときには、以下の点にご注意ください。また、3D 対応テレビや 3D メガネの取扱説明書もお読みください。

- てんかんの可能性、光過敏症の既往症、心臓の疾患がある方、体調不良の方は 3D 映像の視聴はお控えください。症状悪化の原因となることがあります。
- 3D 映像は適正な位置・適正な姿勢で視聴することをお勧めいたします。
- 3D (立体) 映像を視聴したとき映像が二重に見えたり、立体像が感じにくい場合は、直ちに使用を中止し、表示機器やソフトの設定に間違いがないか確認してください。それでも二重像に見えたり違和感を感じる等、立体視が成立しない場合は、利用を中止してください。
- 3D 映像の視聴年齢は、6 歳以上を目安にしてください。お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいので、急に体調が悪くなる場合があります。お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。
- 3D 映画などを視聴する場合は一作品の視聴を目安に適度に休憩をとるようにしてください。長時間の視聴は視覚疲労の原因となることがあります。
- 3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じるときは、視聴を中止してください。そのまま視聴すると、体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。
- 薬剤を常用している場合は、映像視聴による影響を強く受ける可能性があります。何らかの異常を感じた場合には使用を中止してください。
- 見え方には個人差があります。体調がすぐれないとき、または視聴中に体調の変化を感じたときには視聴をお控えください。



● 「安全上のご注意」をお読みになったあとは → 「使用上のお願い」(p.15) も同様に、必ずお読みください。

使用上のお願い 必ずお読みください

■ 免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

HDD およびカセット HDD についての重要なお願い

HDD は衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことにお気をつけください。

- 振動や衝撃を与えないでください。（特に動作中）
- 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
- 本機は水平に置いてください。
- 背面の内部冷却用ファンの通風孔をふさがないでください。
- 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
- 電源を入れたままの状態でも電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ず電源ボタンを押して、終了処理が終わり、完全に電源が切れてから抜くようにしてください。録画中に電源プラグを抜いたりブレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。

HDD は非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなるおそれもあります。このため HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとに、ディスクなどにダビングするまでの、一時的な保管場所として使用してください。

また、HDD 内に壊れかけている部分があると、録画した場合には、その部分にブロックノイズ（四角いノイズ）が出たり、音声の乱れが発生することがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきたり、最悪の場合、HDD 全体が使えなくなってしまうおそれがあります。こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に複数の違う媒体にダビングしてください。パソコンと同様に、HDD は壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。複数の違う媒体へのバックアップを前提のうえで使用してください。

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- “高速起動”を設定している時間帯はコンセントは抜かないでください。故障の原因となります。
- 移動させるときは…
引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。
- 本機を立てて輸送はしないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因になります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取扱ってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないときは…
カセット HDD やディスクを取り出し、電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは…
電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。カセット HDD やディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがや故障の原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

使用上のお願い 必ずお読みください・つづき

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体のよごれはやわらかい布（ガーゼ等）で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
- 操作パネル部分の汚れは、柔らかいきれいな布（生地が表面が起毛された綿素材など）で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水で100倍以上に薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷付きの原因となりますので使用しないでください。
酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど
- 油污れ等が付いたときは、弱い中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に含ませたものを固く絞って使用し、その後、温水を含ませて固く絞った布で十分に拭き取ってください。ただし、わずかに表面が変質する事がありえる事は予めご承知ください。

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続した場合、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなることがあります。この場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をご覧ください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合、受信状態は改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

音量について

- 市販のBD / DVD-Video の中には、音量が音楽用CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。



大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめてください。本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、飛んだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限（録画禁止など）があるものがあります。この場合、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- 大切な録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。ただし、コンテンツ保護のため「1回だけ録画可能（コピーワンス）」番組などの録画はバックアップをとることはできません。

停電について

- 本機の録画中に停電があった場合その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。

再生するときの制約

- 市販のBD / DVD-Video などは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生するため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の取扱説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に「」が表示されることがあります。「」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作ができないことを示します。
※ AAC（ブルーレイディスクのコンテンツ保護技術）の運用上の制限により、市販のブルーレイソフトを本機で再生した場合、映像出力端子からの映像は出力されません。

録画・録音するときの制約

- **本機では、DVD には直接録画できません。**
- **本機では、デジタル放送を録画モード「XP」～「EP」で直接録画できません。**
- 市販されているコピーが禁止されたBD / DVD-Video、音楽用CDの内容を、本機でコピーすることはできません。
- 「1 回だけ録画可能(コピーワンス)」番組や「ダビング10(コピー9回+移動1回)」番組^{*1}は、HDD やカセットHDD、またはBD-RE / BD-Rに録画できますが、DVD-RW / DVD-R(ビデオフォーマット)への録画はできません。(CPRM^{*2}対応のDVD-RW / DVD-R(VRフォーマット / AVCRECTMフォーマット)にはダビングできます。)
- BD / DVD-Video にはダビング(移動やコピー)できません。
- HDD に録画した「1 回だけ録画可能(コピーワンス)」番組は、カセットHDD やBD-RE / BD-R またはCPRM^{*2}対応のDVD-RW / DVD-R (VRフォーマット / AVCRECTMフォーマット)へのダビングは、移動は可能ですが、コピーはできません。
- HDD に録画した「ダビング10」タイトルは、カセットHDD やBD-RE / BD-R またはCPRM^{*2}対応のDVD-RW / DVD-R (VRフォーマット / AVCRECTMフォーマット)へのダビング(移動やコピー)は、回数に制限があります。
- 「1 回だけ録画可能(コピーワンス)」番組、「ダビング10」番組ともにダビングの際やその他の編集制限があります。詳しくは「ダビングの前に」(p.142～p.145)をご覧ください。

※1 「ダビング10」及び条件については、「録画するメディアを選ぶ」(p.80)をご覧ください。

※2 CPRM や各ディスクについては、「DVD の録画方式(AVCRECTM、VR、Video)について」(p.77)、CPRM (p.198)をご覧ください。

地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。(ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。)
- 地上デジタル放送の特長
 - ① デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
 - ② 高音質放送(MPEG-2 AAC方式)
 - ③ ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
 - ④ データ放送や双方向通信サービス
(通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送などがご覧いただけます。また、インターネット回線を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども楽しめます。)
 - ⑤ 移動体受信・部分受信サービス
(本機では部分受信サービスは受信できません。)

結露(露付き)について

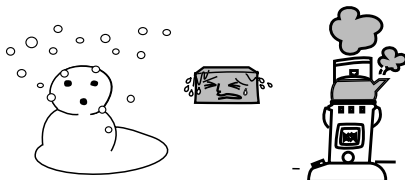
結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

- 例えば、よく冷えたビールをコップにつくと、コップの表面に水滴がつきます。これを「結露(露付き)」といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。



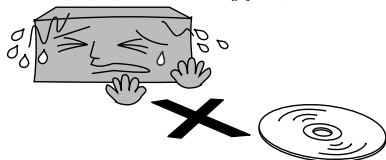
“結露”はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき



結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

- 結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。時間を置いて、結露がなくなってからお使いください。



クリーニングディスクについて

市販のレンズクリーニングディスクをご使用になる場合は、日立マクセル製ブルーレイレンズクリーナー「型番BDRO-CL(S) / BDRO-CW(S) / BDRO-DW-WP(S)」をお使いください。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、各種“初期化”(p.166)を行い、パスワードや個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままで譲渡すると、著作権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。また、お客様または第三者が本機を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失する恐れがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
- miniB-CASカードの廃棄に関しては、付属のminiB-CASカードの台紙に記載の「B-CASカード使用許諾契約約款」に従ってください。

使用上のお願い 必ずお読みください・つづき

無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

- 本製品の無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性がありますので、他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定の小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、当社「お客様ご相談センター」（連絡先：(03) 5213-3525）にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
- 3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、お困りのことが起きた場合は、当社「お客様ご相談センター」（連絡先：(03) 5213-3525）にご連絡ください。

■ 無線 LAN の周波数表示の見かた

（本製品裏面パネルに記載）



2.4 GHzの帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 機器認定

- 本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品の使用について無線局の免許は必要ありません。ただし本製品の分解や改造、認証ラベルをはがすことは禁止されています。

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により本機の 5 GHz 帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 無線 LAN の仕様

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n
使用周波数範囲 / チャンネル (中心周波数)	2.412 GHz ~ 2.472 GHz / 1 ~ 13ch 5.180 GHz ~ 5.240 GHz / W52: 36, 40, 44, 48ch 5.260 GHz ~ 5.320 GHz / W53: 52, 56, 60, 64ch 5.500 GHz ~ 5.700 GHz / W56: 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch
セキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES) WPA-PSK(TKIP/AES) WEP(64bit/128bit)

■ セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくともなくなります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、本製品をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルに従って行ってください。なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、当社「お客様ご相談センター」（連絡先：(03) 5213-3524）までお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)
「無線 LAN のセキュリティに関するガイドライン」より

著作権について

- コンテンツ保護されたディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
 - ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および / またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。G ガイドは、米国 Rovi Corporation および / またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。本機は、Rovi Corporation ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は Rovi Corporation の認可が必要であり、Rovi Corporation の認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
 - 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
 - 本製品は、AVC Patent Portfolio License および VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
 - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合
- 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
 - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
 - For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS 2.0+Digital Out is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray (ブルーレイ)、Blu-ray 3D™ (ブルーレイ 3D)、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™ 及び関連ロゴはブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- スカパー！ および「スカパー！ プレミアムサービス Link」ロゴは、スカパーJSAT株式会社の商標です
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- “AVCHD 3D/Progressive” および “AVCHD 3D/Progressive” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- 「iVDR」と **iVDRM** は、「iVDR 技術規格」に準拠することを表す商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED® are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の認証マークです。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 1996-2014 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™

NetFront® Browser DTV Profile

- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

HDD / カセット HDD (iVDR) について

重要 必ずお読みください

HDD / カセット HDD (iVDR) の取扱いについてのお願い

本機に内蔵の HDD および別売のカセット HDD は非常に精密な機器です。使用する環境や取扱いにより HDD / カセット HDD の動作および寿命に影響を与える場合がありますので、次の内容を必ずお守りください。

カセット HDD 取扱説明書に記載されている注意表示も必ずお守りください。

■ 設置時

- 背面や側面の通風孔をふさがないでください。
- 振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
- ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
- 「結露」(露付き)が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。詳しくは、「結露(露付き)について」(p.17)をご覧ください。
- 温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると録画、再生不良が発生したり、故障の原因になります。
- 安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。

■ 動作中

- 電源プラグを抜かないでください。
- 振動や衝撃を与えたり、本機を移動させたりしないでください。
移動するときには……① カセット HDD アクセス(動作中)ランプが消灯していることを確認し、カセット HDD を取り出す。
内蔵 HDD が動作しているときは停止する。
“待機設定”を“高速起動”以外に設定する。
② 電源ボタンを押してスタンバイ状態にする。
③ 2分以上待ってから電源プラグをコンセントから抜き、本体を動かす。

カセット HDD アクセス(動作中)ランプ (p.23) が赤色で点灯中のときは、カセット HDD を抜かないでください。カセット HDD の記録内容が損傷し、録画や再生ができなくなる可能性があります。

お知らせ

- 本機に電源が入っている間、HDD / カセット HDD は高速で回転しています。起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。
- データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。
- 振動や衝撃によって、HDD / カセット HDD が正常に動作しない場合があります。

■ 停電が発生した場合

- 記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、HDD / カセット HDD の録画内容が損なわれる可能性があります。

■ 故障時のお願い

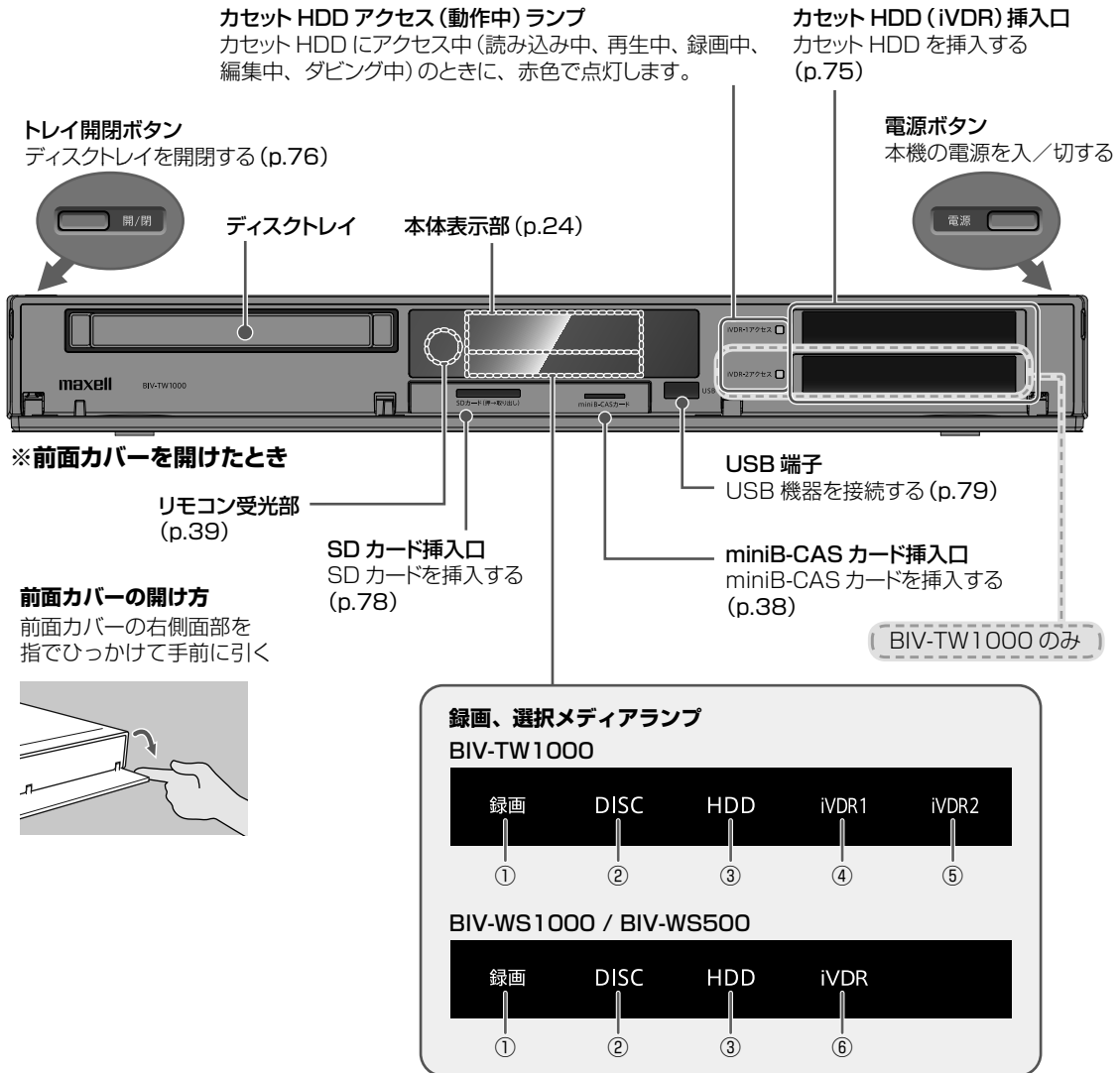
- 再生画面が一時停止したり乱れが頻繁に発生する場合は、HDD / カセット HDD の故障が考えられます。
このような場合は HDD / カセット HDD の交換が必要です。
- 故障した HDD / カセット HDD を交換する場合、HDD / カセット HDD の録画内容を新しい HDD / カセット HDD に移すことはできません。
- カセット HDD の故障時は、カセット HDD の保証書をご覧ください、保証書に記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

■ 大切な映像を保存するために

- 故障の場合、HDD / カセット HDD の録画内容が損なわれることがあります。大切な映像を録画する際は、別のカセット HDD やブルーレイ / DVD ディスクなど複数のメディアにバックアップされることをおすすめします。
- カセット HDD / ブルーレイ / DVD ディスクに正常に録画された映像は、本体機器を買い替えなどで交換しても、対応機器であれば再生することができます。

万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合の内容（データ）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本体前面



■ 録画、選択メディアランプ

- ① 録画: 録画中またはダビング中のときに、赤色で点灯します。
※録画が一時停止状態のときは、赤色で点滅します。
- ② DISC: DISC モードのときに、青色で点灯します。
- ③ HDD: HDD モードのときに、橙色で点灯します。
- ④ iVDR1: iVDR1 モードのときに、緑色で点灯します。(BIV-TV1000)
- ⑤ iVDR2: iVDR2 モードのときに、緑色で点灯します。(BIV-TV1000)
- ⑥ iVDR: iVDR モードのときに、緑色で点灯します。(BIV-WS1000 / BIV-WS500)

各部の紹介・つづき

本体表示部



本体表示部

DUB : ダビング中に点灯

↓D : ダウンロード更新のソフトウェアバージョンアップ中や、番組データ取得中、録画モード変換中に点灯

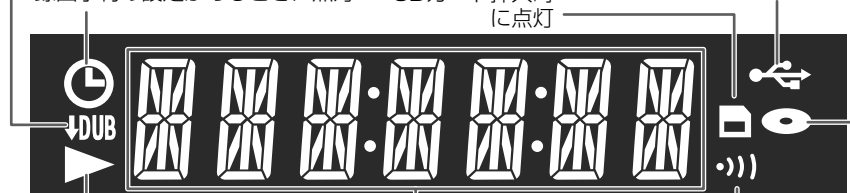
D : DLNA配信中に点灯

録画予約の設定があるときに点灯

SDカード挿入時に点灯

ディスク挿入時に点灯

USB機器を接続したときに点灯



メディアが再生中に点灯
(再生一時停止中は点滅)

無線 LAN接続中に点灯 (BIV-TW1000のみ)

本機の動作など

HELLO	電源が入ったとき
BYE	電源が切れるとき
OPEN	ディスクトレイが開くとき
CLOSE	ディスクトレイが閉まる時
LOADING	ディスク読み込み中
WAIT	録画停止処理中や電源コンセントに電源コードをつないだとき、停電から復帰したとき (表示が消えるまで、本機の操作はできません。)

チャンネル/外部入力

D16 011	地上デジタル放送のチャンネル (例:011チャンネル)
B5 101	BS デジタル放送のチャンネル (例:BS101チャンネル)
C5 001	110度CS デジタル放送のチャンネル (例:C5 001チャンネル)
L1	外部入力(L1入力)

現在時刻、カウンター、ワンタッチタイマー録画の録画時間

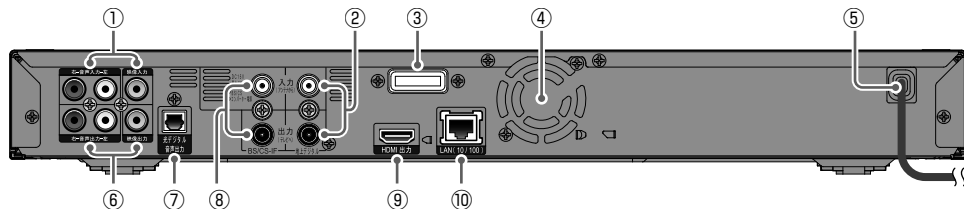
- 電源が切のときは、現在時刻を表示
- 電源が入のときは、テレビ画面に映している映像によって、表示が切り換わる
 - 本機選局中のテレビ/外部入力の映像を映しているとき
チャンネル/外部入力を表示
 - 録画中、再生中の映像を映しているとき
カウンターを表示(時間:分:秒)
- ワンタッチタイマー録画中は、録画が終了するまでの時間を表示

ご注意

- 本体表示部の“↓D”表示中は動作音が大きくなるありますが、故障ではありません。

本体背面

■ 端子の種類を確認する (イラストは BIV-TW1000 です。)



① 入力端子

スカパー！専用チューナー、CATV (ケーブルテレビ) のホームターミナル／セットトップボックスや、他機の映像を録画したいときに、機器を接続します。(p.31、32、37)

② 地上デジタルアンテナ線入力／出力端子

地上デジタル放送を見たり録画するときに、地上デジタル放送対応のアンテナ線をつなぎます。(p.16、27、28、30、31)

③ 無線 LAN ユニット (BIV-TW1000 のみ)

ネットワークと無線で接続します。(p.34、35)

④ 冷却用ファン

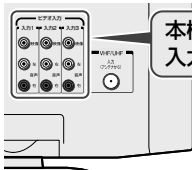
⑤ 電源コード

アンテナ線やテレビなど、必要な接続が終わってからつなぎます。(p.38)

⑥ 出力端子*

テレビの映像 (黄) 入力・音声 (赤／白) 入力端子とつなぐときに使います。(p.29、30、32)

テレビの映像・音声入力端子と本機を接続すると、テレビで本機の映像・音声を出力することができます。



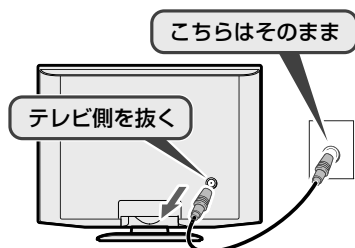
本機の出力端子をテレビの入力端子につなぎます。

※ AAC (ブルーレイディスクのコンテンツ保護技術) の運用上の制限により、市販のブルーレイソフトを本機で再生した場合、映像出力端子からの映像は出力されません。

■ アンテナ線をはすず (テレビ側)

テレビの電源を「切」の状態にします。電源プラグを先にコンセントから抜きます。そのあと、アンテナ線をはすずします。

- 録画機能のあるテレビが録画中の場合は、テレビからアンテナ線をはすすと正しく録画ができません。本機にアンテナ線を接続する時は、お持ちのテレビが録画中となっていないか確認してください。



こちらはそのまま

テレビ側を抜く

⑦ 光デジタル音声出力端子

光デジタル音声入力端子のあるデコーダー内蔵 AV アンプなどの機器と接続します。(p.36)

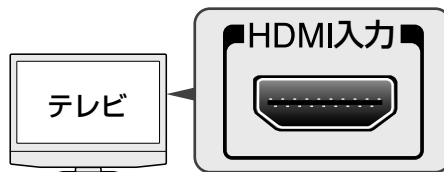
⑧ BS・110度 CS アンテナ線入力／出力端子

BS・110度 CS デジタル放送を見たり録画するときに、BS・110度 CS デジタル放送対応のアンテナ線をつなぎます。(p.16、27、28)

⑨ HDMI 出力端子

テレビの HDMI 入力端子につなぐときに使います。デジタルハイビジョンの映像や音声を、他の端子よりも高画質／高音質*で楽しめます。(p.29、36)

お使いのテレビに「HDMI 入力」端子があるときは、HDMI ケーブル (市販品) のご使用をおすすめします。音声と映像の接続が 1 本のケーブルで行えます。



*つなぐテレビの性能にもよります。

⑩ LAN 端子

ネットワークと有線で接続します。(p.34、35)

⚠ ご注意

- 本体内部の放熱をよくするために、本体背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10cm 以上空けてください。

💡 メモ

- 本体背面の冷却用ファンは、本体の電源が「入」および「高速起動」設定時間帯に常時回ります。

接続の進めかた

アンテナ線をつなぎます。



本機とテレビをつなぎます。



(必要に応じて)

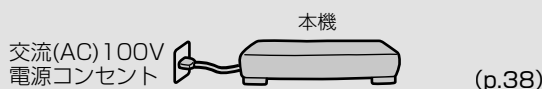
BD-Live™ やスカパー! プレミアムサービス、ネットワーク機能、ブロードバンドを利用したいときはネットワークにつなぎます。(p.34, 35)

すべての接続が終わったら

mini-B-CAS (ミニビーカス) カードを入れます。(p.38)

すべての接続が終わったら

電源コードをコンセントに差し込みます。



これで準備 (接続) は終わりです。基本設定に進んでください。

つなぐときのご注意

- 接続するときは、必ず本機および接続するテレビやモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。(p.38)

- テレビから外したアンテナ線の形状、コネクター部分が以下のようなとき



ネジ式 F 型
コネクター

地上デジタル放送用アンテナとの接続には、同軸タイプのアンテナケーブルをおすすめします。今まで使っていた、または市販のアンテナケーブルがネジ式の F 型コネクタータイプの場合は、

本機につなぐときに工具を使って強く締めつけなくてください。工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子、本機の地上デジタル入力/出力端子や BS・CS 110 度入力/出力端子などが破損するおそれがあります。



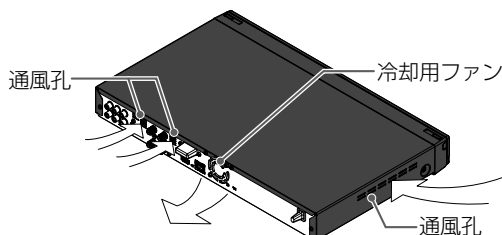
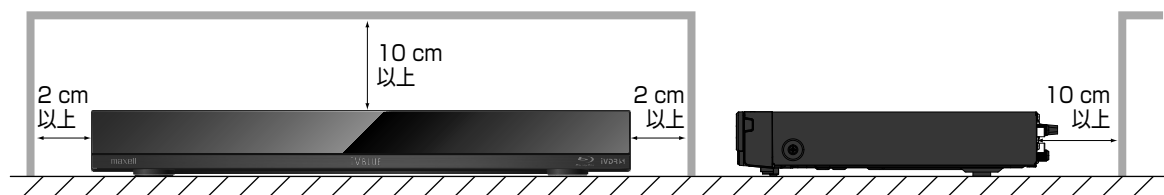
本機に付属のデジタル放送対応アンテナケーブルのプラグ部分がお持ちのテレビの地上デジタル (UHF) 端子と合わないことがあります。その場合は、端子に合った市販のデジタル放送対応アンテナケーブルをお買い求めください。

- BS・110 度 CS デジタル放送共通アンテナをつないだとき
BS・110 度 CS デジタル放送共通アンテナに電源を供給する設定をします。(p.46)

据え付けについて

据え付けるときのご注意

- ① 本機の周囲は放熱のための空間を十分に確保してください。
- ② 密閉したケースや棚などに設置したり、通風孔をふさいだらすると内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- ③ 強い衝撃や振動が加わらない場所に設置してください。内蔵 HDD やカセット HDD に衝撃や振動が加わると、録画再生不良が発生しやすくなります。また、故障の原因となります。
- ④ 性能や安全性を維持するために、本機は床置きで使用しないでください。



⚠ 注意

通風孔をふさがないように据え付けてください。通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

アンテナ線を本機につなぐ

ご自宅のアンテナの状況に応じて、アンテナ—本機—テレビ間でアンテナ線をつないでください。

CATV(ケーブルテレビ)で受信している場合は

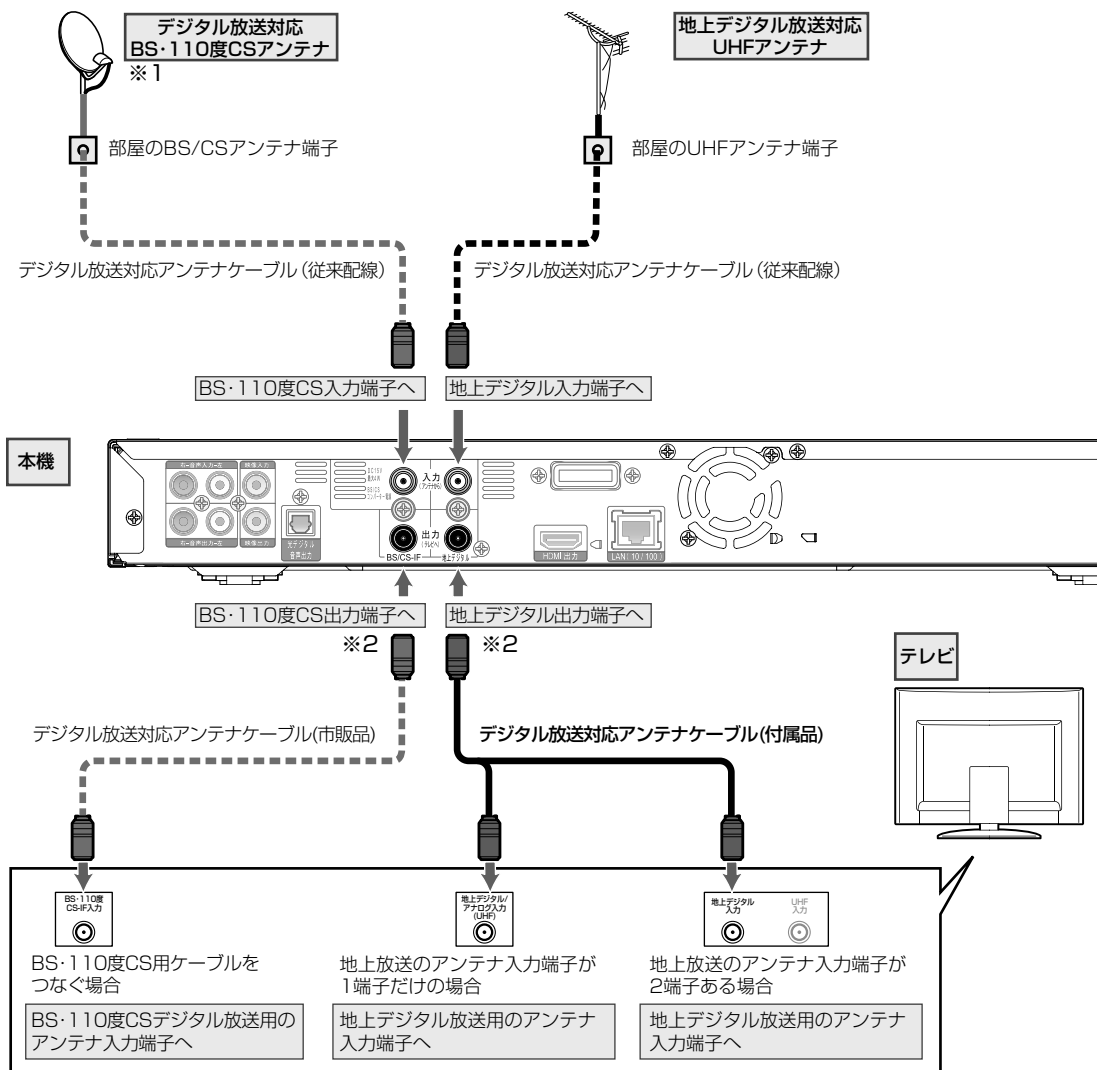
「CATV(ケーブルテレビ)で受信している場合」
(p.30)をご覧ください。接続してください。

- デジタル放送用のアンテナやケーブルやプラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 受信する放送の種類によっては、BS・CS / U・V 分波器(市販品)が必要です。
- BS・110度CS デジタル放送を受信しない場合は、BS・CS 関連のケーブルや BS・CS / U・V 分波器の接続は不要です。
- BS・110度CS アンテナは電源の供給を必要とします。本機は BS・110度CS デジタル放送用アンテナへ電源の供給ができます。詳しくは「BS・110度CS デジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする」(p.49)をご覧ください。

2

接続

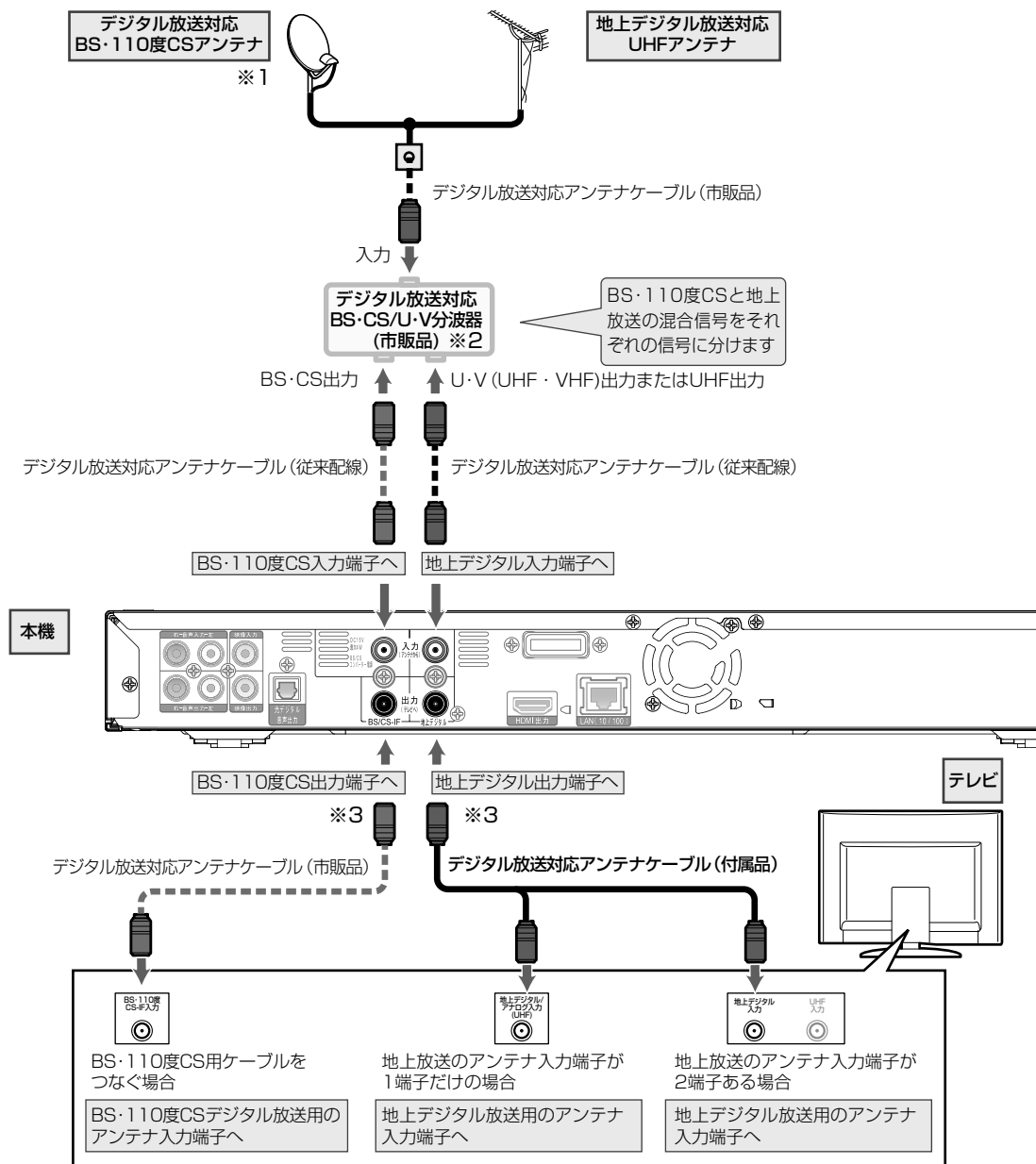
地上デジタル放送と BS・110度CS デジタル放送のアンテナ線が別々に部屋まで来ている場合



- ※ 1 BS・110度CS アンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ※ 2 本機の地上デジタル出力端子や BS・110度CS 出力端子からテレビに接続しているときは、「アンテナ出力」を「入」に設定してください。(p.41、47)

アンテナ線を本機につなぐ・つづき

集合住宅などで地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ線が1つになって部屋まで来ている場合



- ※ 1 BS・110度CSアンテナは、方向や角度がわからなくてもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- ※ 2 分波器 (市販品) には、ケーブル一体型のもや3分波タイプのものもあります。どのタイプの分波器を選べば良いかわからないときは、お買い求めになる販売店にご相談ください。
- ※ 3 本機の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子からテレビに接続しているときは、“アンテナ出力”を“入”に設定してください。(p.41、47)

本機をテレビにつなぐ

テレビの接続端子に合わせて、映像・音声のコードをつないでください。

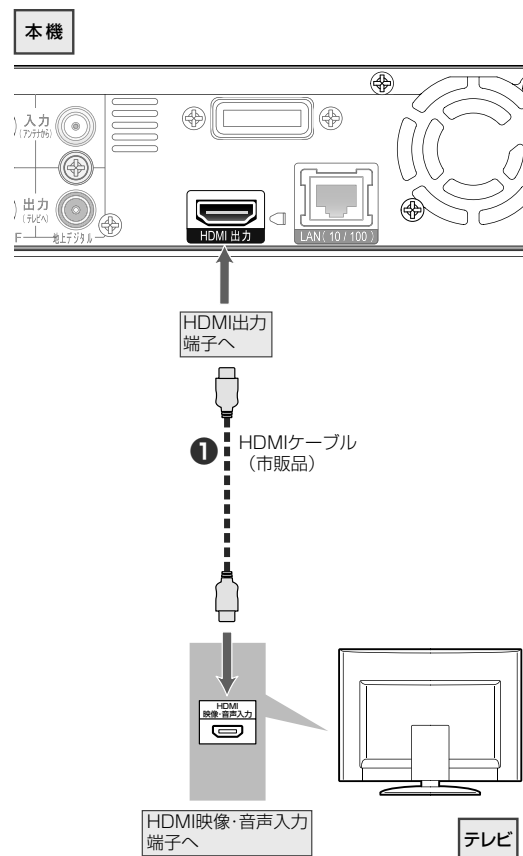
ハイビジョン画質 HDMI 入力端子付きテレビとつなぐ…… ① だけをつなぎます。

- 映像・音声信号をケーブル 1 本でつなぐことができ、高画質・高音質な再生が楽しめます。また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送の HD 放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。
- 本機を 4K 対応テレビと接続すると、映像を 4K 出力することができます。(p.125)
- 本機を CEC リンク対応テレビと接続すると、CEC リンク機能が使えます。(p.57)

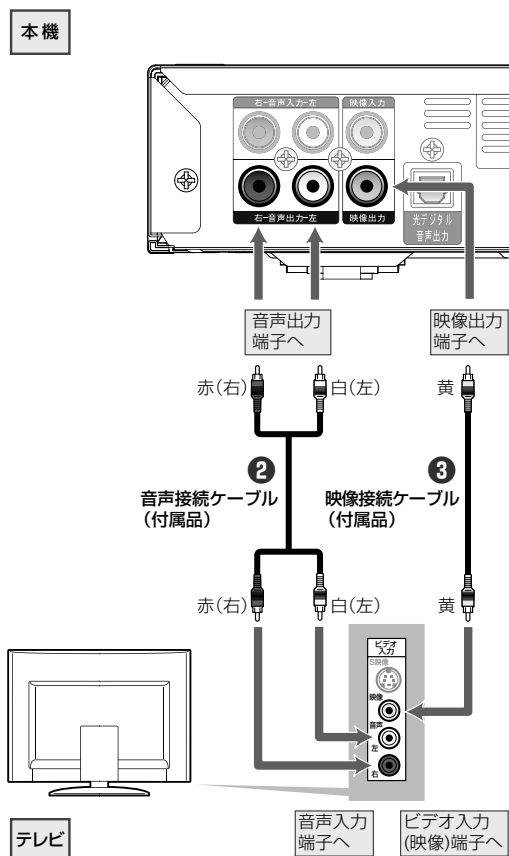
映像・音声接続ケーブルでつなぐ…… ② と ③ をつなぎます。*

- HDMI 入力端子付きでないテレビとつなぐとき、または HDMI ケーブルをお持ちでない場合は、こちらの方法でつないでください。

HDMI 入力端子付きテレビとつなぐ



映像・音声接続ケーブルだけでつなぐ*

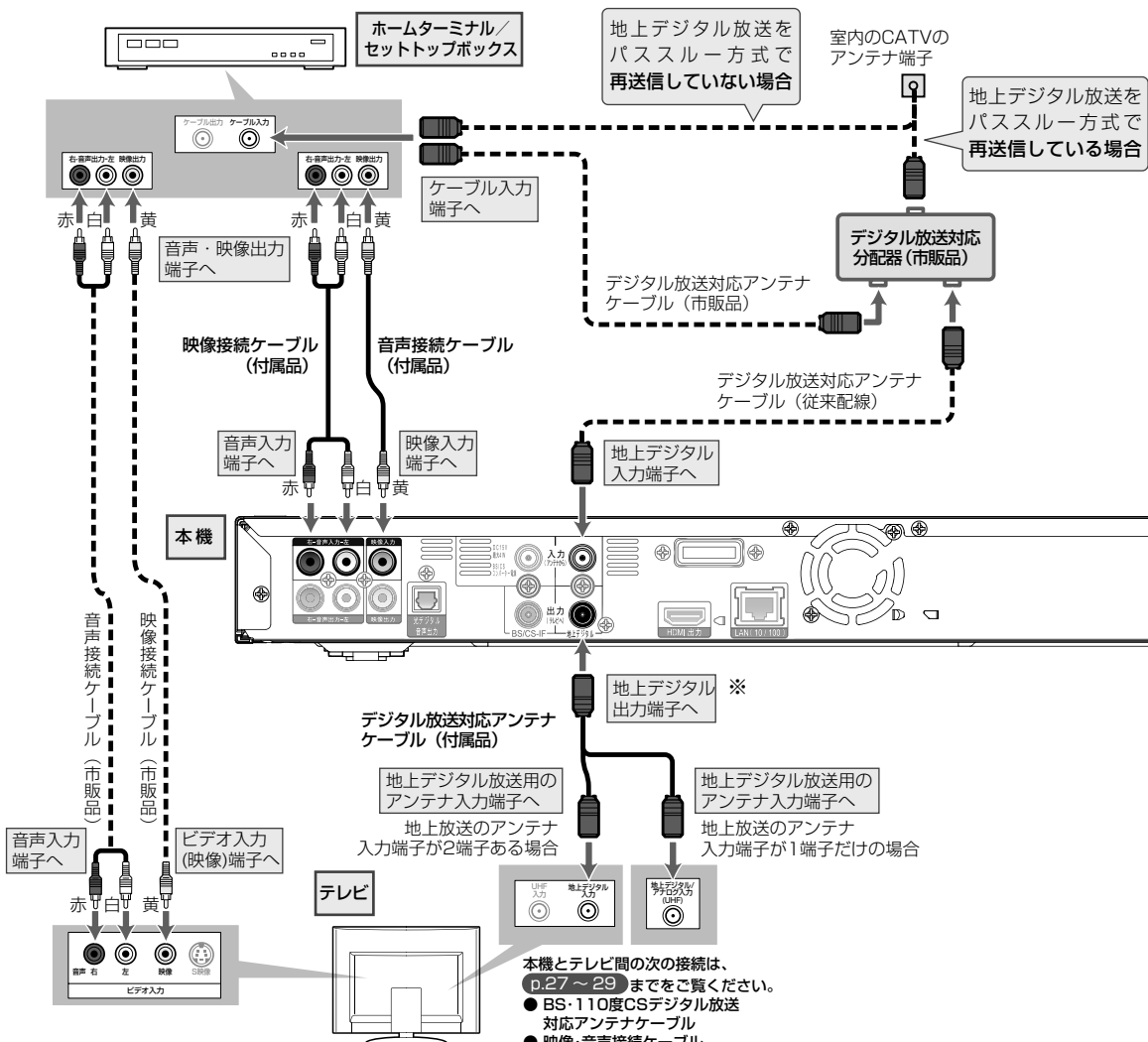


※ AAC (ブルーレイディスクのコンテンツ保護技術) の運用上の制限により、市販のブルーレイソフトを本機で再生した場合、映像出力端子からの映像は出力されません。

ご注意

- HDMI ケーブルまたは映像・音声接続ケーブルのどちらかでつないでください。
- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に準拠した HDMI ロゴのある High Speed HDMI ケーブルをご使用ください。
- HDMI ケーブルは、コネクタ部の大きさや形状によって接続できないことがあります。
- 本機の HDMI 出力端子は、DVI 入力端子付きディスプレイモニターや DVI-HDMI ケーブルには対応していません。HDMI 入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI 規格に準拠していれば利用できます。
- 映像・音声接続ケーブルでつなぐ場合は、本機とテレビを直接つないでください。
- 映像・音声接続ケーブルを使って、本機からの映像を他機を通してご覧になると、コピー防止機能によって正常な映像にならないことがあります。
- 本機の HDMI 端子を変換ケーブルなどを使ってテレビやモニターの DVI 端子に接続した場合、映像を出力することはできません。

CATV のホームターミナル／セットトップボックスで接続している場合



※ 本機の地上デジタル出力端子からテレビに接続しているときは、“アンテナ出力”を“入”に設定してください。(p.41、47)

ご注意

- 地上／BS・110度CSデジタル放送をCATVのホームターミナルやセットトップボックス経由で録画したときは、HD放送でも標準(SD)画質での録画となります。ハイビジョン(HD)画質での録画はできません。

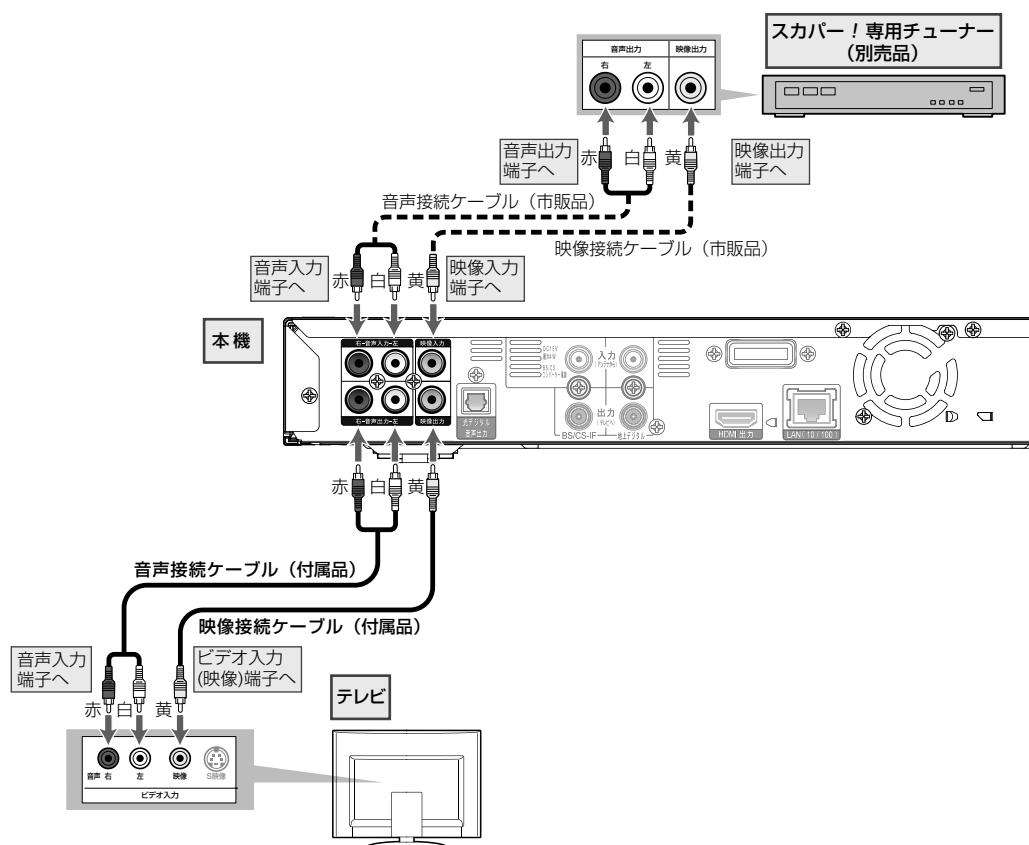
メモ

- パススルー方式とは、CATV会社が地上デジタル放送信号を変換せずに、そのままテレビに送信する方式です。

本機をテレビにつなぐ・つづき

スカパー！専用チューナーをつなぐ

スカパー！をご覧になるには、あらかじめ対応チューナー（別売り）とアンテナ、および視聴契約が必要になります。



⚠️ ご注意

- 本接続は、スカパー！専用チューナーのアナログ映像出力から標準(SD)画質での録画となります。

💡 メモ

- 本機とスカパー！プレミアムサービス対応チューナーをLANケーブルでつなぐと、ハイビジョン画質で録画することができます。(p.35)

本機をネットワークにつなぐ

本機と DLNA 対応機器をホームネットワークでつなぐことで、本機と接続機器間で記録したタイトルを再生したりダビングしたりすることができます。ブロードバンド環境をお持ちの場合は、本機をハブまたはブロードバンドルーターなどを経由してつなぐことでデータ放送や双方向通信および BD-Live™ 機能など、インターネットを利用したサービスが楽しめるようになります。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。

■すでにブロードバンド環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
 - 回線業者やプロバイダーとの契約
 - 必要な機器の準備
 - ADSL モデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSL モデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付き ADSL モデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- ADSL 回線をご利用の場合は
 - ブリッジ型 ADSL モデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
 - USB 接続の ADSL モデムなどをお使いの場合は、ADSL 事業者にご相談ください。
 - プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
 - ADSL モデムについてご不明な点は、ご利用の ADSL 事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
 - ADSL の接続については専門知識が必要なため、ADSL 事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線業者へお問い合わせください。
- 本機は公衆無線 LAN には対応していません。

■ブロードバンド環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線業者と別途ご契約（有料）する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線業者にお問い合わせください。

📌 ご注意

- 本機をネットワーク接続したときは、“本体設定”でネットワーク接続の設定が必要です。(p.52)
- LAN ケーブルは、カテゴリ 5 以上対応のストレートケーブル（市販品）をご使用ください。

📌 メモ

- LAN 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離れてみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機の MAC アドレスが必要な場合は、**ホーム** → “設定” → “本体設定” → “ネットワーク設定” → “ネットワークステータス表示” 画面で確認できます。(p.165)
- パソコンや外出先などから本機を遠隔操作することはできません。

BD-Live™ について

本機は、BD-Live™ 機能付きの BD-Video (BD-ROM Profile 2.0) に対応しています。

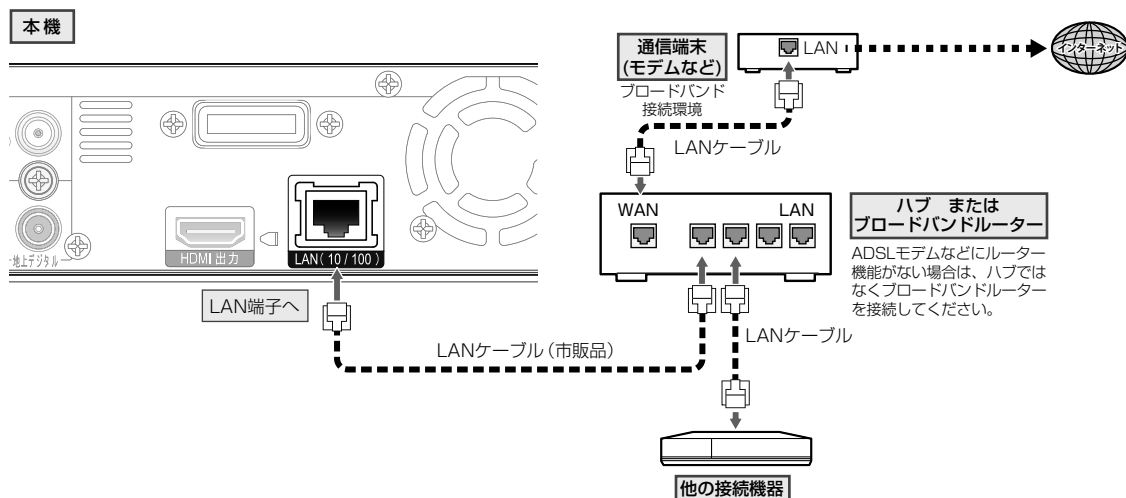
本機をインターネットに接続することで、特別映像や字幕などの追加コンテンツや、ネットワーク対戦ゲームなど、様々な機能を楽しむことができます。

- BD-Live™ で利用できる様々な機能は、ディスクにより異なります。くわしい機能や動作については、それぞれのディスクの画面表示や説明をご覧ください。
- BD-Live™ 機能を利用するには、本機をインターネットに接続し、必要な設定を行ってください。接続のしかたについては「ブロードバンド環境がある場合」(p.34)を、設定のしかたについては「ネットワークの設定をする」(p.52)をご覧ください。
- ディスクによっては、“BD-Live 接続設定” (p.165) を変更する必要があります。
- “インターネット接続制限”が“制限する”に設定されている場合は、BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスができません。
- お使いのネットワーク環境によっては、ネットワーク接続に時間がかかったり、接続できなかったりする場合があります。
- BD-Live™ 対応ディスクの再生中、レコーダーまたはディスクの識別 ID がコンテンツプロバイダーに送信されることがあります。インターネット接続を制限するには、“BD-Live 接続設定” (p.165) を変更してください。

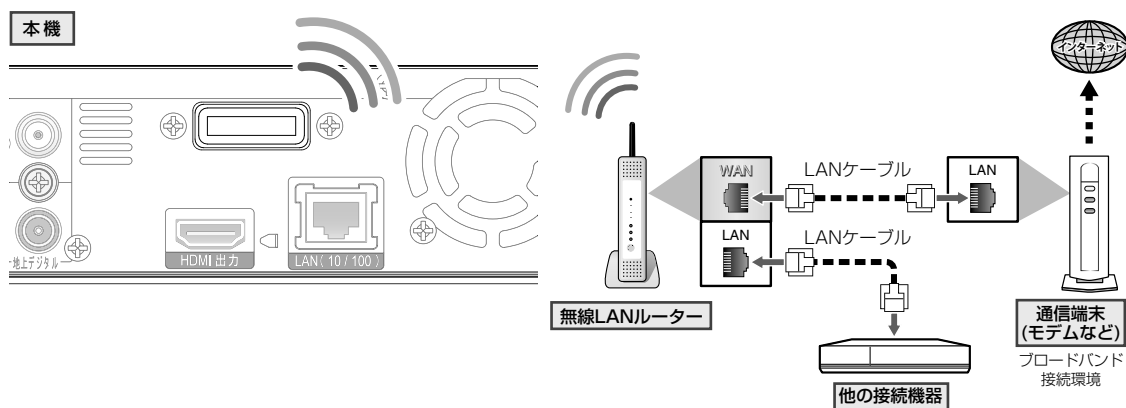
本機をネットワークにつなぐ・つづき

ブロードバンド環境がある場合

■ 有線でつなぐとき



■ 無線でつなぐとき (BIV-TW1000 のみ)



⚠️ ご注意

- 本機からはインターネットを使用してウェブサイトを開覧することはできません。

対象機種：BIV-TW1000

- “有線 LAN” と “無線 LAN” は同時に利用できません。どちらで通信するかは、“ネットワーク接続設定” で設定してください。「ネットワークの設定をする」(p.52)

本機にスカパー！プレミアムサービス対応チューナーをつなぐ

スカパー！プレミアムサービスをご覧になるには、あらかじめ対応チューナー（別売品）とアンテナ、およびスカパー！プレミアムサービスとの視聴契約が必要になります。

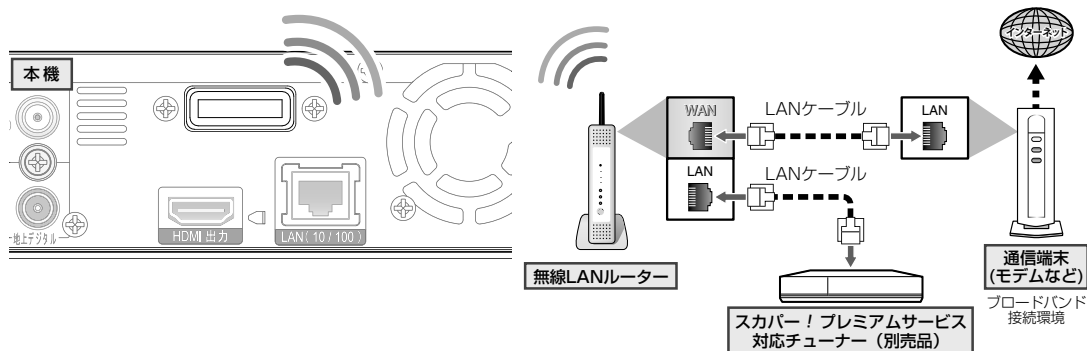
必要な設定

- “本機をネットワークに接続する” (p.52 ~ 55)
- “ネットワーク機能設定” (p.56)

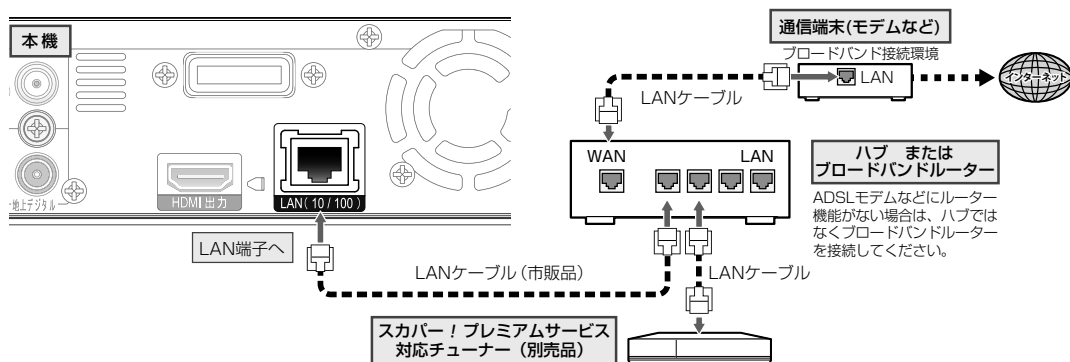
ブロードバンド環境がある場合

ハブまたはブロードバンドルーターなどを経由してつないでください。

■ 無線でつなぐとき (BIV-TW1000 のみ)



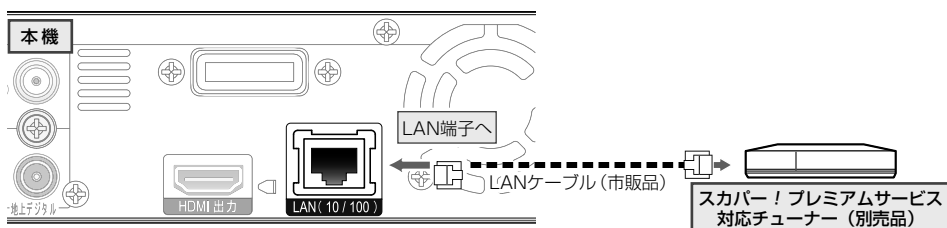
■ 有線でつなぐとき



メモ

- スカパー！プレミアムサービスをハイビジョンで録画することができます。「スカパー！プレミアムサービスLink」(p.107)
- 録画したタイトルは、HDD、カセットHDD、ディスク間でダビングすることができます。

ブロードバンド環境がない場合



ご注意

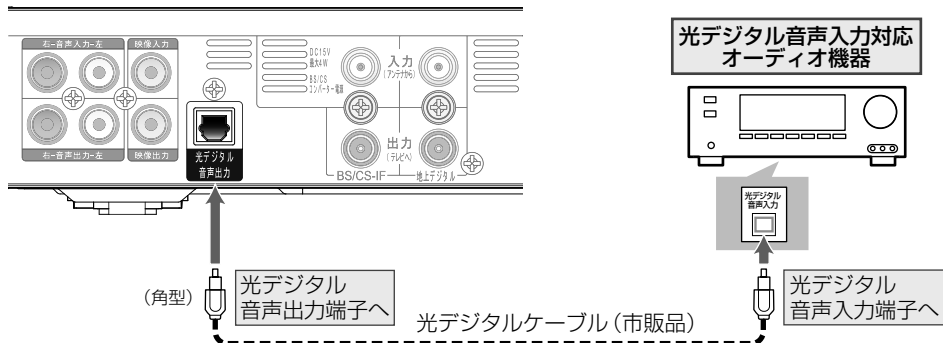
- この接続で、スカパー！プレミアムサービス機能はご利用いただけますが、データ放送や双方向通信および BD-Live™ 機能などのインターネットを使ったサービスはご利用いただけません。

本機をオーディオ機器につなぐ

■「本機」－「光デジタル音声入力対応アンプ」を光デジタルケーブル(市販品)で接続すると

- デジタル放送受信時には、MPEG-2 AAC方式で出力することもできるので、AAC方式対応のオーディオ機器と接続することで5.1チャンネルサラウンド音声の番組を臨場感あふれる音声でお楽しみいただけます。

本機



ご注意

- デジタル音声(AAC)は「音声切替」を押しても、光デジタル音声出力の音声は変わりません。オーディオ機器側で切り換えてください。
- Dolby Digital、AACまたはDTS®方式の出力をご利用になるには、「本体設定」→「音声設定」で、各項目を「自動」に設定してください。詳しくは「音声設定」(p.162)をご覧ください。

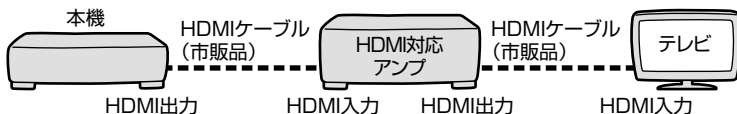
■「本機」－「HDMI対応アンプ」－「テレビ」をHDMIケーブル(市販品)で接続すると

- PCM7.1ch対応のアンプと接続すると、BD-Videoの7.1ch音声を楽しむことができます。また、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD®の各音声をデコードできるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。(この接続をした場合、テレビから音声が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。詳しくは、AVアンプやテレビの取扱説明書をご覧ください。)
- HDMIケーブルは、HDMIロゴのあるHigh Speed HDMIケーブルをお使いください。

ご注意

本機とデジタル音声入力対応のオーディオ機器やHDMI対応アンプなどを接続したときは、準備完了後、接続機器に合わせて「本体設定」画面の「音声設定」の設定を変更してください。

- 正しく設定しないと、音声にノイズが発生したり音が出なくなったりすることがあります。詳しくは「音声設定」(p.162)をご覧ください。



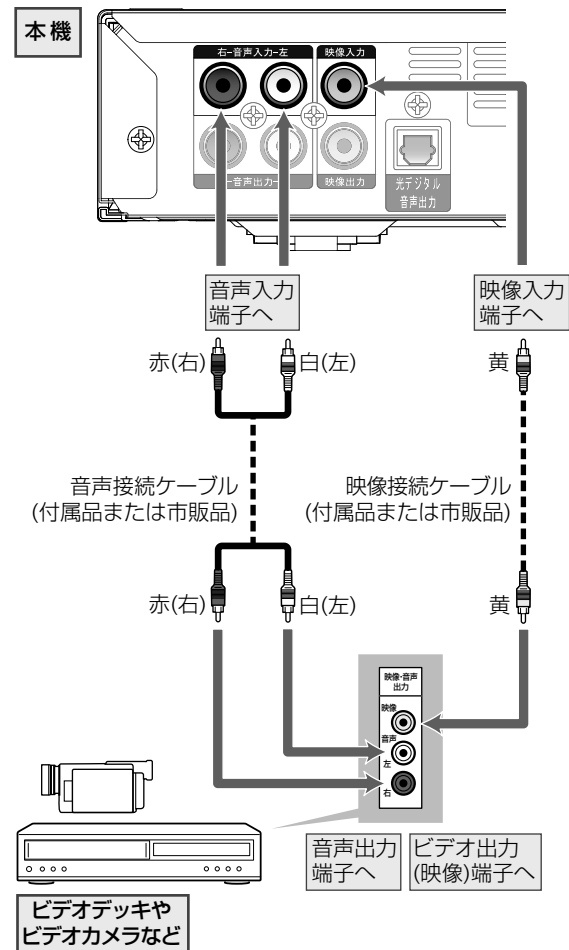
本機にお持ちの機器をつなぐ

他の機器（ビデオデッキ、ビデオカメラ、CATV ホームターミナルなど）を本機に接続することができます。
他の機器から本機にダビングする方法は、「ビデオデッキやビデオカメラから本機にダビングする」（p.150）をご覧ください。

■ 本機と他の機器を接続する

ご注意

- 接続する機器の電源を「切」にしてから、接続してください。



ご注意

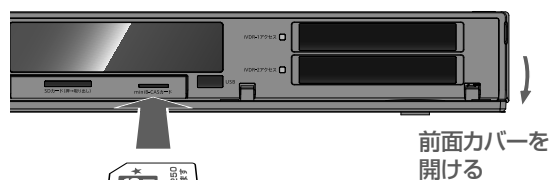
- 市販のディスクソフトやレンタルディスクのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理（コピーガード）がされておりダビングできません。

すべてつなぎ終わったら

本機でデジタル放送を見るためには、miniB-CAS カード(付属品)が必要です。

今はデジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のために miniB-CAS カードを入れておくことをおすすめします。

miniB-CAS カードを入れる



前面カバーを開ける



— 赤色面を上にする。

miniB-CASカード(付属品)
(台紙に貼り付けてあります)

- 1 miniB-CASカードを左の図の向きにして、奥までしっかり差し込む

miniB-CAS カードについて

取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- 金属端子部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 本機使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CAS カードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて行ってください。

付属の miniB-CAS カードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。

- miniB-CAS カードに個人情報を書き込まれることはありません。

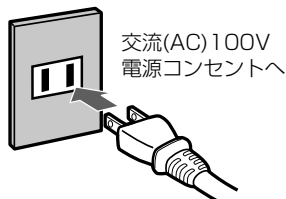
- miniB-CAS カードについてのお問い合わせ

※ 2014年9月現在
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250
(IP 電話からの場合は 045-680-2868)
<http://www.b-cas.co.jp/>

ご注意

- 本機に付属の miniB-CAS カード以外のものを入れてください。故障や破損の原因になります。
- 裏向きや逆方向に入れてください。入れる方向を間違えると、miniB-CAS カードは機能しません。
- 付属の miniB-CAS カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS 「(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- WOWOW、スターチャンネルなどの有料サービスを受けるには、miniB-CAS カードの登録のほかに個別の受信契約が必要になります。詳しくはそれぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

電源コードをつないで電源を入れる



交流(AC)100V
電源コンセントへ

- 1 すべての接続が終わったら、電源コードをつなぐ

電源プラグを交流(AC)100Vの電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になります。

- 2 テレビの電源を入れ、本機が接続されている入力に切り換える

- 3 本機の電源を入れる

- 詳しくは、「本機の映像をテレビで見られるようにする」(p.64)をご覧ください。

…引き続き、「かんたん設定」(p.40)を行ってください。

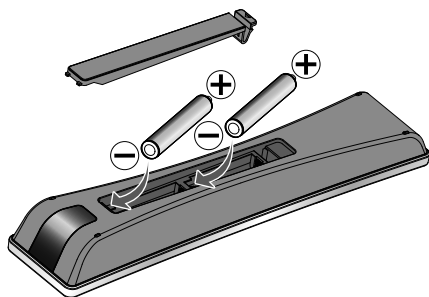
ご注意

- デジタル放送のアンテナ線やCATVを本機を経由してテレビに接続している場合、本機の電源コードをコンセントから抜くとテレビの映りが悪くなる場合があります。その場合は、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んでおいてください。

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れる

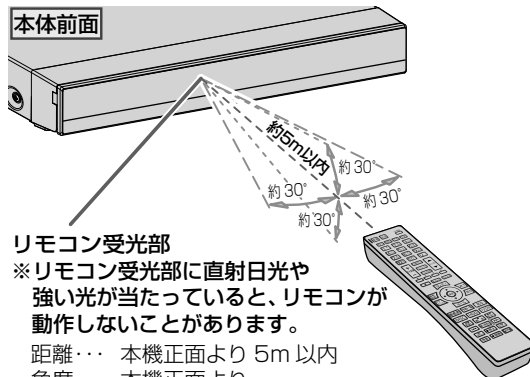
- 1 リモコン裏面のフタをはずす
- 2 「-」側を先に入れたあと、「+」側を入れる
 - 付属の単四形乾電池（1.5V 2本）をお使いください。



- 3 リモコン裏面のフタを取り付ける

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。



リモコン受光部

※リモコン受光部に直射日光や強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

距離・・・本機正面より 5m 以内

角度・・・本機正面より

左右 約 30° 以内 (5m 以内)

上 約 30° 以内 (5m 以内)

下 約 30° 以内 (5m 以内)

3

基本設定

ご注意

リモコンの乾電池について

- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
 - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- 公称電圧 1.5 V を超える電池などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- 本機のリモコンは単4のマンガン乾電池または、アルカリ乾電池をご使用ください。
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

リモコンの取扱いについて

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置いたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。

メモ

- 本機のリモコンと液晶シャッター方式の3Dメガネは、どちらも赤外線信号を使用します。本機のリモコン受光部とテレビの3Dメガネ用赤外線発信部が近いと、誤動作を起こすことがあるので、なるべく離して使用してください。

本機の設定

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に“かんたん設定”画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って、次の順で設定してください。

ご注意

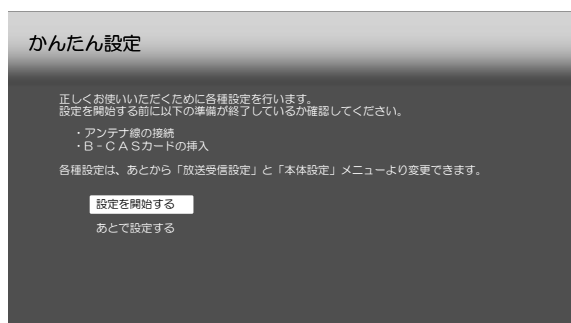
- “かんたん設定”は、必ずアンテナを接続し、放送のある時間帯に行ってください。
(放送のない時間帯に“かんたん設定”すると、放送局を正常に受信できません。)
- “かんたん設定”実行中は、電源コードを抜いたり電源を切ったりしないでください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、“かんたん設定”をやり直したいときは (p.43) をご覧ください。

“かんたん設定”を使って設定する

準備

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

1 電源を押して本機の電源を入れる



メモ

- “かんたん設定”の開始画面が表示されます。
 - “かんたん設定”の開始画面が表示されないときは、次のことを確認してください。
 - アンテナー本機ーテレビをつないでいますか。
 - コードをつなぎ間違えたり、抜けたり抜けかかったりしていませんか。
 - テレビの入力切換で本機を接続した入力に切り換えていますか。
- これらを確認しても開始画面が表示されない場合は、「かんたん設定」をやり直す」(p.43)の手順を行ってください。

2 “設定を開始する”が選ばれているので、そのまま **決定** を押す

■ あとで設定するときは

▲ / ▼ で“あとで設定する”を選んで **決定** を押すと、終了画面が表示されるので、“完了”を選び、**決定** を押してください。

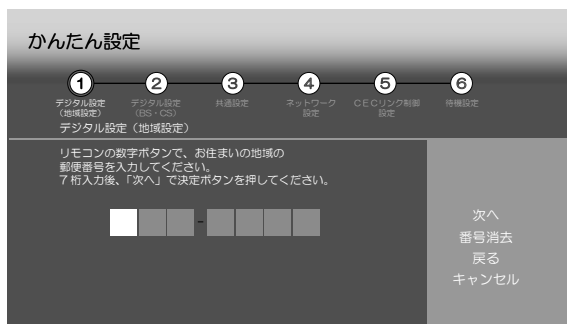
miniB-CAS カードを確認する

3 miniB-CAS カードの“状態”が“正常”であることを確認し、“次へ”を選んで **決定** を押す

- “状態”が“エラー”になっていると先に進めません。そのときは、もう一度 miniB-CAS カードを挿入しなおしてください。
- miniB-CAS カードの挿入方法については「miniB-CAS カードを入れる」(p.38)をご覧ください。

郵便番号を設定する

4 **1** あ ~ **10** でお住まいの地域の郵便番号を入力し、“次へ”が選ばれた状態で **決定** を押す



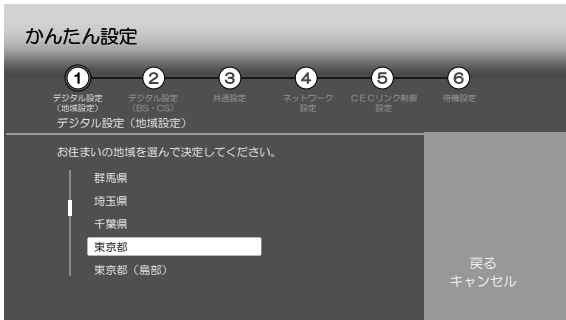
■ 入力を間違えたときは

“番号消去”を選んで **決定** を押し一括消去するか、◀で戻って入力し直してください。

■ “番号消去”を選ぶときは

“番号消去”がハイライトされるまで▼を繰り返し押ししてください。

5 ▲ / ▼でお住まいの都道府県を選び、**決定**を押す



メモ

- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都(島部)」を選びます。
- 鹿児島県の南西諸島地域は、「鹿児島県(島部)」を選びます。

受信を設定する

6 ▲ / ▼でスキャンしたい放送の種類を選び、**決定**を押す



“はい(通常)”:

地上デジタル放送のチャンネルをスキャンします。

“はい(CATV 対応)”:

CATV(ケーブルテレビ)のチャンネルをスキャンします。

“いいえ”:

チャンネルをスキャンしません。

メモ

- スキャンが始まります。(スキャンには10分程度かかることがあります。)
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、画面に結果が表示されます。

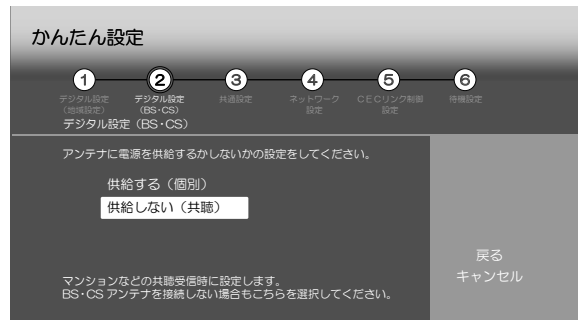
- 割り当てられたチャンネルを変更するときは「リモコンの数字ボタンに地上／BS・110度CSデジタル放送チャンネルを割り当てる」(p.50)の手順 **3** と **4** をご覧ください。

7 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“次へ”を選び、**決定**を押す

- 手順 **8** の画面で「戻る」を選ぶと、チャンネルスキャンをやり直すことができます。

アンテナへの電源供給を設定する

8 ▲ / ▼でアンテナに電源を供給するかしないかを選び、**決定**を押す



BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

“供給する(個別)”:

本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。

“供給しない(共聴)”:

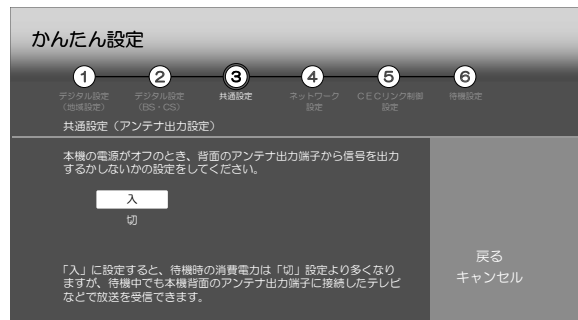
他の機器から電源を供給している場合や、CATV(ケーブルテレビ)などで受信しているとき、また、BS・110度CSアンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。

メモ

- BS・110度CSデジタル放送については、スキャンをしなくても自動的にチャンネルが取得されます。

アンテナ出力を設定する

9 ▲ / ▼でアンテナ出力をするかしないかを選び、**決定**を押す

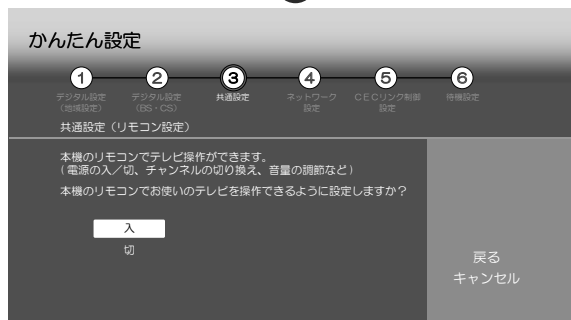


- “切”に設定するとテレビなどで放送が受信できなくなる場合があります。本機の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子からテレビに接続しているときは、“入”に設定してください。

本機の設定・つづき

テレビリモコンを設定する

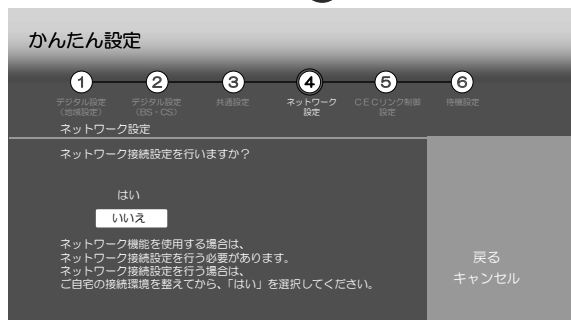
- 10 ▲ / ▼でテレビリモコンを設定するかしないかを選び、**決定**を押す。



- 本機のリモコンでテレビを操作するにはテレビリモコン設定が必要です。
- “はい”を選んだときは、「リモコンでテレビを操作できるようにする」(p.44)をご覧ください。
- “いいえ”を選んだときは、手順 11 へ進んでください。

ネットワーク接続を設定する

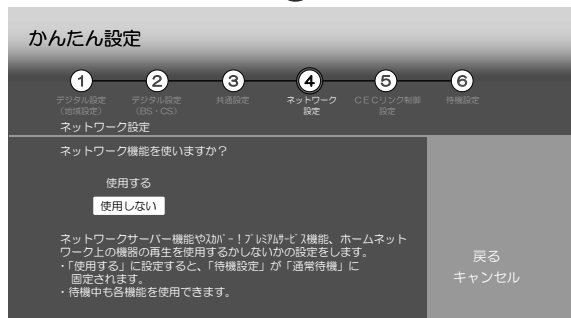
- 11 ▲ / ▼でネットワーク設定をするかしないかを選び、**決定**を押す



- “はい”を選択したときは、「ネットワークの設定をする」(p.52)の手順 6 以降をご覧ください。
- “いいえ”を選択したときは、手順 15 「CEC リンク制御を設定する」へ進みます。

ネットワーク機能を設定する

- 12 ▲ / ▼でネットワーク機能を使うか使わないかを選び、**決定**を押す



- ネットワークサーバー機能やDLNA™、IPアドレス機能、ホームネットワーク上の機器の再生を使用するかしないかの設定をします。
- 「使用する」に設定すると、「待機設定」が「通常待機」に固定されます。
- 待機中も各機能を使用できます。

- “使用する”を選択した場合は、手順 13 「アクセス制限を設定する」へ進みます。
- “使用しない”を選択した場合は、手順 15 「CEC リンク制御を設定する」へ進みます。

メモ

- “使用する”を選ぶと、「待機設定」が「通常待機」になり、待機中もネットワーク機能を使用できます。詳しくは「ネットワーク機能設定」(p.56)をご覧ください。

アクセス制限を設定する

- 13 ▲ / ▼で本機にアクセスできる DLNA 対応機器を制限するかしないかを選び、

決定を押す

“制限する”：

本機にアクセスできる機器を制限します。

“制限しない”：

アクセス制限をしません。

■ “制限する”を選んだときは

本機へのアクセスを許可したい機器の MAC アドレスを選び、**決定**を押してください。

- **決定**を押すたびに、選択する/しないが切り換わります。
- 設定が終わったら、▲ / ▼ / ◀ / ▶で“決定”を選び、**決定**を押してください。

メモ

- DLNA 対応機器がタブレットやスマートフォンなどアプリケーションの動作に依存する場合、MAC アドレスは表示されません。表示させるには“かんたん設定”完了後、端末機器でアプリケーションを起動してから、**ホーム**を押し、“設定”→“本体設定”→“ネットワーク設定”→“ネットワーク機能設定”→“アクセス制限”で確認してください。

デバイス名を設定する

- 14 ▲ / ▼でデバイス名を変更するかしないかを選び、**決定**を押す



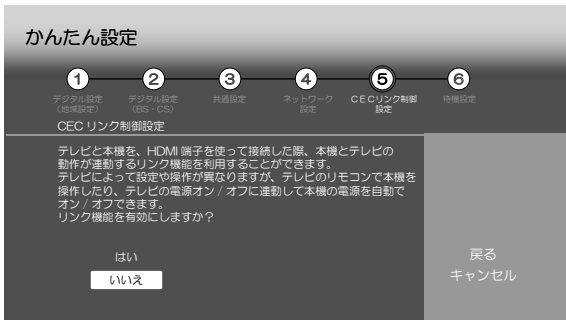
■ “はい”を選んだときは

1⁰ ~ 11^桁、青、黄、**決定**で、お好みのデバイス名を入力してください。

- 文字の入力方法については、「文字入力のかた」(p.127)をご覧ください。

CEC リンク制御を設定する

- 15 ▲ / ▼ で CEC リンク制御をするかしないかを選び、**決定** を押す



- CEC リンク制御機能を使うためには、本機と CEC リンク対応テレビを HDMI ケーブル(市販品)で接続してください。詳しくは、「CEC リンク機能を使う」(p.57)をご覧ください。
- “はい” を選ぶと、“待機設定” が “通常待機” に固定されます。

待機状態を設定する

- 16 ▲ / ▼ でお好みの待機方法を選び、**決定** を押す



“通常待機”：

“省エネ待機”に設定したときよりも高速で起動しますが、待機時の消費電力が増えます。

“省エネ待機”：

“通常待機”に設定したときよりも起動に時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。

- 手順 12 で“使用する”または手順 15 で“はい”を選択した場合は、“省エネ待機”は選択できません。

高速起動の時間帯を設定する

- 17 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で高速起動を設定したい時間帯を選び、**決定** を押す

- **決定** を押すたびに、選択する／しないが切り替わります。
- 設定した時間帯に“✓”が付きます。
- 最大 2 つまで設定することができます。



ここで設定した時間帯は、電源を入れてから約1秒で起動できます。詳しくは、「高速起動」の項目(p.166)をご覧ください。

- 18 設定を終えたら、▶で“次へ”を選び、**決定** を押す

- 19 “完了”が選ばれているので、そのまま**決定** を押す

- “かんたん設定”を終了します。

“かんたん設定”をやり直す

- 1 録画や再生の停止中に **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する

- 2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で “設定” を選び、**決定** を押す

- 3 ▲ / ▼ で “本体設定” を選び、**決定** を押す

- 4 ▲ / ▼ で “かんたん設定 / その他” を選び、**決定** を押す

- 5 ▲ / ▼ で “かんたん設定” を選び、**決定** を押す

- 6 「“かんたん設定”を使って設定する」の手順 3 (p.40) ~ 19 (p.43) を行う

- 7 **終了** を押して通常画面に戻す

リモコンの設定



リモコンでテレビを操作できるようにする

本機と接続しているテレビを本機のリモコンで操作できるように設定します。

1 を押しながら、メーカー番号(2ケタの数字)を押す

- テレビのメーカー番号は下記をご覧ください。(テレビのメーカー番号を設定するときは、ゆっくりと確実にボタンを押してください。)

メーカー	番号	メーカー	番号
日立(1)	10 ^あ 1 ^あ	ビクター	1 ^あ 10 ^あ
日立(2)	10 ^あ 2 ^{あBC}	東芝	1 ^あ 1 ^あ
パナソニック(1)	10 ^あ 3 ^{あDEF}	パイオニア	1 ^あ 2 ^{あBC}
パナソニック(2)	10 ^あ 4 ^{あGHI}	ソニー	1 ^あ 3 ^{あDEF}
三洋(1)	10 ^あ 5 ^{あJKL}	LG	1 ^あ 4 ^{あGHI}
三洋(2)	10 ^あ 6 ^{あMNO}	フナイ/DX	1 ^あ 5 ^{あJKL}
シャープ(1)	10 ^あ 7 ^{あPQR}	オリオン	1 ^あ 6 ^{あMNO}
シャープ(2)	10 ^あ 8 ^{あSTU}	ハイセンス	1 ^あ 7 ^{あPQR}
三菱	10 ^あ 9 ^{あVWX}	ピクセラ	1 ^あ 8 ^{あSTU}

- メーカー番号の設定が完了すると、 が1秒間消灯しますので、 をはなしてください。

2 リモコンをテレビに向け でテレビの音量を変更できるか確認する

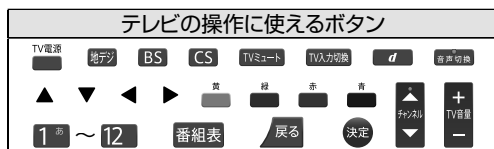
- テレビの音量を変更できないときはテレビメーカーの番号を設定できていない可能性があります。もう一度、手順 1 を行ってください。
- メーカー番号が複数あるときはもう一方のメーカー番号を指定し、操作できる番号を選んでください。












リモコンでテレビを操作する

1 リモコンをテレビのリモコン受光部に向ける

2 を押す

3 が点灯中にテレビの操作をする



- 30秒間操作がないと、 が消灯します。
-  が消灯していても  と 、、 はテレビを操作することができます。
- 本機を操作するときは
 -  消灯中：本機を操作できます。
 -  点灯中： を押してから、本機を操作してください。
-  が点灯していても、「テレビの操作に使えるボタン」以外のボタンを押すと、 が消灯して本機を操作することができます。




メモ

- ご使用になるテレビ(プラズマテレビ、液晶テレビを含む)の製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが動かない場合があります。この場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。
- お買い上げ時は、「日立(1)」(メーカー番号「01」)に設定されています。
- リモコンの乾電池を交換すると、「日立(1)」に戻ることがあります。他の設定でお使いの場合は、もう一度メーカー番号を設定してください。




リモコンコードを変更する

本機や当社製レコーダー、プレーヤーを2台以上使用すると、本機のリモコンに他のレコーダーなどが反応することがあります。その場合、本体側、リモコン側両方のリモコンコードを変更してください。リモコンコードは3種類から選ぶことができます。

本体側の設定

- 1  を押し、「設定」➡「本体設定」➡「かんたん設定/その他」➡「リモコン設定」➡「本体リモコン設定」の順に選び、 を押す
- 2 ▲/▼で「リモコンコード1」、「リモコンコード2」または「リモコンコード3」を選び、 を押す
 - お買い上げ時は「リモコンコード1」に設定されています。
- 3 画面の指示に従い、リモコン側の設定をする

リモコン側の設定

- 1  を押しながら、**1^あ**、**2^{あBC}**または**3^{あDEF}**を3秒以上押す
 - リモコンコード1のときは**1^あ**、リモコンコード2のときは**2^{あBC}**、リモコンコード3のときは**3^{あDEF}**を押します。
 - お買い上げ時は「リモコンコード1」に設定されています。
 - 設定が完了すると、 が1秒間点灯します。
- 2 設定が終わったら、 を押して、前の画面に戻る

メモ

- 本体とリモコンのリモコンコードが合っていない場合は、リモコンによる操作ができません。画面表示に従い、リモコンコードを変更してください。
- 個人情報初期化(p.166)を行うと、本体側の設定が「リモコンコード1」に設定されます。初期化後は、リモコン側の設定も「リモコンコード1」にしてから本機を操作してください。
- リモコンの電池を交換した場合は、お買い上げ時の設定内容に戻ることがあります。

放送関連の設定を変える

チャンネルや視聴条件など、放送関連の設定は“放送受信設定”メニューで変更することができます。

“放送受信設定”メニューを使う

- 録画や再生の停止中に **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- ▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“設定”を選び、**決定** を押す
- ▲ / ▼** で“放送受信設定”を選び、**決定** を押す
- ▲ / ▼** で希望の項目または設定を選び、**決定** を押す
この操作を繰り返し、希望の設定に変更する（**戻る** を押すと、左側の設定項目に戻ります。）
■ 希望の設定に変更するときに確認メッセージが出る場合は
▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す
● 前の画面に戻るときは **戻る** を押す

3




基本設定

“放送受信設定”メニューでできること

設定のしかたについては、「本機の設定」(p.40)をご覧ください

項目	設定内容	説明	参照ページ
地上デジタル設定	チャンネル 初期スキャン	地域設定 お住まいの地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要な設定です。	40 41
		通常 引越しなど、地上デジタル放送の受信地域が変わったときに、全チャンネルのスキャンをやり直します。（“かんたん設定”のスキャンと同じです。） “通常”： 地上デジタル放送のチャンネルを対象にスキャンを行います。	41
		CATV 対応 “CATV 対応”： CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルを対象にスキャンを行います。 ● 設定が終わるまで 10 分程度かかることがあります。	
チャンネル 再スキャン		地上デジタル放送の放送局が追加されたとき、チャンネルの再スキャンを行い、新たに受信できた放送局を自動的に追加します。 ● 設定が終わるまで 10 分程度かかることがあります。 ● 地上デジタル放送チャンネルのみが対象です。	41
	アンテナの設定	アッテネーター “入” アッテネーター “切” 映りが悪い地上デジタル放送チャンネルがあるとき、地上デジタル放送アンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。“アッテネーター”の設定を変更すると、受信状況が改善する場合があります。	48
	物理チャンネル	リモコンの数字ボタンで、2 桁の物理チャンネルを入力し、受信します。	48

放送関連の設定を変える・つづき

項目	設定内容	説明	参照ページ	
地上デジタル設定 (つづき)	チャンネルの設定	チャンネルの割り当て設定	リモコンの数字ボタンに地上デジタル放送用のチャンネルを登録します。	50
		チャンネルスキップ設定	 で選局するときに不要なチャンネルを飛び越せるように設定します。	
自動チャンネルリパック	入	地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になった際、それに合わせて本機のチャンネル設定を自動的に更新します。	—	
	切	地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になっても、本機のチャンネル設定を自動的に更新しません。見られないチャンネルが発生した場合は、“チャンネル再スキャン”を行ってください。		
BS・CS デジタル設定	アンテナ電源	供給する(個別)	BS・110度CS デジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。ここでは、本機からアンテナへ電源を供給するかどうかを設定します。 “供給する(個別)”： 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。	41
		供給しない(共聴)	“供給しない(共聴)”： 他の機器から電源を供給している場合や、CATVなどで受信しているとき、また、BS・110度CS アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。	
	アンテナの設定	トランスポンダ： BS-1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 17, 19, 21, 23 CS-2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24	映りが悪いBS・CS デジタル放送チャンネルがあるとき、BS・CS アンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。	49
BS チャンネルの設定	チャンネルの割り当て設定	リモコンの数字ボタンにBS 放送用のチャンネルを登録します。	50	
	チャンネルスキップ設定	 で選局するときに不要なチャンネルを飛び越せるように設定します。		
CS チャンネルの設定	チャンネルの割り当て設定	リモコンの数字ボタンに110度CS 放送用のチャンネルを登録します。	50	
	チャンネルスキップ設定	 で選局するときに不要なチャンネルを飛び越せるように設定します。		
難視聴地域対策	入	地上デジタル放送が送り届けられない地域でも、衛星放送を利用して、暫定的に地上デジタル放送の番組を視聴できるように設定します。対応したminiB-CASカードが必要です。放送の期間や利用できる地域、お申し込み方法などについては、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ http://www.dpa.or.jp/chideji/safetynet.html をご覧ください。	—	
	切			

項目	設定内容	説明	参照ページ	
共通設定	視聴年齢制限 ● ご利用いただくにはパスワードの作成・入力が必要です。	無制限	デジタル放送の視聴可能年齢を設定します。 “無制限”： 年齢制限無し。 “4歳～19歳”： 制限したい年齢を選んでください。設定した年齢の制限を越える番組を視聴または録画予約するときは、パスワードの入力が必要になります。 ● 制限すると本機からのネットワーク配信先でも対象番組が表示されなくなります。	51
		4歳～19歳		
	パスワード変更		画面の指示に従って“視聴年齢制限”のパスワードを変更することができます。	51
	B-CAS カード番号表示		miniB-CAS カードの番号を表示します。	—
	アンテナ出力	入	本機の電源が「切」のとき、背面の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力し続けるかどうかの設定をします。本機の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子からアンテナ線をテレビにつないでいるときは“入”にしておいてください。“切”にすると、本機の電源が「切」のときにテレビなどで地上デジタル放送やBS・110度CS放送が受信できなくなります。	41
		切		
	文字スーパー	日本語で表示	ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合、表示される文字スーパーの言語を設定します。 ● 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組(強制的に文字スーパーが表示されるものなど)によっては、設定どおりに表示されないことがあります。 ● “表示しない”に設定していても、自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。 ● 日本語、英語以外の文字スーパーは設定できません。	67
		英語で表示		
		表示しない		
	地域の設定		お客様のお住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。	48
郵便番号の設定		お客様のお住まいの地域の郵便番号を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。	48	
Gガイドの設定	Gガイド地域設定	お客様のお住まいの地域を設定します。番組表(Gガイド)の機能(広告表示、番組検索や注目番組一覧表示)をご利用いただくために必要な設定です。	51	
	Gガイド受信確認	お客様のお住まいの地域で、番組表(Gガイド)の番組データを取得できるか確認します。	51	

- BS・110度CS デジタル放送に関しては、スキャンをしなくても自動的にチャンネルが取得されます。

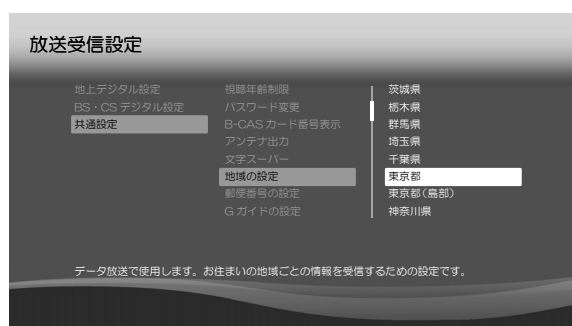
放送関連の設定を変える・つづき

“地域の設定”を変更する

お客様のお住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。

1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “放送受信設定” ➡ “共通設定” ➡ “地域の設定” の順に選び、**決定** を押す

2 ▲ / ▼ でお住まいの都道府県を選び、**決定** を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は、“東京都(島部)”を選びます。
- 南西諸島鹿児島島地域は、“鹿児島県(島部)”を選びます。

3 ▲ / ▼ で“郵便番号の設定”を選び、**決定** を押す

- 郵便番号入力画面が表示されます。

4 **1** ^あ ~ **10** ^調 / **0** でお住まいの地域の郵便番号を入力し、▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“完了”を選び、**決定** を押す

入力を間違えたときは

“番号消去”を選んで一括消去するか、▲ / ▼ / ◀ / ▶ で戻って入力し直してください。

- “番号消去”を選ぶには、▲ / ▼ / ◀ / ▶ でハイライトを移動し **決定** を押ししてください。

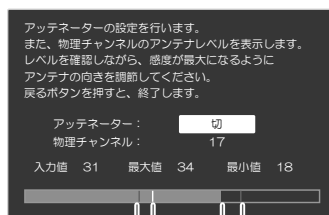
5 設定が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする

送信所に近く電波が強すぎる場合など、“アッテネーター”の設定を“入”にすると、状況が改善されることがあります。

1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

2 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “放送受信設定” ➡ “地上デジタル設定” ➡ “アンテナの設定” の順に選び、**決定** を押す



最小値
最大値
現在の入力レベル
放送受信のためのアンテナレベルの目安

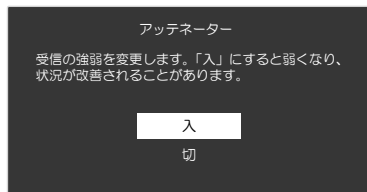
3 “アッテネーター”の設定で“切”が選ばれているので、そのまま **決定** を押す

- 地上デジタル放送用のアンテナレベルについてこの画面でアンテナレベルを確認しながら、UHF アンテナの向きを調整することができます。この場合、アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- この画面のまま ▲ / ▼ で“物理チャンネル”を選び **決定** を押すと、受信レベルを表示する物理チャンネルを **1** ^あ ~ **10** ^調 / **0** で入力することができます。

メモ

- アンテナレベルの数値は、放送局や環境によって大きく変わることがあります。

4 ▲ / ▼で“入”を選び、**決定**を押す



- 受信の強弱が変更されます。(“入”にすると弱くなり、状況が改善されることがあります。)
- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル(13～62CH)のことです。
- なお、CATVをご利用の場合は、CATVの13～63CHでも送信されている場合があります。CATV用チャンネルは、手順3で、チャンネル番号の先頭にCが表示されます。

5 設定が終わったら、**終了**を押して通常画面に戻す

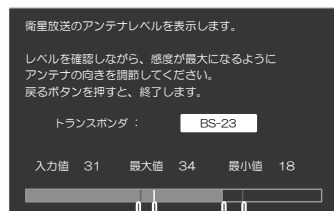
BS・110度CSデジタル放送の映りが悪いチャンネルを映りやすくする

“BS・CSデジタル設定”の“アンテナの設定”画面でアンテナレベルを確認しながら、アンテナの向きを調整することができます。(マンションなどの共用アンテナやCATVをご利用の場合は、この調整は不要です。)

1 BS・110度CSデジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

2 **ホーム**を押し、“設定” ➡ “放送受信設定” ➡ “BS・CSデジタル設定” ➡ “アンテナの設定”の順に選び、**決定**を押す

3 “入力値”の数値が「20」以上になるように、アンテナの向きを調整する



最小値
最大値
現在の入力レベル
放送受信のためのアンテナレベルの目安

- アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- 未契約の有料放送のチャンネルが選局されている場合、放送の映像と音声は確認できません。

4 設定が終わったら、**終了**を押して通常画面に戻す

ご注意

- “BS・CSデジタル設定”の“アンテナ電源”の設定を“供給する(個別)”にしたときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで(通電状態にして)おいてください。
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、“アンテナ電源”の設定が自動的に“供給しない(共聴)”に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

メモ

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。
- 1本のBS・110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からアンテナ電源を供給してください。(p.46)

放送関連の設定を変える・つづき

リモコンの数字ボタンに地上／BS・110度
CS デジタル放送チャンネルを割り当てる

1 地上デジタル放送の場合：

ホーム を押し、“設定” → “放送受信設定”
→ “地上デジタル設定” → “チャンネル
の設定” の順に選び、決定 を押す

BS・110度CS デジタル放送の場合：

ホーム を押し、“設定” → “放送受信設定”
→ “BS・CS デジタル設定” → “BS チャン
ネルの設定” または “CS チャンネルの
設定” の順に選び、決定 を押す

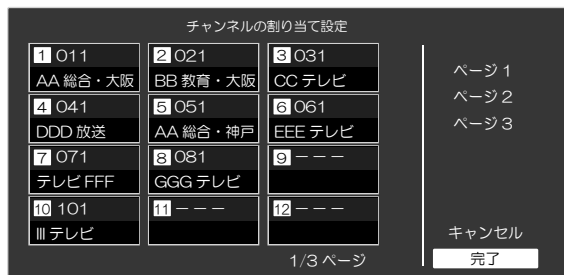
2 “チャンネルの割り当て設定” を選び、

決定 を押す

- チャンネル割り当て一覧画面が表示されます。
- チャンネル割り当て一覧の並びは、リモコンの数字ボタンの並びと一致しています。

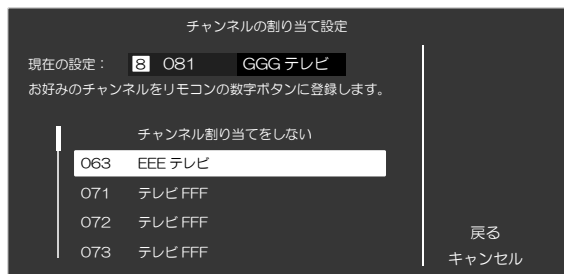
3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で、チャンネルを割り当て

たい番号が書かれたマスを選び、決定 を押す



- チャンネルリストが表示されます。

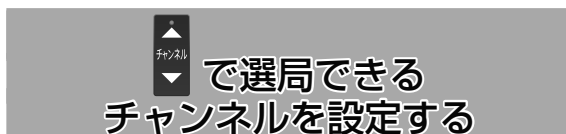
4 手順 3 で選んだ数字ボタンに割り当てたいチャンネルを▲ / ▼で選び、決定 を押す



- チャンネル割り当て一覧画面に戻ります。
- チャンネルの割り当てをキャンセルする場合は“キャンセル”を選び、決定 を押してください。

5 設定が終わったら、▶で“完了”を選び、決定 を押す

6 終了 を押して通常画面に戻す



1 「リモコンの数字ボタンに地上／BS・110度CS デジタル放送チャンネルを割り当てる」の手順 1 (本ページ) を行う

2 “チャンネルスキップ設定” を選び、決定 を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

3 ▲ / ▼で飛び越したいチャンネルを選び、

決定 を押す



- チャンネル名右横の“受信”が“スキップ”に切り換わります。
- 決定 を押すたびに“受信”と“スキップ”が切り換わります。

4 設定が終わったら、▶で“完了”を選び、決定 を押す

5 終了 を押して通常画面に戻す



- “スキップ”に設定したチャンネルは、番組表(Gガイド)にも表示されなくなります。

デジタル放送の視聴可能年齢を設定する

デジタル放送には青少年の保護の観点から視聴年齢制限付きの放送があります。視聴年齢制限を設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を越える番組を視聴するときに、パスワードの入力が必要となります。(p.68)

ご注意

- ここで設定するパスワードは、デジタル放送の視聴制限を解除するためのパスワードです。市販ソフトの視聴制限を解除するためのパスワードとは別になります。

1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “放送受信設定” ➡ “共通設定” ➡ “視聴年齢制限” の順に選び、**決定** を押す

- パスワード入力画面が表示されます。

2 **1** あ ~ **10** でパスワード(4桁)を入力する
(初めてパスワードを登録する場合は、確認のためにもう一度パスワードの入力が求められます。)

- 入力した数字は、“*”で表示されます。
- パスワードが未登録の場合は、ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

■ パスワードを忘れてしまったときは
● パスワード入力画面で
4 **7** **3** **7** を入力してください。
パスワードがリセットされます。

■ 入力中に番号を間違えたときは
● ◀で戻るか、▲ / ▼で“全てクリア”を選び、**決定** を押してください。

3 ▲ / ▼で設定したい年齢を選び、**決定** を押す

4 設定が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

パスワードを変更するときは

- ① 手順 **1** で“視聴年齢制限”の代わりに“パスワード変更”を選んで **決定** を押し、画面の指示に従ってください。

番組表(Gガイド)の地域設定を確認する

番組表(Gガイド)の機能(広告表示、番組検索や注目番組一覧表示)を利用するためには、正しく地域を設定してデータを取得する必要があります。

1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “放送受信設定” ➡ “共通設定” ➡ “Gガイドの設定” ➡ “Gガイド地域設定”の順に選び、**決定** を押す

2 設定内容を確認する

- 正しく設定されていない場合は、▲ / ▼でお住まいの地域を選び **決定** を押してください。

3 設定が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

メモ

- “Gガイド地域設定”は、かんたん設定を行うと自動的に設定されます。

番組表(Gガイド)の番組データを取得できるかどうか確認する

1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “放送受信設定” ➡ “共通設定” ➡ “Gガイドの設定” ➡ “Gガイド受信確認”の順に選び、**決定** を押す

- 受信確認画面が表示されます。受信確認結果が表示されるまで、そのままお待ちください。

2 確認が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

ネットワークの設定をする

データ放送の双方向通信や BD-Live™ 機能などを、ブロードバンド経由で利用するための設定を行います。

プロバイダーとの契約時に提供された資料や、接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

本機と DLNA 対応機器などをホームネットワークのみとして利用する場合は、インターネットサービスプロバイダーの契約は不要です。

本機をネットワークに接続する

1 を押し、ホームメニュー画面を表示する

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で “設定” を選び、 を押す

3 ▲ / ▼ で “本体設定” を選び、 を押す

4 ▲ / ▼ で “ネットワーク設定” を選び、 を押す

5 ▲ / ▼ で “ネットワーク接続設定” を選び、 を押す

対象機種：BIV-TW1000

▲ / ▼ で “有線 LAN” または “無線 LAN” を選び、 を押す

■ LAN ケーブルで接続しているときは
“有線 LAN” を選んで、以下の設定を行ってください。

“自動設定”：「有線 LAN を自動で設定する」
(本ページ) の手順 1 へ進んでください。

“手動設定”：「有線 LAN を手動で設定する」
(p.53) の手順 1 へ進んでください。

■ 無線 LAN で接続しているときは
“無線 LAN” を選んで、「無線 LAN を設定する」
(p.55) の手順 1 へ進んでください。

ご注意

- “有線 LAN” と “無線 LAN” は同時に利用できません。

対象機種：BIV-WS1000 / BIV-WS500

▲ / ▼ で “自動設定” または “手動設定” を選び、 を押す

“自動設定”：「有線 LAN を自動で設定する」(本ページ) の手順 1 へ進んでください。

“手動設定”：「有線 LAN を手動で設定する」(p.53) の手順 1 へ進んでください。

有線 LAN を自動で設定する

“ネットワーク接続設定” の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。すでに設定済みの場合は、新しく取得された設定値に更新されます。(プロキシの設定はクリアされます。)

1 ▲ / ▼ で “自動設定” を選び、 を押す

- 自動的に各項目が設定され、有線 LAN の設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、 を押しください。(かんたん設定を行っている場合は、確認画面が表示されたあとに ▲ / ▼ で “次へ” を選んで を押し、p.42 の手順 12 へ進んでください。)

2 を押して通常画面に戻す

ご注意

- “ネットワーク接続設定” の各設定を変更した場合は、必ず接続テストを行ってください。接続テストの詳細に関しては、「有線 LAN を手動で設定する」の手順 6 以降 (p.54) をご覧ください。
- 本機からはインターネットを使用してウェブサイトを開覧することはできません。

有線 LAN を手動で設定する

1 ▲ / ▼で“手動設定”を選び **決定** を押す

- 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。

IP アドレス取得方法

2 IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイを設定する

① ▲ / ▼で“IP アドレス取得方法”を選び、**決定** を押す

- 取得方法が表示されます。

② ▲ / ▼で設定方法を選び、**決定** を押す

- ルーターに DHCP サーバー機能がない場合やルーターの DHCP サーバー機能を使わないときは、“手動”を選んで設定してください。

■ “自動 (DHCP)” を選んだときは

DHCP 機能を使って自動的に IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイを設定します。

■ “手動” を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

IP アドレス：

パソコンに設定されている IP アドレスの最後の数値を、本機以外の機器で使われていない数値に変更して入力してください。(0 ~ 255 の範囲で入力可能です。)

(例) パソコンの IP アドレス設定が “192.168.10.12” のときは、“192.168.10.223” (223 の部分は 12 以外のお好みの数値) で設定してください。

サブネットマスク：

パソコンと同じ数値を入力してください。

デフォルトゲートウェイ：

パソコンと同じ数値を入力してください。

- 数値を入力するときは **1%** ~ **10%** を使用してください。
- 入力フィールド間を移動するときは **◀** / **▶** を使用してください。
- 入力を間違えたときは、“クリア”を選び、**決定** を押してください。
- 入力を終えたら、“決定”を選び、**決定** を押してください。

- 接続機器と LAN ケーブルで直接つなぐときは以下の項目を設定してください。

本機のネットワーク設定

項目	設定内容
IP アドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

接続機器のネットワーク設定

項目	設定内容
IP アドレス	192.168.1.20
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

DNS-IP 取得方法

3 プライマリ DNS / セカンダリ DNS を設定する

① ▲ / ▼で“DNS-IP 取得方法”を選び、**決定** を押す

- 取得方法が表示されます。

② ▲ / ▼で設定方法を選び、**決定** を押す

- ルーターに DHCP サーバー機能がない場合やルーターの DHCP サーバー機能を使わないときは、“手動”を選んで設定してください。

■ “自動 (DHCP)” を選んだときは

DHCP 機能を使って自動的にプライマリ DNS / セカンダリ DNS を設定します。

■ “手動” を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

プライマリ DNS：

パソコンの優先 DNS サーバーと同じ数値を設定してください。

セカンダリ DNS：

パソコンの代替 DNS サーバーと同じ数値を設定してください。

- 数値を入力するときは **1%** ~ **10%** を使用してください。
- 入力フィールド間を移動するときは **◀** / **▶** を使用してください。
- 入力を間違えたときは、“クリア”を選び、**決定** を押してください。
- 入力を終えたら、“決定”を選び、**決定** を押してください。

ネットワークの設定をする・つづき

- 接続機器とLANケーブルで直接つなぐときは以下の項目を設定してください。

本機のネットワーク設定

項目	設定内容
プライマリDNS	192.168.1.1

接続機器のネットワーク設定

項目	設定内容
プライマリDNS	192.168.1.1

- 4 プロキシ設定が必要な場合は 5 に進む
不要な場合は 6 に進む

プロキシ設定

- 5 プロキシアドレスとプロキシポート番号を設定する

本機をブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、この設定を行ってください。

- ① ▲ / ▼ で“プロキシ設定”を選び、
決定 を押す
- ② ▲ / ▼ で“有効”を選び、決定 を押す
 - 入力画面が表示されます。
- ③ 1[※] ~ 11[※] でアドレスを入力し、
入力が終わったら 決定 を押す
 - ポート番号入力画面が表示されます。
(文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。)
 - 入力できるのは、英数字と記号のみです。
 - “英字/記号”入力モードと“数字”入力モードを切り換えるには、青 を押します。
 - “英字/記号”入力モードで、2[※] ~ 9[※] を押すと、アルファベットを入力できます。
入力したい文字が表示されるまで、繰り返し押ししてください。
 - “英字/記号”入力モードで、10[※] を繰り返し押しすると、“.”や“-”などの各種記号を入力できます。
 - “数字”入力モードで、1[※] ~ 10[※] を押すと、1~9と0を入力できます。
 - 入力中の文字を消去するときは、黄 を押します。
- ④ 1[※] ~ 10[※] でプロバイダーが指定したポート番号を入力し、決定 を押すと、自動的にハイライトが“決定”に移動するので、そのまま 決定 を押す

かんたん設定を行っている場合は、設定が終わると自動的にネットワークの接続テストが開始されます。接続テストが終わると確認画面が表示されるので、▲ / ▼ で“次へ”を選んで 決定 を押し、p.42の手順 12 へ進んでください

接続テスト

- 6 接続状態を確認する

- ① ▲ / ▼ で“接続テスト”を選び、決定 を押す
 - 接続テストが始まります。
 - 正常の場合、成功メッセージが表示されるので 決定 を押ししてください。
 - 失敗の場合、画面にエラーメッセージが表示されるので、画面の指示に従って必要な設定を行ってください。

- 7 各種設定が終わったら、▶でサブメニューの“決定”を選び、決定 を押す

- 8 終了 を押して通常画面に戻す

メモ

- プロキシアドレスとは？
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレスです。プロバイダーから指定されるアドレスを入力します。(例：proxy_server.ne.jp)
- プロキシポート番号とは？
プロキシアドレスと共に、プロバイダーから指定される番号です。(例：8000)

無線 LAN を設定する

対象機種：BIV-TW1000

- 無線 LAN をお使いになるときは、暗号化などのセキュリティを設定してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ情報漏えいのおそれがあります。
- あらかじめ接続する無線 LAN アクセスポイントの SSID / セキュリティキーを確認しておいてください。
- セキュリティを設定していない場合、ホームネットワーク機能はお使いになれません。

1 ▲ / ▼ で設定方法を選び、**決定** を押す

無線 LAN 自動検出

本機が利用可能な無線 LAN アクセスポイントを検出して、設定します。

- ① 検出された無線 LAN アクセスポイントから、本機の接続先を ▲ / ▼ で選び、**決定** を押す
- ② セキュリティキーを入力し、**決定** を押す
 - 確認画面が表示されるので、▲ / ▼ で“次へ”を選んで **決定** を押してください。
- ③ 設定モードを選ぶ

■ “自動設定” を選んだときは

“ネットワーク接続設定”の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので **決定** を押してください。(かんたん設定を行っている場合は、確認画面が表示されたあとに ▲ / ▼ で“次へ”を選んで **決定** を押し、p.42 の手順 12 へ進んでください。)

■ “手動設定” を選んだときは

IP アドレス、DNS - IP、プロキシを設定してください。詳しくは、「有線 LAN を手動で設定する」(p.53)をご覧ください

手動接続設定

各項目を手動で設定します。

- ① 接続する無線 LAN アクセスポイントの SSID を入力して、**決定** を押す
 - 文字の入力方法については、「文字入力のかた」(p.127)をご覧ください。
- ② ▲ / ▼ でセキュリティを選んで **決定** を押す
- ③ セキュリティキーを入力し、**決定** を押す
 - 確認画面が表示されるので、▲ / ▼ で“次へ”を選んで **決定** を押してください。
- ④ 設定モードを選ぶ

■ “自動設定” を選んだときは

“ネットワーク接続設定”の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので **決定** を押してください。(かんたん設定を行っている場合は、確認画面が表示されたあとに ▲ / ▼ で“次へ”を選んで **決定** を押し、p.42 の手順 12 へ進んでください。)

■ “手動設定” を選んだときは

IP アドレス、DNS - IP、プロキシを設定してください。詳しくは、「有線 LAN を手動で設定する」(p.53)をご覧ください



- セキュリティキーは、接続する無線 LAN アクセスポイントに設定されています。詳細は、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

かんたん接続設定 (WPS)

プッシュボタン方式または PIN コード方式でかんたんに無線 LAN を設定できます。

▲ / ▼ で“プッシュボタン方式(PBC)”または“PIN コード方式”を選んで **決定** を押してください。

■ “プッシュボタン方式 (PBC)” を選んだときは

画面の指示に従って、無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。

- 自動的に各項目が設定され、無線 LAN の設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。(かんたん設定を行っている場合は、確認画面が表示されたあとに ▲ / ▼ で“次へ”を選んで **決定** を押し、p.42 の手順 12 へ進んでください。)

■ “PIN コード方式” を選んだときは

- ① 検出された無線 LAN アクセスポイントから、本機の接続先を ▲ / ▼ で選び、**決定** を押す
- ② 表示された PIN コードを無線 LAN アクセスポイントやパソコンに入力する
 - 自動的に各項目が設定され、無線 LAN の設定が完了します。
 - 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。(かんたん設定を行っている場合は、確認画面が表示されたあとに ▲ / ▼ で“次へ”を選んで **決定** を押し、p.42 の手順 12 へ進んでください。)

2 設定が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す



- 2.4GHz 帯の機器 (電子レンジなど) を同時にご使用の場合、無線 LAN の通信が途切れることがあります。
- 5GHz 帯に対応した無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) をお使いの場合は、5GHz 帯でのご使用をおすすめします。
- 無線 LAN の通信状態が良くない場合は、無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。

ネットワークの設定をする・つづき

ネットワーク機能設定

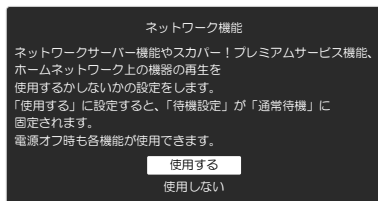
ネットワークを利用した連携機能を使うための設定をします。これらの機能を使用するには、「ネットワークの設定をする」(p.52)を完了している必要があります。

ホーム を押し、“設定” → “本体設定” → “ネットワーク設定” → “ネットワーク機能設定”の順に選び、**決定** を押し

ネットワーク機能

ネットワークを利用した連携機能やスカパー！プレミアムサービス機能、ホームネットワーク上の機器の再生を使用するかしないかを設定します。

- ▲ / ▼で“ネットワーク機能”を選び、**決定** を押し
- ▲ / ▼で希望の設定を選び、**決定** を押し



“使用する”：

ネットワーク機能を使用します。

- “待機設定”が自動的に“通常待機”になります。
- 使用中に本機の電源を「切」にしても、ネットワーク機能を使用できます。

“使用しない”：

ネットワーク機能を使用しません。

- 終了** を押しして通常画面に戻す

ネットワーク録画の録画先を設定する

ネットワーク機能を利用して他機から本機へネットワーク録画をするときの録画先メディアを設定します。

- ▲ / ▼で“ネットワーク録画の録画先”を選び、**決定** を押し
- ▲ / ▼で希望の録画先を選び、**決定** を押し
 - 録画先には HDD またはカセット HDD が設定できます。
- 終了** を押しして通常画面に戻す

ご注意

- 以下の場合は、録画先をカセット HDD に設定しても、HDD に代理録画されます。
 - 録画可能なカセット HDD を挿入していないとき
 - カセット HDD に十分な残量がないとき
 - 視聴制限のある番組を録画やダビングするとき

アクセス制限を設定する

本機にアクセスできる機器を制限することができます。

- ▲ / ▼で“アクセス制限”を選び、**決定** を押し
- ▲ / ▼で希望の設定を選び、**決定** を押し
“制限する”：
本機にアクセスできる機器を制限します。
“制限しない”：
アクセス制限をしません。
 - “制限する”を選んだ時は
本機へのアクセスを許可したい機器のMACアドレスを選び、**決定** を押ししてください。
 - 選んだ機器に“✓”が付きます。
 - **決定** を押すたびに、選択する／しないが切り換わります。
 - アクセスを許可する機器を選び終えたら、**▶** を押し、“決定”を選んで **決定** を押ししてください。
- 設定が終わったら、**終了** を押しして通常画面に戻す

デバイス名を設定する

ネットワーク上で表示される本機の名前を設定します。

- ▲ / ▼で“デバイス名”を選び、**決定** を押し
- 1** あ ~ **11** わん、青、黄、**決定** で、お好みのデバイス名を入力する
(文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。)



- 設定が終わったら、**終了** を押しして通常画面に戻す

メモ

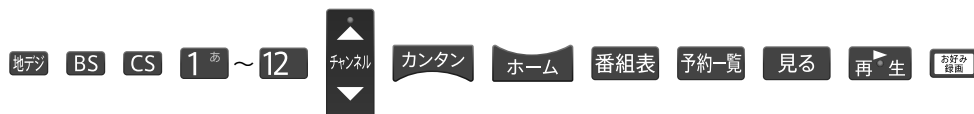
- お買い上げ時のサーバー名は、“BIVT10-”または“BIVW10-”、“BIVW5-”に本機のMACアドレスの一部を組み合わせた名前となります。
- 最初に表示される名前が、現在本機に設定されているデバイス名を示しています。

CEC リンク機能を使う

CEC リンク機能とは？

CEC リンク対応機器（本機など）と CEC リンク対応テレビを HDMI ケーブルでつなぐことで、機器とテレビの連動操作が行えるようになる機能のことです。本機では、CEC リンク機能を使用することで以下のようなことが可能になります。

- 本機の電源を入れて以下のボタンを押すと、テレビが自動的に本機が接続されている HDMI 入力に切り換わります。



- HDD またはカセット HDD、DISC を再生視聴中にテレビのチャンネルを変更すると、再生していた HDD またはカセット HDD、DISC は自動的に停止状態になります。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。ただし、HDD またはカセット HDD、DISC のいずれかが録画中の場合や、本機が起動処理中の場合は電源が切れません。

CEC リンク機能を使うには、以下の手順を行って“CEC リンク制御”の設定を“入”にしてください。

！ 準備

- 本機と CEC リンク対応テレビをつないでおく（接続のしかたは「本機をテレビにつなぐ」(p.29)をご覧ください。）
- テレビ側で CEC リンクの設定をしておく（詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。）

- 1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “本体設定” ➡ “HDMI接続設定” ➡ “CECリンク制御” ➡ “入”の順に選び、**決定** を押す

！ ご注意

- 接続するテレビにより操作できる機能は異なります。すべての HDMI-CEC 対応テレビとの連係動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは“CEC リンク制御”を“切”にしてください。

ソフトウェア更新について

本機の本体ソフトウェア（ファームウェア）は更新されることがあります。

以下の方法で、ソフトウェアの更新を行うことができます。

- デジタル放送の電波を利用して更新する。
- サーバーを利用して更新する

デジタル放送の電波を利用して更新する

本機の電源が「切」のときに、デジタル放送から送られてくる情報を取り込み自動的に最新の本体ソフトウェア（ファームウェア）に更新します。

- 1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “本体設定” ➡ “かんたん設定 / その他” ➡ “ソフトウェアの更新” ➡ “放送波による自動更新” の順に選び、**決定** を押し

- 2 **▲ / ▼** で希望の設定を選び、**決定** を押し

“自動更新する”（推奨）：

ソフトウェアが更新されるたびに自動的にソフトウェアのダウンロードを行い、本機をバージョンアップします。ダウンロード実施の報告は“お知らせ”で届きます。（p.160）

“自動更新しない”：

ソフトウェアが更新されても自動的にダウンロードは行いません。ソフトウェア更新の“お知らせ”が届くので、ダウンロードを実施したいときに“自動更新する”に設定を変更し、本機のバージョンアップを行ってください。

- 3 **終了** を押し通常画面に戻す

ご注意

- 本機のバージョンアップは、本機の電源が「切」のときに行われます。
- ソフトウェア更新後は、本書と本機で画面や文言が一致なくなることがあります。
- ソフトウェア更新中は、本機の電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。
- ソフトウェアのダウンロード中に本機の手動操作を行うと、ダウンロードは中止されます。
- 以下の条件下では“自動更新”は行われません。
 - 電源コードが抜かれているとき。
 - 悪天候などのために受信状態が悪いとき。
 - 本機の電源が入るとき。
 - ダウンロード時刻と予約録画が重なるとき。

サーバーを利用して更新する

インターネットを利用して、サーバーから本体ソフトウェア（ファームウェア）をダウンロードし更新します。（ソフトウェアが更新されていないときは、ダウンロードされません。）地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送をご利用でない方は、サーバーを使って更新してください。

！ 準備

- 本機とネットワークを接続しておく（p.52）
- ネットワークの接続設定をしておく（p.52）

- 1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “本体設定” ➡ “かんたん設定 / その他” ➡ “ソフトウェアの更新” ➡ “ネットワークによる更新” の順に選び、**決定** を押し

- メッセージが2回表示されるので、**▲ / ▼** で“はい”を選び、**決定** を押してください。
- ダウンロード終了のメッセージが表示されたことを確認し、**決定** を押してください。
- ソフトウェアが最新の場合は確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

- 2 **終了** を押し通常画面に戻す

！ ご注意

- 録画中やダビング中は、ソフトウェアをダウンロードできません。
- ソフトウェアを更新中は、他機への配信が停止されます。
- ソフトウェアのダウンロード中に予約録画が始まると、ダウンロードを中止します。
- ソフトウェア更新後は、本書と本機で画面や動作が一致なくなることがあります。
- サーバーに接続できない場合はメッセージが表示されます。確認後、**決定** を押してください。

対象機種：BIV-TW1000

- 無線LANでネットワークに接続している場合、ネットワークの通信状態によりソフトウェアの更新が途切れることがありますので、ソフトウェアの更新時は有線LANでの接続をおすすめします。

ソフトウェアが公開されているか自動で確認するには

- ① 手順 1 で“自動更新確認”を選んで **決定** を押し
- ② **▲ / ▼** で“更新確認する”を選んで **決定** を押し
 - ソフトウェアの確認は、本機の電源が「切」のときに行われます。
 - 新しいソフトウェアが公開されている場合は、本機の電源を「入」にしたときにメッセージが表示されます。ダウンロードする場合は、**▲ / ▼** で“はい”を選んで **決定** を押してください。“いいえ”を選ぶとメッセージが消え、ダウンロードされません。

番組表 (G ガイド) を受信する

- 番組表 (G ガイド) は放送局から送信されるテレビ放送の番組データを、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。
- 番組表 (G ガイド) を表示して、見たい番組を選ぶことができます。(録画予約することもできます。(p.94))

番組表 (G ガイド) の受信 / 表示について

- 番組表 (G ガイド) を表示するには

- 1 本機の電源およびテレビの電源を入れる
テレビの入力切替で、本機が接続されている入力に切り換える
- 2 **番組表** を押す
- 3 **地デジ**、**BS**、**CS** を押して、お好みの放送の種類を選ぶ
 - 番組表の見かたについては、「番組表 (G ガイド) の見かた」(p.92) をご覧ください。

■ 番組表 (G ガイド) の表示について

お買い上げ後すぐには、放送波のデータが受信できないので番組表 (G ガイド) を表示できません。

- “かんたん設定” (チャンネル設定) が完了していることをご確認ください。(p.40、45)

■ 番組表 (G ガイド) の受信について

番組データ (G ガイド用のデータを含む) は、本機の電源が「切」(通電状態) のとき、または本機の電源が「入」で録画中でないときに受信されます。番組データを取得中は本体表示部に “**↓**” が表示されます。

- 電源コードは抜かずに、通電状態にしておいてください。
- 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表 (G ガイド) の一覧の内容が更新されます。次のようなときは、番組データを受信できず、番組表 (G ガイド) が空欄になるか前回の内容が残ります。
 - 録画中のとき
 - 停電したときや電源コードを抜いたとき
- 録画中であっても、視聴中や録画中チャンネルの番組データは取得されます。
- 受信には、通常、数十分かかります。
- 午前 4 時 15 分に本機の電源が「切」(通電状態) になっているとき、取得可能な放送局の番組情報が取得されます。この時刻以外にも、電源を「切」にしているときに番組データを取得することがあります。

■ デジタル放送の番組表 (G ガイド) について

地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の番組表 (G ガイド) は、それぞれの放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表 (G ガイド) を表示することができます。(p.27、28)

■ CATV (ケーブルテレビ) の番組表 (G ガイド) について

CATV (ケーブルテレビ) は、放送や伝送方式により、本機で番組表 (G ガイド) を受信できないことがあります。その場合は、ご利用の CATV 会社にご相談ください。(p.30)

◎ ご注意

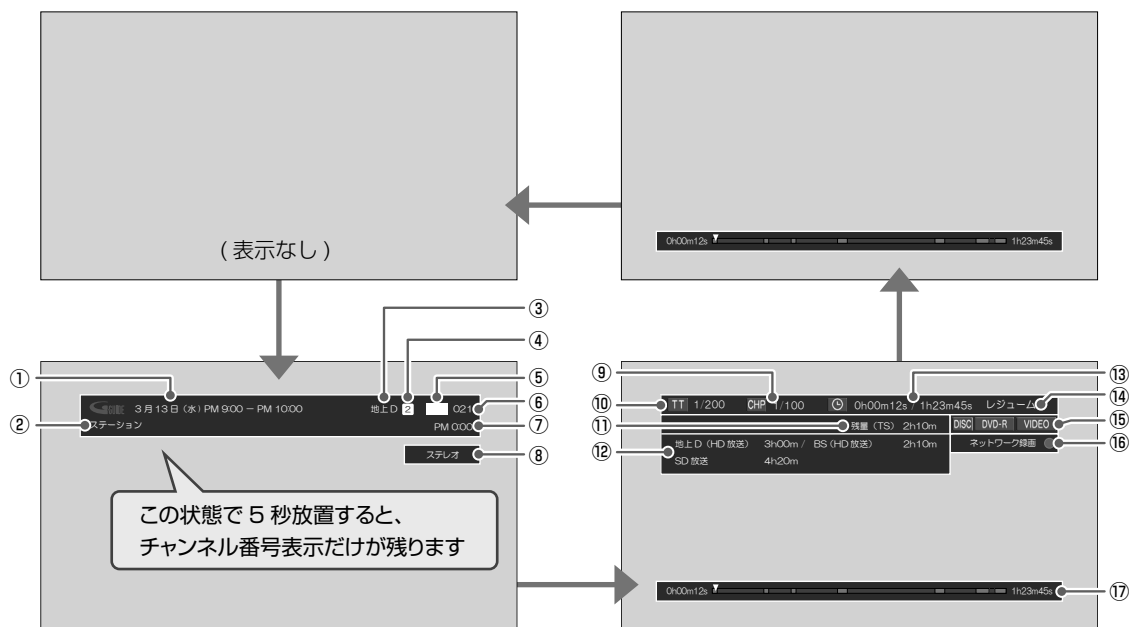
- 次のようなときは、番組データを受信できず、番組表 (G ガイド) が空欄になるか前回の内容が残ります。
 - 録画中のとき
 - 停電したときや電源コードを抜いたとき
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。
- 番組データの受信中は、動作音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 次のようなときは、番組データを新たに受信するまでは番組表 (G ガイド) が利用できなくなります。
 - チャンネル設定をやり直したとき
 - 約 1 週間以上、本機の電源コードを抜いて使用していなかったとき
- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が変更され、番組表 (G ガイド) の内容と異なることがあります。
- 本機は、番組表 (G ガイド) の表示機能に G ガイドを採用しています。なお、当社は G ガイドを利用した番組表 (G ガイド) のサービス内容については、関与していません。

画面表示の見かた

■ 現在の本機の状態や情報を表示する

放送や再生の視聴中にリモコンの **画面表示** を押すたびに、次のように表示が変わります。

(例)



- ① 番組の放送日時
- ② 番組名
- ③ 放送の種類
 - 地上 / BS / CS デジタル放送
- ④ リモコンの数字ボタンの割り当て番号
- ⑤ 放送局のロゴ
- ⑥ チャンネル番号 / 外部入力 (L1)
- ⑦ 現在時刻
- ⑧ 番組の音声情報
- ⑨ 現チャプター番号 / 総チャプター数
 - レジュームポイント (最後に停止した箇所) を記憶せずに停止している場合は、“---” 表示となります。
- ⑩ 現タイトル番号 / 総タイトル数
 - レジュームポイント (最後に停止した箇所) を記憶せずに停止している場合は、現タイトル番号の箇所は“---” 表示となります。(DISC モードのみの表示です。他のモードでは表示方法は変わります。)
- ⑪ 現在の残量表示
 - 現在選択されている録画モードでの残量時間が表示されます。
- ⑫ 残量表示一覧 / 現時点までの録画時間
 - 停止中は各放送における残量を一覧表示します。(録画モードが TS 以外の場合や外部入力に切り換えている場合は表示されません。)
 - 録画中はメディアの種類 / チャンネル番号 / 録画時間を表示します。
 - h : 時間, m : 分
- ⑬ 再生経過時間 / 総再生時間
 - h : 時間, m : 分, s : 秒
- ⑭ 動作状態
- ⑮ メディアの種類
- ⑯ ネットワーク録画
 - ネットワーク録画中やスカパー！プレミアムサービス録画中表示します。
- ⑰ タイムバー
 - 再生中の現在の位置を ▽ マークで表示します。
 - 本編部分は青色、本編以外の部分は灰色で表示されます。
 - チャプター自動再生オンで視聴しているときは、バー全体が青色になります。

メモ

- 本機の動作状態 (放送、再生、録画など) によって、表示される情報が変わります。
- 残量時間はおよその時間です。目安としてお使いください。(現在、選択されている録画モードでの残量時間が表示されます。)
- チャンネルや音声・字幕などを切り換えたときは、該当する項目の画面表示が数秒間表示されます。該当しない項目は表示されません。また、他機で録画されたメディアでは、正しく表示されないことがあります。

■ 表示されるアイコンについて

電源

	起動中・・・	電源が入ったとき
--	--------	----------

メディアの出し入れ

	ディスクトレイ開
	ディスクトレイ閉
	ディスク、SD カードの読み込み中
	カセット HDD の読み込み中

メディアの種類

	ディスク	
	HDD	
対象機種： BIV-TW1000 iVDR1 iVDR2	カセット HDD	
対象機種： BIV-WS1000 BIV-WS500 iVDR		
	BD-RE / BD-R	
	BD-Video	
	BDAV (オリジナル)	
	BDAV (プレイリスト)	
	BDMV	
	DVD-RW / DVD-R	
	DVD-Video	
	DVD-RAM	
	VR モード(オリジナル)	
	VR モード(プレイリスト)	
	ビデオモード	
	AVCREC™ モード(オリジナル)	
	AVCREC™ モード(プレイリスト)	
	SD カード	
	USB 機器	
	音楽用 CD	
	データ CD	
	AVCHD 形式のディスク	
	DLNA 対応機器	
	ディスクなし	ディスクが入っていないとき
対象機種： BIV-TW1000 iVDR1 iVDRなし iVDR2 iVDRなし	カセット HDD が入っていないとき	
対象機種： BIV-WS1000 BIV-WS500 iVDR iVDRなし		

主な動作

	録画
	録画一時停止
	録画停止処理中など
	停止
	つづき再生の停止 (レジュームポイント設定状態)
	再生
	チャプター自動再生
	再生一時停止
	早見再生(音声付き早送り)
	早送り
	早戻し
	スロー再生
	逆スロー再生
	正方向のスキップ
	逆方向のスキップ
	可変スキップ
	可変リプレイ
	ダビング 例：HDD からディスクへ ダビングするとき

その他

	タイトル
	チャプター
	トラック
	再生時間(タイム)
対象機種： BIV-TW1000	4K アップコンバート出力中
	選択中のタイトル
	お好み録画され、自動削除の対象になっているタイトル
	チャプター自動再生可能なタイトル
	お知らせあり
	持ち出し用録画を設定している予約

● ご注意

- テレビ画面に“”が表示されるときは、現在その操作を行うことができません。

ホームメニュー／カンタンメニューについて

■ ホームメニュー画面



■ カンタンメニュー画面



本機の一部の機能は、リモコンの **ホーム** を押し、ホームメニュー画面を表示して操作するようになっています。

本機の基本操作は、リモコンの **カンタン** を押し、カンタンメニュー画面を表示してかんたんに操作できるようにご案内します。

項目	ホームメニュー	カンタンメニュー	内容						
見る (p.111)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ● “見る”画面を表示します。 ● “見る”画面のサブメニューから、さまざまな再生・編集操作ができます。 						
番組表から予約(p.94)	○	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組表(Gガイド)から簡単に、録画を予約できます。 						
録る (p.91、94)	—	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組表(Gガイド)から簡単に、録画を予約できます。 ● 録画予約の一覧を表示し、サブメニューから日時を指定して録画を予約することができます。 						
放送中の番組へ	○	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 視聴したい放送や外部入力を選べます。 						
ダビング(p.142～151)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ● ダビング方向を選んだり、ダビングリストへ登録してダビングできます。 						
予約一覧 (p.91)	○	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画予約の一覧を表示し、サブメニューから日時を指定して録画を予約することができます。 						
お好み録画 (p.104)	○	—	<ul style="list-style-type: none"> ● お好みの条件を設定し、自動で録画できます。 						
メディアの管理	○	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 各種メディアに関して以下の操作や設定ができます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">HDD メニュー</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> - 番組全消去 (p.140) - 番組全消去(保護番組以外) (p.140) - 持ち出し番組全消去 (p.141) - 持ち出し番組の確認 (p.157) </td> </tr> <tr> <td>BD/DVD メニュー</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> - 初期化 (p.141) - ファイナライズ (p.140) - ディスク名変更 (p.139) - ディスク保護/ディスク保護解除 (p.139) </td> </tr> <tr> <td>iVDR メニュー</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> - 初期化 (p.141) - 番組全消去(保護番組以外) (p.141) - iVDR 名変更 (p.139) </td> </tr> </tbody> </table>	HDD メニュー	<ul style="list-style-type: none"> - 番組全消去 (p.140) - 番組全消去(保護番組以外) (p.140) - 持ち出し番組全消去 (p.141) - 持ち出し番組の確認 (p.157) 	BD/DVD メニュー	<ul style="list-style-type: none"> - 初期化 (p.141) - ファイナライズ (p.140) - ディスク名変更 (p.139) - ディスク保護/ディスク保護解除 (p.139) 	iVDR メニュー	<ul style="list-style-type: none"> - 初期化 (p.141) - 番組全消去(保護番組以外) (p.141) - iVDR 名変更 (p.139)
HDD メニュー	<ul style="list-style-type: none"> - 番組全消去 (p.140) - 番組全消去(保護番組以外) (p.140) - 持ち出し番組全消去 (p.141) - 持ち出し番組の確認 (p.157) 								
BD/DVD メニュー	<ul style="list-style-type: none"> - 初期化 (p.141) - ファイナライズ (p.140) - ディスク名変更 (p.139) - ディスク保護/ディスク保護解除 (p.139) 								
iVDR メニュー	<ul style="list-style-type: none"> - 初期化 (p.141) - 番組全消去(保護番組以外) (p.141) - iVDR 名変更 (p.139) 								
お知らせ	○	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送の情報や案内を確認できます。詳しくは、「本機や放送局からのお知らせを確認する」(p.160)をご覧ください。 						
設定	○	—	<ul style="list-style-type: none"> ● さまざまな機能の設定などを行います。詳しくは、「放送関連の設定を変える」(p.45)、「いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)」(p.161)をご覧ください。 						

メモ

- ホームメニュー画面やカンタンメニュー画面は録画、再生などの動作中でも表示できますが、再生中は再生を停止して表示します。
- 現在操作ができない項目はグレー表示となります。(選択できても、操作できません。)

本機で受信できる放送の種類

本機では以下の3種類の放送を受信できます。

放送の種類	特徴	本機で利用できる主なサービス
地上デジタル放送	<ul style="list-style-type: none"> ● 地上波のUHF帯域を使って行うデジタル放送です。また、本機はCATVパススルー方式に対応しています。CATV会社が再送信する地上デジタル放送も受信することができます。 ● 最新のデジタル技術を活用することで、高画質(ハイビジョン放送)5.1chサラウンド・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。 ● 本機ではワンセグは受信できません。 	番組表 (Gガイド) データ放送 字幕放送
BSデジタル放送	<ul style="list-style-type: none"> ● 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行われる放送で、日本全国どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。ハイビジョン放送やデータ放送が特徴です。一部の有料放送(WOWOWなど)を視聴するには、加入申込みと契約が必要です。 	番組表 (Gガイド) データ放送 字幕放送 ラジオ放送
110度CSデジタル放送	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送です。ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあり、ほとんどの番組は有料です。「スカパー！」を視聴するには、加入申込みと契約が必要です。 	番組表 (Gガイド) データ放送 字幕放送 ラジオ放送

5

視聴する

■ デジタル放送の「データ放送」「ラジオ放送」「双方向サービス」について

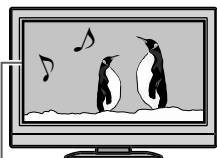


小画面ではほとんどの場合、放送中の番組画面が表示されます。

● データ放送(設定：p.67)

データ放送には「番組連動データ放送」「独立データ放送」などがあり、番組連動データ放送は、例えば野球放送中の他球場の速報や、歌番組などでの勝敗投票といった、番組に関連したデータ放送です。(番組連動データ放送には、「双方向通信」機能を使う番組があります。ネットワークの接続や設定が必要です。)独立データ放送は、天気予報、ショッピング情報(オンライン通販)などの、番組とは無関係の内容です。

※ 本機はデータ放送の記録はできません。



静止画などが表示されます。

● ラジオ放送

ラジオ放送は、BSデジタルおよび110度CSデジタル放送で行われています。放送内容に連動して画像が楽しめるものと音声のみのラジオ放送があり、番組によっては音楽用CD並みの高音質を楽しむことができます。

※ 本機はラジオ放送の記録はできません。



(例) 青、赤、緑、黄ボタンを使って、投票などできます。

● 双方向通信(接続と設定：p.33、52)

デジタル放送では、「双方向通信」機能を使って、クイズ番組に参加したり、買い物をしたりすることができます。双方向通信をするには、ブロードバンド常時接続環境につながります。

※ 本機は、インターネットを経由して利用する双方向通信サービスに対応しています。

直接電話回線で接続する双方向通信サービスには、対応していません。



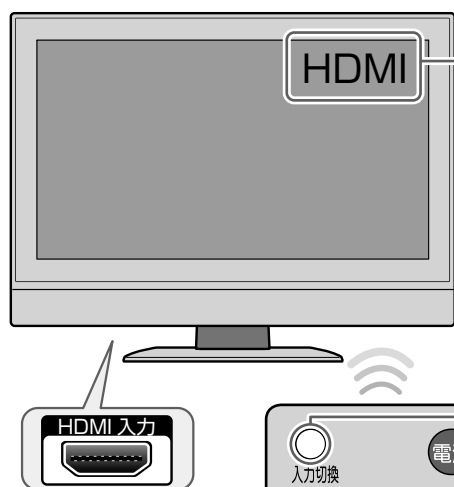
- 「WOWOW」や「スカパー！」などは加入申込みと契約が必要です。受信契約については、各放送事業者にお問い合わせください。

本機の映像をテレビで見られるようにする

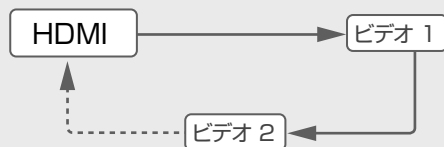
❗ 準備

- 本機とテレビをつないでおく

- 1 テレビの電源を入れる
- 2 テレビの入力切換で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える
(テレビのリモコンで切り換えます)



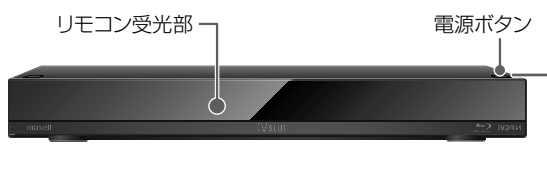
■ 本機をテレビの「HDMI入力」端子に接続しているときの例



テレビのリモコンの『入力切換』ボタンを繰り返し押し、画面に「HDMI」を表示させます。
(テレビごとに表示および操作方法は異なります。)

- 3 本機の電源を入れる

(切るときも同じ操作です。)



電源が入ると、本体表示部に「HELLO」と表示されます。
画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

本機の準備が完了すると、通常は、本機の内蔵チューナーで受信している放送の映像がテレビに映ります。

💡 ご注意 “かんたん設定” 画面が表示された場合

かんたん設定

正しくお使いいただくために各種設定を行います。
設定を開始する前に以下の準備が終了しているか確認してください。

- ・アンテナ線の接続
- ・B-CASカードの挿入

各種設定は、あとから「放送受信設定」と「本体設定」メニューより変更できます。

設定を開始する

あとで設定する

電源を入れたあと、このような画面が表示された場合は、
本機を使うための設定が終わっていません。
「本機の設定」(p.40) をご覧になり、「かんたん設定」
を行ってください。

放送中の番組を楽しむ

地デジや BS・CS 放送、ラジオ放送やデータ放送を楽しむことができます。

チャンネルを選ぶ

1 デジ または BS、CS を押して、お好みの放送の種類を選ぶ

サブメニューから放送の種類を選ぶときは

- ① **サブメニュー** を押して、サブメニューを表示する
- ② **▲ / ▼** で“放送・入力切換”を選び、**決定** を押す
- ③ **▲ / ▼** でお好みの放送の種類を選び、**決定** を押す

2 チャンネルを選ぶ

順送り / 逆送りで選ぶときは

- ① **チャンネル** を使います。

リモコンの 1 ~ 12 ボタンに設定されているチャンネルを選ぶときは

- ① **1** ~ **12** を使います。

チャンネル番号を直接指定するときは

- ① **Ch番号入力** を使います。

(例) 021 チャンネルを選ぶときは

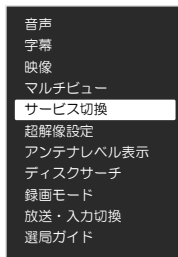
Ch番号入力 → **10** → **2** → **1**

メモ

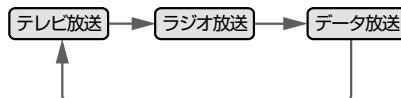
- パスワードの入力画面が表示されたときは、「デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する」(p.68)をご覧ください。

ラジオ放送やデータ放送を選ぶには

- ① 番組視聴中に **サービス** を押して、サブメニューを表示する
- ② **▲ / ▼** で“サービス切換”を選び、**決定** を押す



- この操作を繰り返すたびに下記の順でサービスが切り換わります。(放送されていないサービスはスキップされます。)



放送中の番組を楽しむ・つづき

選局ガイドからチャンネルを選ぶ

- 1 **地デジ** または **BS**、**CS** を押して、お好みの放送の種類を選ぶ
- 2 **サブメニュー** を押して、▲ / ▼ で“選局ガイド”を選び、**決定** を押す
- 3 **1** **あ** ~ **12** を押すか、または ▲ / ▼ / ◀ / ▶ でお好みのチャンネルを選び、**決定** を押す



- **青** または **赤** で、ページを切り換えることができます。

番組表(Gガイド)からチャンネルを選ぶ

- 1 **番組表** を押して、番組表(Gガイド)を表示する
(番組表(Gガイド)の表示については(p.59)をご覧ください。)
- 2 **地デジ** または **BS**、**CS** を押して、お好みの放送の種類を選ぶ
- 3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で視聴したい番組を選び、**決定** を押す
- 4 ◀ / ▶ で“見る”を選び、**決定** を押す



メモ

枝番号があるチャンネルを選局した場合

- 枝番号とは、将来多くの地域で地上デジタル放送が開始され、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できる場合に追加される番号のことです。

(例) 入力した3桁チャンネルに枝番号がある場合、

“チャンネル枝番号の選局”画面が表示されるので、◀ / ▶ でお好みのチャンネルを選んでください。



番組の詳細説明を確認するには

番組説明の確認方法には以下の2つがあります。

- 番組表(Gガイド)で確認したい番組を選んだ状態で、**番組説明** または **決定** を押す
- 番組視聴中に **番組説明** を押す

表示を消すには、“閉じる”を選んで **決定** を押すか、**番組説明** または **戻る** を押します。

ご注意

- BIV-TW1000 で、3番組同時録画中は、録画中のチャンネル間でのみ切り換えることができます。
- BIV-WS1000 と BIT-WS500 で、2番組同時録画中は、録画中のチャンネル間でのみ切り換えることができます。

テレビ放送に連動した データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の案内に従っているような情報やサービスを利用できます。


- 本機では、データ放送を録画することはできません。録画が始まると、データ放送の画面が消えます。

1 データ放送のある番組を視聴中に、を押してテレビ放送に連動しているデータ放送を表示する

- 情報が多い場合は、表示されるまで時間がかかることがあります。


2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ や色ボタン、または数字ボタンなどを使って、画面の案内に従い操作する

■ データ放送での文字入力について

- を押すと、入力した文字を消去できます。
- 漢字や半角カナは入力できません。

3 データ放送を見終わったら、を押してテレビ放送に戻す


メモ

- 操作中に前の画面に戻るときは、画面の案内に従い操作するか を押してください。

視聴中の番組の音声を切り換える

複数の音声がある番組を見るときは、視聴中に音声を切り換えることができます。

1 複数の音声がある番組を視聴中に、を押して、音声情報を表示する

- 音声情報は、を押してサブメニューを表示し、そこから“音声”を選ぶことでも表示できます。

2 ▲ / ▼ で好みの設定を選び、を押す

視聴中の番組の字幕を切り換える

1 字幕情報がある番組を視聴中に、を押して、サブメニューを表示する

2 ▲ / ▼ で“字幕”を選び、を押す

- 字幕情報が表示されます。

3 ▲ / ▼ で好みの設定を選び、を押す

- 選べる字幕言語は“日本語”と“英語”のみです。（番組によって異なります。）

Q ご注意

- データ放送のサービスを利用するためには、次の準備が必要になる場合があります。
 - ネットワークの接続と設定
 - miniB-CAS カードの登録
 - 放送局との受信契約
- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- デジタル放送を録画した番組の再生中は、番組に連動したデータ放送を表示することはできません。
- デジタル放送録画中のチャンネルは、テレビ放送に連動したデータ放送を視聴することはできません。
- データ放送には、インターネット経由で通信する双方向サービスもあります。詳しくは放送事業者へお問い合わせください。

放送中の番組を楽しむ・つづき

視聴中の番組のアングルを切り換える

- 1 アングル情報がある番組を視聴中に、
サブメニューを押して、サブメニューを表示する
- 2 ▲ / ▼で“映像”を選び、決定を押す
 - アングル情報が表示されます。
- 3 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定を押す

マルチビュー番組の映像、音声などを切り換える

“マルチビュー”は、映像、音声、字幕などの組み合わせが複数ある番組で、この項目を切り換えることでそれぞれの項目が一度に切り換わります。

- 1 番組を視聴中に、サブメニューを押して、サブメニューを表示する
- 2 ▲ / ▼で“マルチビュー”を選び、決定を押す
 - 設定情報が表示されます。
- 3 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定を押す

視聴中の番組の画質を切り換える（超解像設定）

HDMI 端子からフルハイビジョン画質（1080i/1080p）で出力時、標準画質（480i/480p）の映像を精細感の高い画質に補正します。

- 1 標準画質の番組を視聴中に、サブメニューを押してサブメニューを表示する
- 2 ▲ / ▼で“超解像設定”を選び、決定を押す
 - 設定情報が表示されます。
- 3 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定を押す

視聴中の放送のアンテナレベルを確認する

視聴中の放送のアンテナレベルを確認できます。

- 1 番組を視聴中に、サブメニューを押して、サブメニューを表示する
- 2 ▲ / ▼で“アンテナレベル表示”を選び、決定を押す
 - アンテナレベル画面が表示されます。

デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する

番組の視聴中にパスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力すると、その番組を視聴できるようになります。

- 1 1^お～10⁵⁰で、「デジタル放送の視聴可能年齢を設定する」(p.51)で設定したパスワードを入力する
 - 制限を解除するには、ホーム → “設定” → “放送受信設定” → “共通設定” → “視聴年齢制限”を“無制限”に設定してください。(p.47)


他の機器の映像を見る


本機の外部入力端子に他の映像機器を接続して、見ることができます。


外部入力の映像に切り換える

本機の入力端子(L1)につないだ他の機器の映像を、本機を使って見るときは、本機を外部入力に切り換えます。

他の機器の操作については、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。

1  を押して、サブメニューを表示する

2 ▲ / ▼ で「放送・入力切換」を選び、 を押す

3 ▲ / ▼ で「外部入力(L1)」を選び、 を押す

ご注意

- 以下の場合、外部入力(L1)に切り換えることはできません。
 - 録画モード AF ~ AE で複数番組*を同時録画中
 - ※ BIV-TW1000 は 3 番組
 - BIV-WS1000 / BIV-WS500 は 2 番組

ケーブルテレビチューナーで受信している番組を見る

CATV(ケーブルテレビ)の番組を視聴するためには、CATV会社専用のホームターミナル/セットトップボックスでチャンネルを選局し、本機を外部入力に切り換えて視聴します。(ホームターミナル/セットトップボックスを介さない場合もあります。)

パススルー方式で送信されている場合は、地上デジタル放送、BS デジタル放送などは、本機のチャンネル選局で視聴できます。(外部入力端子への接続は不要です。)

- 詳しくは、ご契約のCATV会社にご相談ください。
- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

準備

- 本機とケーブルテレビをつないでおく (p.30)

1 ケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックスを見たいチャンネルに合わせる

2 外部入力に切り換える







- 本ページ「外部入力の映像に切り換える」の手順 1 ~ 3 を行ってください。

ご注意

- CATV(ケーブルテレビ)、スカパー!、WOWOWなどで録画制限がある番組を録画するときの制約はデジタル放送の番組の場合と同様となります。ただし、CATV(ケーブルテレビ)のホームターミナル/セットトップボックス経由で「ダビング10(コピー9回+移動1回)」番組を録画する場合は、「1回だけ録画可能」タイトルとして録画されます。
- 外部入力(L1)からHDDに録画したコピー制限のあるタイトルをDVDにダビングする場合は、CPRM対応のDVD-RW(VR) / DVD-R(VR)を使用してください。
- 外部入力(L1)からコピー制限のある番組をカセットHDDに録画する場合、またはHDDに録画したコピー制限のあるタイトルをカセットHDDにダビングする場合は、セキュア対応のカセットHDD(iVDR-S)を使用してください。なお、コピー制限の有無にかかわらず、外部入力(L1)からHDDやカセットHDDに録画されたタイトルをDVD-RW / DVD-RにAVCREC™方式でダビングすることはできません。
- テレビやCATV(ケーブルテレビ)のホームターミナル/セットトップボックスのI.rシステムを使う場合、本機を操作できないことがあります。

本機で使えるメディアについて

本機で録画・再生ができるメディアについて

メディアの種類 ディスクのバージョン (Ver.) が違う場合、 本機では使えないこと があります	HDD 	HDD(iVDR) 	BD-RE 	BD-R 	備考
	ハードディスク (本機に内蔵)	カセット ハードディスク セキュア対応 カセットHDD (iVDR-S) セキュア非対応 カセットHDD (iVDR)	 SL / DL (1層 / 2層) BDXL TL (3層) Ver. 2.1、3.0 高速記録： 2倍速ディスクまで	 SL / DL (1層 / 2層) BDXL TL (3層) Ver. 1.1、1.2、 1.3、2.0、 LTH type 高速記録： 6倍速ディスクまで	
録画(デジタル放送)	○	○	○	○	デジタル放送の
録画(外部入力)	○	○	○	○	HD 放送を ...
ダビング(デジタル放送) ^{*1}	○	○	○	○	◎：ハイビジョン画質で録画可
ダビング(外部入力) ^{*1}	○	○	○	○	○：標準画質で録画可
繰り返し録画	○	○	○	×	
再生	○	○	○	○	○：できる
“見る”画面からの再生	○	○	○	○	×
追っかけ再生	○	○	×	×	

メディアの種類 ディスクのバージョン (Ver.) が違う場合、 本機では使えないこと があります	-RW 			-R 			備考
	Ver. 1.1、Ver. 1.2 高速記録 6倍速ディスクまで	Ver. 1.1、Ver. 1.2 高速記録 6倍速ディスクまで	Ver. 1.1、Ver. 1.2 高速記録 6倍速ディスクまで	SL / DL (1層 / 2層 ^{*2}) Ver. 2.0、2.1: 高速記録 16倍速ディスクまで Ver. 3.0: 高速記録 8倍速ディスクまで	Ver. 2.0、2.1: 高速記録 16倍速ディスクまで Ver. 3.0: 高速記録 8倍速ディスクまで	Ver. 2.0、2.1: 高速記録 16倍速ディスクまで Ver. 3.0: 高速記録 8倍速ディスクまで	
	-RW (VR)	-RW (AVC)	-RW (Video)	-R (VR)	-R (AVC)	-R (Video)	
録画(デジタル放送)	×	×	×	×	×	×	デジタル放送のHD放送を...
録画(外部入力)	×	×	×	×	×	×	◎：ハイビジョン画質で録画可
ダビング(デジタル放送) ^{*1}	○	◎	×	○	◎	×	○：標準画質で録画可
ダビング(外部入力) ^{*1}	○	×	△ ^{*3}	○	×	△ ^{*3}	△：コピー制限のないタイトルのみ可能 ×：できない
繰り返しダビング	○	○ ^{*4}	○ ^{*3,4}	×	×	×	
再生	○	○	○	○	○	○	○：できる
“見る”画面からの再生	○	○	×	○	○	×	×
追っかけ再生	×	×	×	×	×	×	×

*1 デジタル放送をダビングする場合、「コピー」、「移動」のどちらになるかについては、「ダビング制限について」(p.143)をご覧ください。CATV(ケーブルテレビ)、スカパー!、WOWOWなどで録画制限がある番組の録画については、デジタル放送の番組の場合と同様となります。ただし、CATVのホームターミナル/セットトップボックス経由で、外部入力(L1)から「ダビング 10 (コピー 9回+移動 1回)」番組を録画する場合は、「1回だけ録画可能」番組として録画されます。

*2 DVD-Rの2層ディスクの場合、AVCREC™方式でのみダビングすることができます。

*3 DVD-RW(Video) / DVD-R(Video)にダビングしたときは、ダビングを終了後、自動的にファイナライズが行われます。



*4 ファイナライズされたDVD-RW(AVCREC™) / -RW(Video)にダビングできるようにする場合は、初期化(再フォーマット)(p.141)を行ってください。(ただし、初期化を行うと録画内容は消去されます。)









● 本機で対応しているDVD-RW / DVD-Rの録画方式は3種類(AVCREC™、VR、Video)です。(p.77)

注意

- デジタル放送をDVD-RW / DVD-Rにダビングする場合は、CPRM対応のディスクをお使いください。
- デジタル放送をカセットHDDに録画・ダビングする場合は、セキュア対応のカセットHDD(iVDR-S)をお使いください。
- カセットHDDには標準タイプ、Miniタイプ、EXタイプの3種類のカートリッジがありますが、標準タイプのカートリッジのみご使用になれます。
- 本機では当社製のセキュア対応カセットHDD「iV」(アイヴィ) [M-VDRS1Tシリーズ / M-VDRS500Gシリーズ] (別売品)を推奨します。(p.72)
- カセットHDDには、セキュア対応のiVDR-Secureとセキュア非対応のiVDRがあります。
- カセットHDDに録画モードTS以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。
- 8cm盤のディスクは、再生だけができます。録画や編集をしたり、HDDやカセットHDDにタイトルを取り込むことはできません。

本機で再生だけができるメディアについて

メディアの種類 ディスクのバージョン (Ver.) が違う場合、本機では使えない ことがあります	BD-Video	DVD-Video	音楽用CD	DVD-RAM
	リージョンコードに「A」の表示があるディスク 	リージョンコードに「2」や「ALL」の表示があるディスク  	音楽用 CD (CD-DA) 音楽用 CD 形式で記録され、ファイナライズ済みの CD-RW / CD-R	
再生	○	○	○	×
“見る”画面からの再生	×	×	○ (音楽用 CD のみ)	×

メディアの種類	JPEG (デジタルカメラで撮影された写真などが記録されたもの)     	AVCHD形式 (デジタルビデオカメラで撮影されたハイビジョン画質の動画) で記録されたもの  *6	 
	再生	○	○
“見る”画面からの再生	○ (JPEG 専用)	× *7	× *8

○：できる

×：できない

*6 ファイナライズ済みの DVD-RW / DVD-R (2 層ディスクを含む)

*7 ディスクから直接再生することができます。

*8 本機の HDD に取り込んで (ダビングして)、HDD の “見る” 画面から再生することができます。

ご注意

- + RW / + R については、本機では対応していません。
- VCD / SVCD / CD-EXTRA の再生については、本機では対応していません。
- SACD / DVD オーディオの再生については、本機では対応していません。

本機で使えるメディアについて・つづき

HDDについて

大容量データ記録装置の1つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。

次のようなことは行わないでください。

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、動かさないでください。
- 本機の電源が入っている状態で、電源コードを抜かないでください。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後は、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源を切ったあと、2分以上経過してから行ってください。)
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- HDDは、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画(録音)内容が失われたり、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- HDDが故障すると、HDDの録画(録音)内容が失われることがあります。

HDDは、録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

- 大切な録画(録音)内容は、複数の違う媒体に保存しておくことをおすすめします。
- HDDは機械的部品なので、経年的な変化で早期に劣化することがあります。

その他

- お客様ご自身でHDDを交換することはできません。(正常に動作しません。また、保証は無効となります。)
- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDDは、お買い上げ時には何も録画されていません。番組などを録画して、再生をお楽しみください。

ご注意

- HDDに異常が発生した場合、再生が不能になったり、録画内容が消失したりすることがあります。

カセットHDD(iVDR)について

■ カセット HDD (iVDR) とは

カセットHDDは、iVDR (Information Versatile Device for Removable usage) 規格に準拠したカセット式のハードディスクです。別売のカセットHDDを本機に接続することにより、HDDの高速/大容量を活かしたリムーバブルメディアとして利用できます。

デジタル放送のほとんどの番組はコピー制限付きです。コピー制限付き番組はセキュア対応のカセットHDD「iVDR-S」で録画することができます。また、カセットHDDには標準タイプ、Miniタイプ、EXタイプの3種類のカートリッジがありますが、本機では標準タイプのカートリッジのみご使用になります。当社製のセキュア対応カセットHDD「iV」(アイヴィ) [M-VDRS1Tシリーズ/ M-VDRS500Gシリーズ] (別売品)を推奨します。

本機にカセットHDDを挿入しているときは、カセットHDDに録画したり、カセットHDDのタイトルをHDDに移動したりすることができます。

! 準備

- カセットHDDを挿入する(p.75)
 - **iVDR**を押して、カセットHDD(iVDR)操作モードに切り換える

対象機種: BIV-TW1000

iVDRを押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。
▲/▼で希望のカセットHDDを選び、**決定**を押してください。

■ カセット HDD (iVDR) で使える機能

以下の点を除けばHDDと同じようにお使いいただけます。操作も同じですので、各機能の項目を参照してください。

HDDとの相違点

- “かんたんダビング”はできません。
- カセットHDDの“録画モード変換”はできません。
- デジタル放送の「ダビング10」番組を録画しても、移動のみ可能タイトルとして記録されます。
- カセットHDDに同時録画できるのは2番組までです。

! ご注意

- アクセス(動作中)ランプが点灯しているときはカセットHDDを抜かないでください。

ディスクについて

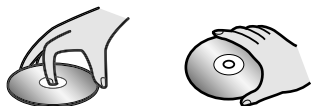
■ ブルーレイディスク / DVD / CD 全般

次のような場合は、正常に録画・再生できません。

- 記録状態が悪い、ディスクの特性不良、傷、汚れ、本機の録画／再生用レンズの汚れ、結露などがあるとき。
- 本機で録画したディスクを、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、ゲーム機などで再生するとき。
- パソコンなどで作成されたディスクを本機で再生するとき。このようなディスクを本機に入れて、ディスクが取り出せなくなった場合は、「ディスクトレイの開閉ができない。」(p.189)をご覧ください。対処してください。
- PAL方式など、NTSC方式以外で記録されたDVDディスク。
- 権利者に無断で作成されたディスク。
- クローズド・キャプション(Closed Caption)の録画・再生。

ディスクの持ちかた

- ディスクの端または中央の穴を持ち、記録・再生面(光っている面)には手を触れないでください。



- 指紋が付いたり汚れたときは、水を含ませた柔らかい布でふいたあと、からぶきしてください。布でふく方向は、ディスクの中心から外側に向けてふいてください。市販のレコードクリーナーやベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。



クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーニングディスクをご使用になる場合は、日立マクセル製ブルーレイレンズクリーナー「型番BDRO-CL(S) / BDRO-CW(S) / BDRO-DW-WP(S)」をお使いください。

ディスクの保管について

- 使用後は、所定のケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くと、変形や反りの原因となります。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近く、締め切った自動車内など、高温になる場所に放置しないでください。

次のようなディスクは使わないでください!

- ディスク自体の破損や本体の故障の原因となります。
 - 傷が付いているディスク。
 - ラベルやシールが貼られているディスク。
 - のりがはみ出しているディスク。
 - ひび割れ、変形、接着剤などで補修したディスク。
 - 六角形など、特殊な形状のディスク。

8cm 盤のディスクを使用するときは

- 本機では再生だけができます。録画や編集をしたり、HDDやカセットHDDにタイトルを取り込むことはできません。
- ディスクはトレイの中央の溝に確実にはめてください。
- 8cm アダプターなしで使用できます。

■ BD-RE / BD-R

- 他の機器で録画してファイナライズ(クローズ)していないBD-Rは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- BD-RE / BD-Rは、お買い上げ時には初期化(フォーマット)されていません。使用する前に初期化してください。(p.76)
- BD-RE Ver1.0 (カートリッジタイプ)は、本機では使用できません。


■ DVD-RW / DVD-R

- DVDには直接録画できません。
- 他の機器で録画してファイナライズしていないディスクは、本機で正常に再生できなかったり、ディスクの録画内容が失われたりすることがあります。
- DVD-RW / DVD-Rは、お買い上げ時には初期化(フォーマット)されていません。使用する前に初期化してください。(p.77)
- DVD-RW(AVCREC™) / DVD-R(AVCREC™)は、AVCREC™方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW(VR) / DVD-R(VR)は、VR方式に対応したレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- CPRM対応のディスクは、CPRM対応のレコーダー／プレーヤーでのみ再生できます。
- DVD-RW(Video) / DVD-R(Video)は、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後、本機ではDVD-Videoと同様の扱いとなります。
- 1倍速ディスクを使用する場合は、ディスクの取り出しに時間がかかることがあります。
- DVD-RAMの再生は、保証しておりません。

■ BD / DVD-Video

- ディスクによっては、ソフト制作者の意図により本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

■ 音楽用 CD

- 音楽用CDは、ディスクレーベル面に  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- MP3ファイル形式で録音されたディスクには対応していません。
- CD規格外の音楽用CD(コピーコントロール付きCDなど)は正常に再生できません。
- データファイルが混在している音楽用CDは再生できません。

● 注意

- 次のような場合は、正常に録画できない場合があります。
 - ディスクに、傷や汚れなどによって録画できない部分があるとき
 - 映りの悪い(電波状態が悪い、弱い)番組など、画質が良くない映像を録画したとき
- 高速記録対応のディスクを使用しているときは、本機の動作音が通常よりも大きくなりますが、故障ではありません。
- 対応ディスクであっても、すべての記録・再生を保証するものではありません。

本機で使えるメディアについて・つづき

SD カードについて

- 本機は、SD 規格に準拠した以下の SD カードに対応しています。
 - exFAT 形式でフォーマットされた SDXC カード
 - FAT32 形式でフォーマットされた SDHC カード
 - FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD カード
- 4GB 以上の SD カードは、SDXC カードまたは SDHC カードのみ使用できます。

メモ

- 本機で再生できる JPEG 形式については、「本機で再生できる JPEG ファイルについて」(p.124)をご覧ください。

ご注意

- すべての SD カードで動作を保証するものではありません。
- miniSD カード、microSD カードを使用するときは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- パソコンでフォーマットされた SD カードは、本機では使用できないことがあります。

USB 機器について

- 本機前面の USB 端子で利用できる USB 機器は、USB マスストレージクラス（大容量データ記憶装置の1つに分類される USB のデバイスタイプ）に対応し、JPEG 対応のデジタルカメラまたは AVCHD 形式対応のデジタルビデオカメラだけです。（携帯電話、スマートフォン、タブレットは使用できません。）
- 上記以外の USB 機器は接続しないでください。USB 機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因になります。また、本機と USB 機器を USB ハブ経由や USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は、保証しておりません。
- 本機の USB 端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本機の故障の原因となります。

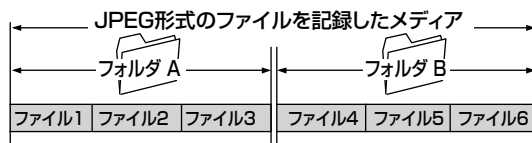
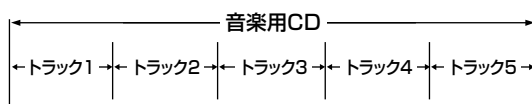
ご注意

- すべての対応 USB 機器で動作を保証するものではありません。
- SD カードや USB 機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- SD カードや USB 機器の認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。SD カード、USB 機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
 - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
 - SD カードや USB ケーブルを抜く
- SD カードに記録するデジタルカメラやデジタルビデオカメラの場合、USB 接続で認識・読み込みができないときは、SD カードを使用して写真の再生や映像取り込み（ダビング）を行ってください。

HDD やディスクの構成区分について

- 一般に、HDD やディスクに収録された内容は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
- 音楽用 CD の場合は、「トラック」で区切られています。
- JPEG 形式のファイルが記録された、CD-RW、CD-R の場合、データは「フォルダ」という大きな区切りと、「ファイル」という小さな区切りで構成されます。パソコンなどで JPEG 形式のファイルを作成する際、ファイルはフォルダに分けて記録させることができます。

(例)



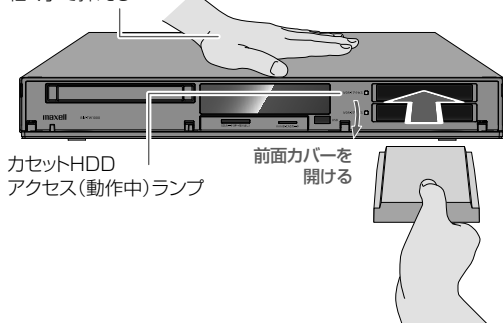
- タイトル： HDD やディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。
- チャプター： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。
- トラック： 音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったものです。
- ファイル： ひとつひとつのデータのことです。
- フォルダ： ファイルやフォルダなどの集合を内包する階層のことです。

カセット HDD の準備

カセット HDD (iVDR) を挿入口に入れる

カセット HDD を挿入するときは、本体が動かないように、本体を手で押さえ、カセット HDD の iVDR または iVDR-S ロゴ面を上にして、ロックされるまでゆっくりと押し込んでください。フォーマットされていないカセット HDD を挿入した場合は、画面の指示に従ってカセット HDD の初期化を実行してください。

本体が動かないように、軽く手で押える

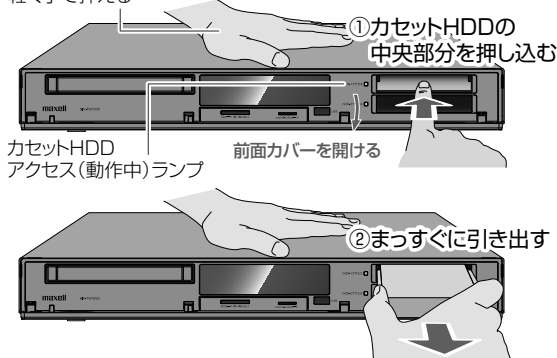


カセット HDD (iVDR) を取り出す

カセット HDD アクセス (動作中) ランプが消灯していることを確認してください。本体が動かないように本体を手で押さえ、カセット HDD 中央部を一度押し込みロックを外してからカセット HDD をつまみ、ゆっくり引き抜いてください。

カセット HDD アクセス (動作中) ランプが点灯中のときは、カセット HDD を抜かないでください。

本体が動かないように、軽く手で押える



ご注意

- 次の動作中に、カセット HDD を取り外したり、電源プラグを抜かないでください。カセット HDD の記録内容が損傷し、録画や再生ができなくなる可能性があります。
 - 録画・再生・編集・ダビング中
 - 初期化中
 - カセット HDD 認識中
 - カセット HDD アクセス (動作中) ランプ点灯中
- カセット HDD 挿入口には、カセット HDD 以外のものを挿入しないでください。
- カセット HDD 挿入の前に、カセット HDD のコネクタ部に液体・ほこりなどの異物が付いていないことを確認してください。
- 頻繁にカセット HDD を抜き差ししないでください。コネクタ接触部が磨耗し接触不良などの故障の原因になります。
- 初期化中は、完了するまで中止できません。

メモ

- カセット HDD は精密機器です。無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- カセット HDD には、セキュア対応カセット HDD [iVDR-S]、セキュア非対応カセット HDD [iVDR] があります。
- セキュア対応カセット HDD [iVDR-S] は、「1 回だけ録画可能 (コピーワンス)」や「ダビング 10」のデジタル放送を録画することができます。セキュア非対応カセット HDD [iVDR] は「1 回だけ録画可能 (コピーワンス)」番組や「ダビング 10」のデジタル放送は録画できません。
- パソコンでカセット HDD のフォーマットやファイル操作を行った場合、正常に使用できなくなる場合があります。

新品のカセット HDD (iVDR) を初期化 (フォーマット) する

HDD (iVDR)

カセット HDD は、購入後初期化 (フォーマット) しないと録画することができません。

- 1 カセット HDD を挿入する
- 2 メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で「はい」を選び、**決定** を押す

この iVDR は初期化されていない iVDR か、または、再生及び録画ができない iVDR です。録画できるようにするには初期化が必要です。

初期化しますか？

はい

いいえ

- 初期化が終わるまで、数分がかかります。


- 3 メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で「はい」または「いいえ」を選び、**決定** を押す

- iVDR 名の設定を行う場合は「はい」を選んでください。詳しくは「メディアの名前を変更する」(p.139)をご覧ください。
- iVDR 名の設定を行わない場合は「いいえ」を選んで終了してください。
- カセット HDD を引き抜くときは、本体前面のカセット HDD アクセス (動作中) ランプが消灯していることを確認し、本体上部を手で押さえゆっくりと引き抜いてください。カセット HDD は、購入後初期化 (フォーマット) しないと録画することができません。

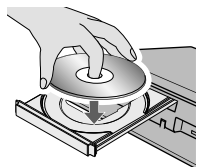
ディスクの準備


ディスクを入れる

フォーマットされていないディスクを入れた場合は、画面の指示に従ってディスクの初期化を実行してください。


1  を押して、ディスクトレイを開く

2 ディスクを、ラベル面を上にしてトレイの上に置く




 両面ディスクを使用するときは記録する面を下にしてください。

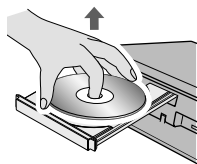
3  を押して、ディスクトレイを閉める

- ディスクの認識と読み込みを行うため、ディスクが使用可能になるまでしばらく時間がかかります。
- ディスクによっては、このあと自動的に再生が始まるものがあります。
- 読み込みが終わると、本体表示部に「」が表示されます。

ディスクを取り出す

1  を押して、ディスクトレイを開く

2 ディスクを取り出す



3  を押して、ディスクトレイを閉める

メモ


- 本体上面の [開 / 閉] ボタンを押してもディスクトレイの開 / 閉ができます。

新品のブルーレイディスクを初期化(フォーマット)する


BD-RE BD-R

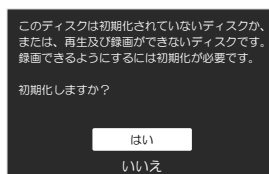
新品(未使用)のディスクを入れると、初期化(フォーマット)画面が表示されますので、ディスクを初期化(フォーマット)してからお使いください。初期化(フォーマット)しないと、録画・ダビングができません。

BD-RE	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げ時には初期化されていません。使用前に初期化してください。 ● あとで初期化し直すことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。)(p.141)
BD-R	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げ時には初期化されていません。使用前に初期化してください。 ● 一度初期化すると初期化し直すことはできません。

1  を押して、DISC モードに切り換える

2 ディスクを入れる

3 メッセージが表示されるので、▲ / ▼で「はい」を選び、 を押す



- 初期化が終わるまで、数分がかかります。
- “初期化中” の表示が消えたら、初期化完了となりますので、録画・ダビングが可能です。

注意

- 初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜かないでください。ディスク内部のデータの破損や、ディスク表面への傷、または本体の故障の原因となります。
- 以下の場合は初期化できません。
 - 録画中
 - 番組表(Gガイド)表示中
 - 再生中
 - “番組説明”画面表示中
 - ダビング中
 - 予約録画開始8分前以降
- 他機でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

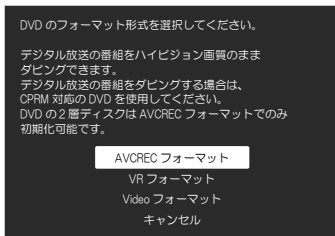
新品の DVD を初期化(フォーマット)する

-RW (AVC) **-R (AVC)** **-RW (VR)** **-R (VR)** **-RW (Video)** **-R (Video)**

DVD は初期化(フォーマット)するときに、録画方式を選びます。初期化(フォーマット)しないと、ダビングすることができません。(DVD に直接録画することはできません。)

DVD-RW	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げ時には初期化されていません。使用前に録画方式を選んで初期化してください。 ● あとで初期化し直すことができます。(初期化すると録画内容は消去されます。)(p.141)
DVD-R	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げ時には初期化されていません。初期化していない場合は Video 方式でのみ使用できます。他の方式で使用する場合は、使用前に録画方式を選んで初期化してください。 ● 一度初期化すると初期化し直すことはできません。

- 1 **DISC** を押して、DISC モードに切り換える
- 2 ディスクを入れる
- 3 メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、**決定** を押す
- 4 ▲ / ▼でお好みの録画方式を選び、**決定** を押す



- ☞ デジタル放送をダビングするときは CPRM 対応ディスクを使って、VR または AVCREC™ 方式で初期化してください。
- ☞ 本機で 2 層ディスク (DVD-R DL) を使う場合は AVCREC™ 方式でのみ、初期化できます。
- ☞ 初期化をしない場合 “キャンセル” を選び、**決定** を押してください。

- “初期化中” の表示が消えたら、初期化完了となりますので、録画・ダビングが可能です。

ご注意

- 初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜かないでください。ディスク内部のデータの破損や、ディスク表面への傷、または本体の故障の原因となります。
- 以下の場合は初期化できません。
 - 録画中
 - 再生中
 - ダビング中
 - 番組表 (G ガイド) 表示中
 - “番組説明” 画面表示中
 - 予約録画開始 8 分前以降
- 他機でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

DVD の録画方式 (AVCREC™、VR、Video) について

ディスクを初めて使うときに、録画方式 (AVCREC™、VR、Video) を選んでから使用します。


AVCREC™ 方式 -RW (AVC) -R (AVC)	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタル放送をハイビジョン画質で記録できる方式です。 ● CPRM 対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組、「ダビング 10 (コピー 9 回+移動 1 回)」番組のダビングができます。 ● ファイナライズ後は AVCREC™ 方式対応のプレーヤー/レコーダーで再生できます。
VR 方式 (DVD ビデオレコーディング規格) -RW (VR) -R (VR)	<ul style="list-style-type: none"> ● DVD レコーダーの基本記録方式です。 ● CPRM 対応のディスクを使えば、デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組、「ダビング 10 (コピー 9 回+移動 1 回)」番組のダビングができます。 ● ファイナライズ後は VR 方式対応のプレーヤー/レコーダーで再生できます。
Video 方式 (DVD ビデオ規格) -RW (Video) -R (Video)	<ul style="list-style-type: none"> ● 市販の DVD-Video と同じ記録方式で、他の機器との再生互換性が高い方式です。 ● 「制限なしに録画可能」番組のみダビングでき、ダビング終了後に自動的にファイナライズが行われます。ファイナライズ後は、本機では DVD-Video と同様の扱いとなり、一般の DVD 機器で再生できます。 ● デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組、「ダビング 10 (コピー 9 回+移動 1 回)」番組のダビングはできません。

SD カードの準備


SD カードを入れる

本機では SD カードに記録された JPEG ファイルを再生できます。また、AVCHD 形式の動画を HDD ヘダビングできます。



SDカード  角がカットされた側を右に
ラベル面を上

① SDカードの向きを確認し、奥まで差し込んでください。

- SD カードを入れると、本体表示部に「」が表示されます。

SD カードを取り出す

SD カードの中央部分を押し、ロックをはずし、まっすぐに引き出してください。

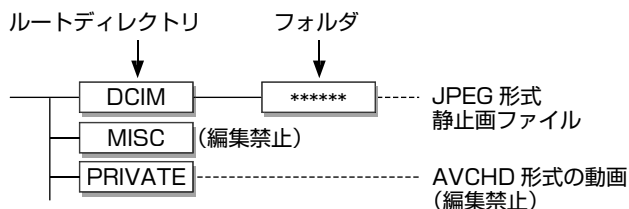


① SDカードの中央部分を押し込む



② まっすぐに引き出す

SD カード内のフォルダ構造について



- 表示可能な「JPEG 形式静止画ファイル」のフォルダ階層は、最大 9 階層ですが、フルパス名（ファイルの所在を示すフォルダ名とファイル名をあわせたもの）の文字数は、最大 245 文字（半角）です。
- ファイル名やフォルダ名を変更すると、静止画の再生や動画のダビングができなくなることがあります。

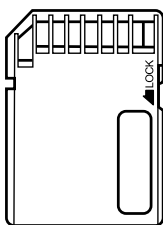
SD カードについて

- SD カード (SD™) は、著作権保護機能を内蔵した、ほぼ切手サイズの小型カードです。

表面



裏面



- マルチメディアカードは使用できません。
- カードに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。
- SD カードによっては、本機で動作しない場合があります。
- 本機は 2GB までの SD カードおよび 32GB までの SDHC カード、64GB 以上の SDXC カードの動作を確認しています。
- microSD カードをご利用の場合は、SD カード変換アダプターに装着してご使用ください。

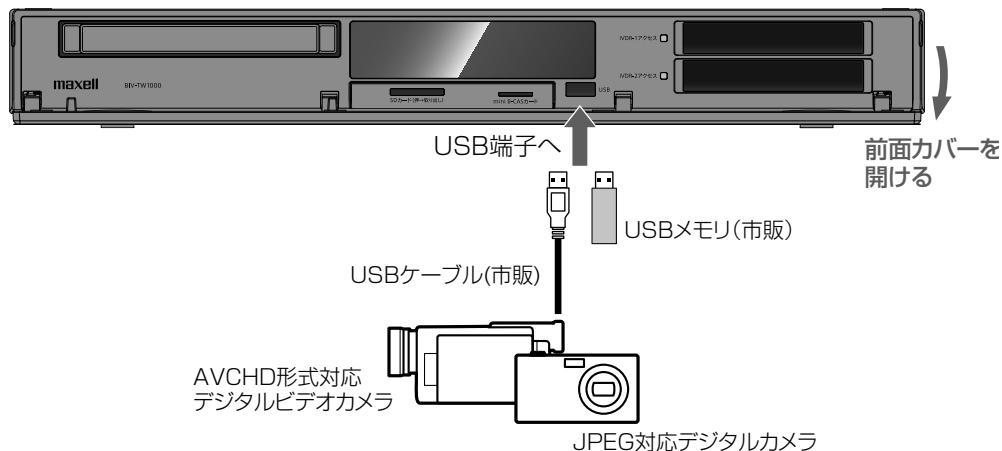
！ ご注意

- SD カードは精密機器です。水をかけたり、曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- SD カードの金属部（電極）に直接触れたり、汚したりしないでください。SD カードを加工したり、分解したりしないでください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用・保管は避けてください。
- SD カードの持ち運びや保管時は、静電気や電氣的ノイズの影響を受けないように注意してください。記録したデータが消滅（破壊）することがあります。
- SD カードの画像を再生しているときは、本機の電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。SD カードのデータが破壊されることがあります。

USB 機器の準備


USB 機器と接続する

本機では USB メモリや、USB 端子を持つ USB 機器に記録された JPEG ファイルを再生できます。また、AVCHD 形式の動画を HDD ヘダビングすることができます。



- 接続する機器で専用のケーブルが指定されている場合は、そのケーブルを使用してください。

■ USB ケーブルを本機と USB 機器に接続すると…

- 本体表示部に「」が表示されます。
- 接続した機器に設定画面が表示されることがあります。その場合は、パソコンに接続する場合と同様に操作してください。(詳しくは、接続する USB 機器の取扱説明書をご覧ください。)
- 認識するまでに、数十秒かかる場合があります。

☞ USB 機器を取り外すには

再生が停止していることを確認し、ゆっくりと引き抜いてください。

録画の前に

録画するメディアを選ぶ

下記の表を参照のうえ、目的に合ったメディアを選んでください。

番組によっては、コンテンツ保護のため録画が禁止・制限されています。

- **DVD には直接録画できません。**
- ブルーレイディスクに録画するときは、内蔵 HDD に録画してから、ブルーレイディスクにダビングをおすすめします。

番組の録画制限	HDD	HDD(iVDR) ※ 1	BD-RE ※ 2 BD-R	-RW (VR) -R (VR)	-RW (AVC) -R (AVC)	-RW (Video) -R (Video)
制限なしに録画可能	○	○	○			
1 回だけ録画可能	○	○	○			
ダビング 10	○	○ ※ 3	○ ※ 3	×	×	×
録画禁止	×	×	×			

○：できる

×：できない

※ 1 以下の場合は、カセット HDD に予約しても、HDD に代理録画されます。

- 録画可能なカセット HDD を挿入していない
- カセット HDD に十分な残量がない

※ 2 以下の場合は、BD-RE / -R に予約しても、HDD に代理録画されます。

- 録画可能なディスクが入っていない
- ディスクに十分な残量がない

※ 3 「ダビング 10」の番組をカセット HDD、BD-RE / -R に直接録画すると、「1 回だけ録画可能」タイトルになります。(移動はできます。)

ご注意

- CATV(ケーブルテレビ)、スカパー！、WOWOW など録画制限がある番組を録画するときの制約はデジタル放送の番組の場合と同様となります。ただし、CATV のホームターミナル/セットトップボックス経由で「ダビング 10(コピー 9 回+移動 1 回)」番組を録画する場合は、「1 回だけ録画可能」番組として録画されます。外部入力(L1)から HDD に録画したコピー制限のあるタイトルを DVD にダビングする場合は、CPRM 対応の DVD-RW (VR) / DVD-R (VR) を使用してください。外部入力(L1)からコピー制限のある番組をカセット HDD に録画する場合、または HDD に録画したコピー制限のあるタイトルをカセット HDD にダビングする場合は、セキュア対応のカセット HDD (iVDR-S) を使用してください。なお、コピー制限の有無にかかわらず、外部入力(L1)から HDD やカセット HDD に録画されたタイトルを DVD-RW (AVCREC™) / DVD-R (AVCREC™) にダビングすることはできません。
- デジタル放送のデータ放送、ラジオ放送は、録画できません。
- HDD またはカセット HDD に録画中、「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を停止します。
- BD-RE または BD-R に録画中、「録画禁止」番組や視聴年齢の制限がかかっている番組になったときは、録画を一時停止します。録画可能な状態となると、録画を再開します。
- 録画モードと録画時間については、「録画モード(画質)とおよその録画時間について」(p.81)をご覧ください。
- 音声、字幕による録画の制限については、「二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕の録画について」(p.83)をご覧ください。
- カセット HDD に録画モード TS 以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

録画モード(画質)とおよその録画時間について

録画モードとは画質のことで、画質を優先するか、録画時間を優先するかによって使い分けます。

HDD				
録画モード		BIV-WS500 (500GB)	BIV-TW1000 BIV-WS1000 (1TB)	記録される画質
TS	地上デジタル (HD放送: 17Mbps)	約 65 時間	約 130 時間	放送そのままの画質
	BS / CS デジタル (HD放送: 24Mbps)	約 46 時間	約 92 時間	
	地上 / BS / CS デジタル (SD放送: 12Mbps)	約 92 時間	約 184 時間	
AVC	スカパー!プレミアムサービス 録画(HD画質)	約 120 時間 (約 65 ~ 150 時間)	約 240 時間 (約 130 ~ 300 時間)	放送そのままの画質
	スカパー!プレミアムサービス 録画(HD画質の3Dコンテンツ)	約 75 時間	約 150 時間	
スカパー!	スカパー!プレミアムサービス 録画(SD画質)	約 205 時間 (約 130 ~ 390 時間)	約 410 時間 (約 260 ~ 780 時間)	放送のデータを 圧縮変換した ハイビジョン画質
AF	2倍モード	約 85 時間	約 171 時間	
AN	3倍モード	約 128 時間	約 257 時間	
AS	4倍モード	約 183 時間	約 367 時間	
AL	5.5倍モード	約 251 時間	約 504 時間	
AE	12倍モード	約 543 時間	約 1089 時間	
XP	1時間モード	約 115 時間	約 231 時間	
SP	2時間モード	約 230 時間	約 461 時間	
LP	4時間モード	約 462 時間	約 925 時間	
EP	6時間モード	約 680 時間	約 1363 時間	
	8時間モード	約 910 時間	約 1823 時間	標準画質

HDD(iVDR)					
録画モード		iVDR (320GB)	iVDR (500GB)	iVDR (1TB)	記録される画質
TS	地上デジタル (HD放送: 17Mbps)	約 41 時間	約 65 時間	約 130 時間	放送そのままの画質
	BS / CS デジタル (HD放送: 24Mbps)	約 29 時間	約 46 時間	約 92 時間	
	地上 / BS / CS デジタル (SD放送: 12Mbps)	約 59 時間	約 92 時間	約 184 時間	
AF	2倍モード	約 54 時間	約 85 時間	約 171 時間	放送のデータを 圧縮変換した ハイビジョン画質
AN	3倍モード	約 82 時間	約 128 時間	約 257 時間	
AS	4倍モード	約 115 時間	約 183 時間	約 367 時間	
AL	5.5倍モード	約 155 時間	約 251 時間	約 504 時間	
AE	12倍モード	約 345 時間	約 543 時間	約 1089 時間	標準画質
XP	1時間モード	約 74 時間	約 116 時間	約 232 時間	
SP	2時間モード	約 147 時間	約 231 時間	約 462 時間	
LP	4時間モード	約 296 時間	約 463 時間	約 927 時間	
EP	6時間モード	約 436 時間	約 682 時間	約 1365 時間	
	8時間モード	約 584 時間	約 912 時間	約 1825 時間	

メモ

- 本機では、デジタル放送を直接標準画質(XP ~ EP)で録画することはできません。
- HDDに録画モードをAF ~ AEにして録画する場合、画面に表示される残量時間分録画できないことがあります。その場合、録画モードをTSに切り換えて録画されます。(録画終了後、HDDに空き容量があるときの電源「切」時に設定した録画モードに変換されます。(p.138))
- HDD、カセットHDD、BD-RE / -Rへ外部入力(L1)を直接録画する場合の録画モードは、XP ~ EPのみとなります。
- カセットHDDに録画モードTS以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

録画の前に・つづき

BD-RE BD-R

録画モード	1層 (25 GB)	片面2層 (50 GB)	BDXL 片面3層 (100GB)	記録される画質	
TS	地上デジタル (HD 放送: 17Mbps)	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間	放送そのままの画質
	BS / CS デジタル (HD 放送: 24Mbps)	約 2 時間 10 分	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分	
	地上 / BS / CS デジタル (SD 放送: 12Mbps)	約 4 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 17 時間 20 分	
AF	2 倍モード	約 4 時間	約 8 時間	約 16 時間	放送のデータを 圧縮変換した ハイビジョン画質
AN	3 倍モード	約 6 時間	約 12 時間	約 24 時間	
AS	4 倍モード	約 9 時間	約 18 時間	約 36 時間	
AL	5.5 倍モード	約 12 時間	約 24 時間	約 49 時間	
AE	12 倍モード	約 26 時間	約 53 時間	約 107 時間	
XP	1 時間モード	約 5 時間 15 分	約 11 時間	約 22 時間	
SP	2 時間モード	約 10 時間 30 分	約 22 時間	約 44 時間	標準画質
LP	4 時間モード	約 21 時間	約 44 時間	約 88 時間	
EP	6 時間モード	約 32 時間	約 66 時間	約 132 時間	
	8 時間モード	約 43 時間	約 88 時間	約 176 時間	

-RW (VR) -RW (Video) -RW (AVC) -R (VR) -R (Video) -R (AVC) **

録画モード	1層 (4.7 GB)	片面2層 (8.5 GB)	記録される画質	
AF	2 倍モード	約 42 分	約 1 時間 20 分	放送のデータを 圧縮変換した ハイビジョン画質
AN	3 倍モード	約 1 時間 5 分	約 2 時間	
AS	4 倍モード	約 1 時間 40 分	約 3 時間 5 分	
AL	5.5 倍モード	約 2 時間 10 分	約 4 時間 10 分	
AE	12 倍モード	約 5 時間	約 9 時間	
XP	1 時間モード	約 1 時間		
SP	2 時間モード	約 2 時間		標準画質
LP	4 時間モード	約 4 時間	—	
EP	6 時間モード	約 6 時間		
	8 時間モード	約 8 時間		

* ディスクにより選べる録画モードが異なります。

-RW (AVC) / -R (AVC) の場合: AF ~ AE

-RW (VR) / -R (VR) または -RW (Video) / -R (Video) の場合: XP ~ EP

メモ

- 表中の数値は、JEITA「CPR-3104 準拠 録画基準画像」を用いて確認しております。
- 録画時間はおよその目安です。また、録画する映像によって録画容量が異なるため、実際に録画できる時間は異なります。
- 本機は、効率よく録画を行うために可変ビットレート方式で録画を行っており、映像によって録画できる時間が変わります。
- 地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送の SD 放送は、録画モード TS、AF ~ AE で録画しても標準画質で録画されます。
- 番組によって転送容量が異なるため、番組により録画可能時間が変わります。
- スポーツ、音楽ライブ番組などの動きや明るさの変化が激しい番組の場合、録画モードを AE などにして録画すると、ブロックノイズなどが目立つことがあります。
- EP は、“本体設定”メニューの“録画設定”→“EP モード”の設定によって録画できる時間が変わります。(p.81、164)
- ディスクに管理情報が含まれるなどの理由によって、実際にディスクに記録される時間がダビングするタイトルの合計時間よりも多くなり、ダビングできないことがあります。また、残量時間が不足していない場合でも、チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできないことがあります。
- 1 番組あたりの連続録画可能時間は、最大 8 時間です。(連続録画時間が 8 時間になると、録画が自動的に停止します。)
- カセット HDD に録画モード TS 以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕の録画について

録画メディア ()はダビング	HDD HDD(VDR) BD-RE BD-R	HDD HDD(VDR) BD-RE BD-R (-RW (AVC) -R (AVC))	(HDD BD-RE BD-R HDD(VDR) -RW (VR) -R (VR))
録画モード	TS	AF ~ AE	XP ~ EP*1
二重音声	主音声／副音声の両方が記録されます。*2 ● 再生時に音声切換で音声を選べます。		
マルチ番組の 映像・音声	複数の映像・音声 が記録されます。 (再生時にカメラア ングル切換や音声切 換で映像・音声 が選べます。)	<p>現在放送中の番組を録画するとき</p> <p>HDD HDD(VDR) 視聴中の映像と複数の音声が記録されます。 BD-RE BD-R 視聴中の映像・音声だけが記録されます。</p> <p>番組表(Gガイド)から録画予約で録画する とき、かんたんダビングするとき*3</p> <p>HDD HDD(VDR) 1つの映像と複数の音声が記録されます。 映像：“詳細設定”画面や“かんたんダ ビング”で選んだ1つの映像が記録され ます。 音声：音声1と“詳細設定”画面や“かん たんダビング”で選んだ音声の2つが記 録されます。また、音声1を選んでいる ときは音声1と音声2が記録されます。 BD-RE BD-R (-RW (AVC) -R (AVC)) “詳細設定”画面や“かんたんダ ビング”で選んだ映像・音声が記録され ます。</p> <p>日時指定予約で録画するとき</p> <p>HDD HDD(VDR) 映像1と複数の音声が記録されます。 BD-RE BD-R 映像1・音声1が記録されます。(再生時 に映像や音声の切り換えはできません。)</p> <p>ダビングリストからダビングするとき</p> <p>高速ダビングであれば、複数の音声で記 録された番組はそのままの音声数でダ ビングされます。</p>	1つの映像・音声 だけが記録され ます。 かんたんダビングするとき*3 “かんたんダ ビング”で選 んだ映像・音 声が記録され ます。 ダビングリス トからダビ ングするとき 映像1・音声1 が記録され ます。(再生時 に映像や音 声の切り換 えはできま せん。)
サラウンド音声	放送そのままのサラウンド	音声で記録されます。	ステレオ音声で記録されます。
字幕	字幕の情報が記録され ます。*4 (再生時に字幕切 換で字幕表示の 入/切が できます。)	HDD HDD(VDR) 字幕の情報が記録されます。*4、5 BD-RE BD-R 字幕の情報は記録されませ ん。*5	字幕の情報は記録されませ ん。

外部入力 of 二重音声を録画すると・・・

録画メディア	HDD HDD(VDR) BD-RE BD-R (-RW (VR) -R (VR))	-RW (Video) -R (Video)
録画モード	XP ~ EP	XP ~ EP
二重音声*6	主音声／副音声の両方が記録されます。*2 (再生時に音声切 換で音声を選べ ます。)	“二カ国語音声”で設定している音声(主 音声または副音 声)だけが記録 されます。

※1 本機では、デジタル放送を録画モードXP～EPで直接録画することはできません。

※2 “録画設定”-“録画音声(XP)”の設定を“PCM”にして録画モードXPでディスクに録画、またはダビングするときは、“録画設定”-“二カ国語音声”で選択している音声(主音声または副音声)だけが記録されます。(この場合、再生時に音声は選べません。また、-RW (Video)、-R (Video)へのダビング時も“二カ国語音声”で選択している音声だけが記録されます。)

※3 **HDD(VDR)**は“かんたんダビング”できません。

※4 ダビングするときは、録画時に字幕が記録された番組を高速ダビングしたときだけ、字幕の情報もダビングされます。

※5 録画中は字幕の表示ができません。

※6 外部入力の音声を二重音声として記録する場合は、必ず“録画設定”-“外部入力音声”の設定を“二カ国語”にしてください。設定が“ステレオ”になっていると、再生時に主音声と副音声を重ねて再生されます。

●▶次ページへつづく

録画の前に・つづき

同時操作について

■ 再生中に、予約録画を実行できるかどうか

再生している メディアの種類	録画予約しているメディア		
	HDD HDD(iVDR)	BD-RE BD-R	
HDD HDD(iVDR)	○ ^{*1}	○ ^{*1}	
BD-RE BD-R	○ ^{*1}	○	
-RW (AVC) -R (AVC)	○	×	^{*2}
-RW (VR) -R (VR)	○	×	^{*2}
BD-Video	○ ^{*3}	×	^{*2}
-RW (Video) -R (Video)	○	×	^{*2}
DVD-Video 音楽用CD	○	×	^{*2}
JPEG (BD) JPEG (DVD) JPEG (CD)	○	×	^{*2}
JPEG (SD) JPEG (USB)	○	○	
AVCHD (DVD)	○ ^{*3}	×	^{*2}

○: できる

○: できる (再生は録画開始 2 分前に停止します。)

×: できない

※ 1 外部入力での録画予約の場合、3D 再生のみ録画開始 2 分前に停止します。

※ 2 予約番組は HDD へ代理録画されます。

※ 3 外部入力での録画予約の場合のみ、再生は録画開始 2 分前に停止します。

■ 番組の録画中に再生できるメディア

1 番組のみ録画しているとき

録画メディア		再生するメディア		
録画先	録画モード	HDD	HDD(iVDR)	ディスク
HDD	TS	○	○	○
	AF ~ AE	○	○	○
	XP ~ EP (外部入力)	○	○	△ ^{*2}
HDD(iVDR)	TS	○	○	○
	AF ~ AE	○	○	○
	XP ~ EP (外部入力)	○	○	△ ^{*2}
BD-RE BD-R	TS	○	○	×
	AF ~ AE	○	○	×
	XP ~ EP (外部入力)	○	○	×

2 番組同時録画しているとき

録画メディア		再生するメディア		
録画先	録画モード	HDD	HDD(iVDR)	ディスク
HDD のみ	2つとも TS	○	○	○
	TS AF ~ AE	○	○	○
	TS XP ~ EP (外部入力)	○	○	△ ^{*2}
HDD(iVDR) のみ	2つとも AF ~ AE	○	○	○ ^{*1}
	2つとも TS	○	○	○
	TS AF ~ AE	○	○	○
HDD と HDD(iVDR)	TS XP ~ EP (外部入力)	○	○	△ ^{*2}
	2つとも AF ~ AE	○	○	△ ^{*2}
	2つとも TS	○	○	○
	TS AF ~ AE	○	○	○
	TS XP ~ EP (外部入力)	○	○	△ ^{*2}
	2つとも AF ~ AE	○	○	○ ^{*1}

2 番組同時録画しているとき・つづき

録画メディア		再生するメディア		
録画先	録画モード	HDD	HDD(VDR)	ディスク
HDD と BD-RE BD-R	2つともTS	○	○	×
	TS AF～AE	○	○	×
	TS XP～EP(外部入力)	○	○	×
HDD(VDR) と BD-RE BD-R	2つともAF～AE	○	○	×
	2つともTS	○	○	×
	TS AF～AE	○	○	×
	TS XP～EP(外部入力)	○	○	×
	2つともAF～AE	○	○	×

対象機種：BIV-TW1000

3番組を同時録画しているとき

録画メディア		再生するメディア		
録画先	録画モード	HDD	HDD(VDR)	ディスク
HDDのみ	すべてTS	○	○	○
	TS TS AF～AE	○	○	○
	TS AF～AE AF～AE	○	○	○ ^{*1}
	すべてAF～AE	○ ^{*1}	○ ^{*1}	○ ^{*1}
	TS TS XP～EP(外部入力)	○	○	△ ^{*2}
HDD と HDD(VDR)	すべてTS	○	○	○
	TS TS AF～AE	○	○	○
	TS AF～AE AF～AE	○	○	○ ^{*1}
	すべてAF～AE	○ ^{*1}	○ ^{*1}	△ ^{*1,3}
	TS TS XP～EP(外部入力)	○	○	△ ^{*2}
HDD と BD-RE BD-R	すべてTS	○	○	×
	TS TS AF～AE	○	○	×
	TS AF～AE AF～AE	○	○	×
	すべてAF～AE	○ ^{*1}	○ ^{*1}	○ ^{*1}
HDD(VDR) と BD-RE BD-R	TS TS XP～EP(外部入力)	○	○	×
	すべてTS	○	○	×
	TS TS AF～AE	○	○	×
HDD と HDD(VDR) と BD-RE BD-R	TS TS XP～EP(外部入力)	○	○	×
	すべてTS	○	○	×
	TS TS AF～AE	○	○	×
	すべてAF～AE	○ ^{*1}	○ ^{*1}	×
TS TS XP～EP(外部入力)	○	○	×	

○：できる

△：一部できないものがある

×：できない

※ 1 録画モードを TS 以外に設定していても一時的に TS で録画される場合があります。
(録画終了後の電源「切」時に、設定した録画モードに自動変換されます。)

※ 2 BD-Video、BDMV と AVCHD 形式のディスクは再生できません。

※ 3 カセットHDD に 2 番組録画しているときは、BD-Video、BDMV と AVCHD 形式のディスクは再生できません。

ご注意

- 録画中は、写真の再生はできません。

録画の前に・つづき

メモ

- 録画モードを AF ~ AE で録画中に、再生などを行うとメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合、録画モードを TS に切り換えて録画します。録画終了後の電源「切」時に、設定した録画モードに自動変換されます。詳しくは、「録画モードの変換が終了しているか確認するには」(p.138)をご覧ください。
- 録画モード XP ~ EP で録画中の場合、3D 映像は 2D で再生されます。

■ タイトルのダビング中に再生できるメディアと実行できる予約録画

- 等速ダビング中は再生できません。
- 等速ダビング中に予約録画が始まると、等速ダビングを中止します。

ダビング方向と ダビング速度	再生			予約録画の実行		
	HDD HDD(VDR)	BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) DVD-Video	-RW (AVC) -R (AVC) AVCHD (DVD) -RW (Video) -R (Video) 音楽用CD	JPEG (BD) JPEG (DVD) JPEG (CD) JPEG (SD) JPEG (USB)	HDD HDD(VDR)	BD-RE BD-R
HDD → HDD(VDR) 高速	○ ^{*1}	○	○	×	○	×
HDD(VDR) → HDD 等速	×	×	×	×	×	×
対象機種：BIV-TW1000						
HDD(VDR) → HDD(VDR) 高速	○ ^{*1}	○	○	×	○	×
HDD(VDR) → HDD(VDR) 等速	×	×	×	×	×	×
HDD → BD-RE 高速	○ ^{*1}	×	×	×	○	×
HDD(VDR) → BD-R 高速	○ ^{*1}	×	×	×	○	×
HDD(VDR) → -RW (AVC) 等速	×	×	×	×	×	×
HDD(VDR) → -R (AVC) 等速	×	×	×	×	×	×
HDD(VDR) → -RW (VR) 等速	×	×	×	×	×	×
HDD(VDR) → -R (VR) 等速	×	×	×	×	×	×
HDD(VDR) → -RW (Video) 等速	×	×	×	×	×	×
HDD(VDR) → -R (Video) 等速	×	×	×	×	×	×
BD-RE → HDD 高速	○	×	×	×	○	×
BD-R → HDD 等速	×	×	×	×	×	×
-RW (AVC) → HDD 等速	×	×	×	×	×	×
-R (AVC) → HDD 等速	×	×	×	×	×	×
-RW (VR) → HDD 等速	×	×	×	×	×	×
-R (VR) → HDD 等速	×	×	×	×	×	×
BD-RE → HDD(VDR) 高速	○	×	×	×	○	×
BD-R → HDD(VDR) 等速	×	×	×	×	×	×
-RW (AVC) → HDD(VDR) 等速	×	×	×	×	×	×
-R (AVC) → HDD(VDR) 等速	×	×	×	×	×	×
-RW (VR) → HDD(VDR) 等速	×	×	×	×	×	×
-R (VR) → HDD(VDR) 等速	×	×	×	×	×	×
AVCHD (DVD) → HDD 高速	○	×	×	×	○	×
AVCHD (SD) → HDD 高速	○	×	×	×	○	×
AVCHD (USB) → HDD 高速	○	×	×	×	○	×
HDD → LAN 高速	○	○ ^{*4}	○	×	○	○

○：できる

×：できない

※ 1 「移動」の場合は、ダビング元の再生はできません。

※ 2 予約番組は HDD へ代理録画されます。

※ 3 「制限なしに録画可能」番組のみダビングが可能となります。

※ 4 BD-Video と AVCHD 形式のディスクは再生できません。

録画する

視聴中の番組を録画する

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R

準備

- カセットHDDに録画するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく

- 1 DISC、HDD または iVDR を押して、録画するメディアを選ぶ

対象機種：BIV-TW1000

iVDR を押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲/▼で希望のカセットHDDを選び、決定 を押してください。

- 2 地デジ、BS または CS を押して、録画したい放送を選ぶ

- 3 チャンネル、1 画 ~ 12 または Ch番号入力 で録画したいチャンネルを選ぶ

- 4 録画 を押して、録画を始める

- 2回以上押すと、ワンタッチタイマー録画になります。詳しくは「指定した時間で録画を終了するには(ワンタッチタイマー録画)」(p.88)をご覧ください。

録画を停止するときは

- 1 停止 を押す
 - 確認メッセージが表示されますので、▲ / ▼で“はい”を選び、決定 を押してください。
 - 確認メッセージ表示中に 停止 を押しても、録画を停止することができます。
- 複数番組同時録画中 / ダビング中に録画を停止するときは
 - 1 停止 を押す
 - 停止する動作の選択画面が表示されます。
 - 2 ▲ / ▼で録画停止したいチャンネルを選び、決定 を押す
 - 3 確認画面で“はい”を選び、決定 を押す
 - 確認メッセージ表示中に 停止 を押しても、録画を停止することができます。

ご注意

- 新品(未使用)のディスクやカセットHDDを挿入すると、初期化(フォーマット)画面が表示されますので、初期化してからお使いください。初期化しないと、録画・ダビングができません。(DVDに直接録画することはできません。DVDについては「DVD-RW / DVD-R」(p.73)をご覧ください。)
- カセットHDDに録画モードTS以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

メモ

- 現在録画中のメディア、チャンネルなどを確認したいときは、画面表示 を2回押して画面表示を表示すると確認できます。

録画モード(画質)を変更するには

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R

録画を始める前に、あらかじめ録画モード(画質)を設定してください。録画中に録画モードを変更することはできません。

- 1 番組視聴中に、残量 を押す。

- 番組視聴中に、残量 を押し、▲ / ▼で“録画モード”を選び、決定 を押しても同様の動作となります。

- 2 ▲ / ▼でお好みの設定を選び、決定 を押す



ご注意

- 本機では、デジタル放送を直接標準画質(XP~EP)で録画できません。
- 外部入力(L1)の画質は、標準画質(XP~EP)のみ設定可能です。
- 複数番組を同時録画する場合の録画モードについては「複数の番組を同時に録画する」(p.88)をご覧ください。

録画する・つづき

指定した時間で録画を終了するには(ワンタッチタイマー録画)

HDD **HDD(iVDR)** **BD-RE** **BD-R**

録画中に来客があったり、録画の途中で外出したりするときに便利です。「視聴中の番組を録画する」の手順 **4** (p.87)で、**録画**を2回以上押すと、録画が終了するまでの時間を15分単位で設定できます。(2回押すと15分後、3回押すと30分後に録画を終了します。)

- 最大4時間まで設定できます。
- 通常の録画に戻りたいときは、録画時間の表示が消えるまで何回か**録画**を押してください。
- 録画時間を設定しない場合は、番組の終了時刻になると自動的に録画を停止します。

- ワンタッチタイマー録画で設定した録画を停止するときは「録画を停止するときは」(p.87)をご覧ください。

複数の番組を同時に録画する

1 番組の録画中に、別の番組を録画する

- 視聴中の番組を録画するときは(p.87)
- 番組表(Gガイド)から録画予約するときは(p.94～99)
- 日時を指定して録画予約するときは(p.100)
- 同時録画を停止するときは「録画を停止するときは」(p.87)をご覧ください。

2番組同時録画の場合

1番組目の録画		2番組目の録画								
録画先	録画モード	HDD			HDD(iVDR)			BD-RE BD-R		
		TS	AF～AE	XP～EP (外部入力)	TS	AF～AE	XP～EP (外部入力)	TS	AF～AE	XP～EP (外部入力)
HDD のみ	TS	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	AF～AE	○	○	×	○	○	×	○	○	×
	XP～EP(外部入力)	○	○ ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	×	○	○ ^{*2}	×
HDD(iVDR)	TS	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	AF～AE	○	○	×	○	○	×	○	○	×
	XP～EP(外部入力)	○	○ ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	×	○	○ ^{*2}	×
BD-RE BD-R	TS	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	AF～AE	○	○	×	○	○	×	×	×	×
	XP～EP(外部入力)	○	○ ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	×	×	×	×

○：できる

×：できない

※1 一時的に録画モードTSで録画され、電源「切」時に、設定されたAF～AEモードに自動変換されます。

※2 録画モードをTSに切り換えて録画します。

対象機種：BIV-TW1000

3番組同時録画の場合

1番組目の録画と2番組目の録画		3番組目の録画								
録画先	録画モードの組み合わせ	HDD			HDD(VDR)			BD-RE	BD-R	
		TS	AF～AE	XP～EP (外部入力)	TS	AF～AE	XP～EP (外部入力)	TS	AF～AE	XP～EP (外部入力)
HDD と HDD	TS と TS	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	TS と AF～AE	○	○	×	○	○	×	○	○	×
	AF～AE と AF～AE	○	○	×	○	○	×	○	○	×
HDD と HDD(VDR)	TS と XP～EP(外部入力)	○	○ ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	×	○	○ ^{*2}	×
	TS と TS	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	TS と AF～AE	○	○	×	○	○	×	○	○	×
HDD と BD-RE BD-R	AF～AE と AF～AE	○	○	×	○	○	×	○	○	×
	TS と XP～EP(外部入力)	○	○ ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	×	○	○ ^{*2}	×
	TS と TS	○	○	○	○	○	○	×	×	×
HDD(VDR) と BD-RE BD-R	TS と AF～AE	○	○	×	○	○	×	×	×	×
	AF～AE と AF～AE	○	○	×	○	○	×	×	×	×
	TS と XP～EP(外部入力)	○	○ ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	×	○	○ ^{*2}	×
HDD(VDR) と BD-RE BD-R	TS と TS	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	TS と AF～AE	○	○	×	○	○	×	×	×	×
	AF～AE と AF～AE	○	○	×	○	○ ^{*2}	×	×	×	×
HDD(VDR) と BD-RE BD-R	TS と XP～EP(外部入力)	○	○ ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	×	×	×	×
	TS と TS	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	TS と AF～AE	○	○	×	○	○	×	×	×	×
HDD(VDR) と BD-RE BD-R	AF～AE と AF～AE	○	○	×	○	○ ^{*2}	×	×	×	×
	TS と XP～EP(外部入力)	○	○ ^{*1}	×	○	○ ^{*2}	×	×	×	×
	TS と TS	○	○	○	○	○	○	×	×	×

○：できる

×：できない

※1 一時的に録画モードTSで録画され、電源「切」時に、設定されたAF～AEモードに自動変換されます。

※2 録画モードをTSに切り換えて録画します。

録画する・つづき

ご注意

- 複数番組*同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。
 - 複数番組を同時に録画する場合、番組表(Gガイド)や日時指定予約または **録画** を押して、同じチャンネルを録画することはできません。
 - カセットHDDに録画モードTS以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。
- ※ BIV-TW1000は3番組、BIV-WS1000 / BIV-WS500は2番組

メモ

- BIV-TW1000は、デジタル放送と外部入力に合わせて3番組、BIV-WS1000 / BIV-WS500は、デジタル放送と外部入力に合わせて2番組同時録画することができます。(外部入力同士を組み合わせることはできません。)
- デジタル放送は、録画モードTS、AF～AEで同時録画ができます。
- 外部入力とデジタル放送を同時録画する場合、デジタル放送の番組は録画モードTSで録画してください。
- BIV-TW1000では、HDDにデジタル放送3番組を録画モードAF～AEで同時録画中にBD-Videoを再生すると、2番組が録画モードTSで保存されます。それ以外の再生では1番組が録画モードTSで保存されます。(録画終了後の電源「切」時に、設定されたAF～AEモードに自動変換されます。)
- BIV-WS500/BIV-WS1000では、HDDにデジタル放送2番組を録画モードAF～AEで同時録画中にBD-Videoを再生すると、1番組が録画モードTSで保存されます。(電源「切」時に設定されたAF～AEモードに変換します。)
- 高速ダビング中は、ダビング中の番組のほかにHDD / カセットHDDに2番組まで同時に録画予約することができます。
- BIV-TW1000では、カセットHDDからカセットHDDへのダビング中に2番組分の予約録画が実行されると、2番組目はHDDへ代理録画されます。

他の機器の映像を録画する

本機の入力端子(L1)につないだ他の機器の映像を、本機を経由して録画するときは、本機を外部入力に切り換えます。他の機器の操作については、それぞれの機器の取扱説明書をお読みください。

準備

- CATV(ケーブルテレビ)を録画するときは、本機とケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックスをつないでおく(p.31)
- 他の機器(ビデオデッキなど)の映像を録画するときは、本機と他機をつないでおく(p.37)
- “外部入力音声”を設定しておく(p.164)
- ケーブルテレビのホームターミナルやセットトップボックスを録画したいチャンネルに合わせておく

1 外部入力に切り換える(p.69)

2 **録画** を押す

- 録画を停止するときは
「録画を停止するときは」(p.87)をご覧ください。
- 録画予約をするときは
「日時を指定して予約する(日時指定予約)」(p.100)をご覧ください。
 - “チャンネル”は“L1”に設定してください。

ご注意

- 予約開始時間までにケーブルテレビのホームターミナルまたはセットトップボックスの電源を入れ、録画したいチャンネルに合わせておいてください。電源が入っていないと録画できません。
 - 複数番組*同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。
- ※ BIV-TW1000は3番組、BIV-WS1000 / BIV-WS500は2番組

録画を予約する前に

予約一覧の見かた

予約一覧の見かた

- “予約一覧” 画面を表示するには、

1 予約一覧を押す

- ホームメニューから“予約一覧”を選ぶこともできます。



- ① お知らせアイコン ⓘ ⚠ (p.109、110)

録画中アイコン 録画中

- ② 録画先メディア DISC HDD iVDR^{*1} iVDR2^{*1} iVDR^{*2} (p.61)

※ 1 BIV-TW1000 のみ

※ 2 BIV-WS1000 / BIV-WS500 のみ

- ③ 番組名

- ④ 現在の日時

- ⑤ 録画モード TS AF AN AS AL AE

- ⑥ スキップ設定をしている予約 (p.101)

- ⑦ 自動予約された番組 (p.104)

- ⑧ 予約日時、放送局名

- ⑨ ガイド表示

- ⑩ 持ち出し用録画を設定している予約 (p.157)

- 録画モードが TS の残量時間の表示は、BS デジタル放送 (HD 放送) の場合の時間で表示されます。

8

録画予約する

録画を予約する前に・つづき

番組表(Gガイド)の見かた

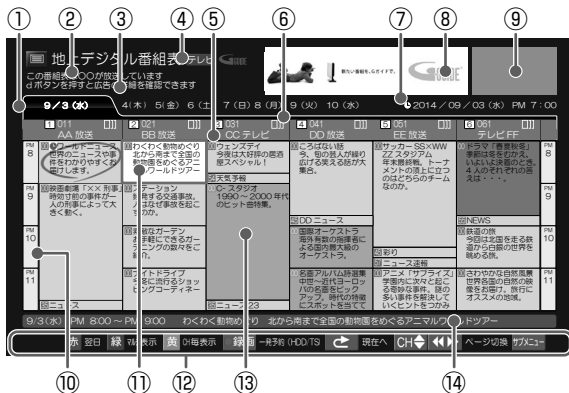
番組表(Gガイド)の受信については(p.59)をご覧ください。

番組表(Gガイド)の見かた

- 番組表(Gガイド)を表示するには、

1 **番組表** を押す

2 **地上**、**BS** または **CS** を押して、お好みの放送の種類(地上デジタル放送 / BSデジタル放送 / 110度CSデジタル放送)を選ぶ



- ① 現在の日付から8日分の日付表示
- ② 番組表(Gガイド)データ送信局
- ③ 広告詳細表示方法(データを取得していないときは表示されません。)
- ④ 放送の種類 / 番組表(Gガイド)の表示対象
- ⑤ 放送局の3桁チャンネル番号 / 放送局のロゴ / 放送局名
- ⑥ 折りたたみ表示(マルチチャンネルを非表示の場合に表示されます。)
- ⑦ 現在の日時
- ⑧ 広告
- ⑨ 現在視聴中の放送局の映像
- ⑩ 時間
- ⑪ 選択中の番組
- ⑫ ガイド表示
- ⑬ 色分け設定したジャンルに該当する番組は、開始時刻と背景が設定した色に変わります。
- ⑭ 選択中の番組の放送日時、簡単な情報

- 同じ時間に複数の番組を放送できるマルチチャンネル放送を行っている放送局は、**マルチ表示** / **非表示(1CH表示)**を切り換えることができます。“チャンネルスキップ設定”で“スキップ”に設定したチャンネルには切り換えることができません。(p.50)

● **チャンネル** を押すと、上下にページが切り換わります。

● **早送り** または **早送り** を押すと、左右にページが切り換わります。(すべてのチャンネルが1画面に表示されている場合は切り換わりません。)

● 全チャンネル表示とチャンネル毎表示を切り換えるには、**黄** を押します。チャンネル毎表示では、選んだ放送局の8日分の番組表(Gガイド)を表示します。

● **リモコン** を押すと、日付の切り換え、番組検索、注目番組表示、表示チャンネル数切り換え、表示時間の切り換え、文字サイズの切り換え、表示対象となる放送の種類切り換え、ジャンル色分け、予約一覧表示ができます。

● 別の日の番組表(Gガイド)に切り換えるには、**青**(前日)または**赤**(翌日)を押すか、**リモコン**を押して“日付切り換え”を選んでください。

● 番組表(Gガイド)から録画予約した番組には“**録**”と赤丸マークが表示されます。(p.94)

● 番組表(Gガイド)の表示対象は、テレビ / ラジオ / データの中から選べます。(ラジオ / データ放送が存在しない場合は選ぶことはできません。)

● **α** を押すと広告の詳細が表示されます。広告詳細表示画面では、**左** / **右** で広告の切換(広告が複数ある場合のみ)、**上** / **下** で広告内容のスクロール(広告内容が1ページに収まっていない場合のみ)を行います。**戻る** を押すと広告詳細表示を終了します。

番組のジャンルを色分けして表示するには

番組をジャンル別に色分けすると、見たい番組を探すのに便利です。
お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更できます。

- ① を押す
 - ② ▲ / ▼ で“ジャンル色分け”を選んで を押す
 - ③ ▲ / ▼ で表示する色を選んで を押す
 - ④ ▲ / ▼ で“ジャンル項目”を選んで を押す
 - 番組表(Gガイド)に戻るには を2回押してください。
番組表(Gガイド)に戻ると、設定したジャンルと一致する番組が色分けして表示されます。
- 他の色を続けて設定するには
手順③～④を繰り返してください。
- 色分けを解除したいときは
手順④で“指定しない”を選んでください。

メモ

- 番組情報に複数のジャンルが存在する場合、色分け設定一覧の上側から優先して表示されます。

番組の詳細説明を確認するには

番組表(Gガイド)で確認したい番組を選んだ状態で、 または を押します。
表示を消すには、“閉じる”を選んで を押します。

現在の番組を表示するには

番組表(Gガイド)を再度表示すると、視聴中の番組番組を選んだ状態で番組表(Gガイド)が表示されます。
番組表(Gガイド)を表示中に を押すと、選択していたチャンネルの現在放送中の番組が選択されます。

番組のジャンルアイコン一覧

(例) 番組の映像信号情報 上：信号方式 下：画面の縦横比	デジタル出力禁止	4歳から視聴可能 ～20歳から視聴可能	マルチ番組 (映像や音声などが複数あり、切り換えできる番組)
有料放送 未契約	ダビング 10 または 1 回だけ録画可能番組	モノラル音声	ステレオ音声
有料放送 契約済み	アナログコピー 禁止	主 + 副音声	マルチチャンネル音声
デジタルコピー 禁止	アナログ出力 禁止	字幕有り	

メモ

- 地上デジタル放送で番組情報が表示されない放送局がある場合は、そのチャンネルを選局して数分間視聴したあと、再度番組表(Gガイド)を開いてください。
- 番組表(Gガイド)を表示したとき、番組情報が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。この場合、実際の放送と番組表(Gガイド)の内容が異なることがあります。
- 本機の電源が「切」(通電状態)のとき、番組データを受信すると、本体表示部に“”が表示されます。このとき動作音が大きくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 番組表(Gガイド)の表示チャンネル数を9局以上にすると、文字が小さくなるのでHDMIケーブルでつないだハイビジョンテレビでご覧ください。

録画予約する

ワンタッチで録画を予約する (一発予約)

HDD iVDR

準備

- HDDに録画するときは、**HDD** を押しておく
- カセットHDDに録画するときは、カセットHDDを挿入し、**iVDR** を押しておく

対象機種：BIV-TW1000

iVDRを押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲/▼で希望のカセットHDDを選び、**決定**を押してください。

1 番組表を押す

2 地デジ、BSまたはCSを押して、お好みの放送の種類(地上デジタル放送/BSデジタル放送/110度CSデジタル放送)を選ぶ

3 ▲/▼/◀/▶で予約したい番組を選び、**録画**を押す

- 録画予約が確定し、選んだ番組に“**L**”と赤丸マークが表示されます。
(番組表(Gガイド)に赤丸マークを表示するスペースが無い場合は“**L**”のみを表示し、“**L**”も表示するスペースが無い場合は代わりに赤い線(|)が表示されます。)
- 録画モードは「録画モード(画質)を変更するには」(p.87)で設定したモードになります。
- 放送中の番組を選んだ場合、ただちに予約が登録され、録画が始まります。



- 他の番組も予約したいときはこの手順を繰り返します。
- パスワードの入力画面が表示されたときは「デジタル放送の視聴制限を一時的に解除する」(p.68)をご覧ください。

録画先を変更したいときは

- 一発予約では、現在選択中のメディアが録画先に設定されます。録画先を変更したいときは、**終了**を押して通常画面に戻したあと、**HDD**または**iVDR**を押してお好みのメディアに切り換えてください。
- 一発予約の録画先に設定できるのは、HDDとカセットHDDのみです。DISCモードのときは、録画先がHDDに設定されます。

録画モードを変更したいときは

「録画モード(画質)を変更するには」(p.87)をご覧ください。

録画先と録画モードを確認したいときは

録画予約されていない番組を選択しているときは、番組表(Gガイド)の下部に、現在設定されている録画先と録画モードが表示されます。



録画先と録画モードが表示されます

さらに詳細な設定をしたいときは

「好みの設定で予約する」(p.97)をご覧ください。

予約の確認・変更・削除や録画停止をするときは

「予約の確認・変更・削除や録画停止をする」(p.101~103)をご覧ください

4 **終了**を押して通常画面に戻す

- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約の録画は実行されます。)

メモ

- ホームメニュー画面の「番組表から予約」を選んでも同じ操作が行えます。
- 予約が重なったときは、「予約が重なったときは」(p.109)をご覧ください。

番組を検索して予約する

番組表(Gガイド)のデータをカテゴリー、ジャンル、出演者、フリーワードから検索して、お好みの番組を探すことができます。

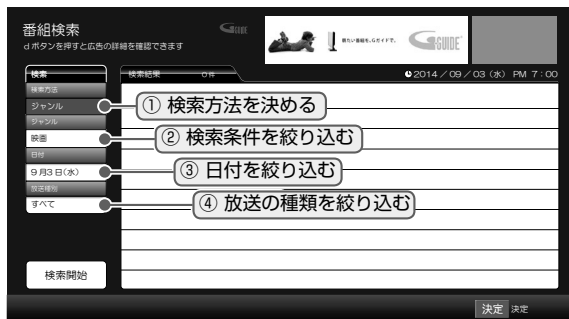
1 **番組表**を押して、番組表(Gガイド)を表示する

(番組表(Gガイド)の見かたは (p.92) をご覧ください。)

2 **サブメニュー**を押して、サブメニュー画面を表示する

3 ▲/▼で“番組検索”を選び、**決定**を押す

4 以下の手順で検索条件を設定する



① 検索方法を決める

- “検索方法”の欄が選択されている状態で **決定** を押すと、検索方法リストが表示されます。▲ / ▼でお好みの検索方法(カテゴリー、ジャンル、出演者、またはフリーワード)を選び、**決定** を押してください。

“カテゴリー”:

番組に関連するキーワード(カテゴリー)から番組を検索します。

“ジャンル”:

ジャンルから番組を検索できます。

“出演者”:

出演者から番組を検索できます。

“フリーワード”:

お好みのキーワードから番組を検索できます。

② 検索条件を絞り込む

- 手順①で“カテゴリー”を選んだときは
“カテゴリー”欄を選び **決定** を押すと、リストが表示されます。左側のリストからカテゴリーを選んだあと、右側のリストからサブカテゴリーを選んでください。
- 手順①で“ジャンル”を選んだときは
“ジャンル”欄を選び **決定** を押すと、リストが表示されます。左側のリストからジャンル項目を選んだあと、右側のリストから詳細ジャンル項目を選んでください。
- 手順①で“出演者”を選んだときは
“出演者”欄を選び **決定** を押すと、リストが表示されます。左側のリストから頭文字を選んだあと、右側のリストから出演者名を選んでください。
- 手順①で“フリーワード”を選んだときは
“フリーワード”の欄を選び **決定** を押すと、文字入力画面が表示されます。お好みのキーワードを入力し、**決定** を押してください。(文字入力の方法については「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。)

- “フリーワード”の欄を選んだ状態で **音** を押すと、キーワードを新規登録したり、登録済みのキーワードの選択や編集ができます。
- キーワードは最大14個まで登録できます。

③ 日付を絞り込む

- ▼で“日付”の欄に移動し、**決定** を押すと日付リストが表示されます。▲ / ▼でお好みの日付を選び、**決定** を押してください。

④ 放送の種類を絞り込む

- ▼で“放送種別”の欄に移動し **決定** を押すと放送の種類(すべて/地上デジタル/BS/CS/地上デジタル・BS/BS・CS/地上デジタル・CS)が表示されます。▲ / ▼でお好みの放送の種類を選び、**決定** を押してください。

5 条件を設定し終わったら、▼で“検索開始”を選び、**決定** を押す

- 検索が始まり、検索結果一覧が表示されます。
- 検索にはしばらく時間がかかります。

6 ▲ / ▼で予約したい番組を選ぶ

番組の詳細説明を確認するには

決定 または **番組説明** を押して、“番組説明”画面を表示してください。

今すぐ番組を見たいときは

検索結果の番組が放送中の場合は、**決定** または **番組説明** を押して、“番組説明”画面を表示してから ◀ / ▶ で“見る”を選び、**決定** を押してください。

“一発予約”をするには

録画 を押してください。

- 選んだ番組に“**L**”が表示されます。

お好みの設定で予約するには

決定 または **番組説明** を押して、“番組説明”画面を表示してから、「好みの設定で予約する」(p.97)の手順 **4** 以降を行ってください。

メモ

- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、カテゴリーやジャンルなどが一致していても検索できない場合があります。
- 「カテゴリー」、「ジャンル」、「出演者」で検索した場合と「フリーワード」で検索した場合は、検索結果が異なることがあります。
- フリーワードには、スペースをはさんで、複数のワードを設定することもできます。この場合、入力した全ワードを含む番組を検索します。(例: ヨーロッパ 鉄道旅行)
- 検索結果は最大300件まで表示されます。目的の番組が表示されない場合は、キーワードを変えたり条件を絞り込んだりして再検索してください。

録画予約する・つづき

注目番組一覧から予約する

放送局おすすめの番組一覧から番組を選んで予約できます。

- 1 **番組表** を押して、番組表(Gガイド)を表示する
 - 番組表(Gガイド)の見かたは (p.92) をご覧ください。
- 2 **サブメニュー** を押して、サブメニュー画面を表示する
- 3 **▲ / ▼** で“注目番組”を選び、**決定** を押す
 - “注目番組”画面が表示されます。
- 4 **▲ / ▼** で好みのカテゴリーを選び、**決定** を押す



カテゴリー 一覧

注目番組一覧
選択されているカテゴリーによっては、表示方法が異なることがあります。

好みの設定で予約するには

- ① **決定** または **番組説明** を押して、注目番組詳細画面を表示してから、**◀ / ▶** で“録画予約”を選び、**決定** を押します。
 - 予約するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、“はい”を選び、**決定** を押します。
- ② 「好みの設定で予約する」(p.97)の手順 **5** ~ **10** を参照し、必要な設定を行ってください。選んだ番組に“**L**”が表示されます。

“一発予約”をするには

- ① **録画** を押す
 - 予約するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、“はい”を選び、**決定** を押します。選んだ番組に“**L**”が表示されます。

- 5 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で予約したい番組を選ぶ

好みの設定で予約する

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R

番組表(Gガイド)から7日先までの番組を好みの設定で予約できます。

！ 準備

- カセットHDDに録画するときは、カセットHDDを挿入しておく。
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく

録画日を選ぶ

- 1 **番組表** を押して、番組表(Gガイド)を表示する
 - 番組表(Gガイド)の見かたは(p.92)をご覧ください
- 2 **地デジ**、**BS**または**CS**を押して、録画予約したい放送の種類を選ぶ
- 3 **▲ / ▼ / ◀ / ▶**で予約したい番組を選び、**番組説明** または **決定** を押す
- 4 “録画予約”が選ばれているので、そのまま **決定** を押す
- 5 **▲ / ▼**で“録画日”を選び、**決定** を押すと選択可能な録画日のリストが表示されるので、**▲ / ▼**でお好みのスケジュールを選び、**決定** を押す



録画先を選ぶ

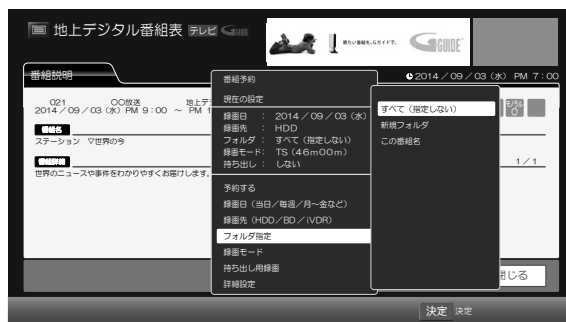
- 6 **▲ / ▼**で“録画先”を選び、**決定** を押すと録画先のリストが表示されるので、**▲ / ▼**でお好みの録画先メディアを選び、**決定** を押す

フォルダを指定する

録画先がHDDまたはカセットHDDの場合、録画先のフォルダを指定することができます。

録画先がBDのときは、手順 9 に進んでください。

- 7 **▲ / ▼**で“フォルダ指定”を選び、**決定** を押す
- 8 **▲ / ▼**で希望のフォルダを選び、**決定** を押す



- “新規フォルダ”、“この番組名”を選ぶと、フォルダ名入力画面が表示されます。お好みのキーワードを入力し、**決定** を押してください。(文字入力の方法については「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。)

メモ

- “新規フォルダ”、“この番組名”で作成されたフォルダは、次回“フォルダ指定”を選んだときにフォルダ一覧で表示されます。

8

録画予約する

録画予約する・つづき

録画モードを選ぶ

- 9 ▲ / ▼で“録画モード”を選び、**決定**を押すと録画モードのリストが表示されるので、▲ / ▼でお好みの録画モードを選び、**決定**を押す



- 録画モードを AF ~ AE に設定したときは記録する音声、字幕、映像を設定してください。
 - ① ▲ / ▼で“詳細設定”を選び、**決定**を押す
 - ② ▲ / ▼で変更する項目を選び、**決定**を押す
 - ③ ▲ / ▼でお好みの設定を選び、**決定**を押す
 - ④ すべて設定し終わったら、▲ / ▼で“確定して前の画面へ”を選び、**決定**を押す
 - 設定できる項目については、「二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕の録画について」(p.83)をご覧ください。

ディスクの容量に合わせて録画するときは

「ディスクの容量に合わせて録画する(ぴったり録画)」(本ページ)をご覧ください。

- 10 すべて設定し終わったら、▲ / ▼で“予約する”に移動し、**決定**を押す

- 番組表(Gガイド)画面に戻ると、選んだ番組に“L”と赤丸マークが表示されています。
- 予約が重なったときは
 - ① 「予約が重なったときは」(p.109)をご覧ください。
- 他の番組を続けて予約するときは
 - ① 手順 3 ~ 10 を繰り返します。
- 予約の確認・変更・削除や録画停止をするときは
 - ① 「予約の確認・変更・削除や録画停止をする」(p.101 ~ 103)をご覧ください。

- 11 **戻る**を押して、通常画面に戻る

- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約の録画は実行されます。)
- “持ち出し用録画”については(p.155 ~ 157)をご覧ください。

ディスクの容量に合わせて録画する(ぴったり録画)

HDD **BD-RE** **BD-R**

“録画モード”を“自動”に設定すると、ブルーレイディスクやDVDの容量に収まるように、自動的に画質を調節して録画します。

■ 録画先メディアがブルーレイディスクの場合

本機でディスクの容量を自動的に計算し、その容量に合わせて録画します。

- 1 「好みの設定で予約する」(p.97 ~ 98)の手順 1 ~ 8 を行う
- 2 ▼で“録画モード”を選び、**決定**を押す
- 3 録画モードのリストが表示されるので、▲ / ▼で“自動”を選び、**決定**を押す
- 4 「好みの設定で予約する」(p.97 ~ 98)の手順 10 に進む

■ 録画先メディアがHDDの場合

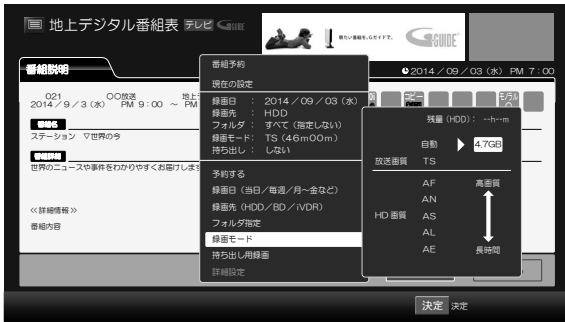
“録画モード”で“自動”を選んだあと、“録画モード自動設定”画面が表示されます。あとでダビングする先のブルーレイディスクやDVDの容量を選んでください。

- 1 「好みの設定で予約する」(p.97 ~ 98)の手順 1 ~ 8 を行う
- 2 ▼で“録画モード”を選び、**決定**を押す
- 3 録画モードのリストが表示されるので、▲ / ▼で“自動”を選ぶ

メモ

- 録画する番組に対して、指定したディスクの容量が十分大きい場合は TS モードで録画されます。

4 ▶を押して、決定を押す



- “録画モード自動設定”画面が表示されます。

5 ▲ / ▼でディスクの容量を選び、決定を押す



- ダビングするときのディスクに合わせて、ディスク容量を選んでください。

HD 画質	4.7GB	-RW (AVC)	-R (AVC) (1層)
	8.5GB	-R (AVC) (2層)	
	25GB	BD-RE	BD-R (1層)
	50GB	BD-RE	BD-R (2層)

デジタル放送の番組を番組表 (G ガイド) から予約した場合の自動追跡について

デジタル放送の番組を番組表 (G ガイド) から予約した場合、次のようなときに自動的に録画開始 / 終了時刻が変更されて録画されます。

(例)

- 毎週録画をしているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
- 特別番組のため、今回放送分だけ、放送時間が遅くなる時。
- 予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
- 予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなる時。
- 自動的に録画開始 / 終了時刻が変更される時間は、1 回だけの録画の場合は 3 時間後まで、毎週 / 毎日録画の場合は前後各 3 時間までとなります。

野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。(イベントリレー)

(例)

- 昼の時間帯に「NHK 総合」で放送されている高校野球を番組表 (G ガイド) から予約して録画中、夕方から放送されるチャンネルが「NHK E テレ」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
- 自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なったときは」(p.109) の例に従って録画されます。
- 自動追跡は、デジタル放送の番組を番組表 (G ガイド) から予約した場合だけ有効となります。
- 受信状況や放送局側の変更内容によっては、正確に自動追跡されない場合もあります。

録画予約する・つづき

日時を指定して予約する(日時指定予約)

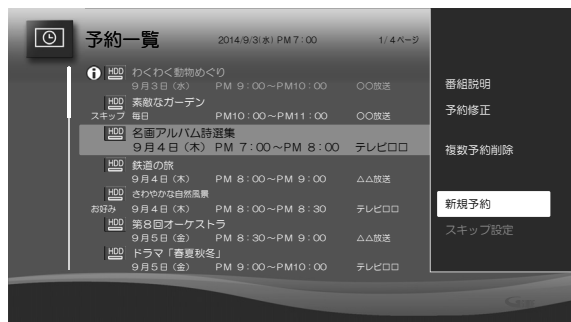
HDD **HDD(VDR)** **BD-RE** **BD-R**

番組表(Gガイド)が利用できない番組を予約したいときに、手動で約1カ月前までの番組を予約できます。

！ 準備

- カセットHDDに録画するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクに録画するときは、録画用のディスクを入れておく

- 1 **予約一覧**を押して、“予約一覧”画面を表示する
(予約一覧の見かたは(p.91)をご覧ください。)
- 2 **サブメニュー**を押して、“予約一覧”のサブメニューを表示する
- 3 **▲ / ▼**で“新規予約”を選び、**決定**を押す
● “予約設定”画面が表示されます。



- 4 **◀ / ▶**で“録画日”、“開始時刻”、“終了時刻”、“チャンネル”または“録画先”を選び、**▲ / ▼**で設定する



- 昼の12時は“PM0:00”に、夜の12時は“AM0:00”に合わせます。

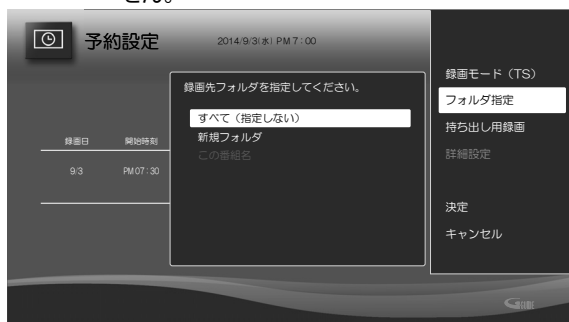
毎週／毎日録画をするときは

- 1 “録画日”で“毎日”、“月～土”、“毎週水”などが表示されるまで**▼**を繰り返し押します。

- 5 **▶**でサブメニューに移動する

- 6 **▲ / ▼**で“録画モード”を選び、**決定**を押すと、録画モードのリストが表示されるので、**▲ / ▼**でお好みの録画モードを選び、**決定**を押す
- 7 **▲ / ▼**で“フォルダ指定”を選び、**決定**を押すと、フォルダリストが表示されるので、**▲ / ▼**で希望のフォルダを選び、**決定**を押す

- フォルダ指定は、録画先がHDDまたはカセットHDDの場合のみ設定できます。(p.97)
- 日時指定予約のときは、“この番組名”は選べません。



- 8 **▲ / ▼**で“決定”に移動し、**決定**を押す
● 予約が確定し、“予約一覧”画面に戻ります。

予約が重なったときは

- 1 “予約が重なったときは”(p.109)をご覧ください。

他の番組を続けて予約するときは

- 1 手順 2 ~ 8 を繰り返します。

- 9 **終了**を押して通常画面に戻す

- 本機を使用しないときは、電源を切ることをおすすめします。(電源を切った状態でも予約の録画は実行されます。)

メモ

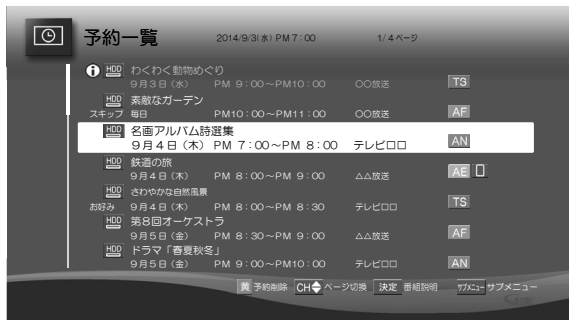
- 録画可能時間は、最大8時間です。

予約の確認・変更・削除や録画停止をする

設定済みの予約を確認する

- 1 **予約一覧** を押して、“予約一覧”画面を表示する

(予約一覧の見かたは (p.91) をご覧ください。)



別のページを表示するときは

↑ / **↓** を押します。

- 番組表 (G ガイド) から設定した予約については、予約したタイトルを選び **決定** を押す、またはサブメニューから“番組説明”を選ぶことで、予約した番組の内容を確認することができます。(手動で入力した予約や、スキップ設定されている予約は確認できません。)

- 2 確認が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

一時的に毎週／毎日録画をやめる (予約スキップ)

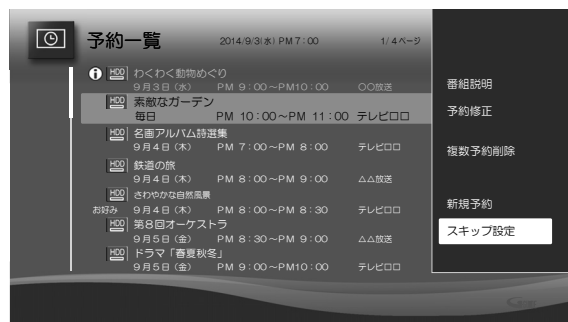
毎週／毎日などの周期予約で、周期予約の設定はそのままに次の録画予約だけスキップするよう設定できます。

すでにスキップ設定された番組を録画するように戻す場合も手順は同じです。

- 1 **予約一覧** を押して、“予約一覧”画面を表示する

- 2 **▲** / **▼** でスキップの設定をしたい、または設定を解除したい予約を選び、**サブメニュー** を押す

- 3 **▲** / **▼** で“スキップ設定”を選び、**決定** を押す



- スキップを設定した予約に“スキップ”と表示され、次の予約がスキップされます。
- スキップを解除した予約からは“スキップ”表示が消え、次回からは周期予約が再開されます。

- 4 確認が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

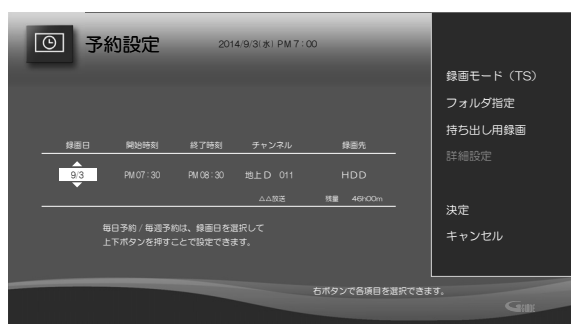
！ ご注意

- 予約のスキップ設定は、1回スキップされると自動的にスキップ解除されます。

予約の確認・変更・削除や録画停止をするつづき

予約一覧から予約の内容を変更する

- 1 **予約一覧**を押して、“予約一覧”画面を表示する
- 2 ▲ / ▼で変更したい予約を選び、**サブメニュー**を押す
- 3 ▲ / ▼で“予約修正”を選び、**決定**を押す
- 4 ◀ / ▶で変更したい項目へ移動し、▲ / ▼で内容を変更する



- 5 ▶ / ▲で“録画モード”へ移動し、**決定**を押すと録画モードリストが表示されるので、▲ / ▼で希望の録画モードを選び、**決定**を押す

録画モードを TS 以外に設定したときは記録する音声、字幕、映像を設定してください。

- ① ▲ / ▼で“詳細設定”を選び、**決定**を押す
- ② ▲ / ▼で変更する項目を選び、◀ / ▶で選ぶ
- ③ すべて設定し終わったら、**決定**を押す
 - 録画モードによって選べる項目は異なります。(p.83)
 - 録画先が“BD”(ブルーレイディスク)の場合は、手順 8へ進んでください。

- 6 ▲ / ▼で“フォルダ指定”を選び、**決定**を押すとフォルダリストが表示されるので、▲ / ▼で希望のフォルダを選び、**決定**を押す
 - フォルダ指定は、録画先が HDD またはカセット HDD の場合のみ設定できます。(p.97)
 - 番組表 (G ガイド) からの予約のとき、“この番組名”を選ぶと、その番組名のフォルダを作成します。



- 7 ▼で“決定”へ移動し、**決定**を押す
 - 予約が確定し、“予約一覧”画面に戻ります。

予約が重なったときは

- ① 「予約が重なったときは」(p.109)をご覧ください。

- 8 **終了**を押して通常画面に戻す

番組表 (G ガイド) から予約の内容を変更する

- 1 **番組表**を押して、番組表 (G ガイド) を表示する
 - 番組表 (G ガイド) の見かたは (p.92) をご覧ください。
- 2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で予約内容を変更したい番組を選び、**番組説明**または**決定**を押す
- 3 ◀ / ▶で“予約修正”を選び、**決定**を押す
- 4 「好みの設定で予約する」(p.97～98)の手順 5～10を参照し、予約の内容を変更する
- 5 **終了**を押して通常画面に戻す

ご注意

- 番組表 (G ガイド) から予約した番組は“開始時刻”、“終了時刻”、“チャンネル”は変更できません。また、“持ち出し用録画”を“する”に設定して番組表 (G ガイド) から予約した録画予約は、“録画先”も変更できません。
- 録画が実行中の予約に関しては、変更することはできません。
 - 日時指定予約したものに関しては、終了時刻のみ変更可能です。

番組表(Gガイド)から予約を 取り消す(一発キャンセル)

- 番組表(Gガイド)からの取り消しは1予約ずつ行います。

- 1 **番組表**を押して、番組表(Gガイド)を表示する
 - 番組表(Gガイド)の見かたは(p.92)をご覧ください。
- 2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶**で予約を取り消したい番組を選び、**録画**を押す
 - **録画**の代わりに**決定**または**番組説明**を押して“番組説明”画面を表示させ、**▶**で“予約取消”を選んで**決定**を押しても、予約を取り消すことができます。
- 3 **▲ / ▼**で確認メッセージの“はい”を選び、**決定**を押す
 - 録画予約が取り消されて、選んだ番組から“**L**”と赤丸マークが消えます。
- 4 **終了**を押して通常画面に戻す

“予約一覧”画面から予約を取り消す

- 1 **予約一覧**を押して、“予約一覧”画面を表示する

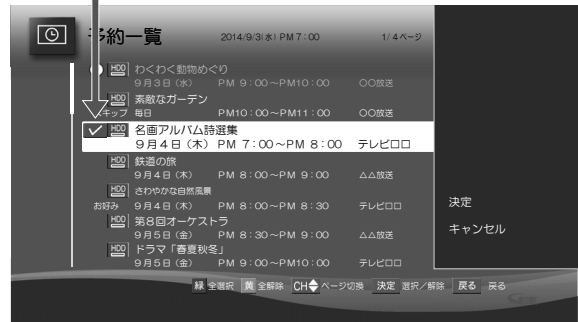
予約を1つ取り消す場合

 - ① **▲ / ▼**で予約を取り消したい番組を選び、**黄**を押す
 - ② **▲ / ▼**で確認メッセージの“はい”を選び、**決定**を押す

複数の予約を取り消す場合

 - ① **サブメニュー**を押して、サブメニューを表示する
 - ② **▲ / ▼**で“複数予約削除”を選び、**決定**を押す
 - ③ **▲ / ▼**で予約を取り消したい番組を選び、**決定**を押す
 - この手順を繰り返し、すべての取り消したい番組を選ぶ
 - **録**を押すと、すべての番組を選ぶことができます。
 - **黄**を押すと、すべての番組の選択を解除できます。

選ばれた予約に **✓** が付きます



- ④ **▶**で“決定”へ移動し、**決定**を押す
 - ⑤ **▲ / ▼**で確認メッセージの“はい”を選び、**決定**を押す
- 2 **▲ / ▼**で確認メッセージの“はい”を選び、**決定**を押す
 - 予約が取り消されます。
 - 3 予約の取り消しが終わったら、**終了**を押して通常画面に戻す

実行中の予約録画を停止する

！ 準備

- 同時録画中に追っかけ再生をしている場合は、**停止**を押して、まずは再生を停止しておく
- **終了**ボタンを押して通常画面に戻しておく

- 1 **停止**を押す
- 2 **▲ / ▼**で確認メッセージの“はい”を選び、**決定**を押す
 - 確認メッセージ表示中に**停止**を押しても、録画を停止することができます。
 - 停止した位置までが、1タイトルとなります。(停止後に次の操作ができるまで、しばらく時間がかかることがあります。)

複数番組同時録画中に停止するときは

- ① **停止**を押します。
 - 録画中のチャンネル一覧が表示されます。
- ② **▲ / ▼**で録画停止したいチャンネルを選び、**決定**を押します。
- ③ 確認画面で“はい”を選び、**決定**を押します。
 - 確認メッセージ表示中に**停止**を押しても、録画を停止することができます。

自動で録画する(お好み録画)

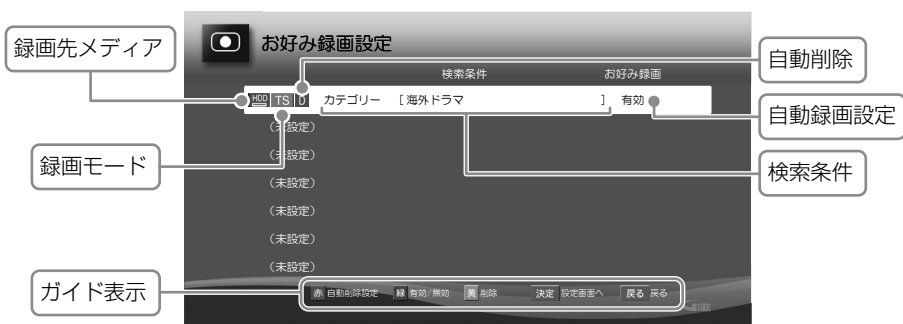
HDD **HDD(IVDR)**

キーワードやジャンルを設定して、条件にあてはまる番組を自動で録画できます。

ご注意

- お好み録画は、録画を保証するものではありません。確実に予約したい番組は、番組表(Gガイド)などから予約してください。
- 自動録画できる番組は、1日に最大12時間までです。

“お好み録画設定”画面の見かた



お好み録画を登録する

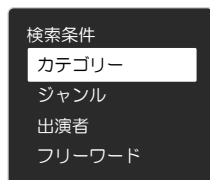
1 **お好み録画** を押す

“お好み録画設定”画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ で“未設定”と表示されている行を選び、**決定** を押す

検索条件を選ぶ

3 ▲ / ▼ で検索条件を選び、**決定** を押す



- ① **カテゴリ**
放送番組に関連するキーワード(カテゴリ)を指定します。“カテゴリ”を選び、**決定**を押すと、リストが表示されます。左側のリストからカテゴリを選んだあと、右側のリストからサブカテゴリを選んでください。
- ② **ジャンル**
ジャンルを指定します。“ジャンル”を選び、**決定**を押すと、リストが表示されます。左側のリストからジャンル項目を選んだあと、右側のリストから詳細ジャンル項目を選んでください。
- ③ **出演者**
出演者を指定します。“出演者”を選び、**決定**を押すと、リストが表示されます。左側のリストから頭文字を選んだあと、右側のリストから出演者名を選んでください。

④ **フリーワード**

キーワードを指定します。

“フリーワード”を選び、**決定**を押すと、文字入力画面が表示されます。お好みのキーワードを入力し、**決定**を押してください。スペースをはさんで、複数のキーワードを設定することもできます。(例: ヨーロッパ 鉄道旅行)

- 文字の入力方法については、文字入力のしかた(p.127)をご覧ください。

録画先を選ぶ

4 ▲ / ▼ で“録画先”を選び、**決定** を押す

5 ▲ / ▼ でお好みの録画先メディアを選び、**決定** を押す

録画モードを選ぶ

6 ▲ / ▼ で“録画モード”を選び、**決定** を押す

7 ▲ / ▼ でお好みの録画モードを選び、**決定** を押す

フォルダを指定する

8 ▲ / ▼ で“フォルダ設定”を選び、**決定** を押す

9 ▲ / ▼ でお好みのフォルダを選び、**決定** を押す

- 新規フォルダ”を選ぶと、お好みの名前のフォルダを作成できます。文字の入力方法については、文字入力のしかた(p.127)をご覧ください。

自動削除を設定する

HDDの残り容量が少なくなったときに自動的に削除するタイトルを、あらかじめ指定できる機能です。自動削除を実行する残り容量については、「自動削除する条件を設定する」(p.106)をご覧ください。

- 10 ▲ / ▼ で“自動削除”を選び、**決定**を押し、▲ / ▼ で自動削除を“する”または“しない”を選び、**決定**を押し

“する”:

録画したタイトルには、“見る”画面で自動削除アイコン“D”が表示されます。(p.111)

“しない”:

自動的に削除されません。

- 録画先をカセット HDD に設定しているときは“自動削除”を選択できません。カセット HDD の容量が少ないときは、HDD に録画されます。

メモ

- 詳しい検索条件を設定するときは
 - ① 手順 10 の設定が終わった後に“詳細設定”を選び、**決定**を押し
 - 手順 3 で“カテゴリ”を選択した場合は、“詳細設定”が表示されません。
 - ② 各項目を設定する
 - 1 放送種別
番組を検索する放送の種類を指定します。
 - 2 チャンネル
番組を検索するチャンネルを指定します。
 - 3 出演者/ジャンル/キーワード
出演者またはジャンル、キーワードを指定します。
 - 手順 3 で設定している検索条件により、表示される項目が変わります。
 - 4 除外ワード
設定したキーワードに関連する番組を、お好み録画の対象から除外します。
 - 5 時間帯
番組を検索する時間帯を設定します。
 - ③ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“決定”を選び、**決定**を押し
 - ④ ▲ / ▼ で“設定完了”を選び、**決定**を押し

- 11 ▲ / ▼ で“設定完了”を選び、**決定**を押し
- 現在時刻の 30 分後に開始する番組から、2 日先までの番組を検索し自動録画予約します。
 - 次回からは、本機の電源が「切」のときで、番組表 (G ガイド) 更新時に検索が実行されます。

- 12 メッセージが表示されるので確認し、**決定**を押し

- 13 **終了**を押しして通常画面に戻す

ご注意

- 手順 10 で、自動削除を“する”に設定して録画されたタイトルを編集すると、自動削除は解除されます。

メモ

- お好み録画は、最大 7 個まで登録できます。
- 番組表 (G ガイド) での表示が上のチャンネルから順に予約されます。
- 「お好み録画」の設定を削除しても、すでに設定された録画予約は削除されません。

登録したお好み録画を変更する

1

お好み録画を押し

“お好み録画設定”画面が表示されます。

2

▲ / ▼ で変更したいお好み録画を選び、**決定**を押し

3

「お好み録画を登録する」(p.104)の手順 4 以降を行う

ご注意

- 変更した内容は次の検索時から反映されます。変更前に検索された録画予約には反映されません。
- 「お好み録画を登録する」(p.104)の手順 3 で設定された検索条件は変更できません。変更したいときは、一度条件を削除してから、再度設定し直してください。

番組表 (G ガイド) からお好み録画する

番組表 (G ガイド) からお好み録画すると、選んだ番組に関連した条件を入力した状態でお好み録画を設定できます。

1

番組表を押し

2

▲ / ▼ / ◀ / ▶ でお好み録画したい番組を選び、**決定**を押し

3

◀ / ▶ で“お好み録画”を選び、**決定**を押し

4

▲ / ▼ で条件を選び、**決定**を押し

- リストが表示された場合は ▲ / ▼ でお好みの条件を選び、**決定**を押ししてください。
- “該当データなし”が表示された場合は、他の条件を選択してください。

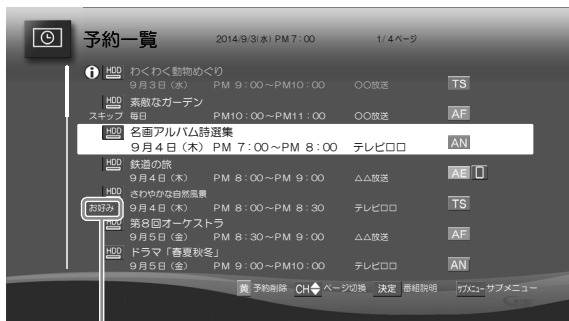
5

「お好み録画を登録する」(p.104)の手順 4 以降を行う

自動で録画する(お好み録画)・つづき

お好み録画で設定された予約を確認する

1 予約一覧を押す



“お好み”が付きます。

2 確認が終わったら、終了を押して通常画面に戻す

お好み録画を無効にする

1 お好み録画を押す

2 ▲ / ▼ で無効にしたい検索条件を選び、緑を押す



“無効”

- 緑を押すたびに“自動録画”の“有効”と“無効”が切り換わります。

3 終了を押して通常画面に戻す

お好み録画を有効にするときは

手順 2 で有効にしたい条件を選び、緑を押してください。

ご注意

- “お好み録画設定”画面の“自動録画”が“期限切れ”になっている場合は変更できません。変更したいときは、一度条件を削除してから、再度設定し直してください。

お好み録画を削除する

1 お好み録画を押す

2 ▲ / ▼ で削除したいお好み録画を選び、黄を押す

- 確認画面が表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、決定をしてください。

3 終了を押して通常画面に戻す

自動削除する条件を設定する

“自動削除”を“する”に設定した条件でお好み録画したタイトルは、HDD の容量が少ないときに自動的に削除されます。自動削除を実行する残り容量を設定できます。

1 お好み録画を押す

2 赤を押す

3 ▲ / ▼ でお好みの残り容量を選び、決定を押す

4 終了を押して通常画面に戻す

スカパー！プレミアムサービス Link

「スカパー！プレミアムサービス Link」機能を使うことで、ネットワークに接続したスカパー！プレミアムサービス対応チューナーからの映像を、ハイビジョン画質で本機のHDDまたはカセットHDDに録画することができます。

！ 準備

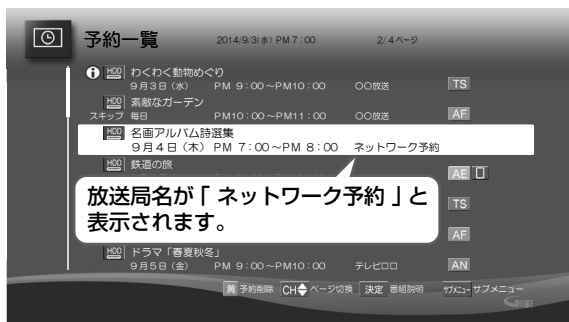
- 本機とスカパー！プレミアムサービス対応チューナーをつないでおく (p.35)
- “本体設定” → “ネットワーク設定” → “ネットワーク機能設定” → “ネットワーク機能” を “使用する” に設定しておく (p.56)
- “本体設定” → “ネットワーク設定” → “ネットワーク機能設定” → “ネットワーク録画の録画先” を設定しておく (p.56)

1 スカパー！プレミアムサービス対応チューナー側で、録画予約する

- テレビ画面には、録画している映像は表示されません。
- 録画が開始されると、他の録画同様、“見る”画面にタイトルが表示されます。

■ 録画予約できているか確認するには

“予約一覧”画面で確認することができます。



■ 録画されているか確認するには

画面表示 を押してください。



！ ご注意

- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーでのみ、録画予約の変更と削除ができます。(スカパー！プレミアムサービス対応チューナーで録画予約を削除しても本機の予約一覧から削除されないときは、本機の予約一覧画面から録画予約を削除してください。)
- 録画中にネットワークの接続が途切れると、録画を停止します。(録画予約は削除されます。) また、ネットワークの通信速度が遅い場合も録画を停止することがあります。
- スカパー！プレミアムサービス 録画中は、以下の操作ができません。
 - BD-Video の再生
 - AVCHD ディスクの再生
 - 3D の再生 (2D の再生になります。)
- 本機の視聴年齢制限機能を使用していない場合、視聴年齢が制限されたスカパー！の録画タイトルは本機の“見る”画面に表示されません。(p.51)
- 視聴制限がある番組は、「ネットワーク録画の録画先を設定する」(p.56)の設定にかかわらずHDDに録画されます。
- 「ネットワーク録画の録画先を設定する」(p.56)でカセットHDDを設定している場合、カセットHDDが未挿入のときはHDDに録画されます。
- ご使用のスカパー！プレミアムサービス対応チューナーによっては、録画予約をした際の番組名が“***”と表示される場合があります。
- ラジオ放送やデータ放送は録画できません。
- 録画したタイトルは、字幕とデータ放送の表示ができない場合や、本機以外で再生できない場合があります。
- 録画したタイトルは、タイトルの始まりと終わりが数秒間欠けることがあります。
- スカパー！プレミアムサービスの8時間番組の予約は、タイトルの終わりが数秒間欠けることがあります。
- 録画が終了しても、本機の電源は「入」のままになっています。(スカパー！プレミアムサービス対応チューナーの操作によって本機の電源が自動的に切れる場合もあります。)詳しくは、スカパー！プレミアムサービス 対応チューナーの取扱説明書をお読みください。

録画予約についての補足説明

録画全般

- 録画中に録画メディアの残量がなくなるときは、録画が自動的に停止します。
- カセット HDD に録画モード TS 以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。

録画予約全般

■ 録画予約があるときの本機の動作

- 本体表示部に“Ⓜ”が表示されます。

予約録画開始時刻の直前になると

- 本機の電源が「入」のときは、電源が「入」のまま予約の録画が実行されます。
- 本機の電源が「切」のときは、電源が「切」のまま予約の録画が実行されます。

予約録画中は

- 本体前面の録画ランプが点灯します。

予約録画終了時刻になると

- 自動的に録画が終わります。

電源「入」時に予約録画が終了すると

- “本体設定”メニューの“かんたん設定 / その他”→“未使用時自動電源オフ”を“利用しない”に設定しているときは、起動状態を維持します。

■ 番組表 (G ガイド) を使った予約 (番組検索、注目番組)

- 番組検索や注目番組一覧表示は、番組データの番組情報 (日によって変わることがあります) をもとに行うため、同じ番組でも日によっては表示されないことがあります。

代理録画

ディスクやカセット HDD が次のような状態で予約録画が実行できない場合、HDD が録画可能な状態であれば HDD に録画し、“予約一覧”画面でお知らせします。

- 録画可能なディスクが入っていないとき。
- 録画可能なカセット HDD が挿入されていないとき。
- ディスクや、カセット HDD の残量時間が不足しているとき。
- カセット HDD からカセット HDD へのダビング中に 2 番組分の予約録画が実行されると、2 番組目は HDD へ代理録画されます。

通常録画 / ワンタッチタイマー録画 / 等速ダビングと、予約録画が重なったときは

以下の場合、通常録画やワンタッチタイマー録画は予約録画の開始 2 分前に取り消されます。
(複数番組同時録画*できる場合は、1 番組のみ取り消されます。)

- すでに複数番組同時録画中*の場合
 - 複数番組同時録画*できない条件の場合 (p.88、109)
- 等速ダビングは、予約録画の開始 2 分前に取り消されます。

※ BIV-TW1000 は 3 番組同時録画、BIV-WS1000、BIV-WS500 は 2 番組同時録画

予約が重なったときは

■ 予約を決定するときに、確認メッセージが表示されます。

- メッセージを確認し **決定** を押すと、“予約一覧”画面が表示されます。重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には“**!**”が付き、水色の文字色で表示されています。

■ 重なっている予約を確認するときは

- **予約一覧** を押し、“予約一覧”画面を表示してください。重なりのため、一部またはすべての録画ができなくなっている予約には“**!**”が付き、水色の文字色で表示されています。

■ 4つ以上の予約が重なった場合は

対象機種：BIV-TW1000


- 全部または一部が重なった場合は、予約録画の開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。



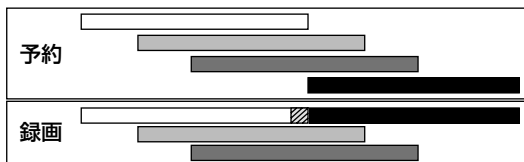
- 開始時刻が同じ場合は、【予約一覧】画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。



- ① 【予約一覧】画面で上に表示されている番組
- ② 【予約一覧】画面で下に表示されている番組

- ※  の録画開始準備部分(約20秒ほど)は録画されません。

- 連続する予約(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ)の場合は、前の予約の終了時刻の手前約20秒は録画されません。



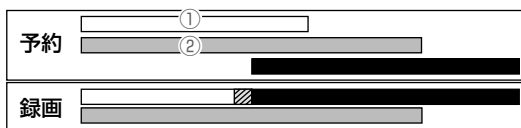
■ 3つ以上の予約が重なった場合は

対象機種：BIV-WS1000 / BIV-WS500


- 全部または一部が重なった場合は、録画の開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。



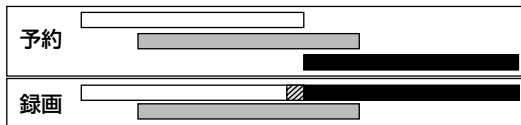
- 開始時刻が同じ場合は、“予約一覧”画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。



- ① 【予約一覧】画面で上に表示されている番組
- ② 【予約一覧】画面で下に表示されている番組

- ※  の録画開始準備部分(約20秒ほど)は録画されません。

- 前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合は、前の予約の終了時刻の手前約20秒ほどは録画されません。



☞ 予約が重なったときは

「予約の確認・変更・削除や録画停止をする」(p.101～103)を参照し、希望通りの録画が行われるよう、録画予約の設定を変更してください。

■ その他同時録画できない場合は

- 録画開始時刻が遅い方の予約が優先的に録画されます。
- 開始時刻が同じ場合は、“予約一覧”画面で順番が下の方の予約が優先的に録画されます。
- 前の予約は、後の予約と重なる部分の手前約20秒以降は録画されません。(前の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合を含む。)

録画予約についての補足説明・つづき

停電があったときは

■ 共通動作

- 停電から復帰すると、自動的に電源が入ってシステム設定を行います。(システム設定中は、本体表示部に“WAIT”と表示されます。)
- 停電によって予約録画が中断したときは、“予約一覧”画面でお知らせします。(p.91)

■ 録画方法が下記の場合

通常録画中やワンタッチタイマー録画中に停電したとき

- 録画は停電したところで終了します。
- システム設定後は、電源が切れます。

予約録画の開始前に停電したとき

- 停電復帰後に、時計が自動修正されると予約内容が復活します。

予約録画の実行中に停電したとき

- 録画は停電したところで中断します。
- 録画終了時刻(時間)前に復帰したときは、システム設定後に録画終了時刻(時間)まで録画が再開されます。
- 録画終了時刻後に復帰したときは、録画は停電したところで終了し、システム設定後に電源が切れます。

■ 録画先が下記の場合



HDD、カセットHDD

- 停電前後の番組は分割されて“見る”画面に登録されます。
- 停電直前の数十秒程度が録画されないことがあります。
- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、初期化が必要となることがあります。(録画内容はすべて消去されます。)
- カセットHDDへの予約録画中に停電があった場合、停電復帰後にカセットHDDへ録画できないときは、続きはHDDへ代理録画されます。

BD-RE / BD-R

- 停電発生のタイミングによっては、停電前に録画された内容が削除されることがあります。
- 停電発生の状況によっては、ディスクが使用できなくなることがあります。
- 停電復帰後に予約した番組をディスクへ録画できない場合は、HDDに代理録画されます。HDDに代理録画された場合は、HDDの“見る”画面に登録されます。

予約録画が正常に行われなかったときは

- “予約一覧”画面で、重なりや停電などの要因で録画が正常に行われなかった予約に、“”が付き、灰色の文字色で表示されます。番組を選んで  を押すとお知らせ内容が表示されます。“お知らせ消去”を選ぶと番組が予約一覧から消去されます。(“予約一覧”画面の表示方法については、「予約一覧の見かた」(p.91)をご覧ください。)

メモ

- 最大録画可能数 / 登録数については (p.182) をご覧ください。

再生の前に

録画した番組(タイトル)の一覧(“見る”画面)について

HDD **HDD(iVDR)** **BD-RE** **BD-R** **-RW (VR)** **-R (VR)** **-RW (AVC)** **-R (AVC)**

録画やダビングした番組を見るときは、“見る”画面を表示させて、見たい番組を選んで再生します。

- 本書では、録画およびダビングして本機に取り込んだ番組のことを“タイトル”と呼びます。

“見る”画面の見かた (例: HDD)

操作中のメディア / フォルダ名
 チャプター自動再生可能なタイトル
 容量不足時に自動削除される番組

表示されるアイコンと意味
NEW: 未再生のタイトル
録画: スーパー! プレミアムサービス録画中
お好み: お好み録画
録画1 録画2 録画3: 録画中
🔒: 保護されたタイトル
 対象機種: BIV-TW1000

録画日
 サブメニュー
 サブメニューを押すと表示されます。
 最初から再生
 続きから再生
 チャプター自動再生
 視聴制限一時解除
 番組編集
 フォルダ登録
 かんたんダビング
 録画モード変換
 ジャンル / 並び順
 ページ指定ジャンプ
 持ち出し番組の確認
 複数番組削除

1/ 2 ページ 残量 (TS): 46h00m

録画番組 (18)
 ▶ ジャンル
 ▶ すべて (18)
 ▶ 並び順
 記録順

赤 フォルダ一覧 黄 番組削除 CH ページ切換 決定 再生 サブメニュー

選択中のタイトルのプレビュー再生

- 音声付き再生になります

ガイド表示

- 本機の録画モードが TS の場合、残量時間は BS デジタル放送 (HD 放送) の場合の時間で表示されます。また、10 時間未満になると赤字に変わり、**△** アイコンが表示されます。(お好み録画を設定している場合は、HDD の残量が自動削除条件以下のときに赤字になり、**△** アイコンが表示されます)

別のページを表示するときは… **チャンネル** で前ページ・次ページへ表示を切り換えることができます。

“見る”画面を表示するには

- ① **DISC**、**HDD** または **iVDR** を押して、操作するメディアに切り換える

対象機種: BIV-TW1000

iVDR を押すと、カセット HDD の一覧が表示されます。**▲** / **▼** で希望のカセット HDD を選び、**決定** を押してください。

- ② **見る** を押す

- ホームメニューから“見る”を選ぶこともできます。(p.62)
- タイトル一覧が表示されないときは、フォルダを選び、**赤** または **決定** を押してください。

別のページを表示するときは… “見る”画面表示中に **見る** を押します。

表示するタイトルのジャンルを絞り込んだり、並び順を変えたいときは

- ① タイトル一覧を表示中に **サブメニュー** を押して、サブメニューを表示する
- ② ディスクの場合は、手順④へすすむ
HDD または カセット HDD の場合は、“ジャンル / 並び順”を選び、**決定** を押す
- ③ ジャンルを絞りこみたいときは、**▲** / **▼** で、“ジャンル”を選び、**決定** を押す
 - ジャンルリストが表示されるので、希望のジャンルを選び、**決定** を押してください。

再生の前に・つづき

④ 並び順を変えたいときは、▲ / ▼で“並び順”を選び、

決定を押す

- 並び順の種類が表示されるので、希望の並び順を選び、**決定**を押してください。ディスクの場合は、これで並び替えがはじまります。

記録順： 記録した順(ディスクの場合は記録された順)に並び替えます。

- カセットHDDでは“記録順”を選べません。

番組名順： 番組名(タイトル名)順に並び替えます。

新しい順： 録画日が新しい順に並び替えます。

- 録画日が記録されていない場合は、並び順の最後になります

古い順： 録画日が古い順に並び替えます。

- 録画日が記録されていない場合は、並び順の最初になります

⑤ HDDまたはカセットHDDの場合は、▲ / ▼で“決定”を選び、**決定**を押す

メディアを切り換える

“見る”画面を表示したあとでも、メディアを切り換えることができます。

① 番組一覧表示中に、**DISC**、**HDD**または**iVDR**を押す

対象機種：BIV-TW1000

iVDRを押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲ / ▼で希望のカセットHDDを選び、**決定**を押してください。

ご注意

- DISCモードでは、ジャンルの絞り込みはできません。
- 本機では、SDカードやUSB機器から直接AVCHD形式の動画を再生することはできません。(詳しくは(p.71)をご覧ください。)

再生開始位置について

- 再生中に**停止**または**終了**を1回押して再生を停止すると、再生停止位置(レジュームポイント)が記憶されます。
- レジュームポイントを解除するには、通常の放送受信画面でもう一度**停止**を押してください。

準備

- **DISC**、**HDD**または**iVDR**を押して、操作するメディアに切り換えておく

対象機種：BIV-TW1000

iVDRを押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲ / ▼で希望のカセットHDDを選び、**決定**を押してください。

- カセットHDDを再生するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく

1 **見る**を押して、“見る”画面を表示する(p.111)

- HDD / カセットHDDで、タイトル一覧が表示されていないときは、再生したいタイトルが入っているフォルダを▲ / ▼で選び、**赤**または**決定**を押します。

2 ▲ / ▼で再生するタイトルを選び、記録メディアに合わせて下記の操作をする

HDD **HDD(iVDR)**

- タイトルごとにレジュームポイントが記憶されます。

再生 、 決定	レジュームポイントの続きから再生します。
サブメニュー	“最初から再生”または“続きから再生”を選べます。

BD-RE **BD-R** **-RW (VR)** **-R (VR)** **-RW (AVC)** **-R (AVC)**

- ディスクにつき一箇所だけレジュームポイントが記憶されます。ディスクに複数のタイトルが記録されている場合は、最後に再生していたタイトルのレジュームポイントが記憶されます。

再生 、 決定	最後に再生していたタイトルを選んだ場合のみ、レジュームポイントから再生します。それ以外は、タイトルの頭から再生します。
サブメニュー	“最初から再生”のみ。

音楽用CD

- ディスクにつき一箇所だけレジュームポイントが記憶されます。

ディスクに複数のトラックが記録されている場合は、最後に再生していたトラックのレジュームポイントが記憶されます。

再生

最後に再生していたトラックを選んだ場合のみ、レジュームポイントから再生します。それ以外は、トラックの頭から再生します。

決定

トラックの頭から再生します。

JPEG(BD) JPEG(DVD) JPEG(CD)

- ディスクにつき一箇所だけレジュームポイントが記憶されます。

再生

決定

最後に再生していたファイルからスライドショーを開始します。

「見る」画面を表示せずに再生を押すと

最後に視聴していたタイトル/トラックのレジュームポイントから再生が始まります。(ただし、HDDとカセットHDDのタイトルごとのレジュームポイントは解除しません。)

注意

- JPEG形式の静止画が記録されたSDカードまたはUSBメモリーでは、レジュームポイントは記録されません。
- ディスクによっては、レジューム機能に対応していないものがあります。

メモ

次のような場合、記憶したレジュームポイントが解除されます。

- 停止中に、戻る または 終了 を押し、通常の放送受信画面で 停止 を押したとき(HDDとカセットHDDの場合は、そのとき選ばれているタイトルのレジュームポイントが解除されます。)
- 視聴年齢制限のある番組を一時的に制限解除して再生したあとに、電源を「切」にしたとき
- 初期化をしたとき
- タイトルの終わりまで再生したとき

以下は ディスクのみ

- ディスクトレイを開けたとき
- ファイナライズをしたとき

など

再生する

録画した番組(タイトル)を再生する

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

HDD、カセットHDDやディスクに記録したタイトルや本機に取り込んだAVCHD形式の動画を再生することができます。

準備

- カセットHDDを再生するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを再生するときは、再生用のディスクを入れておく
- DISC、HDD または iVDR を押して、操作するメディアに切り換えておく

対象機種: BIV-TW1000

iVDR を押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲/▼で希望のカセットHDDを選び、決定 を押してください。

1 見る を押して、「見る」画面を表示する (p.111)

- HDD/カセットHDDで、タイトル一覧が表示されていないときは、再生したいタイトルが入っているフォルダを▲/▼で選び、決定 を押します。

2 ▲/▼で再生するタイトルを選ぶ



次ページへつづく

再生する・つづき

3 再生 または 決定 を押して、再生を始める

- HDD / カセット HDD のときは、サブメニューを押して、サブメニューから再生開始位置を選んで再生することもできます。
- 再生位置に関しては「再生開始位置について」(p.112)をご覧ください。

再生を停止するとき

- 1 停止 を押します。
 - 再生が停止し、“見る”画面が表示されます。(レジュームポイントが記憶されます。)

ページを切り換えるときは

複数ページあるときに、ページを指定して表示を切り換えることができます。

- 1 番組一覧表示中に、Ch番号入力 を押す
- 2 ▲ / ▼ または 1* ~ 10% でページ番号を選んで 決定 を押す
 - 選んだページに表示が切り換わります。

サブメニューから切り換えるには

- 1 番組一覧表示中に、サブメニュー を押す
- 2 ▲ / ▼ で“ページ指定ジャンプ”を選んで 決定 を押す
- 3 ▲ / ▼ または 1* ~ 10% でページ番号を選んで 決定 を押す

番組説明を表示するとき

HDD HDD(VDR) BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR)
-RW (AVC) -R (AVC)

HDD やカセット HDD、ディスクに録画したタイトルの番組説明を表示することができます。

ご注意

- ダビングしたタイトルの場合は、番組説明が表示されない場合があります。

“見る”画面で表示するには

- 1 ▲ / ▼ で番組説明を表示したいタイトルを選び、番組説明 を押します。

再生中に表示するには

- 1 タイトルを再生中に、番組説明 を押します。

本編のみを再生するとき(チャプター自動再生)

HDD HDD(VDR)

タイトルの本編のみを再生できます。

- “本体設定”の“録画設定”から“オートチャプター”を“自動”に設定して録画されたタイトルのみ、本編のみの再生ができます。
- 1 タイトル一覧表示中に、▲ / ▼ でタイトルを選んでサブメニュー を押す
 - 2 ▲ / ▼ で“チャプター自動再生”を選んで 決定 を押す

再生中にチャプター自動再生と通常再生を切り換えるには

- 1 タイトルの再生中にサブメニューを表示し、▲ / ▼ で“チャプター自動再生”を選び 決定 を押す
- 2 ▲ / ▼ で“オン”または“オフ”を選ぶ
“オン”：本編のみ再生します。
“オフ”：本編以外も再生します。

- 画面表示 を何回か押し、画面下部にタイムバーを表示させた状態で▲ / ▼ を押しても切り換えることができます。チャプター自動再生に切り換えたときは、画面の右上に“CHP 再生”と表示されます。

視聴制限を一時的に解除するとき

HDD

視聴年齢制限のある番組を番組一覧表示で一時的に表示できます。

- 1 番組一覧表示中にサブメニュー を押す
- 2 ▲ / ▼ で“視聴制限一時解除”を選んで 決定 を押す
 - パスワードを入力すると、視聴制限が解除されます。
 - 電源を「切」にするまで、視聴制限を解除した状態になります。

メモ

- 再生中にメディア(DISC、HDD、IVDR)を切り換えると、再生が停止します。
- タイトルの削除・編集をするときは(p.127)をご覧ください。
- 本機では、カセットHDDの番組は2,000タイトルまで再生できます。

市販のディスクを再生する

! 準備

- DISC を押して、DISC モードに切り換えておく

ブルーレイディスクや DVD を再生する

BD-Video DVD-Video


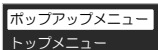



1 再生したいディスクを入れる

- ディスクによっては、自動的に再生が始まるものがあります。
- ディスクのメニュー画面が表示される場合は画面の指示に従って操作してください。


2 を押して、再生を始める

■ ディスクのメニューやポップアップメニューから操作するときは

(メニューやポップアップメニューがある場合のみ)
ディスクのメニューを表示して、いろいろな操作ができます。ディスクソフトによってメニューやポップアップメニューの内容が異なりますので、操作のしかたはディスクソフトの説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

再生中に 	ディスクのメニュー選択画面を表示します。 ▲ / ▼ で表示したいメニューを選びます。 BD-Video の場合:  DVD-Video の場合: 
停止中に 	ディスクのトップメニューを表示します。
▲ / ▼ / ◀ / ▶ 	希望のタイトルや項目を選び、決定します。

再生を停止するときは

- ①  を押します。
 - 再生が停止します。
(レジュームポイントが記憶されます。)

ブルーレイ 3D™ ディスクを再生する

BD-Video

本機でブルーレイ 3D™ ディスクを楽しむことができます。


! 準備

- 本機と 3D 対応テレビを市販の High Speed HDMI ケーブルでつないでおく (p.29)
- 3D 対応テレビの設定を 3D に切り換えておく (必要な場合のみ)


1 再生したいディスクを入れる

2 を押して、再生を始める


3D の再生設定を変更するときは

- ①  → “設定” → “本体設定” → “3D 設定” から希望の設定を変更してください。

2D 映像で再生するときは

- ①  → “設定” → “本体設定” → “3D 設定” → “3D 映像視聴設定” を “2D” に設定してください。

再生を停止するときは

- ①  を押します。
 - 再生が停止します。
(レジュームポイントが記憶されます。)

市販のディスクを再生する・つづき

音楽用CDを再生する

音楽用CD

- 再生したいディスクを入れる
 - テレビ画面にトラックリストが表示されます。
 - すでにディスクが入っていて、トラックリストを表示したい場合は、**見る**を押してください。

- ▲ / ▼で、お好みのトラックを選び、**再生** または **決定** を押す

再生を停止するときは

- 停止**を押します。
 - 再生が停止します。(レジュームポイントが記憶されます。)

タイトル番号を指定して再生する

ディスクを再生するときに、タイトル番号を指定してから再生できます。

- 放送中の番組を視聴しているときは、以下のディスクのみタイトル番号を指定して再生できます。

BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (Video)
-R (Video) -RW (AVC) -R (AVC)

- サブメニュー** を押す
- ▲ / ▼で、“ディスクサーチ”を選び、**決定** を押す
- ▲ / ▼または **1**^桁 ~ **10**^桁 でタイトル番号を変更し、**決定** を押す
 - 指定した番組(タイトル)から再生が始まります。

メモ

- 再生開始位置やレジュームポイントについては、「再生開始位置について」(p.112)をご覧ください。

ご注意

- 市販のディスクソフトは、テレビ放送と比べて音量が異なることがあります。再生中にテレビの音量を上げたときは、再生停止前に必ず音量を下げてください。

いろいろな再生

早く見る／聞く(早送り／早戻し)

- 一部を除き、音声は出ません。

HDD	HDD(VDR)	BD-RE	BD-R	BD-Video	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD)	音楽用CD				

再生中に、、を押す

- 押すたびに、再生速度が4段階で切り換わります。(音楽用CDは3段階)
- 音楽用CDの早送り／早戻し中は、およその再生位置が確認できる程度の音声が断続的に出ます。
- を押すと通常再生に戻ります。

音声付きで早く見る(早見再生)

HDD	HDD(VDR)	BD-RE	BD-R	BD-Video	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD)	音楽用CD				

再生中に、またはを1回押す

- を押すと、音声付きの約1.3倍速の早見再生になります。
- を1回押すと、音声付きの早送りになります。

再生を一時的に止める(再生一時停止)

HDD	HDD(VDR)	BD-RE	BD-R	BD-Video	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD)	音楽用CD	JPEG (BD)	JPEG (DVD)	JPEG (CD)	

再生中に、を押す

- 再生が一時停止します。
- またはを押すと再生に戻ります。

ゆっくり見る(スロー／逆スロー再生)

HDD	HDD(VDR) *	BD-RE	BD-R	BD-Video *	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video) *	-R (Video) *	DVD-Video *	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD) *					

再生一時停止中に、、を押す

- ※のあるメディアでは、逆スロー再生はできません。
- 押すたびに、再生速度が3段階で切り換わります。
- を押すと通常再生に、を押すと再生一時停止に戻ります。
- 、を長押しすると、早戻し／早送り動作となります。

ご注意

- 以下のメディアやタイトルでは、逆スロー再生とコマ戻しはできません。
 - カセットHDD、BD-Video、DVD-RW(Video)、DVD-R(Video)、DVD-Video、DVD-RW(AVCHD) / DVD-R(AVCHD)、録画モード「AVC 3D」のタイトル(3D再生中)、録画モード「AVC PRO」のタイトル
- 以下のタイトルや映像の場合、逆スロー再生は2段階切り換えになります。
 - 録画モードがAF～AEで録画されたタイトルやMPEG-4 AVC / H.264で記録された映像
- 以下の場合、早見再生はできません。
 - BD-Videoを3Dで再生中
 - 録画モード「AVC 3D」のタイトルを3Dで再生中
 - 録画モード「AVC PRO」のタイトルを再生中
- 3D再生の早送り／早戻し中は2Dとなります。

コマを進める／戻す(コマ送り／コマ戻し)

HDD	HDD(VDR) *	BD-RE	BD-R	BD-Video *	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video) *	-R (Video) *	DVD-Video *	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD) *					

再生一時停止中に、、を押す

- ※のあるメディアでは、コマ戻しはできません。
- 押すたびに、画面が1コマずつ変わります。

見たい／聞きたいところまでとばす(スキップ)

HDD	HDD(VDR)	BD-RE	BD-R	BD-Video	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD)	音楽用CD	JPEG (BD)	JPEG (DVD)	JPEG (CD)	

再生中に、、を押す

- 押すたびに、前後のチャプターやトラックに移動します。
- の場合、1回目は、現在再生中のチャプターやトラックの先頭に移動します。

可変スキップ／可変リプレイ

HDD	HDD(VDR)	BD-RE	BD-R	BD-Video	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD)					

再生中に、、を押す

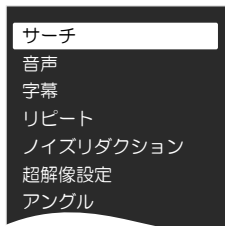
- 押すたびに、「再生設定」の「可変スキップ」、「可変リプレイ」で設定した時間だけ再生位置が移動します。(p.164)

いろいろな再生・つづき

番号や時間を指定してとばす(サーチ)

HDD	HDD(iVDR)	BD-RE	BD-R	BD-Video	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD)	音楽用CD	JPEG (BD)	JPEG (DVD)	JPEG (CD)	JPEG (SD)
JPEG (USB)					

- 再生中に、**メニュー**を押してサブメニューを表示し、**▲ / ▼**で“サーチ”を選び、**決定**を押す



- ▲ / ▼**で希望のサーチを選ぶ

- 押すたびにサーチの種類が切り換わります。
- 再生中のHDDやディスクの種類によって、選べるサーチの種類が異なります。

再生するメディア / ファイル	サーチの種類
HDD HDD(iVDR)	チャプターサーチ CHP タイムサーチ 🕒
BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC) AVCHD (DVD)	チャプターサーチ CHP タイムサーチ 🕒 タイトルサーチ TT
音楽用CD	トラックサーチ TR タイムサーチ 🕒
JPEG (BD) JPEG (DVD) JPEG (CD) JPEG (SD) JPEG (USB)	トラックサーチ TR

- ▶**で、変更したい数値へ移動し、**▲ / ▼**または**1^あ ~ 10^あ / 0**で数値を変更し、**決定**を押す

- 指定した番号または時間に再生位置が移動します。

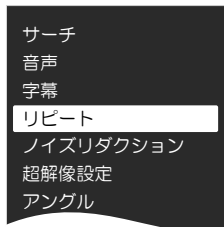
入力を間違えたときは

- ◀ / ▶**で修正したい数値に移動し、入力し直してください。

繰り返して見る(リピート再生)

HDD	HDD(iVDR)	BD-RE	BD-R	BD-Video	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD)	JPEG (BD)	JPEG (DVD)	JPEG (CD)		

- 再生中に、**メニュー**を押してサブメニューを表示し、**▲ / ▼**で“リピート”を選び、**決定**を押す



- ▲ / ▼**で希望のリピート再生を選ぶ

- 再生中のHDDやディスクの種類によって、選べるリピート再生の種類が異なります。

再生するメディア / ファイル	リピート再生の種類
HDD HDD(iVDR) BD-Video -RW (Video) -R (Video) DVD-Video AVCHD (DVD)	オフ タイトル チャプター
BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)	オフ オール タイトル チャプター
音楽用CD JPEG (BD) JPEG (DVD) JPEG (CD)	オフ オール トラック

リピート再生をやめるときは

- 再度サブメニューで“リピート”を選び、“オフ”の設定にします。(手順 2)
 - リピート再生をやめて、再生も停止するときは **停止**を押します。

ご注意

- 以下の操作で、再生位置がリピート範囲を超えた場合はリピートが解除されます。
 - スキップ
 - チャプター / タイトル / トラック / タイムサーチ
 - 可変スキップ
 - 可変リプレイ

録画中の番組を最初から見る (追っかけ再生)

HDD **HDD(iVDR)**

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら(停止させずに)番組の最初から見るができます。

1 **HDD** または **iVDR** を押して、録画中のメディアに切り換える

対象機種: BIV-TW1000

iVDR を押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲/▼で希望のカセットHDDを選び、**決定** を押してください。

2 **見る** を押して、“見る”画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていないときは、再生したいタイトルが入っているフォルダを▲/▼で選び、**決定** を押します。

3 ▲ / ▼ で録画中の番組

録画 / **録画1** / **録画2** / **録画3** ※ を選ぶ

※ **録画3** は BIV-TW1000 のみ対応

4 **再生** または **決定** を押して、追っかけ再生を始める

追っかけ再生をやめるときは

① **停止** を押す

- 再生が停止します。(録画は続きます。)

録画も停止させるときは

① **停止** を押して追っかけ再生を停止する

② **終了** を押して通常画面に戻し、**停止** を押す。

詳しくは「録画を停止するときは」(p.87)をご覧ください。

ご注意

- HDD の場合は録画開始の 3～5 秒後から追っかけ再生が可能となります。
- カセットHDD の場合は、録画モードによって追っかけ再生が可能になる時間が変わります。
 - TS モードのタイトル：
録画開始の約 15 秒後から
 - AF/AN/AS モードのタイトル：
録画開始の約 30 秒後から
 - その他のモードのタイトル：
録画開始の約 70 秒後から
- 追っかけ再生中に早送りなどを行って、再生が録画に追いついた場合は、通常再生に移行します。(録画は続きます。)また、カセットHDD の場合は、録画に追いつく前に通常再生に移行することがあります。
- 追っかけ再生中にスキップで録画に追いつくときや、スキップ先のチャプター境界がタイトルの終端に近いときは、スキップは実行できません。
- 追っかけ再生中にメディア (**DISC**、**HDD**、**iVDR**) を切り換えると、再生が停止します。

他の機器で作成した プレイリストを再生する

BD-RE **BD-R** **-RW (VR)** **-R (VR)** **-RW (AVC)** **-R (AVC)**

1 **見る** を押して“見る”画面を表示し、**サブメニュー** を押す

2 ▲ / ▼ で“プレイリスト表示”を選び、**決定** を押す

- プレイリスト表示中に、**録画** → “録画番組表示”を選び、**決定** を押すと録画タイトル一覧画面に戻ります。

ご注意

- 本機では、プレイリストの作成や編集はできません。

再生中の各種設定切り換え

再生中に、音声や字幕の言語、カメラアングルなどを切り換えることができます。

音声(言語)を切り換える

HDD	HDD(iVDR)	BD-RE	BD-R	BD-Video	-RW (VR)
-R (VR)	-RW (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)
AVCHD (DVD)					

再生中のタイトルに複数の音声(主音声/副音声など)や音声言語が記録されているときは、再生したい音声を選ぶことができます。

1 再生中に、**音声切換**を押して、音声情報を表示する

- 音声情報は **22** を押して、サブメニューから“音声”を選ぶことでも表示できます。

2 希望の音声を選ぶ

BD-Video 以外の場合

◀ / ▶ / ▲ / ▼ で音声切り換える

- 選択している音声ステレオで、右側に選択項目が表示される場合、▶で右側の項目に移動してから▲ / ▼で“ステレオ”→“R-ch”(右音声)→“L-ch”(左音声)を切り換える。
- 選択している音声二カ国語で、右側に選択項目が表示される場合、▶で右側の項目に移動してから▲ / ▼で“主/副”→“主音声”→“副音声”を切り換える。

BD-Video の場合

▲ / ▼で“プライマリ”か“セカンダリ”を選んだあとに、**決定**で音声切り換えエリアへ移動し、▲ / ▼で音声切り換える。

- “音声設定”の“BD-HD 音声設定”が“HD 音声”のときにはセカンダリ音声は出力されません。(p.162)

字幕(言語)を切り換える

HDD	HDD(iVDR)	BD-RE	BD-R	-RW (VR)	-R (VR)
-R (Video)	-R (Video)	DVD-Video	-RW (AVC)	-R (AVC)	AVCHD (DVD)

再生中のタイトルに複数の字幕言語が記録されているときは、字幕の言語や表示/非表示を選ぶことができます。(本機で録画したタイトルの場合、録画モードがTS、AF～AEのタイトルのみ切り換えできます。)

1 再生中に、**サブメニュー**を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“字幕”を選び、**決定**を押す



2 ▲ / ▼で希望の字幕を選ぶ

- ◀ / ▶で最後に選んだ字幕言語と“オフ”を切り換えることができます。
- 字幕言語を切り換えてから表示されるまで時間がかかることがあります。

BD-Video 特有の字幕などを切り換える

BD-Video

- BD-Video の場合、プライマリ映像用の字幕、セカンダリ映像用の字幕、また、字幕のスタイルを、それぞれ設定することができます。

1 再生中に、**サブメニュー**を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“字幕”を選び、**決定**を押す

2 ▲ / ▼で“プライマリ”、“セカンダリ”または“スタイル”を選んだあとに、**決定**で字幕へ移動し、▲ / ▼で設定を切り換える

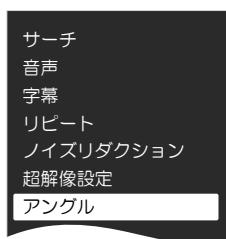
- ◀ / ▶で最後に選んだ言語と“オフ”を切り換えることができます。

カメラアングル(見る角度)や映像を切り換える

HDD HDD(VDR) BD-RE BD-R BD-Video DVD-Video
-RW (Video) -R (Video) -RW (AVC) -R (AVC)

再生中のタイトルに複数のカメラアングルや映像が記録されているときは、見る角度や映像を選ぶことができます。

- 再生中に、サブメニューを押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“アングル”を選び、決定を押す



- ▲ / ▼で希望のカメラアングルや映像を選ぶ

- ▲ / ▼を押すたびに、カメラアングルや映像が切り換わります。

メモ

- カメラアングルが選べる場面では、画面に“”が表示されます。(表示されないようにすることもできます。(p.164))
- BD / DVD-Video の場合、音声 / 字幕 / カメラアングルの内容はディスクによって異なりますので、ディスクソフトの説明書をご覧ください。

再生映像のノイズを低減する(ノイズリダクション)

HDD HDD(VDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR)
-R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC)
AVCHD (DVD)

- 再生中に、サブメニューを押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“ノイズリダクション”を選び、決定を押す
- ▲ / ▼で希望の設定を選び、決定を押す

ノイズリダクション オン

“オフ”： ノイズリダクションを無効にします。

“オン”： ノイズが軽減されます

再生映像の標準画質を鮮明な画質に補正する(超解像設定)

HDD HDD(VDR) BD-RE BD-R BD-Video -RW (VR)
-R (VR) -RW (Video) -R (Video) DVD-Video -RW (AVC) -R (AVC)
AVCHD (DVD)

HDMI 端子から 1080i/1080p で出力時、標準画質(480i/480p)の映像を精細感の高い画質に補正します。

- 再生中に、サブメニューを押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“超解像設定”を選び、決定を押す
- ▲ / ▼で希望の設定を選び、決定を押す

超解像設定 オン

“オフ”： 超解像再生を無効にします。

“オン”： 精細感が強調されます。

メモ

- ハイビジョン画質の映像に対しては効果がありません。

再生中の各種設定切り換え・つづき

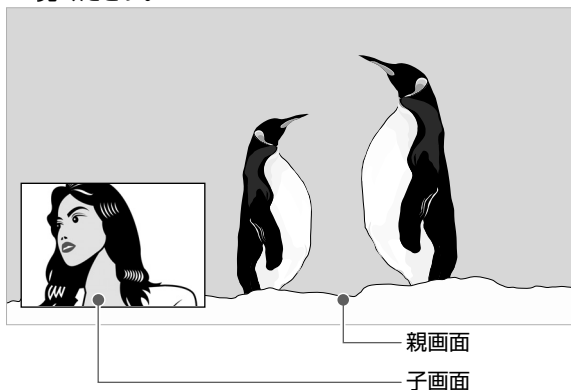
BD-Video の 子画面の切り換えをする

BD-Video

(ピクチャー・イン・ピクチャー対応のみ)

子画面 (ピクチャー・イン・ピクチャー) 対応の BD-Video では、再生する子画面の設定を選ぶことができます。

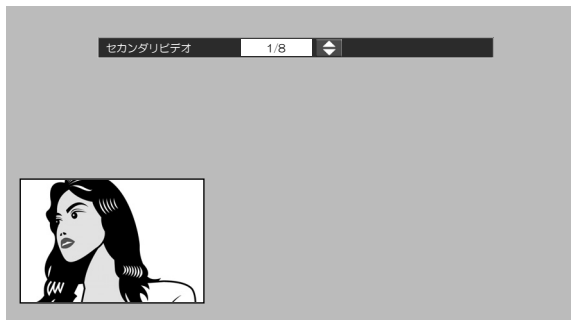
- 子画面の再生のしかたは、BD-Video の取扱説明書をご覧ください。



- 1 BD-Videoの再生中に、**サブメニュー**を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“セカンダリビデオ”を選び、**決定**を押す

- 子画面の設定は、親画面 / 子画面の同時再生中のみできます。

- 2 ▲ / ▼で希望の設定を選び、**決定**を押す



BD-Video の バーチャル・パッケージを利用する

BD-Video

(バーチャル・パッケージ対応のみ)

バーチャル・パッケージに対応している BD-Video では、USB メモリにデータをコピーして、いろいろな再生機能を楽しむことができます。

！ 準備

- USBメモリを接続しておく (p.79)

- 他のデータが入った USB メモリや、他機でフォーマットされた USB メモリを使うと、BD-Video が正しく再生されないことがあります。その場合、**ホーム** を押し、“設定” → “本体設定” → “かんたん設定 / その他” → “初期化”の順に選び、“USBメモリ初期化”を行ってください。(p.166)
- コピーされたバーチャル・パッケージを再生中に本機から USB メモリを抜くと、BD-Video の再生が停止します。
- BD-Video の再生中に、映像や音声が停止することがあります。
- USB メモリに記録されたバーチャル・パッケージの内容を消去するには、**ホーム** を押し、“設定” → “本体設定” → “かんたん設定 / その他” → “初期化” → “BDビデオデータ消去”の順に選び、“バーチャルパッケージ消去”を行ってください。(p.166)

PIN コードの入力画面が 表示されたときは

BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC)

他社のブルーレイディスクレコーダーなどでディスクに PIN コードが設定されているときは、本機で使用するときに PIN コードの入力画面が表示されますので、設定された PIN コードを入力してください。(本機では、PIN コードの設定や変更はできません。)

- 1 **1** 画 ~ **10** 画 で PIN コードを入力する

！ ご注意

- セカンダリビデオ切換で子画面の映像を切り換えたときは、映像が切り換わるまでしばらく時間がかかります。
- PIN コードとは、ディスクの視聴を制限するための 4 桁のパスワードです。

JPEG 形式の写真を再生する

JPEG(BD) JPEG(DVD) JPEG(CD) JPEG(SD) JPEG(USB)

JPEG 形式の写真を記録したディスクや SD カード、USB 機器を本機で再生することができます。拡張子に「jpg(JPG)」、「jpeg(JPEG)」が付いた、Exif 2.1 準拠の JPEG 圧縮データだけが再生できます。

写真を連続して再生する(スライドショー)



！ 準備

- ディスクを使用する場合、**DISC** を押して、DISC モードに切り換えておく

1 ディスクやSDカードを入れる、または USB機器を接続する

フォルダ内を見たいときは

- ① ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で見たいフォルダを選び、**決定** を押す

2 ファイルタイプ選択画面が表示されるので、▲ / ▼で“写真”または“写真を見る”を選び、**決定** を押す

別のページを表示するときは

- ① **チャネル** を押す

- “写真”画面(JPEG用“見る”画面)が表示されます
- ディスクの場合、JPEG ファイルしか入っていない場合は、ファイルタイプ選択画面は表示されず、自動的に“写真”画面が表示されます。

ファイルタイプ選択画面が表示されないときは

- ① **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- ② ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“見る”を選び、**決定** を押す
- ③ ▲ / ▼ で“ディスク”や“USB”または“SD カード”を選び、**決定** を押す
- ④ ▲ / ▼ で“写真”を選び **決定** を押す

JPEG 形式の写真を再生する・つづき

3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で見たい写真(ファイル)を選び、**決定** または **再生** を押して再生を始める

- 選んだ写真(ファイル)と、それ以降に記録されているファイルが連続再生されます。
(再生のスピードは、ホームメニュー画面から“設定”→“本体設定”→“再生設定”→“JPEG スライドショー”で設定できます。(p.164))
- 再生中に **画面表示** を 2 回押すと、ファイル名を表示できます。

再生中の写真を回転させたいときは

- 再生中に、◀ / ▶ で画像を 90° ずつ回転します。
(回転させた情報は記憶されません。)

再生を一時停止、停止するとき

- **一時停止** を押すと再生が一時停止します。
(**再生** または **一時停止** を押すと、再生に戻ります。)
- **停止** を押すと再生が停止します。
 - 最後のファイルまで再生されると、自動的に停止して“見る”画面に戻ります。
 - SD カードや USB 機器の JPEG 再生の場合、通常画面に戻るとレジュームポイントは消去されます。

メモ

- 1 ファイルあたりの再生時間(表示間隔)は 5 秒です。10 秒に変更することもできます。(p.164)
- “見る”画面には、JPEG 形式のファイルだけが表示されます。
- JPEG 再生中に再生できないファイルがあった場合は、“⊘”を表示して次ファイルにスキップします。
- 写真の縦横比によっては、上下左右に黒帯が表示されることがあります。
- JPEG 再生中に予約録画開始 2 分前になると、JPEG 再生は自動的に停止します。
- 録画中、ダビング中やライブ配信中は、JPEG 再生はできません。

ご注意

- ブルーレイディスクに、JPEG 形式のデータと録画した番組の両方が入っている場合、JPEG 再生はできません。(録画した番組は、再生できます。)

本機で再生できる JPEG ファイルについて

■ 最大認識可能フォルダ/ファイル数

CD-RW / -R	255 フォルダ、999 ファイル
その他のメディア	999 フォルダ、9999 ファイル

■ 画素数

サブサンプリング (4:4:4 の場合)	32 × 32 ~ 4096 × 4096
サブサンプリング (4:2:2 または 4:2:0 の場合)	32 × 32 ~ 5120 × 5120

- ファイルサイズは 12MB までです。
- 一覧のフォルダ名が長い場合スクロール表示します。
- フォルダは 9 階層まで表示できます。
(CD の場合は 8 階層まで。)
- 次のメディアに記録された JPEG ファイルに対応しています。
 - BD-RE / BD-R
 - DVD-RW / DVD-R
 - CD-RW / CD-R
 - SD カード
 - USB 機器

ご注意

- JPEG 形式以外のファイルは再生できません。
- プログレッシブ形式の JPEG ファイルは再生できません。
- Motion JPEG ファイルには対応していません。
- 記録状態などによっては、リストに表示されるファイルでも再生できないことがあります。

AVCHD 形式のハイビジョン動画が記録されたディスクを再生する

DVD (AVCHD)

ビデオカメラなどでディスクに記録された AVCHD 形式のハイビジョン画質の動画を、本機で再生することができます。(録画した機器でファイナライズされたディスクのみ再生可能です。)

! 準備

- **DISC** を押して、DISC モードに切り換えておく

1 ディスクを入れる

- ディスクに AVCHD 形式の動画が入っている場合は、自動的に再生が始まります。

自動的に再生が始まらないときは

- ① **再生** を押します。

- ディスクを入れると、ディスクのメニュー画面が表示されることがあります。この場合は、ディスクによってメニューの内容が異なります。操作のしかたは、ディスクに録画した機器の説明書をお読みください。ここでは、一般的な操作の例を示します。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で希望のタイトルや項目を選び、**決定** を押す

再生を停止するときは

- ① **停止** を押します。

- 再生が停止します。
(レジュームポイントが記憶されます。)

! ご注意

- 再生開始位置やレジュームポイントについては、「再生開始位置について」(p.112) をご覧ください。
- AVCHD 形式に準拠していない動画は、再生できません。
- SD カードや USB 機器に記録された AVCHD 形式の動画は、本機で直接再生することはできません。あらかじめ本機の HDD に取り込んでから(ダビングしてから)再生してください。ダビングの方法については、「複数のタイトルをまとめてダビングする」(p.147) をご覧ください。
- HDD にダビングした AVCHD 形式の動画の再生方法は、通常のタイトルと同じです。「録画した番組(タイトル)を再生する」(p.113) をご覧ください。

4K アップコンバート機能を使う

対象機種: BIV-TW1000

BD-Video

本機と4K対応テレビをHDMIケーブルでつなぐと、BD-Videoの1080p / 24Hzで記録された映像をフルハイビジョンの4倍相当の解像度(4K)で出力することができます。

4K 出力をするには、以下の手順を行って“4K アップコンバート出力設定”を“自動”に設定してください。

! 準備

- 本機と4K対応テレビをつないでおく(接続のしかたは「本機をテレビにつなぐ」(p.29) をご覧ください。)
- “HDMI 解像度設定”を“自動”または“1080p24”に設定しておく
- 3D コンテンツを4K アップコンバートしたい場合は、“3D 映像視聴設定”を“2D”に設定しておく

- 1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “本体設定” ➡ “HDMI接続設定” ➡ “4Kアップコンバート出力設定” ➡ “自動”の順に選び、**決定** を押す

再生についての補足説明

再生全般

- ブルーレイディスク / DVD の 2 層ディスクの再生中は、1 層目と 2 層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬途切れることがあります。
- 再生開始時や再生停止時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- タイトルの変わり目で画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- コマ戻し中は、タイトルのつなぎ目部分でコマ飛びして再生されないことがあります。
- 再生中は放送やチャンネルを切り換えることはできません。
- ディスクの再生が終わると、最後の場面で再生一時停止となったりディスクのメニューが表示されたりすることがあります。この状態が長く続くと、テレビ画面が焼き付けを起こすことがありますのでご注意ください。
- ディスクによっては、つづき再生、再生速度の切り換え、頭出し、言語やカメラアングルの切り換え、リピート再生などの操作が、本機ではできないことがあります。
- ファイナライズ中や初期化中は、再生できません。
- Cinavia™
Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。この製品は Verance Corporation (ベランス・コーポレーション) のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2014 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。リバーズ・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

“見る”画面

- ファイナライズされた DVD-RW / -R (Video) では“見る”画面を表示できません。ディスクのメニューから再生してください。
- リピート再生中に“見る”画面を表示すると、リピート再生が解除されます。
- 他の機器で作成したディスクにチャンネル情報が記録されていない場合、本機の HDD にダビングすると、“見る”画面でのチャンネル番号表示箇所は空白になります。

つづき再生 (レジュームポイント設定状態)

つづき再生が始まる位置は、レジュームポイントによって多少ずれることがあります。

音声 / 字幕 / カメラアングルの切り換え

音声 / 字幕

- ディスクソフトによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。
- 音声言語を切り換えると、一瞬映像が止まったり黒画面になったりすることがあります。
- 本機の電源を切ったりディスクトレイを開けたりすると、設定が“本体設定”メニューの“再生設定”-“音声言語設定”の設定に戻ります。(ディスクソフトによっては、そのディスクで決められている言語になります。)
- “本体設定”メニューの“音声設定”で Dolby や DTS® の設定を“自動”に設定して二重音声を光デジタル音声出力端子から出力しているときは、再生時に本機で音声を切り換えることはできません。この場合は、設定を“PCM”にするか、出力先の機器側で切り換えてください。
- 字幕設定を変更したときは、切り換わるまで多少時間がかかることがあります。
- BD-Video、DVD-Video の早見再生 (約 1.3 倍速) を除き、早送り / 早戻し再生中の字幕表示はできません。

カメラアングル

- 変更したときは、切り換わるまでに多少時間がかかることがあります。
- ディスクトレイを開けたときは、設定が“1”に戻ります。

編集の前に

本機でできる編集について

できること(メニュー項目)	HDD	HDD(iVDR)	BD-RE BD-R	-RW (VR) -R (VR)	-RW (AVC) -R (AVC)
フォルダ追加/フォルダ名変更/フォルダ削除	○	○	—	—	—
フォルダ表示順変更	○	—	—	—	—
タイトルの削除(番組削除/複数番組削除)	○	○	○	○	○
タイトル名の変更(番組名変更)	○	○	○	○	○
番組編集	チャプター分割/チャプター結合/ 全チャプター結合	○	○	○	○
	タイトルの不要部分の削除 (チャプター削除)	○	—	—	—
	タイトルの分割/結合(番組分割/番組結合)	○ ^{*1}	△ ^{*2}	—	—
タイトルの保護/保護解除(番組保護/保護解除)	○ ^{*1}	○	○	○	○

※1 録画モード変換予定のタイトルは編集できません。

※2 タイトルの分割はできますが、タイトルの結合はできません。

ご注意

- ダビング中は、“番組編集”はできません。
- HDD やカセットHDD の録画中は、“番組編集”はできません。
- BDAV の録画中は、HDD やカセットHDD のタイトルの削除以外の編集はできません。
- 一部のBD-Rでは、本機で編集できない場合があります。

文字入力のしかた

入力できる文字の種類

ボタン	文字の種類				
	全角かな	全角カナ	半角カナ	英字/記号	数字
1	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	アイイアイウイオ		1
2	かきくけこ	カキクケコ	かきく	abcABC	2
3	さしすせそ	サシスセソ	さしせ	defDEF	3
4	たちつとっ	タチツテツ	たちつ	ghiGHI	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	なにぬ	jklJKL	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	はひふ	mnoMNO	6
7	まみむめも	マミムメモ	まみめ	pqrPQRS	7
8	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	やゆよ	tuvTUV	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	らりる	wxyzWXYZ	9
10	濁音/半濁音 ^{*1} 全角記号 ^{*2}	濁音/半濁音 ^{*1}	濁音/半濁音 ^{*1}	半角記号 ^{*3}	0
11	わをんわー。全角スペース	ワヲンワー。全角スペース	ワヲン、。半角スペース	半角スペース	半角スペース
青	全角カナに切り換え	半角カナに切り換え	英字/記号に切り換え	数字に切り換え	全角かなに切り換え
赤	漢字変換			全角/半角切り換え	全角/半角切り換え
緑					
黄	削除	削除	削除	削除	削除

※1 押すたびに、濁音(゛)、半濁音(゜)が切り換わります。

(例) か→が→か→…、は→ば→は→…

※2 押すたびに、以下の順で切り換わります。(文字を入力していない場合のみ)

●○◎■◆◇△▲▼☆☆≥≤↑↓⇒⇔→←()<>□{}¥\$+-*/=♂♀℃※

※3 押すたびに、以下の順で切り換わります。

.@-_:!"#\$%&'()*+.,;<=>?[¥]^`{|}~

編集の前に・つづき

入力可能な最大文字数について

- 全角文字／半角カナで最大 40 文字（半角英数／記号は最大 80 文字）まで入力できます。（メディアごとの制限については (p.182) をご覧ください。）
- 変換確定前の入力は最大 9 文字までです。

メモ

- 表示される画面によっては、すべての文字が表示されないことがあります。

文字入力に使うボタン

	<ul style="list-style-type: none"> ● 押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 押すたびに入力文字が切り換わります。（文字の割り当ては前ページの表を参照）
	<ul style="list-style-type: none"> ● “全角かな” で入力した文字を漢字に変換します。押すたびに次候補を表示します。 ● “英字 / 記号” および “数字” で入力中は、押すたびに全角 / 半角が切り換わります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● カーソルを左右に移動します。 ● 確定状態でカーソルが最後尾にあるときに を押すと、半角スペースが入ります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● を押すと入力の先頭へカーソルが移動します。 ● を押すと入力の最後尾へカーソルが移動します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● “全角かな” で入力した文字を漢字に変換中、押すたびに前候補を表示します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力中の文字やカーソルで選んでいる文字を削除します。 ● 変換確定状態でカーソルが最後尾にあるときは、1 つ前の文字を削除します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● “全角かな” で入力中の文字や、漢字に変換中の文字を確定します。 ● それ以外のときは、すべての文字を確定させて、文字入力を終了します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字入力を途中でやめます。

漢字の変換について

(例) 「かよう」と入力後に「火曜」と漢字変換するとき

1 ひらがなで“かよう”と入力する

- ① を 1 回押す

か

- ② を 3 回押す

かよ

- ③ を 3 回押す

かよう

2 漢字に変換する

- ① を押す

火曜

- 入力する漢字が表示されるまで、繰り返ししてください。

- ② を押す

火曜

- 漢字の変換が確定します。

同じ文字の入力について

を押すと、カーソルが 1 文字右へ移動します。

そのあと、同じボタンを押して入力が続けてください。

- 数字の場合（同じ番号を続けて入力する場合は、この操作は不要です。）

記号の入力について

1 希望の記号が表示されるまで を押す

(文字の割り当ては前ページの表をご覧ください。)

入力を中止するときは

- ① を押す

注意

- 入力または表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。

タイトルをフォルダで管理する

HDD **HDD(IVDR)**

タイトルをフォルダに入れて管理したり、不要になったタイトルやフォルダを削除することができます。

！ 準備

- **HDD** または **IVDR** を押して、操作するメディアに切り換えておく

対象機種：BIV-TW1000

IVDR を押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲ / ▼ で希望のカセットHDDを選び、**決定** を押してください。

フォルダ一覧画面の見かた

選択フォルダ内のタイトル数

操作中のメディア

フォルダ名

タイトル数

サブメニュー

フォルダ追加
フォルダ名変更
フォルダ削除
フォルダ表示順変更
視聴制限一時解除
ページ指定ジャンプ
持ち出し番組の確認

全フォルダ数

ガイド表示

フォルダを作る

- 1 **見る** を押して、「見る」画面を表示する
 - フォルダ一覧が表示されていない場合は、**赤** を押して、フォルダ一覧を表示してください。
- 2 **サブメニュー** を押して、サブメニューを表示する
- 3 ▲ / ▼ で「フォルダ追加」を選び、**決定** を押す
 - フォルダが作成されます。
- 4 **終了** を押して通常画面に戻す

メモ

- フォルダは、最大 99 個まで作成することができます。

フォルダの名前を変更する

作成したフォルダの名前を変更することができます。

- 1 **見る** を押して、「見る」画面を表示する
 - フォルダ一覧が表示されていない場合は、**赤** を押して、フォルダ一覧を表示してください。
- 2 ▲ / ▼ でフォルダを選び、**サブメニュー** を押してサブメニューを表示する
- 3 ▲ / ▼ で「フォルダ名変更」を選び、**決定** を押す

- 4 フォルダ名を入力して、**決定** を押す
 - 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。
- 5 **終了** を押して通常画面に戻す

メモ

- 「すべて」フォルダの名前は変更できません。

フォルダにタイトルを追加(登録)する

- 1 **見る** を押して、「見る」画面を表示する
 - タイトル一覧が表示されていない場合は、追加したいタイトルが入っているフォルダを▲ / ▼ で選び、**決定** を押します。
- 2 ▲ / ▼ でタイトルを選び、**サブメニュー** を押してサブメニューを表示する
- 3 ▲ / ▼ で「フォルダ登録」を選び、**決定** を押す
 - 登録先のフォルダ一覧が表示されます。
- 4 ▲ / ▼ で登録先のフォルダを選び、**決定** を押す

タイトルをフォルダで管理する・つづき

- 手順 2 で選んだタイトルに が付きます。
- 他のタイトルも同時に登録したいときは、▲ / ▼ で選び **決定** を押してください。
- **緑** を押すと、フォルダ登録が可能なるすべてのタイトルに が付きます。
- **黄** を押すと、 がすべて解除されます。

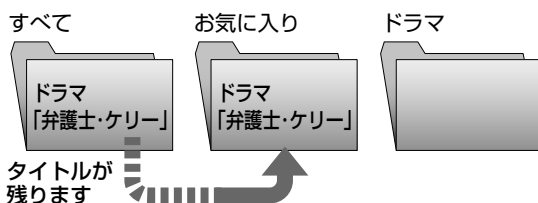
5 ▶で“決定”を選び、**決定**を押す

- 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定**を押してください。

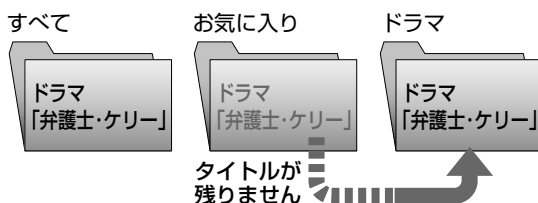
6 **終了**を押して通常画面に戻す

メモ

- “すべて”フォルダから、作成したフォルダにタイトルを追加（登録）しても、“すべて”フォルダのタイトルは削除されません。



- 作成したフォルダから、作成した別のフォルダにタイトルを追加（登録）すると、元のフォルダからタイトルが削除されます。



“すべて”フォルダからタイトルを削除する

1 **見る**を押して、“見る”画面を表示する

- フォルダ一覧が表示されていない場合は、**赤** を押して、フォルダ一覧を表示してください。

2 ▲ / ▼で“すべて”フォルダを選び、**決定**を押す

3 **サブメニュー**を押してサブメニューを表示する

4 ▲ / ▼で“複数番組削除”を選び、**決定**を押す

5 ▲ / ▼で削除したいタイトルを選び、**決定**を押す

- 選んだタイトルに が付きます。
- 選択を解除したいときは、タイトルを選んだ状態で **決定** を押してください。

- **緑** を押すと、すべてのタイトルに が付きます。

- **黄** を押すと、 がすべて解除されます。

- この手順を繰り返し行い、削除したいタイトルをすべて選んでください。

6 ▶で“決定”を選び、**決定**を押す

7 確認メッセージが表示されるので、

▲ / ▼で“はい”を選び、**決定**を押す

- タイトルが削除されます

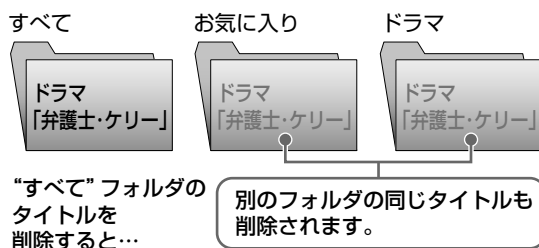
8 **終了**を押して通常画面に戻す

1 つだけタイトルを削除したいときは

- ① 手順 2 のあと、▲ / ▼ で削除したいタイトルを選び、**黄** を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定**を押す

メモ

- “すべて”フォルダのタイトルを削除すると、別のフォルダ内に入っている同じタイトルもまとめて削除します。



作成したフォルダからタイトルを削除する

1 **見る**を押して、“見る”画面を表示する

- フォルダ一覧が表示されていない場合は、**赤** を押して、フォルダ一覧を表示してください。

2 ▲ / ▼で削除したいタイトルが入っているフォルダを選び、**決定**を押す

- 「“すべて”フォルダからタイトルを削除する」の手順 3 ~ 6 を行ってください。

3 ▲ / ▼で削除方法を選び、**決定**を押す

“このフォルダから番組を削除”：
選んでいるタイトルを現在のフォルダから削除します。


“全てのフォルダから番組を削除”：
別のフォルダ（“すべて”フォルダを含む）内に入っているタイトルもまとめて削除します。

4 **終了**を押して通常画面に戻す

フォルダを削除する

作成したフォルダを削除することができます。

1 見る を押して、“見る”画面を表示する

- フォルダー一覧が表示されていない場合は、を押して、フォルダー一覧を表示してください。

2 ▲ / ▼ で削除したいフォルダを選び、を押す

3 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、を押してください。

4 を押して通常画面に戻す




- フォルダを削除しても、“すべて”フォルダにあるタイトルは削除されません。
- “すべて”フォルダは削除できません。

フォルダの順番を変更する

HDD

1 見る を押して、“見る”画面を表示する

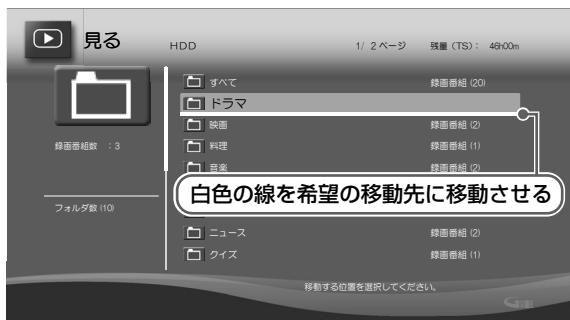
- フォルダー一覧が表示されていない場合は、を押して、フォルダー一覧を表示してください。

2 サブメニュー を押して、サブメニューを表示する

3 ▲ / ▼ で“フォルダ表示順変更”を選び、を押す

4 ▲ / ▼ で順番を変更したいフォルダを選び、を押す

5 選択したフォルダの下に白色の線が表示されるので、▲ / ▼ で希望の移動先を選び、を押す



- フォルダの順番が変更されます。
- 他のフォルダの順番も変更したいときは、手順 4 ~ 5 を繰り返してください。

6 を押して通常画面に戻す



- “すべて”フォルダの順番は変更できません。

フォルダに入っているタイトルについて

■ タイトルを編集すると

別のフォルダに登録されているすべてのタイトルに同じ編集が反映されます。

下記の項目が反映されます。

- チャプター編集
- 番組分割
- 番組結合
- 番組名変更
- 番組保護
- 録画モード変換

■ HDD やカセット HDD の録画内容を全消去すると

HDD メニューの“番組全削除”および iVDR メニューの“初期化”を実行すると、すべてのタイトルおよびフォルダが削除されます。

“番組全消去(保護番組以外)”を実行すると、持ち出し番組と保護タイトルと、保護タイトルが登録されているフォルダを除く、すべてのタイトルとフォルダが削除されます。

詳しくは「HDDの録画内容をすべて消去する」(p.140)、「カセットHDDの録画内容をすべて消去する(初期化する)」(p.141)をご覧ください。



- “すべて”フォルダは削除できません。(フォルダ内のタイトルは削除されます。)



- HDD またはカセット HDD の“すべて”フォルダ内のタイトルは、削除すると元に戻せません。
- カセット HDD のタイトルを削除する場合、メッセージが消えたあとも、しばらく削除処理が継続しますので、カセット HDD アクセス(動作中)ランプが点灯しているときに、カセット HDD を取り出したり、電源プラグを抜いたりしないでください。

不要なタイトルを削除する

BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

見終わったタイトルをディスクから削除します。

- **HDD** **HDD(iVDR)** のタイトル削除は、「すべて」フォルダからタイトルを削除する」(p.130)、「フォルダを削除する」(p.131)をご覧ください。

ご注意

- 削除されたタイトルは、元に戻せません。録画内容をよく確認してから削除してください。

準備

- 削除したいタイトルが入っているディスクを入れておく
- **DISC** を押して、操作するメディアに切り換えておく

1 タイトルだけ削除する

- 1 **見る** を押して、“見る”画面を表示する
- 2 **▲ / ▼** で削除したいタイトルを選び、**■** を押す
- 3 確認メッセージが表示されるので、**▲ / ▼** で“はい”を選び、**決定** を押す
 - タイトルが削除されます。
- 4 **終了** を押して通常画面に戻す

複数のタイトルを一括削除する

- 1 **見る** を押して、“見る”画面を表示する
- 2 **サブメニュー** を押してサブメニューを表示する
- 3 **▲ / ▼** で“複数番組削除”を選び、**決定** を押す
- 4 タイトル一覧で、削除したいタイトルを選び、**決定** を押す
 - **▲ / ▼** で削除したいタイトルをすべて選んでください。
 - 選んだタイトルに が付きます。
 - **■** を押すと、すべてのタイトルに が付きます。
 - **■** を押すと、 がすべて解除されます。
- 5 タイトルを選び終わったら、**▶** を押して“決定”を選び、**決定** を押す
- 6 確認メッセージが表示されるので、**▲ / ▼** で“はい”を選び、**決定** を押す
 - 選択したタイトルが一括削除されます。
- 7 **終了** を押して通常画面に戻す

メモ

- 録画中のタイトルは削除できません。
- BD-RE と BD-R は、他の機器で作成されたプレイリストのタイトルを削除することはできません。(本機ではプレイリストの作成や編集はできません。)

タイトルを削除したときの残量時間について

- **HDD** **HDD(iVDR)** **BD-RE** **-RW (VR)** …タイトルを削除すると、残量時間が増えます。
- **BD-R** **-R (VR)** **-RW (AVC)** **-R (AVC)** …タイトルを削除しても、残量時間は増えません。
- DVD-RW(AVCREC™) の残量時間を増やしたいときは、初期化(フォーマット)してください。初期化を行って消去された録画内容は、元に戻せません。録画内容をよく確認してから初期化してください。(p.141)

チャプターを手動で分割・結合する

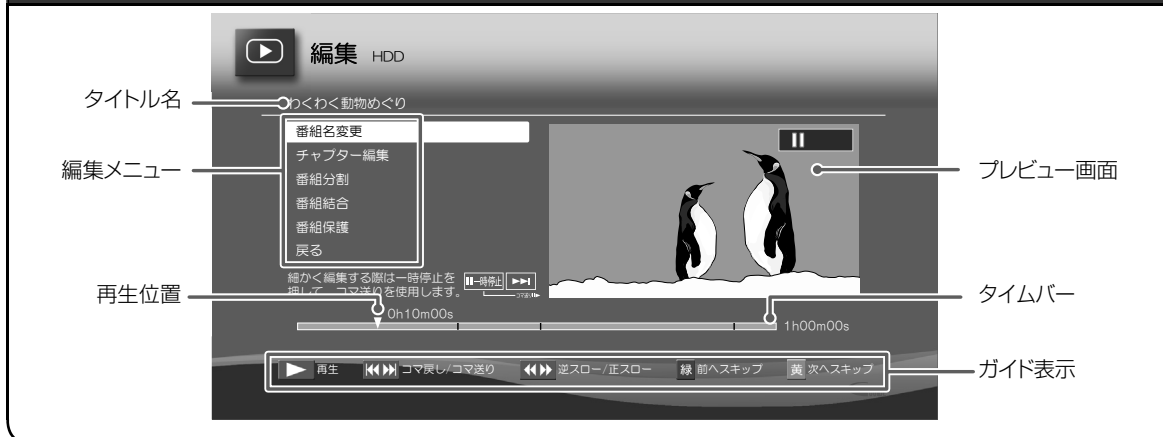
準備

- カセットHDDを編集するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく
- DISC、HDD、またはiVDRを押して、操作するメディアに切り換えておく

対象機種：BIV-TW1000

iVDRを押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲/▼で希望のカセットHDDを選び、決定を押してください。

編集画面の見かた(例：HDD)



チャプターを分割する

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

- 1 **見る**を押して、“見る”画面を表示する
 - タイトル一覧が表示されていない場合は、編集したいタイトルが入っているフォルダを▲/▼で選び、決定を押します。
- 2 ▲/▼で編集したいタイトルを選び、サブメニューを押してサブメニューを表示する
- 3 ▲/▼で“番組編集”を選び、決定を押す
 - 編集画面が表示されます。
- 4 ▲/▼で“チャプター編集”を選び、決定を押す
- 5 チャプター分割したいところまで再生し、一時停止を押す
 - スロー再生(再生)やコマ送り(コマ送り)で位置を微調整することができます。
- 6 ▲/▼で“チャプター分割”を選び、決定を押す
 - チャプターが分割されます。(チャプター境界ができます。)
 - 続けてチャプターを分割するときは、手順5～6を繰り返してください。
 - 分割できるチャプター数については(p.182)をご覧ください。

チャプター分割した位置を確認したいときは

- ① 一時停止を押したあと、緑または黄を押して、チャプターの境界に位置を合わせる
- ② 再生を押す
 - プレビュー画面で再生が始まります。

メモ

- チャプター境界の近く(0.5秒以内)で、さらにチャプターを分割することはできません。

チャプターを手動で分割・結合する・つづき

チャプターを結合する

HDD HDD(VDR) BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR)
-RW (AVC) -R (AVC)

すべてのチャプターを結合するには

- ① 「チャプターを分割する」(p.133)の手順 ① ~ ④ を行う
- ② ▲ / ▼で“全チャプター結合”を選び、**決定**を押す
- ③ 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、**決定**を押す
 - すべてのチャプターが結合され、チャプター境界がなくなります。

2つのチャプターを結合するには

- ① 「チャプターを分割する」(p.133)の手順 ① ~ ④ を行う
- ② 一時停止中に **緑** または **黄** を押して、チャプターの境界に位置を合わせる



- ③ ▲ / ▼で“チャプター結合”を選び、**決定**を押す
 - チャプターが結合されます。

チャプターを削除する

HDD

- ① 「チャプターを分割する」(p.133)の手順 ① ~ ④ を行う

- ② 削除したいチャプターまで再生し、**一時停止**を押す
 - 一時停止中に、**緑** または **黄** を押すとチャプターを移動することができます。

- ③ ▲ / ▼で“チャプター削除”を選び、**決定**を押す
 - メッセージを確認し、**決定**を押します。
 - 削除するチャプター部分の色が変わります。

- ④ 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、**決定**を押す
 - チャプターが削除されます。

ご注意

- チャプターを削除したタイトルは、カセットHDDへそのままの画質ではダビングできなくなります。(等速ダビングになります。)

タイトル名を変更する・タイトルを保護する

HDD HDD(iVDR) BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

！ 準備

- カセットHDDを編集するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを編集するときは、編集するディスクを入れておく
- DISCまたはHDD、iVDRを押して、操作するメディアに切り換えておく

対象機種：BIV-TW1000

iVDRを押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲/▼で希望のカセットHDDを選び、決定を押してください。

タイトル名を変更する

- 1 **見る**を押して、“見る”画面を表示する
 - タイトル一覧が表示されていない場合は、編集したいタイトルが入っているフォルダを▲/▼で選び、決定を押します。
- 2 ▲/▼でタイトル名を変更するタイトルを選び、サブメニューを表示する
- 3 ▲/▼で“番組編集”を選び、決定を押す
 - 編集画面が表示されます。
- 4 ▲/▼で“番組名変更”を選び、決定を押す
- 5 タイトル名を入力して、決定を押す
 - 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。
- 6 確認メッセージが表示されるので、▲/▼で“はい”を選び、決定を押す
 - タイトル名が変更されます。
- 7 **終了**を押して通常画面に戻す

タイトルを保護する／保護を解除する

- 1 **見る**を押して、“見る”画面を表示する
 - タイトル一覧が表示されていない場合は、編集したいタイトルが入っているフォルダを▲/▼で選び、決定を押します。
- 2 ▲/▼で保護(または保護を解除)するタイトルを選び、サブメニューを表示する
- 3 ▲/▼で“番組編集”を選び、決定を押す
 - 編集画面が表示されます。
- 4 ▲/▼で“番組保護”(すでに保護されている場合は“番組保護解除”)を選び、決定を押す
- 5 確認メッセージが表示されるので、▲/▼で“はい”を選び、決定を押す
 - タイトルが保護(または保護が解除)されます。
 - 保護されたタイトルには、“見る”画面でロックが付きます。
- 6 **終了**を押して通常画面に戻す

保護されたタイトルは、以下の操作ができなくなります

- フォルダ登録
- タイトルの削除
- タイトル名の変更
- チャプター編集
- タイトルの分割
- タイトルの結合(HDDのみ)
- 「コピーワンス」タイトルのダビング(「ダビング10」の10回目のダビング)

タイトルを分割する

HDD HDD(iVDR)

ご注意

- 分割されたタイトルは、元どおりには戻せません。録画内容をよく確認してから分割してください。

準備

- カセットHDDを編集するときは、カセットHDDを挿入しておく
- HDDまたはiVDRを押して、操作するメディアに切り換えておく

対象機種：BIV-TW1000

iVDRを押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。▲/▼で希望のカセットHDDを選び、決定を押してください。

1 見るを押して、“見る”画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていないときは、編集したいタイトルが入っているフォルダを▲/▼で選び、決定を押します。

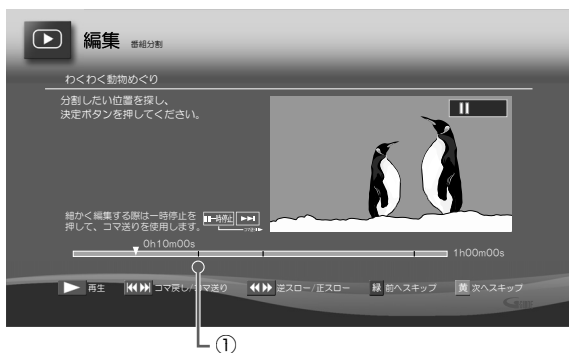
2 ▲/▼で編集したいタイトルを選び、サブメニューを押してサブメニューを表示する

3 ▲/▼で“番組編集”を選び、決定を押す

- 編集画面が表示されます。

4 ▲/▼で“番組分割”を選び、決定を押す

5 分割したいところまで再生し、決定を押す



- あらかじめあるチャプター境界(例①)で分割したい場合は、一時停止中に緑または黄を押して①の位置に▽マークを合わせ、決定を押してください。

6 確認メッセージが表示されるので、▲/▼で“はい”を選び、決定を押す

- 設定したポイントでタイトルが分割されます。
- 続けて分割したい場合は、手順 2 ~ 6 を繰り返してください。

7 終了を押して通常画面に戻す

ご注意

- 指定した分割位置と、実際に編集される箇所とは、1秒程度ずれることがあります。
- 分割位置を設定する場合、チャプター境界の手前の数秒間および先の数秒間は分割位置を設定できないことがあります。この部分を分割位置に設定したい場合は、次の手順でチャプター境界を削除(境界前後のチャプターを結合)してください。
 - ① 終了を押して通常画面に戻し、いったん分割の操作を中止する(確認メッセージが表示されるときは、▲/▼で“はい”を選び、決定を押します。)
 - ② 手動で該当のチャプター境界を削除(境界前後のチャプターを結合)する(p.134)
 - ③ もう一度、タイトル分割の操作を行う

タイトルを結合する

HDD

 **ご注意**

- 結合されたタイトルは、元どおりには戻せません。録画内容をよく確認してから結合してください。

 **準備**

- **HDD** を押して、HDD モードに切り換えておく

1 **見る** を押して、“見る”画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていないときは、編集したいタイトルが入っているフォルダを **▲** / **▼** で選び、**決定** を押します。

2 **▲** / **▼** で編集したいタイトルを選び、**サブメニュー** を押してサブメニューを表示する

3 **▲** / **▼** で“番組編集”を選び、**決定** を押す

- 編集画面が表示されます。

4 **▲** / **▼** で“番組結合”を選び、**決定** を押す

5 **▲** / **▼** で結合したいタイトルを選び、**決定** を押す

- 確認画面が表示されるので、**▲** / **▼** で“はい”を選び、**決定** を押してください。

6 **終了** を押して通常画面に戻す

 **メモ**

- 手順 **2** で選んだタイトルの後に、手順 **5** のタイトルが結合されます。
- 結合したあとのタイトル情報は手順 **2** で選んだタイトル情報が基準になります。
- タイトルに「自動削除」が設定されている場合、「自動削除」は解除されます。(後から選んだタイトルのみ)
- “番組結合”すると結合されるタイトル(後から選んだタイトル)はすべてのフォルダから削除されます。

 **ご注意**

- コピー制限の異なるタイトルを結合するとコピー回数が少ないタイトル情報が優先されます。(例えば、残り4回コピー可能タイトルとコピーワンスタイトルを結合すると、コピーワンスタイトルとなります。)
- 以下のタイトルは結合できません。
 - 録画モード変換待ちのタイトル
 - 持ち出し用変換待ちのタイトル
 - 番組保護されたタイトル
 - 録画形式が異なるタイトル
 - AVCHD形式で取り込んだ1080/60pのタイトル
 - 3Dタイトル(AVCHD 2.0)と2Dタイトル
- 以下の場合、タイトルを結合できません。
 - タイトルが1つしかない場合
 - 結合後のタイトルの再生時間が8時間を超える場合
 - 結合後のタイトルのチャプター数が最大数を超える場合
- 他の機器からダビングしたタイトルは結合できない場合があります。
- 結合されたタイトルは、カセットHDDへそのままの画質ではダビングできなくなります。(等速ダビングになります。)

録画モード(画質)を変換する

HDD

録画モード TS、AF～AL で録画したタイトルをより低画質の録画モードに変換し、HDD の空き容量を増やすことができます。

！ 準備

- HDD を押して、操作するメディアに切り換えておく

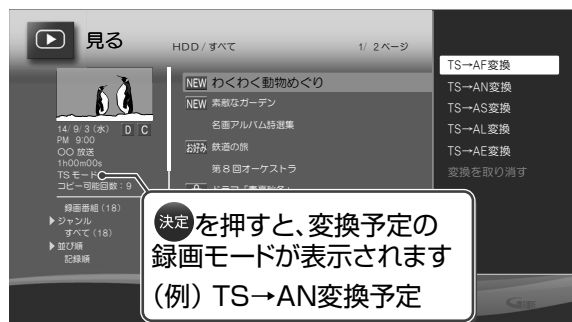
1 “見る” を押して、“見る” 画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていないときは、編集したいタイトルが入っているフォルダを ▲ / ▼ で選び、**決定** を押します。

2 ▲ / ▼ で編集したいタイトルを選び、サブメニューを押してサブメニューを表示する

3 ▲ / ▼ で“録画モード変換”を選び、**決定** を押す

4 希望の録画モードを選び、**決定** を押す



- 電源「切」時に、設定した録画モードに自動変換されます。
(電源を「切」にした約5分後に変換が始まります。変換が始まると、本体表示部に“↓D”が表示されます。)
- 録画モードの変換には、タイトルの再生時間と同じ時間がかかります。

録画モードの変換が終了しているか確認するには

- ① “見る”画面上で「○○→○○変換予定」が表示されていない場合は、録画モード変換は終了しています。

録画モード変換を解除するには

- ① “見る”を押す
- ② ▲ / ▼ で変換を解除したいタイトルを選び、サブメニューを押す
- ③ ▲ / ▼ で“録画モード変換”を選び、**決定**を押す
- ④ ▲ / ▼ で“変換を取り消す”を選び、**決定**を押す

！ ご注意

- 録画モードを変換すると、変換する前と比べて画質は劣化します。
- HDD の空き容量が少ない場合、録画モードを変換できないことがあります。容量が少ないときは不要なタイトルを削除するなどして空き容量を増やしてください。(p.130)
- 保護されたタイトルや録画中のタイトルは変換することができません。
- 録画モード変換中に電源を「入」にすると変換が中止されます。もう一度電源を「切」にすると約5分後に変換が始まります。
- 以下の場合、本機の電源を「切」にしても録画モードは変換されません。
 - “高速起動”の設定時間中
 - 予約録画準備中、および予約録画実行中
 - ダウンロードソフトウェアの更新中

メディアを管理する

本機でできるメディア管理について

できること(メニュー表示)	HDD	HDD(iVDR)	BD-RE	-RW (VR)	-RW (AVC)	-RW (Video)
			BD-R	-R (VR)	-R (AVC)	-R (Video)
ディスク名の変更(ディスク名変更)	—	—	○	○	○	○ ^{*3}
カセットHDD名の変更(iVDR名変更)	—	○	—	—	—	—
ディスクの保護/保護解除(ディスク保護/保護解除)	—	—	○	○	○	—
番組全消去	○	—	—	—	—	—
保護されていない番組の全消去 (番組全消去(保護番組以外))	○	○	—	—	—	—
再フォーマット(再初期化)	—	○	○(REのみ)	○(RWのみ)	○(RWのみ)	○(RWのみ)
持ち出し番組全消去	○	—	—	—	—	—
持ち出し番組の確認	○	—	—	—	—	—
ディスクのファイナライズ(ファイナライズ)	—	—	○(Rのみ)	○ ^{*1}	○	○ ^{*2}

※ 1 DVD-RW(VR)のみ、本機でファイナライズしたディスクのファイナライズを解除することができます。

※ 2 ダビング後に、自動的にファイナライズされます。

※ 3 ダビング設定時にディスク名の変更ができます。

メディアの名前を変更する

HDD(iVDR) BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC)
-R (AVC)

準備

- カセットHDDを管理するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを管理するときは、ディスクを入れておく

- 1 **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- 2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“メディアの管理”を選び、**決定** を押す
- 3 **▲ / ▼** で“BD/DVDメニュー”または“iVDRメニュー”を選び、**決定** を押す
- 4 **▲ / ▼** で“ディスク名変更”または“iVDR名変更”を選び、**決定** を押す

対象機種: BIV-TW1000

“iVDR名変更”を選択し**決定**を押すと、カセットHDDの一覧が表示されます。**▲ / ▼**で希望のカセットHDDを選び、**決定**を押してください。

- 編集画面が表示されます。
- “iVDR名の変更”を選ぶには、カセットHDDがフォーマットされている必要があります。

- 5 ディスク名またはカセットHDD名を入力する
 - 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。
 - 入力を終えたら、**決定**を押してください。

- 6 確認メッセージが表示されるので、**▲ / ▼**で“はい”を選び、**決定**を押す
- 7 変更が終わったら、**戻る**を押して通常画面に戻す

メディアを保護する・保護を解除する

BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

準備

- 管理するディスクを入れておく

- 1 **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- 2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“メディアの管理”を選び、**決定**を押す
- 3 **▲ / ▼** で“BD/DVDメニュー”を選び、**決定**を押す
- 4 **▲ / ▼** で“ディスク保護”(ディスク保護解除)を選び、**決定**を押す
- 5 確認メッセージが表示されるので、**▲ / ▼**で“はい”を選び、**決定**を押す
- 6 変更が終わったら、**戻る**を押して通常画面に戻す

メディアを管理する・つづき

本機で記録したディスクを ファイナライズする

BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)

本機で録画したディスクをファイナライズすると、その録画方式に対応した他のブルーレイディスクプレーヤーやレコーダー、パソコンなどで再生することができます。

メモ

- “見る”画面の上部でディスクがファイナライズされているか確認することができます。
“未ファイナライズ”：
ファイナライズされていません。
“ファイナライズ済み”：
ファイナライズされています。
- BD-RE、DVD-RW (VR)のファイナライズは不要です。(DVD-RW (VR)については、ファイナライズすることもできます。)

ご注意

- ファイナライズ後は録画や編集ができなくなります。録画内容をよく確認してからファイナライズしてください。(DVD-RW (VR)の場合のみ、ファイナライズを解除することができます。)

準備

- ファイナライズするディスクを入れておく

- 1 **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- 2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“メディアの管理”を選び、**決定** を押す
- 3 **▲ / ▼** で“BD/DVDメニュー”を選び、**決定** を押す
- 4 **▲ / ▼** で“ファイナライズ”を選び、**決定** を押す
- 5 確認メッセージが表示されるので、**▲ / ▼** で“はい”を選び、**決定** を押す
 - ディスクのファイナライズが始まります。
 - ファイナライズが始まると、中止できません。
 - ファイナライズの進行表示は目安です。ディスクによっては90%以降の表示の進行がかなり遅くなることがあります。
 - ファイナライズが終了すると通常画面に戻ります。
 - ファイナライズには数分から数十分かかります。(録画時間が短い場合やタイトル数が多い場合は、ファイナライズに時間がかかります。)

■ DVD-Video の場合

ダビングが終わると自動的にファイナライズされます。手動でファイナライズすることはできません。

本機でファイナライズしたディスクの ファイナライズを解除する

-RW (VR)

本機でファイナライズしたDVD-RW (VR)のみ、本機でファイナライズを解除することができます。解除すると、再びダビングや編集をすることができます。「本機で記録したディスクをファイナライズする」の手順 1 ~ 4 を行いファイナライズ解除を選んでください。

ご注意

- ファイナライズ中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜いたりしないでください。ディスク内部のデータの破損や、ディスク表面への傷、または本体の故障の原因となります。
- 他機で録画されたディスクは、本機でファイナライズができないことがあります。
- 予約録画開始2分前以降はファイナライズできません。
- DVD-RW / -R (VR) の場合、予約録画開始45分前以降はファイナライズまたはファイナライズ解除はできません。
- チャプターの情報、ファイナライズ後も引き継がれます。
- プレーヤー／レコーダーやパソコンなどによっては、ファイナライズしても再生できないことがあります。
- BD-R や DVD-R のファイナライズ中に停電したときは、そのディスクが使用できなくなることがあります。

HDD の録画内容をすべて消去する

HDD

- 1 **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- 2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“メディアの管理”を選び、**決定** を押す
- 3 **▲ / ▼** で“HDDメニュー”を選び、**決定** を押す
- 4 **▲ / ▼** で“番組全消去”または“番組全消去(保護番組以外)”を選び、**決定** を押す
“番組全消去”：
保護されたタイトルも含めて全番組を消去します。
“番組全消去”(保護番組以外)：
保護されたタイトルを除いた全番組を消去します。
- 5 確認メッセージが表示されるので、**▲ / ▼** で“はい”を選び、**決定** を押す
 - タイトルの消去が実行されます。
 - 削除が始まると、中止できません。
 - 削除が終了すると通常画面に戻ります。

メモ

- 持ち出し番組は消去されません。

持ち出し番組を消去する

HDD

- 1 **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- 2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“メディアの管理”を選び、**決定** を押す
- 3 **▲ / ▼** で“HDDメニュー”を選び、**決定** を押す
- 4 **▲ / ▼** で“持ち出し番組全消去”を選び、**決定** を押す
 - 確認画面が表示されるので、**▲ / ▼** で“はい”を選んで **決定** を押してください。
 - 持ち出し番組の消去が実行されます。
 - 持ち出し番組の消去は、途中で中止できません。
 - 持ち出し番組の消去が終了すると通常画面に戻ります。

持ち出し番組を確認する

「持ち出し番組を確認する」(p.157)をご覧ください。

カセットHDDの録画内容をすべて消去する(初期化する)

HDD(VDR)

- 1 **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- 2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“メディアの管理”を選び、**決定** を押す
- 3 **▲ / ▼** で“iVDRメニュー”を選び、**決定** を押す
- 4 消去の種類を選ぶ

保護されたタイトル以外のすべてのタイトルを消去するとき

① **▲ / ▼** で“番組全消去(保護番組以外)”を選び、**決定** を押す

保護されたタイトルを含め、すべてのタイトルを消去するとき

① **▲ / ▼** で“初期化”を選び、**決定** を押す
- 5 確認メッセージが表示されるので、**▲ / ▼** で“はい”を選び、**決定** を押す
 - タイトルの消去が実行されます。
 - カセットHDDの“初期化”を選んだときはカセットHDDが初期化(フォーマット)されます。

- 削除または初期化が始まると、中止できません。
- 削除または初期化が終了すると通常画面に戻ります。

ご注意

- カセットHDDを“初期化”した場合、作成したフォルダも消去されます。

ディスクを再フォーマット(再初期化)する

BD-RE -RW (AVC) -RW (Video) -RW (VR)

準備

- フォーマットするディスクを入れておく

一度初期化されたディスクであっても、以下の手順で再初期化することができます。

ディスクを初期化するとデータはすべて消去されます。

- 1 **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する
- 2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“メディアの管理”を選び、**決定** を押す
- 3 **▲ / ▼** で“BD/DVDメニュー”を選び、**決定** を押す
- 4 **▲ / ▼** で“初期化”を選び、**決定** を押す
 - DVD-RW の場合は、続けて初期化するフォーマットを選んでください。(p.77)
- 5 確認メッセージが表示されるので、**▲ / ▼** で“はい”を選び、**決定** を押す
 - ディスクの初期化が始まります。
 - 初期化が始まると、中止できません。
 - 初期化が終了すると通常画面に戻ります。
 - BD-RE は BDAV 方式で初期化されます。

ご注意

- 初期化(フォーマット)中は、本機の電源を切ったり電源コードを抜かないでください。ディスク内部のデータの破損や、ディスク表面への傷、または本体の故障の原因となります。
- 以下の場合は初期化できません。
 - 録画中
 - 番組表(Gガイド)表示中
 - 再生中
 - “番組説明”画面表示中
 - ダビング中
 - 予約録画開始8分前以降
- 他機でファイナライズされたディスクは、本機で初期化できないことがあります。

メモ

- 新品(未使用)で初期化されていないBD-RE / BD-RやDVD-RW / DVD-Rを初期化(フォーマット)するときは(p.76、77)をご覧ください。

ダビングの前に

本機でできるダビングの種類

<p>ダビングリストから ダビング (p.147)</p>	<p>タイトルをダビングリストに登録してダビングする方法です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一括ダビング： 複数のタイトルをまとめてダビングすることができます。 ● レート変換ダビング： 録画モードを変更してダビングすることができます。 (ダビング元より高画質の録画モードに変換することはできません。) ● HDD、カセットHDD、ディスクの間でダビングできます。
<p>かんたんダビング (p.146)</p>	<p>“見る”画面から簡単にダビングする方法です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “見る”画面で選んだ、1タイトルだけをダビングします。 ● HDD、ディスクの間でダビングできます。

“高速ダビング”と“等速ダビング”について

<p>高速ダビング</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ダビング時に画質(録画モード)を「そのまま(高速)」にすると高速ダビングすることができます。 ● 高速記録対応のディスクを使ってダビングすると、ダビングするタイトルの記録時間よりも短い時間でダビングされます。 ● ダビング元と同じ画質(録画モード)でダビングされます。 ● 本機の動作音が、通常よりも大きくなります。
<p>等速ダビング (1倍速ダビング)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ダビング元のタイトルの記録時間と同じ時間(またはそれ以上の時間)をかけてダビングされます。 ● 画質(録画モード)を変えてダビング(レート変換ダビング)した場合は、等速ダビングになります。(ダビング元より高画質の録画モードに変換しても、画質は良くなりません。)

■ 「制限なしに録画可能」番組について

ダビングする場合は「コピー」となり、ダビング後も元のタイトルはそのまま残ります。

デジタル放送の場合は、一部の番組を除き、ほとんどの番組が「1回だけ録画可能」番組または「ダビング10」番組となります。

■ デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組について

ダビングする場合は「移動」となり、ダビング後に元のタイトルは削除されます。

■ デジタル放送の「ダビング10(コピー9回+移動1回)」番組について

ダビング元がHDDのときに、9回目までは「コピー」となり、ダビング後もHDDの元のタイトルはそのまま残ります。

10回目は「移動」となり、ダビング後にHDDの元のタイトルが削除されます。

「コピー」と「移動」について

「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10(コピー9回+移動1回)」番組をダビングする場合は、ダビング後にダビング元の録画内容の扱いが変わります。(コピーの場合：内容が残る、移動の場合：内容が残らない。)

ダビングすると「移動」になる部分を含んでいるタイトルについて

- 「移動」になる部分を一部でも含んでいるタイトルをダビングする場合は、「移動」でダビングされます。
- HDDのタイトルで、「移動」になる部分だけを部分削除した場合や、「移動」になる部分と「コピー」になる部分を分割した場合でも、部分削除・分割後のタイトルは「移動」になります。(「コピー」にはなりません。)

二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕のダビングについて

「二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕の録画について」(p.83)をご覧ください。





ダビング制限について

ダビング方向	ダビング制限	「制限なしに録画可能」番組	「1回だけ録画可能」番組	「ダビング10」番組 (ダビング9回目まで)	「ダビング10」番組 (ダビング10回目)
HDD	→ HDD(iVDR)	コピー	移動	コピー	移動
HDD	→ BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)	コピー	移動	コピー	移動
HDD	→ -RW (Video) -R (Video)	コピー	×	×	×
HDD	→ LAN	コピー	移動	コピー	移動
HDD	→ 持ち出し用変換	コピー	移動 ^{*1}	コピー	移動 ^{*1}
HDD(iVDR)	→ HDD	コピー	移動	移動 ^{*2}	
HDD(iVDR)	→ BD-RE BD-R -RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC)	コピー	移動	移動 ^{*2}	
HDD(iVDR)	→ -RW (Video) -R (Video)	コピー	×	×	×
HDD(iVDR)	→ LAN	コピー	移動	移動 ^{*2}	
HDD(iVDR)	→ 持ち出し用変換	コピー	移動	移動 ^{*2}	
	 BD-RE BD-R -RW (VR) ^{*3} -R (VR) ^{*3} -RW (AVC) ^{*3} -R (AVC) ^{*3} → HDD HDD(iVDR)	コピー	移動 ^{*4}	移動 ^{*2}	
対象機種: BIV-TW1000	HDD(iVDR) → HDD(iVDR)	コピー	移動	移動 ^{*2}	





- ※ 1 他機へ持ち出しする前は“見る”画面で確認できます。持ち出し後は他機に移動され、本機には残りません。
- ※ 2 「ダビング10」番組をカセット HDD やブルーレイディスクへ録画した場合は「1回だけ録画可能」番組になり、ダビングする場合は、1回目から「移動」になります。
- ※ 3 「制限なしに録画可能」番組のみダビングが可能となります。
- ※ 4 DVD ディスク および ファイナライズ済みの BD-R ディスクからのダビングはできません。

ダビングの前に・っづき





■ ディスクにダビングするとき

ダビング方向と選べるダビングの種類	ダビング速度						
HDD  → ディスク  <ul style="list-style-type: none"> ● かんたんダビング ● ダビングリストからダビング 	TS モードのタイトル <table border="1"> <thead> <tr> <th>ダビング先のディスクの種類</th> <th>ダビング速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BD-RE BD-R</td> <td>高速</td> </tr> <tr> <td>-RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC) -RW (Video) -R (Video)</td> <td>等速</td> </tr> </tbody> </table>	ダビング先のディスクの種類	ダビング速度	BD-RE BD-R	高速	-RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC) -RW (Video) -R (Video)	等速
ダビング先のディスクの種類		ダビング速度					
BD-RE BD-R	高速						
-RW (VR) -R (VR) -RW (AVC) -R (AVC) -RW (Video) -R (Video)	等速						
カセット HDD  → ディスク  <ul style="list-style-type: none"> ● ダビングリストからダビング 	AF ~ AE、XP ~ EP モードのタイトル <table border="1"> <thead> <tr> <th>ダビング先のディスクの種類</th> <th>ダビング速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BD-RE BD-R -RW (AVC)※ -R (AVC)※</td> <td>高速</td> </tr> <tr> <td>-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)</td> <td>等速</td> </tr> </tbody> </table> ※ XP ~ EP モードのタイトルは -RW (AVC) 、 -R (AVC) にダビングできません。	ダビング先のディスクの種類	ダビング速度	BD-RE BD-R -RW (AVC) ※ -R (AVC) ※	高速	-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速
ダビング先のディスクの種類	ダビング速度						
BD-RE BD-R -RW (AVC) ※ -R (AVC) ※	高速						
-RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -R (Video)	等速						

■ ディスクからダビングするとき



ダビング方向と選べるダビングの種類	ダビング速度								
ディスク  → HDD  <ul style="list-style-type: none"> ● かんたんダビング ● ダビングリストからダビング 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ダビング元のディスクの種類</th> <th>ダビング速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) AVCHD (DVD)※ 1</td> <td>高速</td> </tr> <tr> <td>-RW (VR)※ 2 -R (VR)※ 2</td> <td>等速</td> </tr> <tr> <td>BD-Video -RW (Video) -R (Video)</td> <td>ダビングできません</td> </tr> </tbody> </table>	ダビング元のディスクの種類	ダビング速度	BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) AVCHD (DVD) ※ 1	高速	-RW (VR) ※ 2 -R (VR) ※ 2	等速	BD-Video -RW (Video) -R (Video)	ダビングできません
ダビング元のディスクの種類		ダビング速度							
BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) AVCHD (DVD) ※ 1	高速								
-RW (VR) ※ 2 -R (VR) ※ 2	等速								
BD-Video -RW (Video) -R (Video)	ダビングできません								
ディスク  → カセット HDD  <ul style="list-style-type: none"> ● ダビングリストからダビング 	※ 1 録画した機器でファイナライズ済みのディスクだけがダビング可能です。 ※ 2 「制限なしに録画可能」番組のみダビングが可能となります。								

■ HDD とカセット HDD 間でダビングするとき





ダビング方向と選べるダビングの種類	ダビング速度
HDD  → カセット HDD  <ul style="list-style-type: none"> ● ダビングリストからダビング 	高速
カセット HDD  → HDD  <ul style="list-style-type: none"> ● ダビングリストからダビング 	

■ カセット HDD 同士でダビングするとき







対象機種：BIV-TW1000

ダビング方向と選べるダビングの種類	ダビング速度
カセット HDD  → カセット HDD  <ul style="list-style-type: none"> ● ダビングリストからダビング 	高速

■ SD カードや USB 機器から AVCHD 形式のタイトルをダビングするとき

ダビング方向と選べるダビングの種類	ダビング速度
SD カード  → HDD  <ul style="list-style-type: none"> ● ダビングリストからダビング 	高速
USB 機器  → HDD  <ul style="list-style-type: none"> ● ダビングリストからダビング 	

■ ホームネットワーク上の機器へのダビング (p.154、156)

ダビング方向と選べるダビングの種類	ダビング速度
HDD  → LAN  ● ダビングリストからダビング カセット HDD  → LAN  ● ダビングリストからダビング	高速
HDD  → 持ち出し用変換  ● ダビングリストからダビング カセット HDD  → 持ち出し用変換  ● ダビングリストからダビング	等速

メモ

- カセット HDD は“かんたんダビング”できません。
- 高速の記載があるダビングでも、ダビング先メディアの残量が少ない場合などに、画質を調整して等速ダビングすることができます。
- 等速の記載があるダビングでは、ダビング元となる番組の画質と同等のものを選択することをおすすめします。
- スカパー！プレミアムサービスで録画したときの録画モードは、ハイビジョン画質は“AVC”、標準画質は“スカパー！”と表示されます。
- チャプター削除や番組結合を行ったタイトルは高速ダビングできません。
- ディスクから HDD にダビングしたタイトルは、HDD からカセット HDD への高速ダビングができない場合があります。
- ネットワーク上の機器から本機に録画したタイトルは、カセット HDD に高速ダビングできない場合があります。
- DVD (AVCHD) → HDD のダビングは、高速ダビングとなります。
- SDカードや USB 機器から HDD にダビングした AVCHD 形式のタイトルは、カセット HDD へ高速ダビングできません。
- カセット HDD に録画モード TS 以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。
- ダビング元より高画質の録画モードを選択することもできますが、ダビングしたコンテンツの画質は上がりません。

ご注意

- HDD は録画内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。
大切な録画 (録音) 内容は、ディスクなど複数のメディアに保存しておくことをおすすめします。
- ビデオカメラやパソコンなどで作成された静止画を含んでいるタイトルは、ダビングできません。
- ダビングの所要時間は、ディスクの記録対応速度によって異なり、ディスク記載の表示よりも遅い速度でダビングされる (ダビング時間がかかる) ことがあります。
- HDD → DVD-RW (Video) / -R (Video) へダビングすると、自動的にファイナライズされます。複数のタイトルをダビングするときは、ダビングリストからダビングしてください。
- HDD → DVD-RW (Video) / -R (Video) へダビングする場合は、ダビングする映像の縦横比によって、“本体設定”メニューの“録画設定” - “録画アスペクト (Video)” の設定を変更してダビングしてください。
異なる設定でダビングした場合は、再生時に縦長や横長の映像になります。(テレビ側で画面サイズを変更できます。)
- 本機で DVD → HDD にダビングする場合は、「制限なしに録画可能」番組のみダビングが可能です。デジタル放送の「1 回だけ録画可能」番組や「ダビング 10」番組、ほとんどの市販ディスクソフトはダビングできません。
- 他の機器の AVCREC™ 方式で録画されたディスクは、本機の HDD へダビングできないことがあります。
- 他の機器で作成したディスクから本機の HDD にダビングする場合、ディスクにタイトル情報 (チャンネル名、録画モード等) が記録されていないと、ダビング画面でのタイトル情報表示は空白になります。
- カセット HDD に録画モード TS 以外で録画・ダビングした番組は、他の機器で正常に再生できない場合があります。
- ダビングされたタイトルは、ダビング元のタイトルよりも記録時間が数秒短くなる場合があります。

他の機器から本機にダビングするときは

「ビデオデッキやビデオカメラから本機にダビングする」(p.150) をご覧ください。

ご注意

- 市販のディスクソフトやレンタルディスクのほとんどは、違法複製防止のために録画禁止処理 (コピーガード) がされておりダビングできません。

ダビングする

“見る”画面から簡単にダビングする(“かんたんダビング”)



※「制限なしに録画可能」番組のみダビングが可能となります。

！ 準備

- ディスクから HDD へダビングするときは、ディスクを入れて **DISC** を押しておく
- HDD からディスクへダビングするときは、記録用のディスクを入れて、**HDD** を押しておく

1 “見る”を押して、“見る”画面を表示する

- タイトル一覧が表示されていない場合は、編集したいタイトルが入っているフォルダを ▲ / ▼ で選び、**決定** を押します。

2 ▲ / ▼ でダビングしたいタイトルを選び、

サブメニュー を押す

3 ▲ / ▼ で“かんたんダビング”を選び、

決定 を押す

- 確認メッセージが表示されますので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押してください。
- ダビングが始まります。(ダビング中は本体前面の録画ランプが赤色で点灯し、本体表示部に“DUB”が表示されます。)

マルチビュー番組のタイトルをダビングするときは

ダビング先メディアなどによっては、ダビングできる音声・映像が1つになります。(p.83)その場合、手順 **3** のあとにダビングする音声・映像を選んでください。

- ① ▲ / ▼ で変更する項目を選ぶ
- ② ◀ / ▶ でお好みの設定を選ぶ



- ③ 設定し終わったら、▲ / ▼ で“ダビング開始”を選び、**決定** を押す

実行中のダビングを中止するときは

- ① **停止** を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押す
 - 録画中は、停止する動作の選択画面が表示されます。▲ / ▼ で“ダビング”を選び、**決定** を押してください。その後、確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押してください。
 - ダビングが終わると、本体前面の録画ランプが消え、本体表示部の“DUB”も消えます。
 - 「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したときは」(p.150)もご覧ください。

■ DVD-RW (Video) / DVD-R (Video) へダビングした場合

ダビングが終わると、自動的にファイナライズが始まります。

！ 注意

- “見る”画面からの“かんたんダビング”では、一度に1つのタイトルのみダビングできます。
- 保護されたタイトルはダビングできません。保護を解除するには、「タイトルを保護する / 保護を解除する」(p.135)をご覧ください。

複数のタイトルをまとめてダビングする

1 下表を参考にして、お好みの「ダビング方向」に合わせた「準備」を行い、各手順に進む

ダビング方向	準備	手順
HDD → HDD(iVDR)	● ダビング先となるカセット HDD を挿入しておく	
HDD → BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -RW (Video)	● ダビング先(記録用)となるディスクを入れておく	
HDD(iVDR) → HDD	● ダビング元となるカセット HDD を挿入しておく	
HDD(iVDR) → BD-RE BD-R -RW (AVC) -R (AVC) -RW (VR) -R (VR) -RW (Video) -RW (Video)	● ダビング元となるカセット HDD を挿入しておく ● ダビング先(記録用)となるディスクを入れておく	→ 手順 3 へ
BD-RE BD-R -RW (AVC)** -R (AVC)** -RW (VR)** -R (VR)** AVCHD (DVD)	● ダビング元となるディスクを入れておく	
AVCHD (SD) → HDD	● ダビング元となる SD カードを入れておく 自動的に選択画面が表示されます	→ 手順 2 へ
AVCHD (USB) → HDD	● ダビング元となる USB 機器を接続しておく 自動的に選択画面が表示されます	
HDD HDD(iVDR) → LAN	「本機からネットワーク上の機器にダビングする」(p.154)をご覧ください	
HDD HDD(iVDR) → 持ち出し用変換	「録画したタイトルを持ち出し用に変換する」(p.156)をご覧ください	

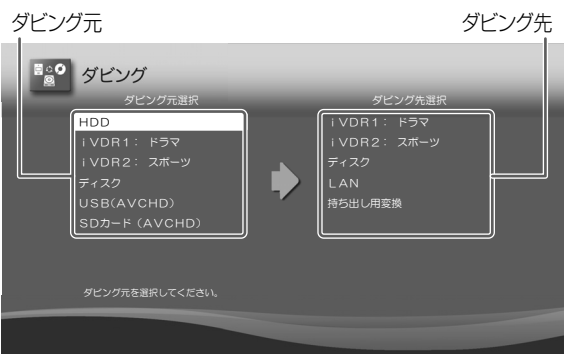
※「制限なしに録画可能」番組のみダビングが可能となります。

2 ▲ / ▼で“AVCHD”を取り込むを選び、**決定**を押して、手順 9 に進む

3 **ホーム** を押す

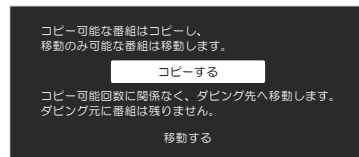
4 ▲ / ▼ / ◀ / ▶で“ダビング”を選び、**決定**を押す

5 ▲ / ▼でダビング元を選び、**決定**を押す



6 ▲ / ▼でダビング先を選び、**決定**を押す

- HDD からカセット HDD またはディスクへダビングするときは、ダビング方法を選んでください。



“コピーする”：
ダビング元に残ります(コピー可能なタイトルのみ)
“移動する”：
ダビング元に残りません。

- ダビング元がディスク以外の場合、ダビングしたいタイトルが入ったフォルダを選び、**決定**を押してください。ダビング元のフォルダが“すべて”フォルダのみの場合は、手順 7 へ進んでください。
- ダビング先がディスクの場合、そのディスクが未フォーマットであればフォーマット確認画面が表示されますので、画面にしたがってディスクをフォーマットしてください。

ダビングする・つづき

7 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“画質選択”を選び、

決定 を押す

- 録画中は“画質選択”を選択できません。選択される画質は“そのまま(高速)”になります。

8 ▲ / ▼ で好みの録画モードを選び、

決定 を押す

- ダビング先のメディアや録画方式、ダビング元の録画モードなどによって、選べる録画モードは異なります。
- “そのまま(高速)”以外の録画モードを選んだときは、等速ダビングになります。(p.142)

9 ▲ / ▼ でダビングするタイトルを選び、

決定 を押す

- **決定** ボタンを押すと、ダビング順を表す数字がタイトル名の前に表示されます。
- 移動のみ可能な番組を選択した場合は、確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押してください。確定後にダビング順が黄色で表示されます。



タイトル容量

ダビング先の残量

他のタイトルを続けて選ぶときは

- ① この手順を繰り返す

タイトルを一括で選択したいときは

- ① **録** を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押す

- 同じフォルダ内の高速ダビング可能なタイトルが最大 36 個まで選択されます。
- 移動のみ可能な番組が含まれている場合はメッセージが表示されます。確認後に **決定** を押してください。
- 以下の場合は一括選択できません
 - “すべて”フォルダを選択しているとき
 - “そのまま(高速)”以外の画質が選択されているとき

タイトルの選択を解除したいときは

- ① 解除したいタイトルを選び、**決定** を押す

タイトルの選択を一括で解除したいときは

- ① **黄** を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押す
 - 選択中のタイトルがすべて解除されます。

ご注意

- タイトル容量とダビング先の残量が同じ値でも、高速ダビングできない場合があります。

10 ダビングするタイトルを選び終わったら、▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“決定”を選び、**決定** を押す

- ダビングリストが表示されます。確認後、**決定** を押してください。

ダビングリストを修正したいときは

- 「ダビングリストについて」(p.149)をご覧ください。
- 修正が終わったら、▶ で“決定”を選び、**決定** を押してください。

11 ▲ / ▼ で“決定”を選び、**決定** を押す

12 ▲ / ▼ で“ダビング開始”を選び、**決定** を押す

- ダビングが開始されます。(ダビング中は本体前面の録画ランプが赤色で点灯し、本体表示部に“DUB”が表示されます。)
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

実行中のダビングを中止するときは

- ① **停止** を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押す
 - 録画中は、停止する動作の選択画面が表示されます。▲ / ▼ で“ダビング”を選び、**決定** を押してください。その後、確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押してください。
 - ダビングが終わると、本体前面の録画ランプが消え、本体表示部の“DUB”も消えます。
 - 「実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したときは」(p.150)もご覧ください。

メモ

- 最大 36 タイトルまでまとめてダビングできます。
- ダビング元より高画質の録画モードを選択することもできますが、ダビングしたコンテンツの画質は上がりません。
- 3D で記録された AVCHD 形式の動画を本機に取り込むと、録画モードが“AVC 3D”と表示されます。
- 1080/60p で記録された AVCHD 形式の動画を本機に取り込むと、録画モードが“AVC PRO”と表示されます。

ご注意

- AVCHD を HDD にダビングしているときは、ディスクや SD カード、USB 機器の再生はできません。

■ DVD-RW (Video) / DVD-R (Video) へダビングした場合

自動的にファイナライズが行われます。



HDD または カセット HDD から DVD-RW (Video) / DVD-R (Video) へダビングする場合、ディスク名を変更することができます。

- ① 手順 12 で“ディスク名設定”を選び、**決定**を押す
 - ディスク名設定画面が表示されます。
- ② ディスクの名前を入力し、**決定**を押す
 - 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(p.127)をご覧ください。

ダビングリスト画面の見かた

The screenshot shows the 'ダビング' (Dubbing) menu. On the left, there is a box labeled '登録されたタイトル' (Registered titles). In the center, a list of titles is shown: 1. わくわく動物めぐり, 2. 素敵なカーテン, 3. 名画アルバム詩選集, 4. 鉄道の旅, 5. 第8回オーケストラ, 6. ドラマ「春夏秋冬」, 7. 映画劇場「×× 刑事」, 8. ドラマ「音楽のある景色」, 9. アニメ「サプライズ」. On the right, a sub-menu is open with options: 番組を追加 (Add program), リストから削除 (Delete from list), 全削除 (Delete all), ダビング順変更 (Change dubbing order), フォルダ指定 (Specify folder), 決定 (OK), and キャンセル (Cancel). At the bottom, there is a 'CH へページ切替' (Page change to CH) button and a 'ガイド表示' (Show guide) button.

- 一覧の上から順に、登録された全タイトルがダビングされます。(一部のタイトルだけを選んでダビングすることはできません。)

ダビングリストについて

- 内容を修正したいときは、以下の手順で修正してください。

■ ダビングリストにタイトルを追加するときは

- ① ▲ / ▼で“番組を追加”を選び、**決定**を押す
 - タイトル選択画面に戻ります。
- ② ▲ / ▼で追加するタイトルを選び、**決定**を押す

■ ダビングリストからタイトルを選んで削除するときは

- ① ▲ / ▼で“リストから削除”を選び、**決定**を押す
- ② ▲ / ▼で削除するタイトルを選び、**決定**を押す
- ③ 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、**決定**を押す

■ ダビングリストからすべてのタイトルを削除するときは

- ① ▲ / ▼で“全削除”を選び、**決定**を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、**決定**を押す

■ ダビングするタイトルの順番を変更するときは

- ① ▲ / ▼で“ダビング順変更”を選び、**決定**を押す
- ② ▲ / ▼で変更したいタイトルを選び、**決定**を押す
- ③ ▲ / ▼でタイトルを希望の位置へ移動させたあと、**決定**を押す

■ フォルダを指定するには

- ① ▲ / ▼で“フォルダ指定”を選び、**決定**を押す
- ② ▲ / ▼でダビング先に指定したいフォルダを選び、**決定**を押す

ダビングする・つづき

ビデオデッキやビデオカメラから本機にダビングする

HDD **HDD(iVDR)** **BD-RE** **BD-R**

他の機器(ビデオデッキなど)から本機の HDD などに、動画をアナログ映像形式でダビング(録画)することができます。本機との接続は、「本機をお持ちの機器をつなぐ」(p.37)をご覧ください。

お手持ちのビデオカメラがデジタル方式(AVCHD 形式)の場合、SD カードまたは USB からファイルを HDD へ直接ダビングすることができます。「複数のタイトルをまとめてダビングする」(p.147)をご覧ください。

接続した機器からダビングする

！ 準備

- HDD にダビングするときは、**HDD** を押しておく
- カセット HDD にダビングするときは、カセット HDD を挿入し、**iVDR** を押しておく

対象機種：BIV-TW1000

iVDR を押すと、カセット HDD の一覧が表示されます。▲ / ▼ で希望のカセット HDD を選び、**決定** を押してください。

- ディスクにダビングするときは、ディスクを入れて **DISC** を押しておく
- “本体設定”メニューの“外部入力音声”を設定しておく(p.164)

1 外部入力に切り換える

- 「外部入力の映像に切り換える」(p.69)をご覧ください。

2 録画モードを選ぶ

- 「録画モード(画質)を変更するには」(p.87)をご覧ください。
- 選べる録画モードは XP ~ EP です。

3 接続した機器を再生する

- ビデオデッキなどの操作や設定については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 **録画** を押す

- 録画が始まります。

録画を停止するときは

- ① **■停止** を押す
 - ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押します。
- 停止後に次の操作ができるようになるまでしばらく時間がかかることがあります。
 - 停止した位置までが、1 タイトルとして録画されます。
 - 録画中は、停止する動作の選択画面が表示されます。▲ / ▼ で“L1”を選び、**決定** を押してください。その後、確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押してください。

！ ご注意

- 違法複製防止のために録画禁止処理(コピーガード)がされている市販のビデオソフトやレンタルビデオなどはダビングできません。

実行中のダビングを中止したり、ダビング中に停電したときは

- ダビング先メディアにより、以下のようになります。

HDD **HDD(iVDR)** **BD-RE** **-RW (VR)** の場合
ダビングされません。

BD-R **-R (VR)** **-RW (AVC)** **-R (AVC)** の場合

ダビングを中止したところまで録画され、その分だけディスクの残量時間が減ります。(ダビングされた内容を再生することはできません。)

-RW (Video) の場合

初期化が必要になります。

-R (Video) の場合

ダビングされた内容は再生できず、そのディスクは使用できなくなります。

ダビングについての補足説明

ダビング全般

デジタルビデオカメラで記録されたハイビジョン画質の動画のダビング

- デジタルビデオカメラの撮影状態によって、同じ日に撮影された場面（シーン）でも別々のタイトルになることがあります。詳しくは、デジタルビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

ダビングするときのチャプター境界

- ダビングするときには、チャプター境界もいっしょにダビングされます。
- ダビング先のチャプター境界は、多少ずれる場合があります。

Cinavia™

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。この製品は Verance Corporation (ベラン ス・コーポレーション) のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2014 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

高速ダビング時のおよその所要時間（目安）について

■ HDD → カセットHDD ディスクへ高速ダビングするとき

ダビング方向	録画モード		所要時間	倍速
HDDに録画した1時間番組を カセットHDD (M-VDRS500G.C)に 高速ダビングした場合の最速所要時間の目安	TS	地デジ HD 放送	約7分	約9倍
		BS / CS HD 放送	約9分30秒	約6倍
		BS / CS SD 放送	約4分30秒	約13倍
	AF	地デジ HD 放送	約6分	約10倍
	AN	地デジ HD 放送	約4分15秒	約15倍
	AS	地デジ HD 放送	約3分15秒	約19倍
	AL	地デジ HD 放送	約2分30秒	約24倍
	AE	地デジ HD 放送	約1分30秒	約40倍
	XP	外部入力	約4分	約15倍
	SP	外部入力	約2分15秒	約26倍
	LP	外部入力	約1分15秒	約48倍
外部入力		約45秒	約80倍	

■ HDD → ディスクへ高速ダビングするとき

ダビング方向	録画モード		所要時間	倍速
HDDに録画した1時間番組を BD-R (4倍速対応)に高速ダビングした場合の 最速所要時間の目安	TS	地デジ HD 放送	約7分	約9倍
		BS / CS HD 放送	約9分15秒	約6倍
		BS / CS SD 放送	約5分30秒	約11倍
	AF	地デジ HD 放送	約6分15秒	約10倍
	AN	地デジ HD 放送	約4分15秒	約15倍
	AS	地デジ HD 放送	約3分15秒	約19倍
	AL	地デジ HD 放送	約2分	約30倍
	AE	地デジ HD 放送	約1分30秒	約40倍
	XP	外部入力	約4分45秒	約12倍
	SP	外部入力	約2分45秒	約21倍
	LP	外部入力	約1分45秒	約34倍
外部入力		約1分	約60倍	

- ディスクの書き込み位置や特性などの条件により、所要時間や速度が変わります。
- ディスクの倍速表示（4倍速対応など）はディスク自体の書き込み特性を表わすもので、ダビング時間の比率ではありません。BD-RE（2倍速対応）の場合は最大2倍速、BD-R（4倍速、6倍速対応）の場合は最大4倍速の書き込みに対応します。
- 高速ダビング中にHDDの録画や再生をすると、所要時間が延びることがあります。

■ カセットHDD、またはディスク → HDDへ高速ダビングするとき

約2倍速相当でダビングされます。

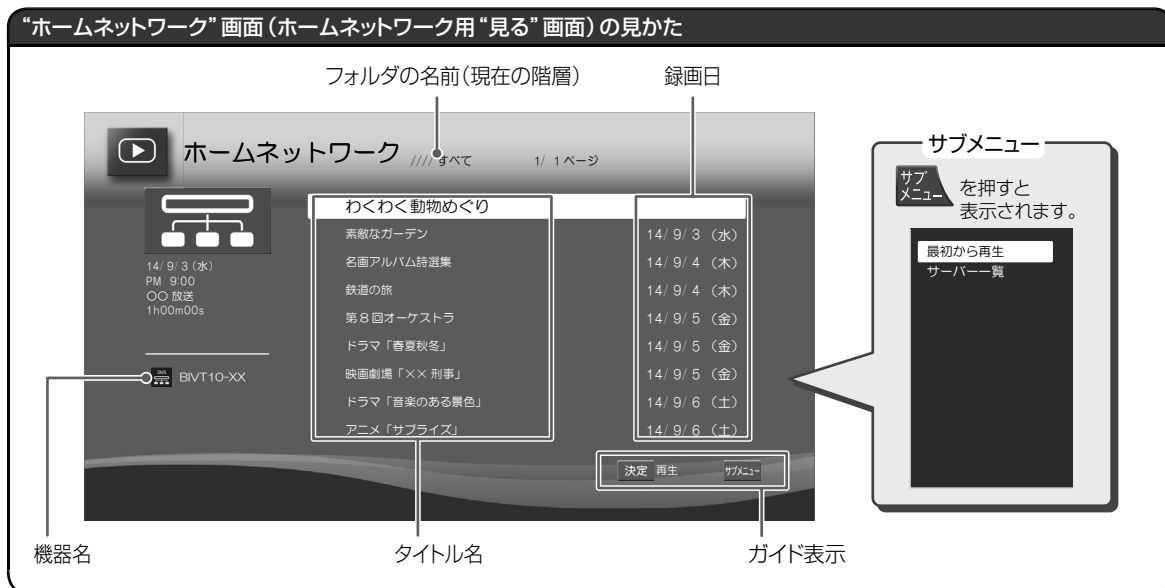
ホームネットワークを使って再生する

DLNA を使って、ホームネットワーク上の機器 (DLNA サーバー) のタイトルを本機で再生することができます。
(レコーダーなどで記録したタイトルも再生することができます。)

- 詳しくは、DLNA 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

！ 準備

- 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ (p.34、52)
- 本機の以下を設定しておく
「本機をネットワークに接続する」 (p.52)
「ネットワーク機能設定」 (p.56)
- 接続する機器をネットワークでつなぐ (詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。)



1 **ホーム** を押してホームメニュー画面を表示する

2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶** で“見る”を選び、**決定** を押す

3 **▲ / ▼** で“ホームネットワーク”を選び、**決定** を押す

- 接続されている機器の一覧が表示されます。(最大 30 件まで)
- **黄** を押すと一覧が更新されます。

4 **▲ / ▼** で見たいタイトルが保存されている機器を選び、**決定** を押す

5 **▲ / ▼** で見たいタイトルが保存されているフォルダを選び、**決定** を押す

- 階層が複数ある場合は、この操作を繰り返してください。

6 **▲ / ▼** で見たいタイトルを選び、**決定** を押す

- タイトルの先頭から再生します。

レジュームポイントが記憶されているときは

再生 を押すとレジュームポイントの続きから再生します。

■ 認識できるフォーマット

映像	MPEG2-PS、MPEG2-SD、 MPEG2-TS / TTS、 AVC*
----	---

※ レコーダーなどで録画した放送波の映像。

メモ

- サーバー一覧に表示されているタイトルでも、再生できないことがあります。
- サーバーと本機は、同じネットワークに接続してください。
- サーバーによって、再生時に使える機能が異なります。
- 映像の画質などは、ネットワークの環境によって異なります。
- 再生中にファイルやフォルダを切り換えるときに、時間がかかることがあります。
- ハイビジョン画質放送と標準画質放送（マルチチャンネル放送など）が混在したタイトルを再生中、早送りや早戻し、サーチ機能を使うと停止することがあります。

対象機種：BIV-TW1000

- 5GHz 帯に対応した無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz 帯での使用をおすすめします。（2.4GHz 帯の設定では、電子レンジや他の通信機器の影響を受けやすいことがあります。）

ご注意

- ホームネットワークを使って再生している場合、以下の操作ができません。
 - 早見再生
 - コマ戻し
 - 字幕切り換え
 - アンクル切り換え
- ホームネットワークを使って再生している場合、再生速度は以下のようになります。
 - 早送り／早戻しの速度切り換え：3段階
 - 逆スロー再生：1段階のみ

ネットワーク上の機器から本機に録画する

ネットワーク機能を使って、ホームネットワーク上の機器で録画したタイトルを、本機の HDD またはカセット HDD に録画できます。

準備

- 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ（p.34、52）
- 本機の以下を設定しておく
 - 「本機をネットワークに接続する」（p.52）
 - 「ネットワーク機能設定」（p.56）
- 接続する機器をネットワークでつなぐ（詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。）

1 接続機器から本機へ録画開始の操作をする

録画されているか確認するには

画面表示 を 2 回押してください。



メモ

- 本機の電源が「切」のときに接続機器側で録画開始の操作をすると、電源「切」のまま録画が開始されます。（本体表示部に「D」が表示され、録画ランプが点灯します。）

ご注意

- ネットワークの環境により、通信速度が遅い場合には、録画が停止することがあります。
- ダビングした番組は、番組の先頭や末尾、チャプターの境界部分が数秒間欠ける場合があります。また、チャプター境界がなくなったりずれたりする場合があります。
- 「ネットワーク録画の録画先を設定する」（p.56）でカセット HDD を設定している場合、カセット HDD が未挿入のときは HDD に録画されます。
- 他機からダビングしたタイトルに視聴制限がある場合、「ネットワーク録画の録画先」の設定にかかわらず HDD に録画されます。

本機からネットワーク上の機器にダビングする

本機の HDD やカセット HDD に録画したタイトルをネットワーク上の機器にダビングできます。

！ 準備

- 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ (p.34、52)
- 本機の以下を設定しておく
「本機をネットワークに接続する」(p.52)
「ネットワーク機能設定」(p.56)
- 接続する機器をネットワークでつなぐ (詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。)

※ 本機と接続する機器を (ルーターなどを使わず) LAN ケーブルで直接つなぐときは、「有線 LAN を手動で設定する」(p.53) の「**■** 接続機器と LAN ケーブルで直接つなぐときは」の項目を設定してください。

- ダビング先の機器は、DLNA 対応機器をお使いください。
- 本機と接続する機器は、同じルーターに接続 (または LAN ケーブルで直接接続) し、同一ホームネットワークに接続してください。
- あらかじめ、本機とダビング先機器の設定を合わせてください。設定が終わったら、ダビング先機器のナビ画面やスタートメニュー画面を開けてください。

1 ホーム を押す

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で “ダビング” を選んで 決定 を押す

3 ▲ / ▼ でダビング元に HDD または カセット HDD を選び、決定 を押す

4 ▲ / ▼ でダビング先に “LAN” を選び、 決定 を押す

- ネットワーク上の機器が一覧で表示されます。

5 ▲ / ▼ でダビング先の機器を選び、 決定 を押す

- フォルダ一覧画面が表示されます。
- ダビング元に “すべて” フォルダしかない場合は、手順 7 へ進んでください。

6 ▲ / ▼ でフォルダを選び、決定 を押す

7 ▲ / ▼ でダビングするタイトルを選び、 決定 を押す

- 決定 を押すと、ダビング順を表す数字が、タイトル名の前に表示されます。
- 移動のみ可能な番組を選択した場合は、確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で “はい” を選び、決定 を押してください。確定後にダビング順が黄色で表示されます。

他のタイトルを続けて選ぶときは

- ① この手順を繰り返す

タイトルの選択を解除したいときは

- ① 解除したいタイトルを選び、決定 を押してください。

タイトルの選択を一括で解除したいときは

- ① 黄 を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で “はい” を選び、決定 を押す
 - 選択中のタイトルがすべて解除されます。

8 ダビングするタイトルを選び終えたら、

- ▶ で “決定” を選び、決定 を押す
- ダビングリストが表示されます。

ダビングリストを修正したいときは

- 「ダビングリストについて」(p.149) をご覧ください。
- 修正が終わったら、▶ で “決定” を選び、決定 を押してください。

9 ▲ / ▼ で “決定” を選び、決定 を押す

10 ▲ / ▼ で “ダビング開始” を選び、決定 を押す

- ダビングが開始されます。(ダビング中は本体前面の録画ランプが赤色で点灯し、本体表示部に “DUB” が表示されます。)
- ダビングが始まると放送画面に戻ります。

ご注意

- 以下のタイトルの場合、ネットワーク上の機器にダビングできないことがあります。
 - 録画モードを AF ~ AE に変換したタイトル
 - 録画モードが XP ~ EP のタイトル
 - AVCHD (3D/60p) 形式のタイトル
 - チャプターまたは一部を削除したタイトル
 - 分割・結合したタイトル
 - 他機からダビングしてきたタイトル
- ダビング中に予約録画が開始されると、ダビングが中断される場合があります。その場合は、予約録画終了後にダビングをやり直してください。
- ホームネットワーク機能をお使いの場合、ネットワークのデータアクセス量が増え、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズが入ることがあります。ホームネットワーク機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをおすすめします。
- ダビングしたタイトルはタイトルの先頭やタイトルの境界部分、編集した部分などが数秒間欠けることがあります。
- 「ダビング 10」番組は、ダビング先では「1 回だけ録画可能」番組になります。
- ダビング先の機器がスカパー！録画に対応していても、スカパー！プレミアムサービスの標準画質番組の録画に非対応である場合は、スカパー！タイトルをダビングすることはできません。

タブレットやスマートフォンで視聴する

本機のHDDで録画したタイトルをタブレットやスマートフォンなどの端末機器で再生したり、持ち出したりすることができます。また、本機で視聴している番組をテレビのない部屋でも視聴できます。

- お使いの端末機器（タブレットやスマートフォン）によって、再生できる品質が異なります。詳しくはお使いの端末機器の取扱説明書や、アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

準備

- 本機と接続する機器をネットワークでつなぐ (p.34、52)
- 本機の以下を設定しておく
「本機をネットワークに接続する」(p.52)
「ネットワーク機能設定」(p.56)
- 接続する機器をネットワークでつなぐ(詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。)
- 本機とタブレットやスマートフォンなどの機器は、同じルーターに接続(またはLANケーブルで直接接続)し、同一ホームネットワークに接続してください。

ご注意

- 端末機器で視聴するには、アプリケーションソフトを端末機器にインストールしておく必要があります。アプリケーションソフトの詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.maxell.co.jp/consumer/audio_visual/biv_tw1000/

ご注意

- 複数の音声がある番組は、主音声のみ記録されます。
- 複数の映像がある番組は、放送局が指定した映像のみ記録されます。
- 持ち出し番組の画質が端末機器の仕様にあっていない場合、端末機器で再生できません。
- 持ち出し用に変換したタイトルを、再変換することはできません。
- 外部入力映像や録画モードXP～EPのタイトルは変換できません。
- 持ち出し番組として予約するときに、録画モードを設定しても、「本体設定」の「持ち出し用画質」(p.164)で設定されている画質で録画されます。
- 「1回だけ録画可能」のタイトルを端末機器のアプリケーションからダウンロードした場合は、オリジナルのタイトルが削除されます。

本機で録画したタイトルを視聴する

本機で録画したタイトルを、家の中のテレビがない場所でも、見ることができます。

- 端末機器で再生開始の操作をします。操作方法については、お使いの端末機器の取扱説明書や、アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。
- お使いの端末機器によっては、画質を解像度：640×360、ビットレート：1.5Mbpsに変換して配信します。その場合は、本機の画面表示に「変換配信中」と表示されます。

持ち出し番組について

- 持ち出し番組とは、端末機器のアプリケーションで視聴したり、持ち出したりできる番組のことをいいます。
- 本機では、以下の方法で持ち出し番組を作成できます。
 - すでに録画したタイトルを変換する
 - 番組の録画予約時に、持ち出し番組を作成するように設定する
- 持ち出し番組を作成するときに選べる画質は以下の通りです。

解像度	ビットレート
そのまま持ち出し	
1280 x 720	12Mbps
1280 x 720	8Mbps
1280 x 720	6Mbps
1280 x 720	4Mbps
1280 x 720	2.4Mbps
640 x 360	1.5Mbps

- 持ち出し用に作成した番組を確認するには、「持ち出し番組を確認する」(p.157)をご覧ください。
- 録画したタイトルの種類によっては、持ち出し番組を再生したときに上下左右に黒い帯がつくことがあります。また、解像度によっては、小さく表示される場合があります。
- 持ち出し番組は、本機と同一ネットワーク上に設定されている端末機器以外にはダビングできません。
- 録画やダビングしたときの状態によって、持ち出し番組に変換できない場合があります。

コピー制限番組について

持ち出し番組に変換すると、変換前のタイトルは以下のようになります。

- 「ダビング10」番組は、コピー可能回数が1回減ります。
- 「1回だけ録画可能」番組は、「移動のみ可能」のままです。

持ち出し変換したタイトルを持ち出すと、変換前のタイトルは以下のようになります。

- 「ダビング10」番組はそのまま残ります。
- 「1回だけ録画可能」番組は削除されます。

配信を止めるには

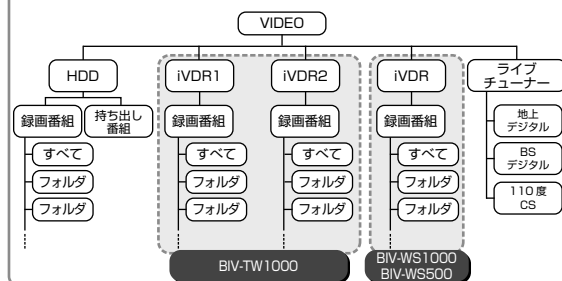
■停止を押してください。

- 確認画面が表示されるので、▲/▼で「はい」を選んで **決定** を押してください。

ご注意

- 以下のタイトルは端末機器へ配信できません。
 - 標準画質(録画モードXP～EP)で録画されたタイトル
 - ディスクに録画されたタイトル
 - AVCHD(3D/60p)形式のタイトル
- 本機の録画や再生の状態によっては、端末機器へ配信できない場合があります。
- タイトルを複数の機器へ同時に配信できません。

他機からみたときのフォルダ構造



タブレットやスマートフォンで視聴する・つづき

現在放送中の番組を視聴する (ライブ配信)

本機で視聴している番組を、家の中のテレビがない場所でも見ることができます。

- 端末機器で再生開始の操作をします。操作方法については、お使いの端末機器の取扱説明書や、アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。
- 地デジやBS・CS放送を配信することができます。
- お使いの端末機器にあわせて、以下のいずれかの画質で配信します。
 - 解像度：そのまま、ビットレート：12Mbps
 - 解像度：640×360、ビットレート：1.5Mbps

端末機器で視聴中は

本機の画面表示に“ライブ配信中”と配信中のチャンネルが表示されます。

配信を止めるには

- ① **■停止** を押す
- ② 確認画面が表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選んで **決定** を押す。
 - 録画中は **■停止** を押したあとに、停止する動作の確認画面が表示されます。▲ / ▼ で“ライブ配信を停止する”を選び、**決定** を押してください。そのあと、確認画面が表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選んで **決定** を押してください。

ご注意

- 字幕、データ放送には対応していません。
- 本機の録画や再生の動作状態によっては、端末機器へ配信できない場合があります。
- ライブ配信中に録画モードをTS以外に設定して **■録画** を押して録画すると、TSに切り換えて録画されます。(予約録画の場合は、ライブ配信が停止します。)
- ライブ配信中はダビングやネットワーク機能を使った録画はできません。
- ライブ配信中はチームサーチ、チャプターサーチはできません。

録画したタイトルを 持ち出し用に変換する

- ① **ホーム** を押す
- ② ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“ダビング”を選んで **決定** を押す
- ③ ▲ / ▼ でダビング元にHDDまたはカセットHDDを選び、**決定** を押す
- ④ ▲ / ▼ でダビング先に“持ち出し用変換”を選び、**決定** を押す
 - フォルダ一覧画面が表示されます。
 - ダビング元に“すべて”フォルダしかない場合は、手順 ⑥ へ進んでください。

- ⑤ ▲ / ▼ でフォルダを選び、**決定** を押す

- ⑥ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“画質選択”を選び、**決定** を押す

- ⑦ ▲ / ▼ で好みの画質を選び、**決定** を押す

- ⑧ ▲ / ▼ で持ち出し用に変換するタイトルを選び、**決定** を押す

- **決定** ボタンを押すと、ダビング順を表す数字がタイトル名の前に表示されます。
- 移動のみ可能な番組を選択した場合は、確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押してください。確定後にダビング順が黄色で表示されます。
- 録画モードXP～EPのタイトルは選択できません。

■ 他のタイトルを続けて選ぶときは

- ① この手順を繰り返す

■ タイトルの選択を解除したいときは

- ① 解除したいタイトルを選び、**決定** を押す

■ タイトルの選択を一括で解除したいときは

- ① **■** を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼ で“はい”を選び、**決定** を押す
 - 選択中のタイトルがすべて解除されます。

- ⑨ 持ち出し用に変換するタイトルを選び終えたら、▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“決定”を選び、**決定** を押す

- ダビングリストが表示されます。確認後、**決定** を押してください。

■ ダビングリストを修正したいときは

- 「ダビングリストについて」(p.149)をご覧ください。
- 修正が終わったら、▶ で“決定”を選び、**決定** を押してください。

- ⑩ ▲ / ▼ で“決定”を選び、**決定** を押す

- ⑪ ▲ / ▼ で“ダビング開始”を選び、**決定** を押す

- 持ち出し用変換が開始されます。(持ち出し用変換中は本体前面の録画ランプが赤色で点灯し、本体表示部に“DUB”が表示されます。)
- 持ち出し用変換が始まると放送画面に戻ります。

■ 実行中の持ち出し用変換を中止するときは

- ① **■** 停止を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、**決定**を押す
 - ダビングが終わると、本体前面の録画ランプが消え、本体表示部の“DUB”も消えます。

! メモ

- 録画中は持ち出し用変換ができません。
- 開始時間が近い録画予約がある場合は、持ち出し用変換を開始できません。
- 持ち出し用変換した「1回だけ録画可能」番組を持ち出しすると、本機から削除されます。(持ち出しを途中で中止した場合は、削除されません。)
- 持ち出し用変換した「1回だけ録画可能」番組を編集すると“持ち出し番組の確認”画面から削除されます。

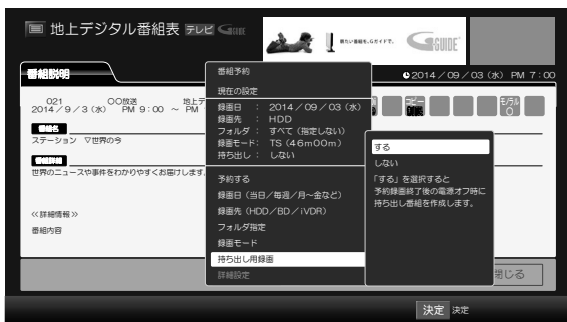
持ち出し用に録画予約する

! 準備

- “本体設定”の“持ち出し用画質”(p.164)で、画質を選んでおく

1 「好みの設定で予約する」(p.97)の手順 1 ~ 6 を行う

- 録画先は、HDD を選んでください。

2 ▲ / ▼で“持ち出し用録画”を選び、**決定**を押す3 ▲ / ▼で“する”を選び、**決定**を押す4 ▲ / ▼で“予約する”を選び、**決定**を押す

- 予約録画が終わったあと、電源「切」時に持ち出し番組が自動作成されます。

5 **終了**を押して通常画面に戻す

持ち出し番組を確認する

1 **HDD** を押して、HDDモードに切り換える2 **見る** を押して、“見る”画面を表示する3 **サブメニュー** を押してサブメニューを表示し、▲ / ▼で“持ち出し番組の確認”を選び、**決定**を押す

- **ホーム** → “メディアの管理” → “HDDメニュー” → “持ち出し番組の確認”と順に選び、**決定**を押しても同様に確認できます。

■ 持ち出し番組を1つだけ削除するときは

- ① ▲ / ▼で削除したい持ち出し番組を選び、**黄**を押す
- ② 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、**決定**を押す

■ 複数の持ち出し番組を一括削除するときは

- ① **サブメニュー**を押してサブメニューを表示する
- ② ▲ / ▼で“複数番組削除”を選び、**決定**を押す
 - ▲ / ▼で削除したいタイトルをすべて選んでください。
 - **黄**を押すと、すべてのタイトルが選択されます。
 - **黄**を押すと、選択がすべて解除されます。
- ③ タイトルを選び終わったら、▶を押して“決定”を選び、**決定**を押す
- ④ 確認メッセージが表示されるので、▲ / ▼で“はい”を選び、**決定**を押す

■ ページを切り換えるときは

- ① ▲ / ▼で“ページ指定ジャンプ”を選んで**決定**を押す
- ② ▲ / ▼でページ番号を選んで**決定**を押す

4 確認が終わったら、**終了**を押して通常画面に戻す

持ち出し番組を持ち出す

- 端末機器で持ち出し開始の操作をします。操作方法については、お使いの端末機器の取扱説明書や、アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

カンタンメニューを使う

番組を録画予約する

- 1 **カンタン**を押す
- 2 ◀ / ▶で“録る”を選び、**決定**を押す
- 3 ▲ / ▼で予約方法を選び、**決定**を押す



- “番組表から予約”を選んだときは
録画したい番組を選んで、**録画**を押してください。
- “日付を選択して予約”を選んだときは
録画したい番組の日付を選んでください。



- 日付を選んだあとは、録画したい番組を選んで、**録画**を押してください。
☞ “予約一覧”を選ぶと…
何の番組がいつ録画予約されているかなどを確認できます。

録画したタイトルを見る

- 1 **カンタン**を押す
- 2 ◀ / ▶で“見る”を選び、**決定**を押す
- 3 ▲ / ▼で見たいタイトルのある保存先を選び、**決定**を押す

- ホームネットワークサーバー一覧が表示されたときは、▲ / ▼で見たいタイトルが入った機器を選び、**決定**を押してください。
- フォルダー一覧が表示されたときは、▲ / ▼で見たいタイトルが入ったフォルダを選び、**決定**を押してください。



- 4 ▲ / ▼で見たいタイトルを選び、**決定**を押す
● 再生が始まります。

ダビングする

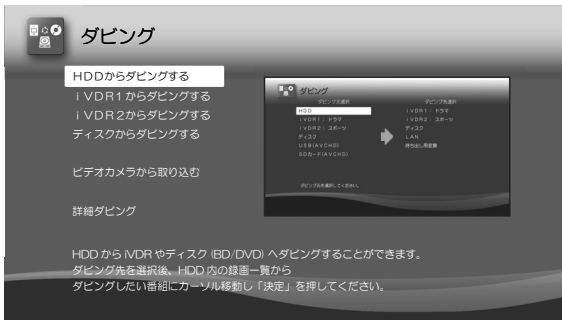
準備

- カセットHDDを使用するときは、カセットHDDを挿入しておく
- ディスクを使用するときは、ディスクを入れておく
- ビデオカメラから取り込むときは、あらかじめ AVCHD 形式の動画が記録されたビデオカメラと本機を USB ケーブルで接続しておく
- SD カードを使用するときは、SD カードを接続しておく
- USB 機器を使用するときは、USB 機器を接続しておく
- タブレットやスマートフォンへダビングするときは、本機とタブレットやスマートフォンなどの機器を同一ホームネットワークに接続しておく (p.34、52)

1 **カンタン** を押す

2 ◀ / ▶ で“ダビング”を選び、**決定** を押す

3 ▲ / ▼ でダビング方法を選び、**決定** を押す



- “HDDからダビングする”を選んだときは
HDDに録画したタイトルをダビングします。「複数のタイトルをまとめてダビングする」の手順 **6** (p.147)へ進んでください。

対象機種：BIV-TW1000

- “iVDR1からダビングする”または“iVDR2からダビングする”を選んだときは
カセットHDDに録画したタイトルをダビングします。「複数のタイトルをまとめてダビングする」の手順 **6** (p.147)へ進んでください。

対象機種：BIV-WS1000 / BIV-WS500

- “iVDRからダビングする”を選んだときは
カセットHDDに録画したタイトルをダビングします。「複数のタイトルをまとめてダビングする」の手順 **6** (p.147)へ進んでください。
- “ディスクからダビングする”を選んだときは
ディスクに録画したタイトルをダビングします。「複数のタイトルをまとめてダビングする」の手順 **6** (p.147)へ進んでください。
- “ビデオカメラから取り込む”を選んだときは
USB 機器に記録された AVCHD 形式の動画を、HDD にダビングします。「複数のタイトルをまとめてダビングする」の手順 **9** (p.148)へ進んでください。
- “詳細ダビング”を選んだときは
SD カードに記録された AVCHD 形式の動画を HDD にダビングしたり、ネットワークを使ってダビングしたり、端末機器への持ち出し用番組を作成することができます。詳しくは「複数のタイトルをまとめてダビングする」(p.147)、「本機からネットワーク上の機器にダビングする」(p.154)、「録画したタイトルを持ち出し用に変換する」(p.156)をご覧ください。

本機や放送局からのお知らせを確認する

ホームメニュー画面の“お知らせ”で、放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード(掲示板)を確認することができます。

未読のお知らせがある状態で本機の電源を入れたり、番組視聴中に新規メールを受信すると、テレビ画面上に“ホームメニューからメールを確認してください”というメッセージが約20秒間表示されます。

お知らせ画面について

■ 本機ではパソコンや携帯電話の電子メールは扱えません。

内部メール

● 本機から以下の情報や連絡が送られてきます：

- 「送信状況変更のお知らせ」……………地上デジタル放送のチャンネルの再スキャンなどが必要なとき
- 「自動チャンネル再設定のお知らせ」…本機が自動チャンネル再設定を行ったとき
- 「ダウンロードのお知らせ」……………更新可能な本体ソフトウェア(ファームウェア)があるとき
- 「FW更新のお知らせ」……………本体ソフトウェア(ファームウェア)の更新を行ったとき

外部メール

● 放送局からのお知らせなどが送られてきます。

- 保存期限は14日間です。
- 1放送局につき、最大13通まで保管可能。満杯の状態では新たなメールを受信した場合は、一番古いものが削除されます。
- 送信されるメールは、miniB-CASのIDとは関係ありません。

ボード(掲示板)

- 110度CSデジタル放送からの情報や案内が表示されます。

1 停止中に **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する



2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で“お知らせ”を選び、**決定** を押す

- メールやボードの一覧が表示されます。

3 ▲ / ▼ で“放送メール”または“CS1ボード”、“CS2ボード”を選び、**決定** を押す

“放送メール”：

本機や放送局から送られてきたメール(内部メール、外部メール)を確認できます。

“CS1ボード”または“CS2ボード”：

110度CSデジタル放送局の情報や案内をボード(掲示板)で確認できます。

- メッセージが表示されます。
- 未読のメールには“✉”が表示されます。

4 **終了** を押して通常画面に戻す

いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)

“本体設定”メニューを使う

1 停止中に **ホーム** を押して、ホームメニュー画面を表示する

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で “設定” を選び、**決定** を押す

3 ▲ / ▼ で “本体設定” を選び、**決定** を押す

4 ▲ / ▼ で希望の項目または設定を選び、**決定** を押す

各設定項目については、以下の「“本体設定”メニューの項目と設定内容」(p.161 ~ 169)をご覧ください。
この操作を繰り返し、希望の設定に変更します

- **戻る** を押すと、左側の設定項目に戻ります。

希望の設定に変更するときに確認メッセージが出る場合は

- ① ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で “はい” を選び、**決定** を押してください。

5 設定が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

Ⓚ ご注意

- 録画中は、各種設定画面の設定ができないことがあります。(設定できない場合、その項目は選べません。)
- 再生中に各種設定画面を表示すると、再生が自動的に停止します。

“本体設定”メニューの項目と設定内容

設定のしかたについては、上記「“本体設定”メニューを使う」(p.161)をご覧ください。(■はお買い上げ時の設定です。)

	項目	設定内容	説明
映像設定	TV 画面選択 ● 「アスペクト比(画面比)について」(p.170)をご覧ください。	4:3 レターボックス	4:3 標準テレビで 16:9 ワイド映像を見るときに、左右方向を画面いっぱいに映し、上下方向に黒い帯を表示します。
		4:3 パンスキャン	4:3 標準テレビで 16:9 ワイド映像を見るときに、上下方向を画面いっぱいに映し、左右方向を一部カットします。パンスキャン指定のない DVD ディスクソフトはレターボックスで表示されます。
		16:9 ワイド	16:9 ワイドテレビで見るときに選びます。16:9 ワイド映像を画面いっぱいに映します。
		16:9 シュリンク	16:9 ワイドテレビで、4:3 映像を見るときに、画面の上下幅に収まるまで、縦横比を維持しつつ 4:3 映像を縮小して表示します。
	スチルモード	自動	表示する静止画の情報に応じて、“フィールド”または“フレーム”のどちらかで表示されます。
	フィールド	“自動”に設定しても画像のブレが発生するときに設定します。“フィールド”を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し荒くなります。	
	フレーム	動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに設定します。“フレーム”を選択すると画質は良くなりますが、2枚のフィールドを交互に出力させるため画像にブレが生じることがあります。	

いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)・つづき


設定のしかたについては、「本体設定」メニューを使う(p.161)をご覧ください。(■はお買い上げ時の設定です。)

項目	設定内容	説明	
音声設定	Dolby D / Dolby D+ / Dolby TrueHD	PCM Dolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby TrueHD を LPCM に変換して出力します。	
	自動	HDMI端子から： 接続する機器がDolby Digital / Dolby Digital Plus / Dolby TrueHDに対応している場合は、ビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCMが出力されます。) 光デジタル音声出力端子から： ビットストリームが出力されます。(Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD 音源の場合は、Dolby Digital 部分のみがビットストリーム出力されます。)	
DTS / DTS-HD	PCM	DTS [®] 、DTS-HD [®] を LPCM(2ch PCM 固定)に変換して出力します。	
	自動	HDMI 端子から： 接続する機器が DTS [®] 、DTS-HD [®] に対応している場合は、ビットストリームが出力されます。(対応していない場合は、LPCM (2ch PCM 固定) が出力されます。) 光デジタル音声出力端子から： ビットストリームが出力されます。(DTS-HD [®] の場合は、DTS 部分のみがビットストリーム出力されます。)	
AAC	PCM	AAC 音声を LPCM に変換して出力します。	
	自動	HDMI 端子から： 接続する機器が AAC に対応している場合は、ビットストリーム出力されます。(対応していない場合は、LPCM が出力されます。) 光デジタル音声出力端子から： ビットストリームが出力されます。	
BD-HD 音声設定	複合音声	BD-Video 再生時のインタラクティブオーディオやプライマリ音声、セカンダリ音声などをすべて出力します。	
	HD 音声	プライマリ音声のみを高音質で出力します。	
Dolby D レンジ (p.168)	自動	Dolby TrueHD の再生中に、本機がディスクのオーディオ D レンジ情報を認識し、自動でオーディオ D レンジ設定を“入”または“切”に設定します。Dolby TrueHD 以外を再生した場合では“切”と同じ動作をします。	
	入	記録された音声のダイナミックレンジ(強弱の幅)を調整します。	
	切	記録されたオリジナル音源で出力します。	
ダウンサンプリング (p.168)	入	48kHz より高いサンプリング周波数の入力に対応していない AV アンプ等にデジタル接続している場合に設定します。LPCM の信号を 48kHz に変換して出力します。	
	切	コンテンツ保護されていない LPCM の信号が記録されたブルーレイディスク、または DVD の再生時、光デジタル音声出力端子から 96kHz までの 2ch 音声を出力します。(96kHz 以上の音声は、96kHz で出力します。)	
HDMI 接続 設定	HDMI 解像度設定 (p.168)	自動	接続した HDMI 機器によって、HDMI 映像解像度を自動で設定します。
		480p	480 プログレッシブで出力します。
		720p	720 プログレッシブで出力します。
		1080i	1080 インターレースで出力します。
		1080p	1080 プログレッシブで出力します。
		1080p24	1080 プログレッシブ 24 フレームで出力します。
	4K アップコンバート出力設定 (p.125、168)	自動	4K 対応テレビと HDMI ケーブルで接続しているときに、BD-Video の 1080p/24Hz の映像を自動で 4K 出力するかどうかの設定をします。 “自動”： 4K 出力します。4K アップコンバート出力で視聴する場合は、以下の設定を行ってください ● “HDMI 解像度設定”を“自動”または“1080p24”に設定する ● 3D コンテンツを 4K アップコンバートしたい場合は、“3D 映像視聴設定”を“2D”に設定する “切”： 4K 出力しません。
対象機種 ● BIV-TW1000	切		

項目	設定内容	説明	
HDMI 接続設定	HDMI ディープカラー	自動	接続した HDMI 機器がディープカラーに対応している場合、自動で HDMI 出力端子からの映像信号をディープカラーで出力します。
		切	HDMI 端子からの映像信号をディープカラーで出力しません。
	プログレッシブモード	自動	HDMI 出力端子からプログレッシブで出力する際の最適な出力方法を設定します。 “自動”： 映画などの 1 秒間に 24 フレームで撮影されたフィルム素材を検知し、自動的に最適な状態で出力します。
		ビデオ	“ビデオ”： ドラマやアニメなどのビデオ素材を再生するときの設定です。“自動”設定でブレが生じるときは、この設定にしてください。
	HDMI 音声出力	入 切	HDMI 出力端子から音声を出力するかどうかを設定します。
CEC リンク制御 (p.57)	入	HDMI CEC 対応テレビで本機の CEC リンク制御機能を使うかどうかの設定をします。 ● “入”にすると“待機設定”の設定も自動的に“通常待機”になります。 ● 本機と HDMI CEC 対応テレビを HDMI ケーブルでつなぐと、本機が対応している CEC リンク連動機能を利用できます。(HDMI CEC 対応テレビの取扱説明書もご覧ください。)	
	切		
3D設定	3D映像視聴設定	自動 (3D)	3D 映像で出力します。
		2D	3D 映像を 2D で出力します。 ● ディスクによっては、2D 出力できないものがあります。
	3D奥行き設定	奥———前 (7段階)	3D 映像を出力するときの奥行き感を設定します。
	3D画面表示	入 (サイドバイサイド) 切 (通常)	メニューをサイドバイサイド方式で表示します。 ● サイドバイサイド方式で表示できないメニューがあります。 メニューを通常通りに表示します。
再生設定	音声言語設定 (p.168)	オリジナル	BD / DVD-Video 再生時の音声言語を設定します。 “その他の言語”を選ぶと、4 桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表 (p.169)を参考に、言語コードを入力してください。
		日本語	
		英語	
		その他の言語	
	字幕言語設定 (p.168)	切	BD / DVD-Video 再生時の字幕言語を設定します。 “その他の言語”を選ぶと、4 桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表 (p.169)を参考に、言語コードを入力してください。
		日本語	
		英語	
		その他の言語	
	ディスクメニュー言語設定 (p.168)	日本語	BD / DVD-Video 再生時のディスクのメニューで表示される言語を設定します。 “その他の言語”を選ぶと、4 桁の言語コード入力画面が表示されるので、言語コード一覧表 (p.169)を参考に、言語コードを入力してください。
		英語	
		その他の言語	
	BD 視聴制限レベル ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。 (p.167)	無制限	制限なく、すべてのディスクが視聴できます。
視聴可能年齢設定		年齢入力画面が表示されるので、制限したい年齢を入力してください。入力した年齢を超える制限が設定されているタイトルは視聴することができなくなります。	

いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)・つづき

設定のしかたについては、「本体設定」メニューを使う(p.161)をご覧ください。(■はお買い上げ時の設定です。)

項目	設定内容	説明	
再生設定	DVD 視聴制限レベル ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。 (p.167)	無制限	制限なく、すべてのディスクが視聴できます。
		レベル 8	年齢に関係なく視聴できます。
		レベル 7	18歳未満の方は視聴できません。
		レベル 6	18歳未満の方が視聴するには保護者の指導が必要です。
		レベル 5	保護者同伴での視聴を推奨します。
		レベル 4	13歳未満の方の視聴には不適切な表現が含まれています。
		レベル 3	保護者の方の判断による視聴を推奨します。
		レベル 2	一般的に視聴できる内容です。
	レベル 1	お子様が視聴されても問題のない内容です。	
	可変スキップ (p.117)	5秒	▶を押したときに、何秒スキップさせるかを設定します。
		10秒	
		30秒	
		1分	
		5分	
	可変リプレイ (p.117)	5秒	◀を押したときに、何秒戻すかを設定します。
		10秒	
30秒			
1分			
5分			
アングルアイコン (p.121)	入	“入”に設定しておく、再生中にカメラアングルが切り換え可能な場合で、画面に“  ”が表示されます。	
	切		
JPEG スライドショー (p.123)	5秒	JPEG ファイル(写真)の1枚ごとの表示時間を設定します。	
	10秒		
録画設定	オートチャプター	切	録画中に、自動的にチャプター境界をつけることができます。何分間隔でチャプター境界をつけるかをここで設定します。HDD およびカセット HDD では、“自動”に設定すると、録画する番組の本編と本編以外の変わり目でチャプターを区切ります。(BD-RE / BD-R の録画時は、“自動”は無効になります。)(最大設定可能数は (p.182) をご覧ください。)
		自動	
		5分間隔	
		10分間隔	
		15分間隔	
		20分間隔	
		30分間隔	
	60分間隔		
	EP モード	6時間	録画モードを EP にして録画するとき、標準のサイズで録画します。
		8時間	
	録画アスペクト (Video)	4:3	DVD-RW(Video) / -R(Video)に録画するときの画面の縦横比を4:3で録画します。
		16:9	
	録画音声 (XP)	PCM	録画モード XP で録画するときの音声を、高音質(リニア PCM)で録画します。(二重音声は、“二カ国語音声”で設定されている音声だけが記録されます。)
		Dolby D	
	二カ国語音声	主音声	二重音声(二カ国語)を録画するときの音声を主音声で録画します。
		副音声	
外部入力音声	ステレオ	外部入力(L1)から録画するときの音声をステレオで録画します。	
	二カ国語		外部入力(L1)から二カ国語音声放送を録画するとき、設定します。(設定によって記録される音声については、「外部入力の二重音声を録画すると・・・」(p.83)をご覧ください。)
持ち出し用画質	そのまま持ち出し	録画するときの持ち出し用画質を設定します。	
	1280 x 720(12Mbps)		
	1280 x 720(8Mbps)		
	1280 x 720(6Mbps)		
	1280 x 720(4Mbps)		
	1280 x 720(2.4Mbps)		
	640 x 360(1.5Mbps)		

項目		設定内容	説明	
ネットワーク設定	ネットワーク接続設定 (p.52) 対象機種 ● BIV-TW1000	有線 LAN	LAN ケーブルを使って接続します。	
		無線 LAN	無線 LAN を使って接続します。	
		使用しない	ネットワークを使用しません。	
	ネットワーク接続設定 (p.52) 対象機種 ● BIV-WS1000 ● BIV-WS500	自動設定	自動でネットワーク設定をします。	
		手動設定	手動でネットワーク設定をします。	
	ネットワーク機能設定 (p.56)	ネットワーク機能	使用する	ネットワークを利用した連携機能やスカパー!プレミアムサービス機能を使用するかしないかを設定します。 ● “使用する” の場合、待機設定が “通常待機” になります。
			使用しない	
		ネットワーク録画の録画先	ネットワーク機能を利用して他機から本機へネットワーク録画をするときの録画先メディアを設定します。	
		アクセス制限	本機にアクセスできる機器の設定をします。	
	インターネット接続制限 ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。	制限する	インターネットアクセスの制限をするかしないかを設定します。	
制限しない				
BD-Live 接続設定 ● ご利用いただくにはパスワードの入力が必要です。	有効	BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスを無制限に許可します。		
	有効 (制限つき)	証明書を持つ BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスのみ許可します。		
	無効	BD-Live™ コンテンツからのインターネットアクセスを禁止します。		
ネットワークステータス表示		現在のネットワークの設定を表示します。		
かんたん設定 / その他	かんたん設定		かんたん設定をやり直すことができます。	
	未使用時自動電源オフ	利用しない	電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るまでの時間を設定をします。	
		30分		
		1時間		
		2時間		
		3時間		
		6時間		
	本体表示部設定	常時オン	本体表示部が常に点灯します。	
		常時オフ	本体表示部が常に消灯します。	
		電源連動	本体表示部が電源「入」のときは点灯、電源「切」のときは消灯します。	
テレビ画面保護	入	ホームメニュー画面などを表示中に、操作をしない状態が約 15 分つづいた場合、自動的にテレビ放送画面に戻ります。(音楽用 CD のトラックリストまたは JPEG の “見る” 画面表示中は、スクリーンセーバーが起動します。)		
	切			
待機設定	通常待機	電源「切」時に、消費電力を抑えるかどうかを設定します。 “通常待機”: 起動が速くなりますが、待機時の消費電力が増えます。 “省エネ待機”: 起動に時間がかかりますが、待機時の消費電力が少なくなります。		
	省エネ待機	● “CEC リンク制御” が “入” の場合は、自動的に “通常待機” になります。 ● “ネットワーク機能” が “使用する” の場合は、自動的に “通常待機” になります。 ● “通常待機” のときは本体内部の温度上昇を防ぐため、本体背面の冷却用ファンが回ることがあります。		

いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)・つづき

設定のしかたについては、「本体設定」メニューを使う(p.161)をご覧ください。(■はお買い上げ時の設定です。)

項目	設定内容	説明	
かんたん設定 / その他	高速起動	AM7:00 ~ AM10:00 AM10:00 ~ PM1:00 PM1:00 ~ PM4:00 PM4:00 ~ PM7:00 PM7:00 ~ PM10:00 PM10:00 ~ AM1:00 AM1:00 ~ AM4:00 AM4:00 ~ AM7:00	ここで設定している時間帯に、電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を“待機設定”の“通常待機”設定時よりさらに短縮できます。 ● 最大2つの時間帯を設定することができます。 ● 設定した時間帯は内部の制御部が通電状態になるため、設定していない時間帯と比較して次のような点が異なります。 - 待機時消費電力(電源「切」のときの消費電力)が増えます。 - 本体内部の温度上昇を防ぐため、本体背面の冷却用ファンが回ります。 ● 設定している時間帯は絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。電源プラグをコンセントから抜く場合は、その時間帯の“高速起動”設定を解除して、本機の電源を切ってから抜いてください。
	リモコン設定	本体リモコン設定	本体のリモコンコードを設定します。(p.44)
		テレビリモコン設定	本機のリモコンでテレビを操作できるように設定します。(p.44)
		リモコン不一致表示	本体リモコン設定と異なるリモコンコードを受信した場合、リモコンコードが一致しないメッセージを表示するかどうかを設定します。
	時刻設定		本機の日時を設定します。 ● デジタル放送受信時は自動で時刻を合わせるため、現在の日時を表示するのみで設定変更はできません。
	パスワード変更		BD / DVD-Videoの視聴年齢制限、インターネット接続制限、BD-Live 接続設定のパスワードを変更します。
	ソフトウェアの更新	バージョン情報	現在の本体ソフトウェア(ファームウェア)のバージョンを表示します。
		放送波による自動更新	ソフトウェアの更新方法を設定します。(p.58)
ネットワークによる更新			
自動更新確認			
初期化	BDビデオデータ消去	全てのBDビデオデータ消去 本機に保存されたすべてのBDビデオデータを消去します。 アプリケーションデータ消去 本機に保存されたBDビデオデータの内、アプリケーションデータ(BDビデオのゲームスコア等)を消去します。 バーチャルパッケージ消去 本機に保存されたBDビデオデータの内、バーチャルパッケージ(ダウンロードしたBDビデオの特典映像・音声・字幕等)を消去します。	
	USBメモリ初期化	USBメモリを初期化します。	
	設定項目初期化	“視聴年齢制限設定”、“ネットワーク設定”、“リモコン設定”を除き、“本体設定”メニューを初期値に戻します。	
	ネットワーク設定初期化	“ネットワーク設定”で設定した内容を初期値に戻します。 ● “インターネット接続制限”と“BD-Live 接続設定”は初期化されません。	
	個人情報初期化	本機の設定を工場出荷状態に戻し、電源を切ります。(HDDも初期化され、すべての記録内容が消去されます。) ● 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、“個人情報初期化”を行うことをおすすめします。	

ご注意

- 本機に記憶されたお客様の個人情報(メール、登録情報、ポイント情報など)の一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

BD / DVD-Video の視聴制限を設定するには

BD-Video DVD-Video

- 1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “本体設定” ➡ “再生設定” ➡ “BD視聴制限レベル” または “DVD視聴制限レベル” の順に選び、**決定** を押す

(くわしい操作方法は (p.161) をご覧ください。)
● パスワード入力画面が表示されます。

- 2 **1** ^あ ~ **10** ⁰ を押してパスワード(4桁)を入力する

- 入力した数字は、“*”で表示されます。
- パスワードが未登録の場合は、ここで入力した番号がパスワードとして登録されます。

入力を間違えたときは

- ① ◀で戻るか、▲ / ▼で“全てクリア”を選び、**決定** を押してください。

- 3 ▲ / ▼で変更したい項目を選び、設定内容を変更する

ブルーレイディスクの視聴制限レベル
“無制限” …………… 制限なし
“視聴可能年齢設定” … **1** ^あ ~ **10** ⁰ で年齢入力

DVD の視聴制限レベル
“無制限” …………… 制限なし
“レベル 8” …… 弱 (ほとんどの DVD が再生可能)
↓
“レベル 1” …… 強 (子供用の DVD だけが再生可能)

- 4 変更が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

市販のソフトの視聴制限を一時的に解除する

- ① **1** ^あ ~ **10** ⁰ で、上記で設定したパスワードを入力してください。
- パスワードを入力すると、電源を切るまでの間だけ見ることができます。

パスワードを変更するときは

- 1 **ホーム** を押し、“設定” ➡ “本体設定” ➡ “かんたん設定/その他” ➡ “パスワード変更” の順に選び、**決定** を押す

(くわしい操作方法は (p.161) をご覧ください。)
● パスワード入力画面が表示されます。

- 2 **1** ^あ ~ **10** ⁰ を押して現在のパスワードを入力する

- 入力した数字は、“*”で表示されます。
- 新しいパスワードの入力画面が表示されます。

入力を間違えたときは

- ① ◀で戻るか、▲ / ▼で“全てクリア”を選び、**決定** を押してください。

- 3 **1** ^あ ~ **10** ⁰ を押して新しいパスワードを入力する

- 4 確認用の再入力画面が表示されるので、もう一度入力し、**決定** を押す

- 5 メッセージを確認し、**決定** を押す

- 6 設定が終わったら、**終了** を押して通常画面に戻す

いろいろな設定を変える(本体設定メニュー)・つづき

“本体設定”メニューについての補足説明

■ “映像設定”

“TV 画面選択”

- 4:3 16:9 LB 16:9 PS のように、DVD-Video 側で画面サイズが指定されているときは、本機で画面の種類を選んで、違う種類で表示されることがあります。
- 正しい画面サイズ(画角、画面の縦横比)でハイビジョン映像を見るには
 - 画面サイズを調整できるテレビで、テレビ側で画角を調整してください。

■ “HDMI 接続設定”

“HDMI 解像度設定”

- “HDMI 解像度設定”を“480p”以外に設定して HDMI 接続している場合、本機の映像出力端子からは“16:9”で信号が出力されます。

対象機種: BIV-TW1000

■ “4K アップコンバート出力設定”

- “HDMI 解像度設定”が“自動”または“1080p24”に設定されているときに有効です。

■ “音声設定”

“Dolby D レンジ”

- この機能の効果は、タイトルによって異なります。
“ダウンサンプリング”
- ディスクによっては、“ダウンサンプリング”を“切”に設定していても、強制的に“48kHz”に変換されたり音声デジタル出力されないことがあります。

■ “再生設定”

“音声言語設定” / “字幕言語設定” /

“ディスクメニュー言語設定”

- 言語設定はBD / DVD-Video側の設定が優先され、本機の設定とは異なる言語になることがあります。
- BD / DVD-Videoによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。この場合の操作のしかたは、ディスクソフトの説明書をご覧ください。
- BD / DVD-Video によっては、言語の設定を切り換えられないことがあります。
- 再生中の音声 / 字幕言語の切り換えかたは (p.120) をご覧ください。

■ 言語コード一覧

言語名	画面上の表示	言語コード
Afar	aa	4747
Abkhazian	ab	4748
Afrikaans	af	4752
Amharic	am	4759
Arabic	ar	4764
Assamese	as	4765
Aymara	ay	4771
Azerbaijani	az	4772
Bashkir	ba	4847
Byelorussian	be	4851
Bulgarian	bg	4853
Bihari	bh	4854
Bislama	bi	4855
Bengali; Bangla	bn	4860
Tibetan	bo	4861
Breton	br	4864
Catalan	ca	4947
Corsican	co	4961
Czech	cs	4965
Welsh	cy	4971
Danish	da	5047
German	de	5051
Bhutani	dz	5072
Greek	el	5158
English	英語	5160
Esperanto	eo	5161
Spanish	es	5165
Estonian	et	5166
Basque	eu	5167
Persian	fa	5247
Finnish	fi	5255
Fiji	fj	5256
Faroese	fo	5261
French	fr	5264
Frisian	fy	5271
Irish	ga	5347
Scots Gaelic	gd	5350
Galician	gl	5358
Guarani	gn	5360
Gujarati	gu	5367
Hausa	ha	5447
Hebrew	he	5451
Hindi	hi	5455
Croatian	hr	5464
Hungarian	hu	5467
Armenian	hy	5471
Interlingua	ia	5547
Indonesian	id	5550
Interlingue	ie	5551
Inupiak	ik	5557
Icelandic	is	5565
Italian	it	5566
Japanese	日本語	5647
Javanese	jav	5668








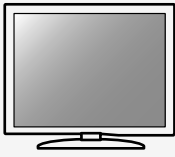










言語名	画面上の表示	言語コード
Georgian	ka	5747
Kazakh	kk	5757
Greenlandic	kl	5758
Cambodian	km	5759
Kannada	kn	5760
Korean	ko	5761
Kashmiri	ks	5765
Kurdish	ku	5767
Kirghiz	ky	5771
Latin	la	5847
Lingala	ln	5860
Laothian	lo	5861
Lithuanian	lt	5866
Latvian; Lettish	lv	5868
Malagasy	mg	5953
Maori	mi	5955
Macedonian	mk	5957
Malayalam	ml	5958
Mongolian	mn	5960
Moldavian	mo	5961
Marathi	mr	5964
Malay	ms	5965
Maltese	mt	5966
Burmese	my	5971
Nauru	na	6047
Nepali	ne	6051
Dutch	nl	6058
Norwegian	no	6061
Occitan	oc	6149
(Afan)Oromo	om	6159
Oriya	or	6164
Panjabi	pa	6247
Polish	pl	6258
Pashto; Pushto	ps	6265
Portuguese	pt	6266
Quechua	qu	6367
Rhaeto-Romance	rm	6459
Kirundi	rn	6460
Romanian	ro	6461
Russian	ru	6467
Kinyarwanda	rw	6469
Sanskrit	sa	6547
Sindhi	sd	6550
Sangho	sg	6553
Serbo-Croatian	sh	6554
Singhalese	si	6555
Slovak	sk	6557
Slovenian	sl	6558
Samoan	sm	6559
Shona	sn	6560
Somali	so	6561
Albanian	sq	6563
Serbian	sr	6564
Siswat	ss	6565

言語名	画面上の表示	言語コード
Sesotho	st	6566
Sundanese	su	6567
Swedish	sv	6568
Swahili	sw	6569
Tamil	ta	6647
Telugu	te	6651
Tajik	tg	6653
Thai	th	6654
Tigrinya	ti	6655
Turkmen	tk	6657
Tagalog	tl	6658
Setswana	tn	6660
Tonga	to	6661
Turkish	tr	6664
Tsonga	ts	6665
Tatar	tt	6666
Twi	tw	6669
Ukrainian	uk	6757
Urdu	ur	6764
Uzbek	uz	6772
Vietnamese	vi	6855
Volapuk	vo	6861
Wolof	wo	6961
Xhosa	xh	7054
Yiddish	yi	7155
Yoruba	yo	7161
Chinese	zh	7254
Zulu	zu	7267

参考資料

アスペクト比(画面比)について

アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比で、4:3放送とワイド放送があります。放送の収録時にはこれらの異なるアスペクト比の素材が存在し、テレビ側でこのアスペクト比を変換して表示しています。

接続するテレビ	「TV 画面選択」	画面の見えかた (上:4:3放送の場合、下:ワイド放送の場合)
 16:9のテレビ	「4:3レターボックス」	 画面全体に表示します。
		 上下方向に黒い帯を表示します。
	「4:3パンスキャン」	 画面全体に表示します。
		 左右を一部カットして表示します。
	「16:9ワイド」	 画面全体に表示します。
		 入力信号通りのアスペクト比で表示します。
 4:3のテレビ	「16:9シュリンク」	 4:3を維持して、縮小表示します。
		 入力信号通りのアスペクト比で表示します。
	「4:3レターボックス」	 入力信号通りのアスペクト比で表示します。
		 上下方向に黒い帯を表示します。
	「4:3パンスキャン」	 入力信号通りのアスペクト比で表示します。
		 左右を一部カットして表示します。
	「16:9ワイド」	 入力信号通りのアスペクト比で表示します。
		 16:9を4:3に縮小表示します。
「16:9シュリンク」	 縮小表示します。	
	 16:9を4:3に縮小表示します。	

メモ

- HDMI 端子から 720p/1080i/1080p/1080p24 で出力している場合は、「TV 画面選択」設定にかかわらず、16:9シュリンク設定のみ有効です。
- 市販のディスクソフト再生時は、設定に関わらず、4:3パンスキャンでも、4:3レターボックスとして表示されることがあります。
- 放送内容や再生するタイトルによっては、この表のとおり映像が表示されない場合があります。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに日立マクセルまたは第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます。))に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。

ホームページアドレス

http://support.maxell.co.jp/consumer_contact/detail.php?goods=ivrecorder
また、本機のソフトウェアコンポーネントには、本機用に開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。

なお、「EULA」の適用を受けない本機用に作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客

様がお自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is" (現状) の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけず、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、日立マクセルは一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます。(データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません。) 当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただくかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文

Program name	EULA	Program name	EULA	Program name	EULA	Program name	EULA
linux	Exhibit A	glibc	Exhibit B	universalchardet	Exhibit D	LibJPEG	Exhibit F
busybox	Exhibit A	gmp	Exhibit B	expat	Exhibit E	Open SSL	Exhibit F
dhcpcd	Exhibit A	libexif	Exhibit B	giflib	Exhibit E	Vera Fonts	Exhibit F
wpa_supplicant*	Exhibit A	FLAC	Exhibit C	libxml2	Exhibit E	TIFF	Exhibit F
e2fsprogs	Exhibit A	Tremor	Exhibit C	cURL	Exhibit E		
directfb	Exhibit B	Oniguruma	Exhibit C	Free Type	Exhibit F		

* BIV-TW1000のみ

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、上記のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は日立マクセル以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

- Reverse engineering, disassembling, decompiling, dismantling, or otherwise attempting to analyze or modify the software included in this product is prohibited.

Exhibit A

GPL

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program"; below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on

参考資料・つづき

each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For

example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW, EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.
Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are

welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c` for details.

The hypothetical commands `show w` and `show c` should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w` and `show c`; they could even be mouse-clicks or menu items—whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program "Gnomovision" (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Exhibit B

LGPL

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this,

non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License,

参考資料・つづき

version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and

distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
- Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW, EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT

LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C)
<year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

BSD
Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit D

MPL

MOZILLA PUBLIC LICENSE
Version 1.1

1. Definitions.

- 1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.
- 1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.
- 1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.
- 1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.
- 1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.
- 1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.
- 1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.
- 1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.
- 1.8. "License" means this document.
- 1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.
- 1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:
 - A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.
 - B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant.
The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

- (a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and
- (b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant.

Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

参考資料・つづき

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters

(a) Third Party Claims.

If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.

If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.

Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section

3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.

Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.

If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABILITY, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A - Mozilla Public License.

"The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is _____.

The Initial Developer of the Original Code is _____.
Portions created by _____ are Copyright (C) _____
_____. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[] License"), in which case the provisions of [] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [] License."

[NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the text of the notices in the Source Code files of the Original Code. You should use the text of this Exhibit A rather than the text found in the Original Code Source Code for Your Modifications.]

Exhibit E

MIT

Copyright (c)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

glib

The GLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

参考資料・つづき

Exhibit F

Free Type

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

```
====
Portions of this software are copyright© <year> The FreeType Project (www.freetype.
org). All rights reserved.
=====
```

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'. This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

- freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

<http://www.freetype.org>

LibJPEG

LEGAL ISSUES

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)

So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The UG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
 "The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

Open SSL
 LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/*
-----
Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
```

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
 "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgment:
 "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed, i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]
 */

Vera Fonts

Copyright
 Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a trademark of Bitstream, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license ("Fonts") and associated documentation files (the "Font Software"), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words "Bitstream" or the word "Vera".

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the "Bitstream Vera" names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS"; WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of GNOME, the GNOME Foundation, and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the GNOME Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts at gnome dot org.

SQLite Copyright

All of the deliverable code in SQLite has been dedicated to the public domain by the authors. All code authors, and representatives of the companies they work for, have signed affidavits dedicating their contributions to the public domain and originals of those signed affidavits are stored in a fire safe at the main offices of Hwaci. Anyone is free to copy, modify, publish, use, compile, sell, or distribute the original SQLite code, either in source code form or as a compiled binary, for any purpose, commercial or non-commercial, and by any means.

The previous paragraph applies to the deliverable code in SQLite - those parts of the SQLite library that you actually bundle and ship with a larger application. Portions of the documentation and some code used as part of the build process might fall under other licenses. The details here are unclear. We do not worry about the licensing of the documentation and build code so much because none of these things are part of the core deliverable SQLite library.

All of the deliverable code in SQLite has been written from scratch. No code has been taken from other projects or from the open internet. Every line of code can be traced back to its original author, and all of those authors have public domain dedications on file. So the SQLite code base is clean and is uncontaminated with licensed code from other projects.

Obtaining An Explicit License To Use SQLite

Even though SQLite is in the public domain and does not require a license, some users want to obtain a license anyway. Some reasons for obtaining a license include:

- You are using SQLite in a jurisdiction that does not recognize the public domain.
- You are using SQLite in a jurisdiction that does not recognize the right of an author to dedicate their work to the public domain.
- You want to hold a tangible legal document as evidence that you have the legal right to use and distribute SQLite.

参考資料・つづき

Your legal department tells you that you have to purchase a license.

If you feel like you really have to purchase a license for SQLite, Hwaci, the company that employs the architect and principal developers of SQLite, will sell you one.

Contributed Code

In order to keep SQLite completely free and unencumbered by copyright, all new contributors to the SQLite code base are asked to dedicate their contributions to the public domain. If you want to send a patch or enhancement for possible inclusion in the SQLite source tree, please accompany the patch with the following statement:

The author or authors of this code dedicate any and all copyright interest in this code to the public domain. We make this dedication for the benefit of the public at large and to the detriment of our heirs and successors. We intend this dedication to be an overt act of relinquishment in perpetuity of all present and future rights to this code under copyright law.

We are not able to accept patches or changes to SQLite that are not accompanied by a statement such as the above. In addition, if you make changes or enhancements as an employee, then a simple statement such as the above is insufficient. You must also send by surface mail a copyright release signed by a company officer. A signed original of the copyright release should be mailed to:

Hwaci
6200 Maple Cove Lane
Charlotte, NC 28269
USA

A template copyright release is available in PDF or HTML. You can use this release to make future changes.

zlib

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.7, May 2nd, 2012

Copyright (C) 1995-2012 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

*/

libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.4.4, September 23, 2010, are Copyright (c) 2004, 2006-2010 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31)" and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
23-Sep-10

仕様

モデル名	BIV-TW1000	BIV-WS1000	BIV-WS500
一般			
電源	AC 100 V 50 / 60 Hz		
消費電力	29 W	26 W	24 W
年間消費電力量	24 kWh / 年	22 kWh / 年	20 kWh / 年
許容動作温度	5 ~ 40 °C		
許容湿度	80%最大(結露なきこと)		
外形寸法	430(幅) × 55.9(高さ) × 277.7(奥行) mm(突起部含む)	430(幅) × 55.9(高さ) × 271.2(奥行) mm(突起部含む)	
質量	3.0 kg		2.6 kg
HDD / ブルーレイディスク部			
録画方式(ブルーレイディスク)	Blu-ray Disc™ Rewritable Format 準拠、Blu-ray Disc™ Recordable Format 準拠		
録画方式(DVD)	DVD ビデオレコーディング規格準拠、DVD ビデオ規格準拠、AVCREC™ 規格準拠		
内蔵 HDD 容量	1 TB		500 GB
録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC / H.264		
録音圧縮方式	ドルビーデジタル、リニア PCM (非圧縮)、MPEG-2 AAC、MPEG-1 audio layer 2		
録画可能ディスク	「本機で使えるメディアについて」(p.70) をご覧ください。		
録画時間	「録画モード(画質)とおよその録画時間について」(p.81) をご覧ください。		
再生可能ディスク	「本機で使えるメディアについて」(p.70) をご覧ください。		
リージョンコード	ブルーレイディスク: Region A DVD: #2		
チューナー部			
受信チャンネル	地上デジタル	: VHF (1 ~ 12)、UHF (13 ~ 62)、CATV (C13 ~ C63)	
	BS デジタル	: BS000 ~ BS999 チャンネル	
	110 度 CS デジタル	: CS000 ~ CS999 チャンネル	
端子部			
映像入力	ピンジャック 1.0 V (p-p) 75 Ω × 1		
映像出力	ピンジャック 1.0 V (p-p) 75 Ω × 1		
HDMI 出力	HDMI 端子 19 ピン Type A × 1		
音声入力	ピンジャック 2 V (rms) 47 k Ω 不平衡 × 1		
音声出力	ピンジャック 2 V (rms) 1.0 k Ω 不平衡 × 1		
デジタル音声出力	光コネクタ 角型光ジャック × 1		
SD カードスロット	SD カード、SDHC カード、SDXC カード対応 (miniSD カード、microSD カードは専用のアダプター装着で使用可能) × 1		
USB 端子	USB2.0 準拠 Type A DC5 V 最大 500 mA × 1		
iVDR スロット	iVDR コネクタ(SATA 仕様) 26 ピン		
	× 2	× 1	
LAN (10 / 100)	10 BASE-T / 100 BASE-TX × 1		
地上デジタル入出力	75 Ω F 型コネクタ × 1		
BS・110 度 CS 入出力	75 Ω F 型コネクタ(入力側のみ最大 DC15 V、4 W) × 1		

仕様・つづき

無線 (BIV-TW1000 のみ)

規格	IEEE 802.11 a/b/g/n ※ J52 は非対応 ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯)
伝送方式	IEEE 802.11b: DSSS (DBPSK、DQPSK、CCK) IEEE 802.11a/g: OFDM (BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM) IEEE 802.11n: OFDM (BPSK、QPSK、16-QAM、64-QAM)
周波数範囲	2.412 ~ 2.472GHz (Subject to Local Regulations) 5.180 ~ 5.700GHz (Subject to Local Regulations)
動作モード	インフラストラクチャーモード (アドホックモードは対応していません。)
セキュリティ	WEP 64bit/128bit、WPA、WPA2

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

- メディアの容量は、1GB=10 億バイト、として計算しています。
- デジタル放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について
 - ・ 地上デジタル (HD 放送) : 17Mbps
 - ・ BS デジタル (HD 放送) : 24Mbps
 - ・ BS デジタル (SD 放送) : 12Mbps

最大録画可能数／登録数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。

最大録画可能数／登録数は、使用状況や、記録する内容等により、下記の数値より少なくなることがあります。

HDD	DVD-RW (AVCREC™) / -R (AVCREC™)
● フォルダ数 (“すべて” フォルダを含む)	100
● タイトル数	2,000
● 1 タイトルあたりのチャプター数	999
カセット HDD	DVD-RW (Video) / -R (Video)
● フォルダ数 (“すべて” フォルダを含む)	100
● タイトル数	999
(他機で作成したカセット HDD については 2,000 タイトルまで再生可)	
● 1 タイトルあたりのチャプター数	255
BD-RE / -R	その他
● タイトル数	● 録画予約数
● 1 タイトルあたりのチャプター数	● ダビングリストのタイトル登録数
● ディスク全体のチャプター数	● 1 番組あたりの連続録画可能時間
DVD-RW (VR) / -R (VR)	● タイトル名 / ディスク名 / フォルダ名 / カセット HDD 名は全角で 40 文字、半角 80 文字まで (DVD-RW (VR) / DVD-R (VR) は全角 32 文字、 半角 64 文字まで)
● タイトル数	99
● ディスク全体のチャプター数	999

ご注意

- カセット HDD、BD-RE / -R、DVD-RW / -R にダビングする場合、各メディアの最大チャプター数以降のチャプターは削除されます。

■ 補修用性能部品の保有期間について

- iVDR スロット搭載ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 7 年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

困ったときは

よくあるご質問

■ 準備

質問	回答	参照ページ
ヘッドホンやスピーカーを直接つなげますか？	● 本機には直接つなぐことはできません。アンプなどを通して接続してください。	—
ハイビジョン映像を楽しむには、どんなテレビが必要ですか？	● HDMI 端子付きのテレビと HDMI ケーブルでつないでください。	29

■ メディア

質問	回答	参照ページ
本機で使えるディスクは？	● 「本機で使えるメディアについて」をご覧ください。	70
本機で録画や再生が可能なディスクは？		
高速記録対応ディスクとは？	● 通常よりも短時間でダビングできるディスクのことです。高速で録画ができるのは、高速ダビングのときだけです。	142
DVD の録画方式 (AVCREC™ 方式、VR 方式、Video 方式) とは？	● DVD-RW / DVD-R に録画するときに選べる録画方式のことです。	77
AVCREC™ 方式、VR 方式、Video 方式はどのように使い分けるのですか？	● 「DVD の録画方式 (AVCREC™、VR、Video) について」をご覧ください。	77
1 枚のディスクに AVCREC™ 方式、VR 方式、Video 方式を混在させて録画できますか？	● 本機では対応していません。ディスクごとに録画方式を選択してください。	—
市販のディスクソフトの 2 層ディスクの再生はできますか？	● 再生できます。	—
+ RW / + R の録画・再生はできますか？	● 本機では対応していません。	70
DVD オーディオ、CD-ROM、ビデオ CD は再生できますか？	● 本機では対応していません。	—
パソコンで作った BD・DVD・音楽用 CD は再生できますか？	● 本機では対応していません。	73
MP3 方式で記録されたディスクは再生できますか？	● 本機では対応していません。	73

■ 番組表 (G ガイド)

質問	回答	参照ページ
番組表 (G ガイド) を使った録画予約には、どのような特徴がありますか？	● 番組表 (G ガイド) から簡単に録画予約をしたり、番組の詳細情報を知ることができます。また、ジャンルやカテゴリから関連番組を探すこともできます。 ● 自動追跡録画に対応しています。 ● “見る” 画面に番組名が自動的に入ります。	94 ~ 99 99 —
番組表 (G ガイド) は、何日分まで表示できますか？	● 最大 8 日分まで表示できます。	—
番組表 (G ガイド) の利用料金はかかりますか？	● 利用料金はかかりません。	—
番組表 (G ガイド) は日本全国で利用できますか？	● 番組データの内容は地域ごとに異なるため、利用するためにはそれぞれの地域で番組データを取得する必要があります。	51
番組表 (G ガイド) を CATV (ケーブルテレビ) で利用できますか？	● できる場合とできない場合があります。詳しくはご利用の CATV (ケーブルテレビ) 会社にご相談ください。	30、59

困ったときは・っづき

■ 録画

質問	回答	参照ページ
二カ国語放送の主音声と副音声の両方を録画するには？	● 「二カ国語(二重音声)、マルチ番組の映像・音声、サラウンド音声、字幕の録画について」をご覧ください。	83
字幕の録画はできますか？	● できます。	83
デジタル放送は録画できますか？	● HDD、カセットHDD、BD-RE / -Rは直接録画できます。(録画モードをTS、AF～AEに設定した場合のみ) DVD-RW / -Rには、一度HDDに録画してから CPRM 対応の DVD-RW(VR) / DVD-R(VR) や DVD-RW (AVCREC™) / DVD-R (AVCREC™) にダビングしてください。	70,80,81
デジタル放送をハイビジョン画質(HD放送)で録画できますか？	● HDD、カセットHDD、BD-RE / -Rは直接録画できます。(録画モードをTS、AF～AEに設定した場合のみ) DVD-RW / -Rには、一度HDDに録画してから CPRM 対応の DVD-RW (AVCREC™) / DVD-R (AVCREC™) にダビングしてください。	70,80,81
デジタル放送のラジオ放送やデータ放送は録画できますか？	● 本機では録画できません。	63
複数番組同時録画はできますか？	● できます。(ディスクへの複数番組同時録画はできません。)	88、85
「ダビング10(コピー9回+移動1回)」番組の録画はできますか？	● できます。	80

■ 予約

質問	回答	参照ページ
録画予約が重なった場合は、どちらが優先されるのですか？	● 「予約が重なったときは」をご覧ください。	109
電源を入れたまま予約録画の開始時間になった場合は？	● 電源の入/切にかかわらず、予約録画は始まります。	108

■ 再生

質問	回答	参照ページ
ブルーレイ 3D™ ディスクが 3D 映像で再生されない。	● 本機と 3D 映像対応テレビを high speed HDMI ケーブルで接続していますか？ ● “3D 映像視聴設定” が “2D” になっていませんか？	29 163
海外で買った BD-Video は再生できますか？	● リージョンコードに「A」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC 方式以外 (PAL、SECAM など) で記録されている場合は再生できません。	71
海外で買った DVD-Video は再生できますか？	● リージョンコードに「2」または「ALL」を含んでいれば再生できます。ただし、NTSC 方式以外 (PAL、SECAM など) で記録されている場合は再生できません。	71
本機で録画やダビングしたディスクを、他の機器で再生するにはどうすればよいでしょうか？	● ファイナライズをすると、対応しているプレーヤーなどで再生できます。記録状態や再生側の機器によっては再生できないことがあります。	140

■ 編集・ダビング

質問	回答	参照ページ
どんな編集ができますか？	● メディアによって、編集できる機能が異なります。「本機でできる編集について」をご覧ください。	127
ファイナライズを解除すると何ができますか？	● すでに録画された内容を消さずに、追加でダビングや消去・編集ができるようになります。(本機でファイナライズした DVD-RW (VR) のみ)	140

■ 編集・ダビング(つづき)

質問	回答	参照ページ
市販やレンタルのソフトからダビングできますか?	● コンテンツ保護のためにコピーガードが入っているものは、ダビングできません。	145
本機でダビング中に録画や再生はできますか?	● 高速ダビング時は以下の操作はできません。 - JPEG ファイル(写真)の再生 - ディスクへのダビング中に、ディスクの再生 - 移動中に移動元のメディア(HDD /ブルーレイディスク/カセットHDD)の再生 - 録画 による録画(予約録画はできます。) ● 等速ダビング時は、録画や再生はできません。(開始時間が近い録画予約がある場合は、等速ダビングを開始できません。)	86 86
ホームネットワーク上の機器から本機にダビングできない 本機からホームネットワーク上の機器へダビングできない	● 本機やダビング先の機器にブルーレイディスクやDVD(AVCREC フォーマットやVR フォーマット)が入っている場合は、ダビングできないことがあります。 ● ダビング先の機器によっては、一部のドライブにダビングできない場合があります。 ● 接続機器から本機にダビングをする場合、ディスクへはダビングできません。	- - -

■ ネットワーク

質問	回答	参照ページ
端末機器と接続できない	● 端末機器と本機が、同じホームネットワークと接続されていますか? 同一サブネットに端末機器が接続されていないと、アプリケーションを使うことができません。端末機器と本機の接続や設定をご確認ください。	-
外部入力から録画した映像を持ち出したい	● 外部入力の映像を持ち出し用に変換することはできません。	-
ライブ配信で視聴中に、突然番組が見られなくなった	● 録画中などは、ライブ配信で番組を視聴することができません。	-
ライブ配信でチャンネル切り換えに時間がかかる	● 本機で録画した映像を端末機器に配信するため、ライブ配信のチャンネル切り換えには時間がかかりますが、故障ではありません。	-


■ その他

質問	回答	参照ページ
日本全国どこでも使えますか? 海外でも使えますか?	● 本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使えません。	-
VTR との違いは?	● HDD に録画すれば長時間番組も録画できます。 ● HDD、カセットHDD、ディスクに録画する場合は、ビデオテープのように上書き録画されるのではなく、未記録部分に録画されます。不要になったら、削除することも可能です。 ● 見たいところまでとばすのに時間がかかりません。(ビデオテープのように早送り/巻戻しをする必要はありません。) ● パソコンのように、電源を入れてから使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	- - - -

困ったときは・つづき

こんなメッセージが表示されたときは

■ 操作全般

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
	● 現在、その操作を行うことは禁止されています。	61
まもなくオートオフ機能により電源が切れます。	● “未使用時自動電源オフ”が設定されているため、まもなく電源が切れます。 → 何らかの操作をすると、電源「入」状態が継続します。	165
	● “未使用時自動電源オフ”を無効にするときは、“本体設定”メニューの“かんたん設定 / その他” - “未使用時自動電源オフ”の設定を“利用しない”にしてください。	165
ダビング中にこの操作はできません。	● 現在ダビング中のため、その操作を行うことは禁止されています。	86、185
まもなくディスクへの予約録画を開始します。 ディスクへ録画できない場合、録画先を HDD に変更します。	● まもなくディスクへの予約録画を開始します。 ディスクへ録画できない場合、録画先を HDD に変更します。(代理録画)	70、80、108
まもなく iVDR への予約録画を開始します。 iVDR へ録画できない場合、録画先を HDD に変更します。	● まもなくカセット HDD への予約録画を開始します。 カセット HDD へ録画できない場合、録画先を HDD に変更します。(代理録画)	70、80、108

■ メール

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
ホームメニューからメールを確認してください。	● 新着のお知らせがあります。 → メールの内容を確認してください。	160

■ ディスク・USB 機器・カセット HDD

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
ディスクを取り出してください。このディスクは再生することができません。	● 本機で対応できないディスクが挿入されたか、傷や汚れのあるディスクが挿入されています。 → ディスクを取り出して傷や汚れなどがないか確認してください。	76
リージョンエラー。この地域での再生は禁止されています。	● 本機で再生できないリージョンコードのディスクが挿入されています。 → ディスクを取り出してください。	71
USB 機器を確認してください。USB 機器を取り外してください	● USB 機器から写真の再生中または映像取り込み(ダビング)中に、USB 機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 → USB ケーブルの接続をはずしてください。メッセージが消え、本機が操作できるようになります。	79
この iVDR は初期化されていない iVDR か、または、再生及び録画ができない iVDR です。録画できるようにするには初期化が必要です。 初期化しますか?	● 本機で初期化していないカセット HDD が挿入されています。 ● 初期化してください。(カセット HDD 内の内容はすべて消去されます。)	75 75、141

■ 録画

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。	● 本機の動作を安定させるために、録画などの動作が停止された可能性があります。動作が改善されない場合、p.188の手順 2 を試してください。(それでも動作が改善されない場合、HDD の異常が原因の可能性があります。)	188
録画、またはダビングが禁止された番組です	● 「録画禁止」番組を録画することはできません。	80
残量不足により録画を中断しました。	● HDD、カセットHDD またはディスクの残量がなくなつたため、録画を中断しました。	—
録画時間が8時間を超えたため、録画を停止しました。	● 連続録画時間が8時間になったため、録画を停止しました。 ● 1番組あたりの連続録画可能時間は最大8時間です。	—
セキュア非対応のiVDRのため、この番組は録画できません。	● セキュア非対応カセットHDDに「1回だけ録画可能」や「ダビング10」のデジタル放送番組を録画しようとした場合に表示されます。 → コピー制限付き番組の録画を行う場合はセキュア対応カセットHDD「iVDR-S」をご使用ください。	72

■ 予約

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
HDDの残量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合、最後まで録画できません。	● HDD、カセットHDD、またはディスクの残量が不足しています。 → 決定 を押してメッセージを消したあと、 DISC 、 HDD または iVDR を押して録画先メディアを選び、 残量 を押して空き容量を確認してください。	87
ディスクの残量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。	● 不要なタイトルを削除して空き容量を増やしてください。	130、132
iVDRの残量が不足しています。 録画開始時に容量が確保されていない場合、HDDに空き容量があればそちらに代理録画されます。		
予約登録数がいっぱいなので予約登録できません。	● 録画予約の登録数が上限に達したので、不要な予約を削除してください。	103、182
番組情報を変更されました。	● 録画予約済み番組の情報が更新されたため、予約内容を更新しました。(自動追跡)	99

■ 消去・編集・ダビング

表示されるメッセージ(例)	メッセージの意味と対応のしかた	参照ページ
本機を安定させるため、現在の動作を終了しました。	● ディスクに傷や汚れがあると、編集が正常に完了しない場合があります。 → 決定 を押して通常画面に戻したあと、ディスクを取り出して傷や汚れなどがいないか確認してください。	—
この番組(またはディスク)は保護されているため、ダビングできません。	● 「移動」になるタイトルやディスクが保護されているときは、ダビングができません。 → タイトルやメディアの保護を解除してください。	135、139
この番組はすでに登録しているため、選択できません。	● 「移動」になるタイトル、または「ダビング10」タイトルは、ダビングリストに一度しか登録できません。	—
最大登録数を超えるため、選択できません。	● ダビングリストの登録タイトル数がいっぱいになっています。 ● ダビングリストに登録できるタイトル数は最大36タイトルです。	149 182
8時間を超える番組は、ダビングできません。	● 8時間を超えるタイトルは、ダビングできません。	—

困ったときは・つづき

あれ?おかしいな?と思ったときは、修理を依頼される前に以下の手順でお調べください。

- アンテナ、テレビ、AV アンプなど、接続している機器の取扱説明書もよくお読みください。

おかしいな?と思ったときの調べかた

- 1 まずは、次ページからの「こんなときは(症状) - ここをお調べください(原因と対応のしかた)」をご覧ください、現在の症状と対応のしかたをお調べください。

それでも直らないときは



- 2 保護装置*がはたらいている可能性があります。次の操作を行ってください。

ディスクや SD カード、USB 機器、カセット HDD が取り出せる場合は、先に取り出しておいてください。

- ① 本機の電源を切ることができる場合は、本体上面の [電源] ボタンを押して本機の電源を切る ([電源] ボタンを 8 秒以上長押しすると、強制的に電源を切ります。)
- ② 本機の電源プラグを電源コンセントから抜いて、数秒間待つ
- ③ 本機の電源プラグを再度電源コンセントに差し込む (本機が通電状態になります。)
- ④ 電源を入れて、動作を確認する

それでも、まだ不具合があるときは




- 3 本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、当社お客様ご相談センターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。



※ 保護装置



- 本機では、機器内部に何らかの異常を検知した場合、保護のために強制的に電源を切る仕組みになっています。

■ 電源

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードのプラグが電源コンセントや本体から抜けていませんか？ ● リモコンの乾電池が消耗していませんか？ ● 保護装置がはたらいている可能性があります。 → 「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。 	38 39 188
電源を切っているのに本機が勝手に動作する	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組表(Gガイド)の番組データを受信中、または録画モードを変換中です。(本体表示部に“”が表示されます。) ● 本体ソフトウェア更新中(本体前面のHDD(選択メディアランプ)が点滅)です。 ● 予約録画が始まると本体前面の録画ランプが赤色で点灯します。 	59、138 58 108
電源を入れたと、“かんたん設定”画面が表示される。	● “かんたん設定”をしていないときは、電源を入れたと“かんたん設定”画面が表示されます。	40
テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れる。本機の電源を入れたと、テレビの電源も自動的に入る。	● CECリンク制御対応テレビと組み合わせてテレビの電源とのオン/オフ連動機能を使っているときは、テレビの電源と本機の電源が連動して自動的に入/切します。(お使いのテレビによっては、自動的に電源が「入」にならないものもあります。)	57
勝手に電源が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● “未使用時自動電源オフ”機能が設定されていませんか？ ● 保護装置がはたらいている可能性があります。 → 「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。 	165 188
電源を切っても、電源がしばらく切れなかったり、切れるまで時間がかかる。	● システムの終了や情報の更新を行うため、実際に電源が切れるまで、しばらく時間がかかることがあります。	—
電源を切ったあと、2時間ほど冷却ファンが回ったままになる。	● デジタル放送の有料放送と契約した場合、しばらくの期間は放送局側からの制御により本機の内部の制御部が通電状態となり、ファンが回転し続けることがあります。	—

■ 本機の操作全般、ディスク

● 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります


こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
本機が動かない。 本機の操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● その操作が禁止されているときは、“”またはメッセージが表示されます。 ● 本体とリモコンのリモコンコードが合っていますか？ ● リモコンの乾電池が消耗していませんか？ ● ご購入後に初めて電源を入れたときは“かんたん設定”画面が表示されます。 ● “かんたん設定”実行中は、録画・再生などの操作はできません。 ● 保護装置がはたらいている可能性があります。 → 「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。 ● HDDに記録されているタイトル数が多いと、その分、本機の電源プラグを挿し直した際の起動に時間がかかります。 	61 44 39 40 — 188 —
HDDの操作ができない。	● 操作先がHDD(本体前面のHDD(選択メディアランプ)が点灯)になっていますか？	23
ディスクの操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作先がディスク(本体前面のDISC(選択メディアランプ)が点灯)になっていますか？ ● ディスクを入れていますか？ ● ディスクによっては、本機では再生速度の切り換えなどができない場合があります。 	23 76 —
ディスクトレイの開閉ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ダビングリスト表示中などは、トレイ開閉できない場合があります。 ● 本機で使用できないディスクを本機に入れた場合は、トレイの開閉ができなくなる場合があります。 → 本体上面の[電源]ボタンを8秒以上長押しして電源を切り、リモコンので電源を入れてください。それでも直らないときは、「おかしいな?と思ったときの調べかた」の手順 2 以降を行ってください。 	— 188
ディスクトレイがしばらく出てこない、出てくるまで時間がかかる。	● 情報を更新するため、トレイが開くまでしばらく時間がかかります。	—
ディスクを入れてから、しばらく操作ができない。	● ディスクの認識と情報の読み込みを行うため、ディスクが実際に使用可能になるまでしばらく時間がかかります。	—

困ったときは・つづき

■ 本機の操作全般、ディスク（つづき）

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
本機の設定画面やサブメニューが選べない。表示されない項目がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定や項目の操作ができないときは、選べない場合や、表示されない場合があります。 ● テレビの入力切替が、本機を接続した入力に設定されていますか？ 	62 —
本機が正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 露付きが起きていませんか？ → 電源を入れたまま、2時間以上お待ちください。 	17
SDカードの操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカードを入れていますか？ ● SDカードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか？ 	78 78
USB機器の操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で対応しているUSB機器を接続していますか？ ● USBケーブルがしっかり差し込まれていますか？ 	74 79
USB機器の内容が読めない	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画中、再生中、ダビング中などにUSB機器を接続したときは、認識されないことがあります。 	—
USB機器をつないでいて、途中から本機の操作ができなくなった	<ul style="list-style-type: none"> ● USB機器から写真の再生中または映像取り込み（ダビング）中に、USB機器接続に異常が発生し、本機の操作ができなくなっています。 → USBケーブルの接続をはずして、再度つないでみてください。 	79


■ 視聴、チャンネル切換

こんなときは（症状）	ここをお調べください（原因と対応のしかた）	参照ページ
テレビに本機の映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ本機—テレビを接続していますか？ ● ケーブルやコードを違う端子（入力／出力も含む）につないでいませんか？ ● ケーブルやコードがはずれたり、抜けかかったりしていませんか？ ● 本機とテレビをHDMIケーブルで接続したときは、“HDMI解像度設定”の設定が合っていないと、正常に映りません。 → を5秒以上押し続けてください。設定が“自動”になり、映るようになります。 ● “HDMI解像度設定”が“自動”または“1080p24”の場合、映像出力端子（黄）から映像が出力されない場合があります。 → HDMIケーブルを抜いてください。（テレビと接続するときは、HDMIケーブルまたは映像・音声接続コードのどちらかですつないでください。） ● 3D再生中は、映像出力端子（黄）から映像が出力されない場合があります。 ● テレビの入力切替が、本機を接続した入力に設定されていますか？ 	27～31 27～31 27～31 162 162 — —
本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった。	<ul style="list-style-type: none"> ● 分配器を使っていませんか？市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ● 本機の電源コードを、常に電源コンセントに差し込んで、通電状態にしておいてください。 ● アンテナ線とHDMIケーブル、LANケーブルなどの距離を離してください。 ● “共通設定”の“アンテナ出力”が“切”になっていませんか？この設定が“切”になっていると、本機の電源が切れている間は、地デジ、BS・110度CSデジタル放送アンテナ信号を送ることができません。 	— 38 — 47
地上デジタル放送が映らない、映りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ線を地上デジタル放送用の端子につないでいますか？また、UHFアンテナ、アンテナケーブルなどは、デジタル放送対応のものを使っていますか？ ● 地上デジタル放送のチャンネル設定の再スキャンを行ってください。 ● 地上デジタル放送の受信電波が弱い場合でも強すぎる場合でも受信レベルが下がり、“放送受信設定”の“アンテナレベル”の数値が低くなります。アンテナレベルの数値は、「20」以上を目安にしてください。 ● 地上デジタル放送の受信電波が強すぎて映りが悪くなる場合は、“放送受信設定”の“アッテネーター”の設定を“入”にすると、映りが改善されることがあります。 ● miniB-CASカードを正しい向きで奥まで（止まるまで）差し込んでいますか？ ● 分配器を使っていませんか？市販のブースターなどを使うと改善されることがあります。効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	27、28、30、31 45 48、68 48 38 —

■ 視聴、チャンネル切替 (つづき)

こんなときは (症状)	ここをお調べください (原因と対応のしかた)	参照ページ
BS・110度CSデジタル放送が映らない、映りが悪い、音声がノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナ線をBS・110度CSデジタル放送用の端子につないでいますか？ また、BS・110度CSアンテナ、アンテナケーブル、分波器などは、デジタル放送対応のものを使っていますか？ ● “放送受信設定”の“アンテナ電源”の設定は正しいですか？ ● “放送受信設定”の“アンテナ電源”の設定を“供給する”にしているときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで (通電状態にして) おいでください。 ● BS・110度CSアンテナの方向や角度が強風などで少しでもずれると、放送を受信できません。 ● 次のような場合は、電波障害により一時的に映像・音声が乱れることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> - 雨雲があるときや、強い降雨のとき、障害物があるときなど。 - 雪がBS・110度CSアンテナに付着しているとき。 ● miniB-CASカードを正しい向きで奥まで (止まるまで) 差し込んでいますか？ 	27、28 46 46 27、28、49 — 38
放送の切り換えができない、チャンネルが切り換えられない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数番組*同時録画中は、録画中以外の放送やチャンネルに切り換えることはできません。 * BIV-TW1000は3番組、BIV-WS1000 / BIV-WS500は2番組 ● 再生中は、放送やチャンネルの切り換えはできません。 	88 —
チャンネルを切り換えても、そのチャンネルの映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● “かんたん設定” (“チャンネルの割り当て設定”) は完了していますか？ 	40
映像の左右の端が切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビによっては、左右や上下の映像が切れたり、色が薄くなったりします。 	—
デジタル放送の字幕や文字スーパーが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 字幕の設定が“オフ”になっていないか確認してください。 ● “文字スーパー”の設定が“表示しない”になっていないか確認してください。 	67 47
WOWOW やスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。 ● 契約した miniB-CAS カードを挿入してください。 	— 38

■ 番組表 (G ガイド) (p.59、92 もご覧ください。)

こんなときは (症状)	ここをお調べください (原因と対応のしかた)	参照ページ
番組表 (G ガイド) が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げ時には、番組表 (G ガイド) は表示されません。チャンネル設定後に、番組表 (G ガイド) の番組データを受信するまでは表示されません。 ● スキップ設定されたチャンネルは表示されません。 	59 50
1つのチャンネルの番組表しか表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組表 (G ガイド) で “CH 毎表示” に設定されている放送局は1つのチャンネルしか表示されません。  を押して、“全 CH 表示” に切り換えてください。 	92
番組データを受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組データは、本機の電源が待機状態 (リモコンで電源を切った状態) のとき、または本機の電源が「入」で録画中でないときに受信します。 	59
番組表 (G ガイド) に表示されない放送局や番組がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● チャンネルや放送局名が正しく設定されていない場合は、表示されません。正しいチャンネルや放送局名を設定してください。 	45、46
NHK が違う地域の番組表 (G ガイド) で表示される。		
予約した番組と録画された番組が合っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組表 (G ガイド) が正しく表示されていても、放送局側の都合により番組の内容が変更されることがあります。 	—

困ったときは・っづき

■ 録画・録画予約 (p.70、80、108～110 もご覧ください。)

こんなときは (症状)	ここをお調べください (原因と対応のしかた)	参照ページ
録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 違法複製防止のためのコピー制限やコピーガードがかかっていますか？ ● 「録画禁止」番組を録画していませんか？ ● HDD や BD-RE / -R の残量時間が不足していませんか？ → 不要なタイトルを削除するか、別の BD-RE / -R に録画してください。 ● タイトル数がいっぱいになっていませんか？ → 不要なタイトルを削除するか、別の BD-RE / -R に録画してください。 ● アンテナを本機に接続していますか？ ● アンテナレベルは十分ですか？ 	- 80 130、132 130、132、 182 27、28、 30、31 48、49
ディスクに録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画可能なディスクを入れてありますか？ ● 本機では、DVD-RW / -R には直接録画できません。(ダビングはできます。) ● 他機で記録したディスクは、本機では追加記録できない場合があります。 ● 他機で初期化されたディスクは、本機では録画できないことがあります。 ● ディスクに傷や汚れがあると、録画できないことがあります。 ● ディスクの保護またはディスクのファイナライズをしていませんか？ 	70、80 70、80 - - 73 139、140
ケーブルテレビチューナーなど、他の機器の映像が録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の入力切換を外部入力(L1)に切り換えていますか？ ● つないだ機器の電源が入っていますか？ ● ケーブルやコードを違う端子(入力/出力も含む)につないでいませんか？コピー制限の有無にかかわらず、外部入力(L1)からHDDに録画されたタイトルをDVD-RW (AVCREC™) / DVD-R (AVCREC™) にダビングすることはできません。 	69 - 30、31、32
予約録画できない。 録画予約した番組が録画されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約スキップを設定していると、録画されません。 ● 停電があったときは、正しく録画されません。 ● ファイナライズ、初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は予約録画できません。 	101 110 -
番組の最後まで録画できていない。 予約で録画した最後の部分が録画できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約が重なっていませんか？ ● 前の予約の終了日時とあとの予約の開始日時が同じ場合は、前の予約の最後の部分が録画されません。 	109 109
複数番組を同時に録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数番組をディスクのみに同時録画することはできません。 	-
カセットHDDに録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画可能なカセットHDDを挿入していますか？ 	-
録画モードTS以外で録画・録画予約した番組が、録画モードTSで録画されている。	<ul style="list-style-type: none"> ● 同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モードTSで録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古い番組から順に自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組) 	84、85

■ 再生 (p.126 もご覧ください。)

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
再生できない。 再生画面が出ない。	● テレビの入力切替が、本機を接続した入力に設定されていますか？	—
ディスクの再生ができない。	● 本機で再生できないディスクや未録画のディスクを入れていませんか？ ● ディスクの表裏を正しく入れていますか？ ● 他機やパソコンで録画したディスクは、本機で再生できないことがあります。 ● 他機で録画されてファイナライズされていない DVD-RW (Video, AVCREC™) / DVD-R (Video, AVCREC™) は、本機では再生できません。 ● 記録状態、ディスクの特性、傷、汚れなどにより、正常に再生できないことがあります。 ● BD / DVD-Video の視聴制限設定をしていませんか？ ● 録画モードを TS 以外で録画している場合、BD-Video や AVCHD を再生することはできません。	70 76 73 73 73 167 —
タイトルの最初から再生が始まらない。	● つづき再生 (レジュームポイント設定状態) になっていませんか？	112
映像や音声が一瞬止まる。	● 2 層ディスクの再生中は、1 層目と 2 層目が切り換わるときに映像や音声が一瞬止まることがあります。	126
画面サイズがおかしい。	● “TV 画面選択” をテレビの形状に合わせて選択していますか？ ●  のように、DVD 側で画面サイズが指定されているときは、違う種類で表示されることがあります。	161 —
再生中の映像が乱れる。 再生中の色がおかしくなる。	● 早送り / 早戻しなどをすると、映像が多少乱れることがあります。 ● 本機とテレビを直接つないでいますか？本機とテレビを VTR などを経由してつなぐと、コピーガードにより正しく再生できないことがあります。 ● 携帯電話など、電波を発する機器を近くで使用していませんか？	— 29 —
DVD の再生が途中で自動的に止まる。	● DVD によっては、オートポーズ信号によって、再生が自動的に止まる場合があります。	—
音が出ない。 字幕が出ない。	● AV アンプなど、つないでいる機器について次のことを確認してください。 - つないだ機器の電源が入っていますか？ - つないだ機器の入力切替が合っていますか？ - ケーブルやコードを正しく (入力 / 出力も含む) つないでいますか？ ● “音声設定” が、接続しているアンプやデコーダーなどに合わせて、正しく設定されていますか？ ● 本機では録画モードを TS 以外で録画した番組や、字幕情報がない番組については、字幕を切り換えるできません。(HDD またはカセット HDD に録画する場合は、録画モードを AF ~ AE にしていても字幕を切り換えることができます。) ● ディスクに収録されていない言語が選ばれていませんか？	36 162 83 —
外部入力で録画した番組を再生すると、2 つの音声が混ざって聞こえる。	● “録画設定” の “外部入力音声” を “ステレオ” にして録画していませんか？ → 録画前に、設定を “二カ国語” にしてから録画してください。	164
二カ国語音声切り換えできない。 日本語と英語切り換えできない。	● “録画設定” の “二カ国語音声”、“外部入力音声” で設定されている音声で記録されます。 → 録画前に、これらの設定を確認してください。	164
デジタル音声の二重音声が切り換えられない。	● “音声設定” の “Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD”、“DTS/DTS-HD” または “AAC” を “自動” に設定して、光デジタル音声出力端子から音声を出力しているときは、音声を切り換えることはできません。 → 設定を “PCM” にするか、アンプ側で音声を切り換えてください。	162
ディスクソフトの音声言語や字幕言語が切り換えられない。	● ディスクソフトに複数の言語が収録されていますか？ ● ディスクソフトによっては、ディスクのメニューを使って音声言語や字幕言語を切り換えるものがあります。操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクソフトの説明書をご覧ください。	— —
カメラアングルが切り換わらない。	● カメラアングルが切り換え可能な場面以外では、切り換えできません。	—
録画モード TS 以外で録画した番組が、“見る”画面上では「TS → ○○変換予定」(○○は録画モード)と表示されている。	● 同時操作の組み合わせによっては、いったん録画モード TS で録画され、本機の電源が「切」になってから数分後、録画日時の古いタイトルから順に自動的に録画モードの変換が開始されます。(録画モード変換予定番組)	84、85

困ったときは・つづき

■ 消去・編集・ダビング (p.127、151 もご覧ください。)

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
タイトルの編集・削除ができない。 ディスクの編集ができない。 チャプター境界位置の編集ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● タイトルやメディアが保護されている場合は、消去や編集はできません。 → タイトルやディスクの保護設定を解除してください。 ● ファイナライズ済みのディスクの消去や編集はできません。 ● 録画モード変換予定のタイトルは、分割やタイトルの保護はできません。 	127、135 139 140 -
チャプター境界が追加できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● チャプター境界数がいっぱいになっていませんか？ → 不要なチャプター境界を削除(結合)してください。 	134、182
タイトルを削除しても、ディスクの残量が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ● BD-R、DVD-R、DVD-RW (AVCREC™) は、タイトルを消去してもディスクの残量は増えません。 	132
削除・分割したタイトルを元に戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 削除・分割された内容は、元どおりに戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、削除・分割してください。 	132、136
初期化した内容を元に戻せない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期化して消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、初期化してください。 	141
本機で作成した DVD-RW (AVCREC™) / DVD-R (AVCREC™) を他のプレーヤーで再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の機器が DVD-RW (AVCREC™) / DVD-R (AVCREC™) に対応しているか確認してください。 ● AVCREC™ に対応した他の機器で再生するには、本機でファイナライズが必要です。 	- 140
ファイナライズしても、他の DVD プレーヤーで再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● DVD プレーヤーによっては、ファイナライズしても再生できないことがあります。 	-
ファイナライズが解除できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機でファイナライズを解除できるのは、本機でファイナライズした DVD-RW (VR) だけです。 	140
ダビングできない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 市販のディスクソフトなど、違法複製防止のためにコピーガードがかかっているディスクは、ダビングできません。 ● 他機で録画されてファイナライズされていない DVD-RW (Video) / DVD-R (Video) は、ダビングできません。 ● ディスクに傷や汚れがあると、ダビングできないことがあります。 ● 他機で記録したディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 ● 他機で初期化されたディスクは、本機ではダビングできないことがあります。 ● 保護された「1 回だけ録画可能」タイトル、または「ダビング 10」タイトルの 10 回目のダビングはできません。ダビングするには保護を解除してください。 	145 - 73 - -
ダビングすると、元のタイトルが消える。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1 回だけ録画可能」タイトルのダビングや、「ダビング 10 (コピー 9 回 + 移動 1 回)」タイトルの 10 回目のダビングは、「移動」になり、録画元のタイトルは削除されます。 	143
ダビングしても字幕がダビングされない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画モードを TS にして録画されたタイトルを高速ダビングした場合のみ、字幕の情報もダビングされます。ダビング元が HDD やカセット HDD の場合は、録画モードを AF ~ AE にして録画されたタイトルも字幕情報がダビングされます。(字幕がある場合のみ) 	83

■ カセットHDD (p.20、23、75 もご覧ください。)

こんなときは (症状)	ここをお調べください (原因と対応のしかた)	参照ページ
カセットHDDが使用できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットHDDが正しく挿入されていますか？ → 正しく挿入してください。 	23、75
カセットHDDに録画できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットHDDに十分な空き容量がありますか？ → 空き容量が少ない場合は、タイトルをHDDにダビングしたり、削除したりして空き容量を増やしてください。 	130、147
カセットHDDのタイトルが消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットHDDを使用中に、雷などの瞬間的な停電、プレーカーが落ちるなどで電源が切れませんでしたか？ → このような場合、記録されていたタイトルが消える場合があります。タイトルがすべて消えた場合や、カセットHDDが動作しない場合は、カセットHDDを初期化してください。 	141、110
カセットHDDに録画予約した番組が、HDDに録画されていた。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットHDDが無効になっていませんか？ → カセットHDDを正しく挿入しているかをご確認ください。 ● カセットHDDへ予約録画中に停電があった場合、停電復帰後の予約録画の続きはHDDへ代理録画します。 ● カセットHDDからカセットHDDへのダビング中に2番組分の予約録画が実行されると、2番組目はHDDへ代理録画されます。 	23、75 110 -

■ CECリンク制御

こんなときは (症状)	ここをお調べください (原因と対応のしかた)	参照ページ
CECリンク制御がはたらかない。	<ul style="list-style-type: none"> ● CECリンク制御は、本機と対応機器を組み合わせ、必要な接続(HDMI接続)と設定を行っている場合だけ使えます。 ● CECリンク制御が有効な状態で、本機の電源コードやHDMIケーブルを抜いた場合は、CECリンク制御が無効となります。 → 電源コードやHDMIケーブルを接続後、テレビの入力切換を本機の入力に切り換える、または“HDMI接続設定”-“CECリンク制御”の設定を一度“切”に変更して決定したあともう一度設定を“入”に変更して決定すると、再びCECリンク制御が有効になります。 	57 -

困ったときは・つづき

■ リモコン

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
リモコンがはたらかない。 本機だけ、テレビだけ、など一部のボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> - 乾電池が消耗していませんか？ - 本体とリモコンのリモコンコードが合っていますか？ 	39 44
HDD の操作ができない。	● 操作先がHDD(本体前面のHDD(選択メディアランプ)が点灯)になっていますか？	23
ディスクの操作ができない。	● 操作先がディスク(本体前面のDISC(選択メディアランプ)が点灯)になっていますか？	23
カセット HDD の操作ができない。	● 操作先がカセットHDDになっていますか？(本体前面のiVDR1またはiVDR2(選択メディアランプ)が点灯*していますか？) ※BIV-WS1000 / BIV-WS500はiVDR(選択メディアランプ)が点灯	23
テレビの操作ができない。	● 乾電池が消耗していませんか？乾電池が消耗すると、テレビの操作だけができなくなることがあります。	39

■ その他

こんなときは(症状)	ここをお調べください(原因と対応のしかた)	参照ページ
何も操作していないのに、本機の内部で音がする。 本機の動作音が大きくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 番組データの受信やダウンロード更新中は、動作音がすることがあります。 ● 高速記録対応ディスクを使用してダビングしているときや、冷却用ファンの制御によってファンの回転数が上がったときなどは、動作音が大きくなります。 	— —
“BD 視聴制限レベル”、“DVD 視聴制限レベル”、“視聴年齢制限”、“インターネット接続制限”、“BD-Live 接続設定”のパスワードを忘れた。	● これらの設定画面でパスワード入力画面が表示されたときに、4737 を入力してください。パスワードと制限設定値がクリアされます。 (このパスワードは視聴を制限される方にわからないようご注意ください。)新しいパスワードを作成し、設定しなおしてください。	51

用語説明

■ あ

アクセスポイント (p.55)

- 無線 LAN(Wi-Fi) を構成する装置の一種で、ネットワーク内の機器間の通信を中継したり、有線ネットワークや有線接続機器に接続するための機器のことです。

アッテネーター (p.48)

- 受信されるテレビ放送の電波が強すぎて映りが悪いときに、信号を適正なレベルに下げるときのための部品のことです。

アップコンバート (p.125)

- 映像信号を高い解像度に変換する技術のことです。本機では、1080 p / 24Hz で記録された映像を、フルハイビジョンの 4 倍相当の解像度 (4K) に変換することができます。

「1 回だけ録画可能」番組 (コピーワンス) (p.80、143)

- コンテンツ保護・違法コピー防止のため、1 回だけ録画することが許可されているデジタル放送の番組のことです。「1 回だけ録画可能」タイトルをダビングすると、ダビング元 (オリジナル) の録画内容が「移動」されて、ダビング元の録画内容は消去され残りません。

インターレース (飛び越し走査)

- テレビに映像を映すときに従来から行われている方式で、1 つの画像 (有効走査線) を 1 本飛ばしの半分ずつ 2 回に分けて表示します。これにより、1 つの画像を 1/30 秒 (30 コマ / 秒) で映します。

■ か

コピーガード、コピー制御信号

- 複製防止機能のことです。コンテンツ保護のため、著作権者などによって複製を制限する信号が記録されているソフトや番組を録画することはできません。

■ さ

サイドバイサイド

- 3D 映像の記録方式のことで、左右の映像を合成して立体的に表示します。

視聴制限 (パレンタルレベル) (p.51、167)

- デジタル放送やソフト側で設定された、視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないようにすることができます。

字幕放送 (p.63、67)

- デジタル放送の番組で画面上にセリフなどを文字で表示できる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

初期化 (フォーマット) (p.75、76、77、141)

- カセット HDD や録画用ディスクを本機で記録できるように処理したり、録画方式を変更したりするときに行います。初期化 (フォーマット) を行うと、それまで記録されていた内容はすべて消去されます。

双方向サービス、通信

- 視聴者が自宅にいながら、クイズ番組への参加、アンケートの回答、買い物などをすることができます。利用するにはネットワークの接続と設定が必要です。

■ た

タイトル (番組) (p.74)

- HDD やブルーレイディスク / DVD の大きな区切りのことです。

ダビング 10 (p.80、143)

- コンテンツ保護・違法コピー防止のため、10 回までダビングすることが許可されているデジタル放送の番組のことです。「ダビング 10」タイトルをダビングすると、9 回目までは「コピー」、10 回目は「移動」となります。

チャプター (p.74)

- タイトルの中の小さな区切りのことです。

ディープカラー (p.163)

- ディープカラーに対応した機器同士を HDMI ケーブルで接続したときに、映像を高階調表示に変換してグラデーションの色の変化をなめらかに表現できる技術のことです。

データ放送 (p.63、67)

- お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。たとえば、お客様がお住まい地域の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。その他に、ネットワークを使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向 (インタラクティブ) サービスなどがあります。

デジタルハイビジョン

- デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。有効走査線数 1080 本です。

トラック (p.74)

- 音楽用 CD の曲ごとの区切りを「トラック」といいます。

トランスポンダ (p.46)

- 地上から送られたテレビ放送の電波を受信し増幅して送り返す、人工衛星に搭載された中継器のことです。

■ は

バーチャル・パッケージ (p.122)

- 一部の BD-Video では、他のメディア (ローカルストレージ) にデータをコピーして再生しながらいろいろな機能を楽しむことができ、このようなディスクをバーチャル・パッケージと呼んでいます。データのコピーや再生のしかたなどは、BD-Video によって異なります。

ハイビジョン画質、HD 放送

- HD は High Definition の略で、デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。有効走査線数は 720 本または 1080 本です。標準画質 (SD 放送) よりも、高画質・高音質な映像・音声が楽しめます。

パンスキャン (p.161、170)

- 標準テレビ (4:3) にワイド映像を映す方法の 1 つで、映像の上下方向が画面いっぱいに表示され、左右方向が一部カットされます。

用語説明・つづき

ビットストリーム

- 圧縮されてデジタル信号に置き換えられた信号のことで、対応しているアンプなどによってそれぞれに合った信号に変換されます。

ビットレート

- 映像・音声データを記録する際に、1秒間に書き込む情報量のことをいいます。

標準画質、SD放送

- SDはStandard Definitionの略で、デジタル放送の標準画質のテレビ放送です。有効走査線数480本です。

ファイナライズ (p.140)

- 本機で録画したBD-R、DVD-RW / DVD-Rを、他のブルーレイディスクレコーダーやプレーヤーなどで再生できるようにする機能です。

物理チャンネル (p.45)

- テレビ放送の各チャンネルが使用している周波数範囲を表わす番号のことで、一般的にデジタル放送では、受信機の表示チャンネル番号と物理チャンネル番号は一致しません。

プログレッシブ (順次走査)

- テレビに映像を映すときに、1つの画像(有効走査線)を一度に表示し、1/60秒(60コマ/秒)で映します。インターレース出力に対し、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しめます。

ブロックノイズ (p.126)

- 電気信号の乱れにより発生するノイズの一種で、モザイク状の画像の乱れのことで。

■ ま

マルチビュー (p.68、146)

- 1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。たとえば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

■ ら

リージョンコード(再生可能地域番号) (p.71)

- BD-VideoやDVD-Videoは、国によって再生できる記号や番号が分けられており、これらをリージョンコードと呼びます。日本の場合、BD-Videoは「A」、DVD-Videoは「2」になっており、本機ではその記号または番号を含んだソフトだけ再生することができます。

リニアPCM

- → この「用語説明」の「LPCM」をご覧ください。

ルーター (p.33)

- 複数のネットワーク間でのデータ通信を中継するための機器のことです。

レジュームポイント

- 再生中に停止したときの停止位置を記憶します。

レターボックス (p.161、170、)

- 標準テレビ(4:3)にワイド映像を映す方法の1つで、映像の左右方向が画面いっぱいに表示され、上下方向に帯がつかます。

■ ABC

AAC (p.162)

- Advanced Audio Codingの略で、音声符号化の規格の1つです。AACは、CD並みの音質データを約1/12にまで圧縮できます。また、5.1chのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AACS

- Advanced Access Content Systemの略で、コンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組をBDディスクに録画・再生する場合は、機器およびBDディスクがこの技術に対応している必要があります。

AVCHD (p.71)

- ハイビジョン画質の映像をハイビジョン対応デジタルビデオカメラでディスクやSDカードなどに記録できるように開発された規格です。

AVCREC™ (エーブイシーレック)

- デジタル放送をハイビジョン画質でDVDに記録する方式です。ディスクをファイナライズすることで、AVCREC™方式対応のプレーヤーやレコーダーで再生できます。

BD-Live™ (ビーディーライブ) (p.33)

- BD-Live™は、BD-Video (BD-ROM Profile 2.0)の新しい再生機能で、インターネットに接続し追加映像や追加字幕のダウンロード、BD-Jによる通信対応ゲームなどのインタラクティブな機能を利用できます。

CECリンク制御 (p.57)

- HDMIケーブルを使って対応機器とつなぐことで、機器との連動操作が行えるようになる機能です。

CPRM (p.77)

- Content Protection for Recordable Mediaの略で、「1回だけ録画可能」番組に対するコンテンツ保護技術です。デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組や「ダビング10(コピー9回+移動1回)」番組をDVDに記録するときは、CPRM対応のディスクを使います。

DLNA (ディーエルエヌイー) (p.152)

- Digital Living Network Allianceの略で、お持ちのDLNA対応機器を同一ネットワーク内で相互接続し、他機で録画されたコンテンツの閲覧などを可能にするための規格です。

Dolby D (ドルビーダイナミック)レンジ (p.162)

- Dolby Digitalで記録されたタイトルの音声レベルの最小値と最大値の差のいい、夜間などに音量を下げた小さい音にしたときでも聞きやすく再生することができます。

Dolby Digital (ドルビーデジタル) (p.162)

- Dolby Digitalは、ドルビー社が開発したデジタル音声を圧縮して記録する方式です。この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、より高い解像度(ビットレート)の映像や、より長い記録時間を実現することが可能になります。

Dolby Digital Plus (ドルビーデジタルプラス) (p.162)

- Dolby Digital Plusは、Dolby Digitalをさらに高音質、5.1ch以上の多チャンネル対応、広いビットレート化した音声方式です。ブルーレイディスク規格では最大7.1chまで対応しています。

Dolby TrueHD (ドルビートゥルーエイチディー) (p.162)

- Dolby TrueHD は、DVD オーディオで採用されている MLP ロスレスの機能拡張版で、スタジオマスターの音声データを高品位で再生する音声方式です。ブルーレイディスク規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS® (p.162)

- DTS 社が開発した、デジタル音声システムです。DTS 対応アンプなどと接続して再生すると、映画館のような正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。

DTS-HD® (p.162)

- DTS® をさらに高音質・高機能化した音声方式で、下位互換により従来の DTS 対応アンプでも DTS® として再生できます。ブルーレイディスク規格では最大 7.1ch まで対応しています。

GB (ギガバイト)

- HDD、カセット HDD、ブルーレイディスクや DVD のファイル容量を表す単位で、数値が大きいほど録画可能時間が長くなります。

HD 放送

- → この「用語説明」の「ハイビジョン画質、HD 放送」をご覧ください。

HDD (p.20、70、72)

- Hard Disk Drive の略で、パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の 1 つです。大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機には、この HDD を 1 台内蔵しています。(お客様ご自身で HDD を交換することはできません。)

HDMI (p.29)

- High Definition Multimedia Interface の略で、ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタル AV インタフェースです。映像信号と音声信号を 1 本のケーブルで接続できます。

iVDR (p.20、70、72)

- iVDR (Information Versatile Device for Removable usage) 規格に準拠したカセット式のハードディスクドライブです。別売のカセット HDD を接続することにより、HDD の高速かつ大容量を活かしたリムーバブルメディアとして利用できます。

JPEG (ジェイペグ) (p.123)

- Joint Photographic Experts Group の略で、静止画像データの圧縮方式の 1 つです。ファイル容量を小さくできる割に画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

LPCM

- PCM は Pulse Code Modulation の略で、リニア PCM はデジタル音声をそのまま圧縮せずに記録する方式です。

miniB-CAS (ミニビーカス) カード (p.38)

- デジタル放送用の IC カードで、デジタル放送の有料放送の視聴や各種サービスを利用するための必要な情報が書き込まれます。

MPEG (エムペグ)、MPEG-2 (エムペグツー)、MPEG-4 AVC / H.264 (エムペグフォー エーブイシー / エイチニロクヨン)

- MPEG は Moving Picture Experts Group の略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。MPEG-2 は、DVD の記録などに使われる方式です。MPEG-4 AVC / H.264 は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

NTSC

- 日本やアメリカなどで採用されているカラー放送方式です。ヨーロッパなどで採用されている PAL または SECAM などのカラー放送方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ってきた DVD-Video はこのカラー放送方式やリージョンコードの違いにより、視聴できないことがあります。

SD 放送

- → この「用語説明」の「標準画質、SD 放送」をご覧ください。

USB

- Universal Serial Bus の略で、周辺機器を接続するためのインタフェースです。本機では、デジタルビデオカメラ / デジタルカメラなどを接続して、写真 (JPEG) の再生やハイビジョン画質 (AVCHD 形式) 動画の HDD への取り込み (ダビング) ができます。

VBR、可変ビットレート方式

- Variable Bit Rate の略で、映像の動きの多い / 少ない部分に合わせて記録する容量を可変制御する方式です。これにより、効率の良い録画が可能になります。

Video (ビデオ) 方式

- DVD レコーダーの基本記録方式です。ディスクをファイナライズすることで市販の DVD-Video と同じ記録方式となり、多くのプレーヤーやレコーダーで再生できます。

VR (ブイアール) 方式

- DVD Video Recording format の略で、DVD レコーダーの基本記録方式です。ディスクをファイナライズすることで、VR 方式対応のプレーヤーやレコーダーで再生できます。

さくいん

■ あ

アスペクト比	170
頭出し	
可変スキップ/可変リプレイ	117
サーチ	118
スキップ	117
アンテナター	48
アングル	
アングルアイコン	121
再生中の切り換え	121
アンテナレベル	48、49
アンブと接続	36

■ え

エラーメッセージ	186
----------	-----

■ お

お好み録画	104
お知らせ	
外部メール	160
内部メール	160
ボード	160
音楽用 CD	73
音声・音声言語	
音声言語設定	163
音声設定	162、168
再生中の切り換え	120
視聴中の切り換え	67
録画	83

■ か

外部入力	
外部入力音声	164
外部入力の切り換え	69
画質の切り換え (超解像設定)	68、121
カセット HDD (iVDR)	
カセット HDD (iVDR) に ついて	20、72
カセット HDD (iVDR) を 入れる	75
カセット HDD (iVDR) を 取り出す	75
残量表示	60
初期化(フォーマット)	75、141
録画内容の全消去	141
画面表示の見かた	60
かんたん設定	40
カンタンメニュー	62

■ く

クリーニングディスク	17
------------	----

■ け

ケーブルテレビ	
→ CATV(ケーブルテレビ)	
結露(露付き)	17
言語コード一覧	169

■ こ

高速起動	166
------	-----

■ さ

再生	
一時停止	117
追っかけ再生	119
可変スキップ/可変リプレイ	117
コマ送り/コマ戻し	117

サーチ	118
再生開始位置 (レジュームポイント)	112
市販のソフトの再生(ブルーレイ ディスク、ブルーレイ 3D™、 音楽用 CD)	115、116
写真(JPEG)	123
スキップ	117
スロー/逆スロー	117
他機のタイトルを再生する	152
ハイビジョン画質の動画 (AVCHD)	125
早送り/早戻し	117
早見再生(音声付早送り)	117
プレイリスト	119
リビート	118
録画したタイトルの再生	113
再生設定	163、164
最大録画可能数/登録数	182

■ し

視聴	
外部入力	69
チャンネルで選局	65
番組表(Gガイド)から選局	66
本機で受信できる放送の種類	63
視聴制限	
デジタル放送の視聴制限	51、68
BD 視聴制限レベル	163、167
DVD 視聴制限レベル	164、167

■ じ

字幕	
再生中の切り換え	120
視聴中の切り換え	67
字幕言語設定	163
録画	83
初期化	
カセット HDD (iVDR)	75、141
個人情報	166
ネットワーク設定	166
ブルーレイディスクの フォーマット	76、141
本体設定	166
BD ビデオデータ消去	166
DVD	77、141
USB メモリ	166

■ す

スカパー!プレミアムサービスLink	107
スチルモード	161

■ せ

セカンダリ音声	120
セカンダリビデオ	122
接続	
アンテナ線	27
オーディオ機器/光デジタル	36
スカパー!専用チューナー	32
スカパー!プレミアムサービス 対応チューナー	35
他の機器	37
テレビ	29
電源コード	38
ネットワーク	33、34
CATV(ケーブルテレビ)	30、31
HDMI ケーブル	29
USB 機器	79

■ そ

ソフトウェア更新	58
----------	----

■ た

待機設定	165
タイトル	
結合	137
削除	132
タイトルとは	74
タイトル名の変更	135
番組(タイトル)一覧	111
分割	136
保護	135
ダビング	
1 回だけ録画可能	142
移動	142
選べるダビングの種類	144
かんたんダビング	146
高速ダビング	142
コピー	142
ダビング制限	143
ダビング 10	142
ダビングの種類	142
ダビングの方向	17
等速ダビング	142
ネットワーク上の機器への ダビング	154
ビデオデッキ・ビデオカメラからの ダビング	150
複数タイトルのダビング	147

■ ち

チャプター境界	
オートチャプター	164
結合	134
削除	134
チャプター自動再生	114
チャプターとは	74
分割	133
チャンネル設定	50

■ て

ディスク	
構成区分	74
残量表示	60
ディスクについて	73
ディスクのメニュー	115
ディスクを入れる	76
ディスクを取り出す	76
ファイナライズ	140
フォーマット	76、77、141
ディスクサーチ	116
データ放送	63
テレビ画面保護	165

■ と

トラック	74
------	----

■ ね

ネットワーク機能設定	56
ネットワーク接続設定	
無線	52
有線	52

■ の

ノイズリダクション	121
-----------	-----

■ は

バーチャル・パッケージ	122
ハイビジョン画質	197
パスワード変更	167

番組表 (Gガイド)
 ジャンル色分け 93
 受信 59
 注目番組 96
 番組の詳細内容 66
 番組検索 94
 番組表 (Gガイド) の見かた 92
パンスキャン 197

■ ひ
ピクチャー・イン・ピクチャー 122
標準画質 197

■ ふ
ファイナライズ 140
フォーマット
 カセット HDD (iVDR) 75、141
 ブルーレイディスク 76、141
 DVD 77、141
フォルダ
 削除 131
 フォルダ追加 129
 フォルダ登録 129
 フォルダ名変更 129
付属品 3

■ へ
編集 127

■ ほ
放送受信設定
 項目と設定内容 45
 設定のしかた 45
放送の種類 (地上、BS、110度CSデジタル放送) 63
ホームネットワーク
 アクセス制限 56
 他機から本機に録画する 153
 他機のタイトルを再生する .. 152
 端末機器で視聴する 155
 デバイスネーム 56
 本機から他機にダビングする 154
ホームメニュー 62
ポップアップメニュー 115
本体
 前面 23
 背面 25
 本体表示部 24
本体設定
 項目と設定内容 161
 設定のしかた 161

■ ま
マルチ番組 (マルチビュー)
 視聴 68
 ダビング 83、146
 録画 83

■ み
未使用時自動電源オフ 165
“見る”画面 111

■ め
メディア
 本機で使えるメディア 70
 メディアの管理 139

■ も
文字スーパーの表示切換 47
文字入力 127
持ち出し番組 155
持ち出し番組の作成 156

■ よ
予約
 一発キャンセル 103
 一発予約 94
 イベントリレー 99
 好みの設定で予約 97
 実行中の予約録画の停止 103
 自動追跡 99
 代理録画 108
 注目番組一覧からの予約 96
 日時指定予約 100
 番組検索 94
 毎週/毎日録画 100
 予約一覧 91
 予約スキップ 101
 予約の取り消し 103
 予約の内容を変更 102
 予約を確認 101

■ ら
ラジオ放送 63

■ り
リア PCM 198
リモコン
 乾電池の入れかた 39
 テレビを操作する 44
 ボタン名と働き 22
 リモコンコードの変更 44

■ れ
レターボックス 198

■ ろ
録画
 外部入力端子からの録画 90
 視聴中の番組の録画 87
 ネットワーク上の機器からの録画 .. 153
 ぴったり録画 98
 複数番組同時録画 88
 録画時間 81
 録画制限 80
 録画モード 81
 録画モード変換 138
 録画モード変更 87
 ワンタッチタイマー録画 88

■ A
AAC 162、198
AF、AN、AS、AL、AE
 (録画モード) 81、82
AVCHD 198
AVCHD 動画再生 125

■ B
BD-HD 音声設定 162
BD-Live™ 33、198

■ C
CATV (ケーブルテレビ) .. 30、31、69
CEC リンク制御 57、163
CPRM 198

■ D
Dolby Dレンジ 198
Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD 198
DTS® 198

■ E
EP (録画モード) 81、82

■ H
HD放送 (ハイビジョン画質) 197
HDD
 構成区分 74
 残量表示 60
 録画内容の全消去 140
 HDDについて 20、72
HDMI
 HDMIについて 199
 HDMI接続設定 162、163

■ I
iVDR
 → カセットHDD (iVDR)

■ J
JPEG
 スライドショー 123
 JPEGについて 199

■ L
L1 (外部入力) 69
LP (録画モード) 81、82
LPCM
 → リニアPCM

■ M
miniB-CASカード 38
MPEG、MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264 199

■ P
PINコード 122

■ S
SDカードについて 74
SDカードを入れる 78
SDカードを取り出す 78
SD放送 (標準画質) 197
SP (録画モード) 81、82

■ T
TS (録画モード) 81、82
TV画面選択 161

■ U
USB機器と接続する 79
USB機器について 74

■ X
XP (録画モード) 81、82

■ 数字
4Kアップコンバート 125、162

maxell

日立マクセル株式会社 | お客様相談センター
〒102-8521 TEL.(03)5213-3525
東京都千代田区飯田橋2-18-2 FAX.(03)3515-8261

<http://www.maxell.co.jp>